## 令和2年度分

# 実施計画事業評価票

# 第9次実施計画事業一覧

	ポリベ <del>ス</del> が		<u>ロチル -</u> 本計画	見				第	9次実施計画事業(令和2年度)	
	政策名		施策名	重点 施策	主な取り組み	NO.	新市 計画		事業名	担当課名
基	本目標1 恵まね	れた	自然の中でやす	すらぎを	持って生活できるま	ちを	つくる	≪生	活環境≫	
01	1-1 豊かな自然環境を				自然環境の把握と情報発信 の充実	1	0	0	環境基本計画の推進事業	環境保全課
	保全・活用したうる	たうる 1-1-1 サモを かけがえの7		成長	自然とふれあう機会の充実と 保全・活用の仕組みづくり	再掲	0	0	環境基本計画の推進事業	環境保全課
	おいのある生活を めざす	001	然環境の保全と活	持続		2	0		自然科学体験学習事業	指導課
	「自然環境」		用 【重点施策】	ブランド		3			草深の森等維持管理事業	環境保全課
	[日然垛况]				保全活動の担い手の確保・ 育成	再揭	0	0	環境基本計画の推進事業	環境保全課
			1-1-2		公園・緑地の質を高める取り 組み	4			公園施設の管理	都市整備課
		002	・・ 2 緑と調和した生活 空間の形成と活用		まちなかの緑の充実	再揭			公園施設の管理	都市整備課
			至前の形成と活用			5	0		緑の基本計画の策定・推進	都市整備課
02	1-2 次代につなぐ地球			/	環境意識の啓発	再揭	0	0	環境基本計画の推進事業	環境保全課
	環境にやさしい生			/	ごみの減量化・資源化の推進	6	0	0	ごみの減量化・再資源化推進事業	クリーン推進課
	活をめざす		1-2-1		ごみの適切な処理の推進	7	0		印西クリーンセンター施設整備事業の促進	クリーン推進課
	[環境保全·廃棄 物処理]	003	環境負荷の低減に よる低炭素社会・資		再生可能エネルギー設備の 普及促進	8	0		住宅用省エネルギー設備設置費補助事業	環境保全課
	1876/21		源循環型社会づくり		合併処理浄化槽の設置促進	9	0	0	合併処理浄化槽設置事業	環境保全課
				/	その他	10			地下水汚染対策事業	環境保全課
						11			竹袋焼却場等跡地環境対策事業	環境保全課
				/	ポイ捨て等防止意識の高揚	12	0		クリーン印西推進運動事業	クリーン推進課
			1-2-2			13	0		歩行喫煙及びポイ捨て等防止対策事業	クリーン推進課
		004	多様な主体がつくり だすクリーンなまち	/	不法投棄防止対策の強化	14	0	0	不法投棄対策事業	クリーン推進課
			づくり	/	花による景観づくりの推進	15			花による景観づくりの推進	シティプロモーション課・ 都市整備課
					その他	16	0		空き地等管理指導事業	環境保全課
03	1-3 市民の安全を守り				防災意識の啓発	17			地域防災意識の高揚	防災課
	安心して生活でき		1-3-1		地域防災体制の確立	再揭			地域防災意識の高揚	防災課
	る環境づくりを推 進する	005	多様化する災害に 対応する、自助共 助も今めた防災対	持続	防災対策の強化	18	0	0	防災体制の強化事業	防災課
	「防災·防犯]	000	助も含めた防災対 策の強化	יופוי ני נ	消防・救急体制の強化	再揭	0	0	防災体制の強化事業	防災課
			【重点施策】		地域消防力の強化	19			消防団運営事業	防災課
						20			防火水槽整備事業	防災課
					防犯体制の充実	21	0		防犯対策事業	市民活動推進課
						22	0		防犯活動拠点施設運営事業	市民活動推進課
			1-3-2		防犯施設の整備	再掲	0		防犯対策事業	市民活動推進課
		006	犯罪や事故から市 民を守る、安全・安	成長	交通安全の推進	23	0	0	交通安全啓発事業	市民活動推進課
		000	心社会の構築	从区		24	0		放置自転車等対策事業	市民活動推進課
			【重点施策】		交通安全施設の整備	25			交通安全対策施設整備事業	土木管理課
					消費生活に関する知識の普 及	26			消費生活相談事業	商工観光課
		_			消費生活相談の充実	再揭			消費生活相談事業	商工観光課

	第	2次基	基本計画					第	9次実施計画事業(令和2年度)	
	政策名		施策名	重点 施策	主な取り組み	NO.	新市計画	主要事業	事業名	担当課名
基	本目標2 やさし	<b>_さ</b> を	持っていきいき	と暮ら	せるまちをつくる≪化	建康				
	2-1		1	/	社会福祉協議会への支援	27			社会福祉協議会との連携及び活動支援	社会福祉課
	思いやり支え合う 地域の福祉活動		2-1-1		地域福祉活動の担い手の確 保・育成	28	0		地域福祉づくりの推進	社会福祉課
	を推進する	007	社会の変化に対応 した地域支え合い	/	床 自从	29				社会福祉課
	[地域福祉]		支援	/	地域における支え合いのネッ トワークづくり	再揭	0		地域福祉づくりの推進	社会福祉課
				/	福祉サービスのネットワーク 化の推進	再掲	0		地域福祉づくりの推進	社会福祉課
		008	2-1-2		生活保護制度の適切な運用	30			生活保護受給者自立への支援	社会福祉課
			社会保険制度を含めたセーフティネッ		生活困窮者の把握及び支援 の充実	31			生活困窮者自立への支援	社会福祉課
			トの強化		国民年金制度の普及啓発	32			年金相談事業	国保年金課
05					保育園待機児童対策と保育 サービスの充実	33	0	0	保育園運営事業	保育課
	安心して子育てが できる環境づくりを				, cx0,2,5	34			保育園施設整備改修事業	保育課
	推進する				放課後児童対策の充実	35		0	放課後児童健全育成事業	保育課
	[児童福祉・子育					36		0	学童クラブ施設整備事業	保育課
	て]		2-2-1		子育て家庭への生活支援の 推進	37				子育て支援課
		009	ライフスタイルにあ わせた多様な子育	成長	TELE	38	0	0	子ども医療費助成事業	子育て支援課
			て支援策 【重点施策】			39		0	高校生等医療費助成事業	子育て支援課
						40	0		子育てヘルプサービス事業	子育て支援課
					ひとり親家庭への生活支援 の充実	41			ひとり親家庭等支援事業	子育て支援課
						42		0	ひとり親家庭等生活向上事業	子育て支援課
					妊娠・出産・子育てへの切れ 目ない支援	43			特定不妊治療費助成事業	健康増進課
					子育て家庭の不安や悩みの 解消に向けた取り組みの推	44			家庭児童相談事業	子育て支援課
				/	進	45			児童虐待防止対策事業	子育て支援課
						46			父親育児支援事業	子育て支援課
		010	2-2-2 子どもと親とを支え	/	療育・発達支援の推進	47	0		子ども発達センター事業	障がい福祉課
			る子育て環境づくり	/	地域子育て支援の推進	48	0		地域子育て支援拠点事業	子育て支援課
				/		49	0		ファミリーサポートセンター事業	子育て支援課
				/		50		0	都市再生機構事務所用地の活用	資産経営課
	2-3		2-3-1		高齢者の多様な交流の促進	51			老人福祉センター・老人憩いの家施設運営	高齢者福祉課
	高齢者や障がい のある人にやさし	011	高齢者の生きがい づくりと社会参加の	持続		52			高齢者クラブ活動推進事業	高齢者福祉課
	い環境づくりを推 進する		促進 【重点施策】		高齢者の就労の促進	53	0		高齢者就労支援事業	高齢者福祉課
			2-3-2	/	介護保険制度の円滑な運営	54	0		介護保険事業	高齢者福祉課
	[高齢者・障がいの ある人の福祉]		地域ぐるみで高齢		地域包括ケアシステムの推 進	55	0		地域包括支援センター運営事業	高齢者福祉課
		012	者を支える見守り・ 予防・介護の仕組		~	56	0	0	介護予防事業	高齢者福祉課
			みづくり		在宅福祉サービスの推進	57		0	高齢者在宅福祉事業	高齢者福祉課
					障がいのある人の生活支援 の充実	58		0	<b>障がい福祉サービス事業</b>	障がい福祉課
			2-3-3			59	0		地域生活支援事業	障がい福祉課
		010	障がいのある人へ のきめ細かな生活 カキャンカー 持続			60			重度心身障がい者医療費助成事業	障がい福祉課
		013			障がい者福祉施設の充実	61			障がい者グループホーム運営費等補助事業	障がい福祉課
			【重点施策】			62	0		障がい者福祉施設整備事業	障がい福祉課
					障がいのある人の社会参加 の促進	63	0		ふれあいサポートセンターいんざい管理運営事業	障がい福祉課

	第	2次基	本計画					第	9次実施計画事業(令和2年度)	
	政策名		施策名	重点 施策	主な取り組み	NO.	新市 計画	主要事業	事業名	担当課名
07	2-4 誰もが健康で元気				健康診査の充実	64	0		健康診査事業	健康増進課
	に暮らせる環境づ					65	0	0	がん検診事業	健康増進課
	くりを推進する					66			特定健診・特定保健指導	国保年金課
	[健康・医療]					67			人間ドック等受検費用補助事業	国保年金課
						再揭		0	都市再生機構事務所用地の活用	資産経営課
					母子保健の充実	68			乳幼児健診事業	健康増進課
			2-4-1			69			出産育児支援事業	健康増進課
		014	生涯いきいきと健や かに暮らすための	持続	感染症予防・拡大対策の推 進	70	0		予防接種事業	健康増進課
			健康づくりの推進	持机		71			結核検診事業	健康増進課
			【重点施策】		健康危機管理対策の推進	72			健康危機管理対策事業	健康増進課
						73			放射線問題対策事業	環境保全課ほか
					健康づくり活動の促進	74			保健対策推進事業	健康増進課
						75	0		健康づくり事業	健康増進課
						76			健康支援事業	健康増進課
					食育の推進	77			食育推進事業	健康増進課
					歯の健康づくりの推進	78	0		歯科保健事業	健康増進課
		64-	2-4-2 市民の健康を支える	++ ++	一次医療及び救急医療体制 の強化	79	0		地域医療推進事業	健康増進課
		015	医療体制の整備・充実	持続	医療体制の充実	再掲	0		地域医療推進事業	健康増進課
基	本目標3 地域(	の持		かした鬼	- <mark>基力あるまちをつくる</mark>	≪産	業振	興≫		
	3-1				農業生産基盤の整備	80	0	0	土地基盤整備事業の促進	農政課
	食を支える農業の 持続的な発展を図					81	0		農業経営基盤強化促進事業	農政課
	る		3-1-1		農地の利用集積と遊休農地 の解消	再掲	0		農業経営基盤強化促進事業	農政課
	[農業振興]		生産基盤の整備や 担い手の確保によ	成長	V/ // // // // // // // // // // // // /	82			農地中間管理事業	農政課
		016	る持続的な農業の	持続		83			家畜防疫事業	農政課
			実現 【重点施策】		農業後継者・新規就農者の	84		0	—————————————————————————————————————	農政課
					育成・確保 農業経営体の育成	再掲	0		農業経営基盤強化促進事業	農政課
					鳥獣被害対策	85		0	島獣被害対策事業	環境保全課
				/	安全な農産物づくりの推進	86	0	0	地産地消推進事業	農政課
			3-1-2 地産地消や農業体		地産地消の推進	再掲	0	0	地産地消推進事業	農政課
		017	験など農業を通した		農業や食に親しむ機会の拡	87	0		市民農園振興事業	農政課
			地域の振興		へ 地域ぐるみの農村環境の保 全	88			多面的機能·環境保全向上対策事業	農政課
09	3-2		3-2-1 古世 2 <b>原</b> 4 相 <b>4</b> 军	<b>y</b>	企業誘致に向けた支援	89	0		企業誘致推進事業	商工観光課
	国際的な視野を持 ち活力に満ちた商	018	立地の優位性を活 かした企業誘致・雇	成長		再揭	0		企業誘致推進事業	商工観光課
	工業の振興を図る	の振興を図る 用確保の促進 【重点施策】 C業振興・企			就労支援等の充実	90		0	就労支援事業の充実	商工観光課
	[商工業振興・企			/		91	0	0		商工観光課
	業誘致]			/	地域活性化の推進	92	0		地域活性化の推進	商工観光課
		3-2-2		/	起業・新分野進出への支援	93	0		————————————————————————————————————	商工観光課
	019 地域の生活を支える商工業の活性化		/	特産品づくりの推進	再揭	0	0	商工業の活性化事業	商工観光課	
			る商工業の活性化	/		94	0		 観光振興事業	商工観光課
				再掲	0		観光振興事業	商工観光課		

	第	2次基	本計画					第	[9次実施計画事業(令和2年度)	
	政策名		施策名	重点 施策	主な取り組み	NO.	新市 計画	主要事業	事業名	担当課名
	3-3 知业恣語の活用		3-3-1		観光協会の組織強化	再揭	0		観光振興事業	商工観光課
	観光資源の活用 を図り交流と賑わ	020	印西の魅力発信の 体制強化	ブランド	観光客の受け入れ体制の強 化	再掲	0		観光振興事業	商工観光課
	いを創出する		【重点施策】		積極的な情報発信	再掲	0		観光振興事業	商工観光課
	[観光]		3-3-2		観光資源の活用	再掲	0		観光振興事業	商工観光課
		021	地域に存在する観 光資源の活用・向		観光資源の発掘および情報 の充実化	再揭	0		観光振興事業	商工観光課
			上		印旛沼の観光資源としての魅力向上	再掲	0		観光振興事業	商工観光課
基	本目標4 健や	かな	心と体を育みま	未来を招	くまちをつくる≪教	育∙文	化≫			
11	4-1 たきるもをはたま				学ぶ力を育む教育の充実	95	0		読書活動推進事業	指導課
	生きる力を持ち未 来を拓く子どもを					96		0	幼児教育の充実	学務課
	育む					97		0	子育てのための施設等利用給付事業	保育課
	[学校教育]					98	0	0		指導課
						99	0	0	国際理解教育推進事業	指導課
			4-1-1 学ぶ力、豊かな心、			100				指導課
		022	健やかな体を育む 教育の推進	持続		101			  職場体験学習の推進	指導課
			【重点施策】		豊かな心を育む教育の充実	102			<u>│</u> 芸術文化体験事業	指導課
						103	0		適応指導教室事業	指導課
						104	0		教育相談事業	指導課
					健やかな体を育む教育の充	105			学校保健事業	指導課
					<u>実</u> 学校給食の充実	106	0	0	学校給食事業	指導課
					教育環境整備の充実	107	0	0	小中学校施設整備改修事業	教育総務課
				/	が日本が正論の方式	108			就学援助事業	学務課
						109			高等学校等入学支援事業	学務課
						110			小学校修学旅行費補助事業	学務課
		022	4-1-2 安全で安心できる						パチ校修子派打資補助事業 児童生徒用机・椅子の計画的な更新	
			教育環境づくり		  学校の適正規模・適正配置	111		_		
					の推進	112		0	学校の適正規模・適正配置の推進	学務課
				/	学校安全の推進	113	0		学校安全事業	指導課
				/	開かれた学校づくり 情報化社会に対応した教育	114			開かれた学校教育の推進	指導課
12	4-2				の推進	115	_	0	学校教育の情報化推進事業	指導課•学務課
12	生涯を通して学び				生涯学習情報の充実	116	0		生涯学習情報の充実	生涯学習課
	スポーツに親しめ る環境づくりを推				多様な学習機会の提供	117	0		生涯学習機会の拡充	生涯学習課
	進する				生涯学習施設の整備・充実	118			公民館運営事業	生涯学習課
			4-2-1 年齢にとらわれず			119		0	小林コミュニティプラザ大規模改修事業	生涯学習課
	[生涯学習・生涯スポーツ]		にいきいきと暮らす ための生涯学習活			120			図書館運営事業	生涯学習課
	W 21		動			121		0	文化ホール・大森図書館大規模改修事業	生涯学習課
						122		0	ふれあい文化館大規模修繕事業	生涯学習課
				/	<u> </u>	再掲		0	都市再生機構事務所用地の活用	資産経営課
			4-9-9		高等教育機関等との連携協力	123	0		高等教育機関等との連携	生涯学習課
		025	4-2-2 地域で子どもたちを		青少年の健全育成活動の推 <u>進</u>	124	0		青少年健全育成事業	生涯学習課
		520	守り育てる環境づく り		家庭教育の推進	125			家庭教育学級事業	生涯学習課
				/	スポーツ参加機会の拡充	126	0		生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課
			4-2-3		特色あるスポーツ事業の展 開	再揭	0		生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課
		006	市民が参加しやす	/	スポーツ・レクリエーション施 設の充実	127			スポーツ・レクリエーション施設整備事業	スポーツ振興課
			いスポーツ環境の 整備と推進体制の 充実			128	0	0	体育施設利用促進事業	スポーツ振興課
					スポーツ指導者等の育成	129	0		スポーツ団体と指導者の育成	スポーツ振興課
				/	総合型地域スポーツクラブへ の支援	130	0		総合型地域スポーツクラブの支援・育成	スポーツ振興課

	第	2次基	本計画					第	9次実施計画事業(令和2年度)	
	政策名		施策名	重点 施策	主な取り組み	NO.	新市計画	主要事業	事業名	担当課名
13	4-3			/	教育振興基本計画文化芸術 編の推進	131	0	7.7	文化芸術活動の支援	生涯学習課
	心に豊かさをもた らす文化の保護と		4-3-1 創造性を育む文化・		文化・芸術に触れる機会の拡大	132	0		文化芸術事業の充実	生涯学習課
	振興を図る	027	芸術活動の推進・継承		市民の自主的な活動の支援	再揭	0		文化芸術活動の支援	生涯学習課
	[文化]		<b>胚</b> 承		子どもをはじめとする次世代 の育成	再掲	0		文化芸術活動の支援	生涯学習課
			4-3-2	/	文化財の保護	133	0	0	文化財の保護事業	 生涯学習課
		028	文化財の保護・活	持続	 文化財の活用	134	0	0	文化財の活用事業	 生涯学習課
			用 【重点施策】			135				生涯学習課
			4-3-3		市史編さん事業の推進	136	0		市史刊行事業	 生涯学習課
		029	市史編さん事業の 推進		地域史料の保存と活用	137	0		地域史料保存事業	生涯学習課
14	4-4		4-4-1		国際化推進体制の強化	138	0		国際化推進事業	企画政策課
	互いの文化を認め 合い尊重しながら	030	開かれたまちをめ		国際性を育む地域づくりの推	再揭	0		国際化推進事業	企画政策課
	ともに歩める社会		ざした国際交流・協 力の充実		<u>進</u> 国際力の向上	再掲	0		国際化推進事業	企画政策課
	をめざす [国際化・多文化		4-4-2	/	外国人市民が暮らしやすい	再掲	0		国際化推進事業	企画政策課
	共生]	031	グローバル化に対応 した多文化共生社会	ブランド	環境づくりの推進 国際理解の推進	再掲	0	0	国際理解教育推進事業	指導課
Ħ.	大日博尼州流	で草	づいの推進	地台山						THAT
	本日 <b>倧5   快週</b> 5-1	香ご	らしてりい部門	T成形U	)充実した美しいまた 良好で魅力ある市街地環境		ı			don -1
'	適正で機能的な土			/	の実現	139	0	0	都市マスタープランの推進	都市計画課
	地利用を推進する		5-1-1 地域の特性を活か	/		140			都市計画GIS整備事業	都市計画課
	[土地利用]	032	した計画的な土地 利用の誘導	/	   千葉ニュータウン区域の土地	141		0	地籍調査事業	都市計画課
			利用の誘導	/	利用の誘導 印旛中央地区の都市的土地	142	0		千葉ニュータウンの市街化促進	都市計画課
			/	利用の促進	143	0		印旛中央地区の都市的土地利用の促進	都市整備課	
				/	木下駅圏の都市機能の強化	再揭	0		地域活性化の推進	商工観光課
					小林駅圏の都市機能の強化	144	0	0	小林駅南口駅前広場等整備事業	建設課
			5-1-2	/		再揭	0		地域活性化の推進	商工観光課
		033	生活の利便性を高める拠点的な機能		拠点形成にむけた連携の強 化	再揭	0	0	小林駅南口駅前広場等整備事業	建設課
			の強化			再揭	0		地域活性化の推進	商工観光課
				/		145		0	市道00-008号線整備事業	建設課
						146	0	0	市道00-031号線整備事業	建設課
16	5-2 生活を支える交通				広域・主要幹線道路の整備 促進	147	0		北千葉道路の建設促進	建設課
	環境を整備する			- 1	地区幹線道路・生活道路の 整備	再揭		0	市道00-008号線整備事業	建設課
	[道路・公共交通]					再揭	0	0	市道00-031号線整備事業	建設課
						148	0		市道00-116号線整備事業	建設課
						149	0	0	市道00-026号線延伸区間道路整備事業	建設課
		034	5-2-1 市民生活を支える			150	0	0	市道松崎・吉田線整備事業	建設課
		004	道路網の整備・維 持管理			151	0	0	市道竜腹寺線整備事業	建設課
						152	0	0	市道00-107号線整備事業	建設課
				1	道路の適切な維持管理の推 進	153	0	0	市道山田·平賀線舗装改良事業	建設課
						154	0	0	道路維持管理事業	土木管理課
				/		155	0		雨水排水対策事業	土木管理課
				性化と交増加を見 ブランド 北域公共交		156			橋りょう点検・修繕事業	土木管理課
					市内バス公共交通の充実	157	0	0	コミュニティバス運行事業	交通政策課
			5-2-2 地域の活性化と交			158	0	0	路線バス運行対策事業	交通政策課
		035	通弱者の増加を見据えた地域公共交		北総線・成田スカイアクセス の利便性の向上	159	0		北総線高運賃対策事業	交通政策課
			通の向上		成田線の活性化と利便性の向上	160	0		成田線活性化事業	交通政策課
			【重点施策】		100-4-	再掲	0	0	小林駅南口駅前広場等整備事業	建設課
I	I I		I .	1	I .					

	第2次基本計画 政策名							第	9次実施計画事業(令和2年度)	
	政策名		施策名	重点 施策	主な取り組み	NO.	新市 計画	主要事業	事業名	担当課名
17	5-3 良好で魅力ある住			/	公共下水道の整備・普及促 進	161			下水道施設長寿命化等対策事業	下水道課
	環境を整備する	000	5-3-1 生活を支える水の			162	0		公共下水道施設整備事業	下水道課
	[上下水道·都市	036	インフラづくりと維持 更新			163	0		雨水排水対策施設整備事業	下水道課
	景観・住宅]		<b>₩</b>		水道事業の推進	164	0		水道施設整備事業	水道課
		007	5-3-2 景観に配慮した美し	+± 4=	印西市景観計画の策定	165	0	0	景観計画の推進	都市計画課
		037	いまちづくり 【重点施策】	持続	景観意識の醸成	再揭	0	0	景観計画の推進	都市計画課
					計画的なまちづくりの推進	再揭	0	0	都市マスタープランの推進	都市計画課
			5-3-3		災害に強い住まいづくりの促 進	166	0	0	建築物耐震改修促進事業	建築指導課
		038	人にやさしく豊かな 住まいづくり	持続	人にやさしい住まいづくりの 促進	167		0	住宅相談窓口の充実	建築指導課
			【重点施策】		住まいの情報提供の促進	再揭		0	住宅相談窓口の充実	建築指導課
					その他	168		0	空家等対策事業	建築指導課
基:	本目標6 市民	と行	政がともに歩み	健全で	自立したまちをつく	ა≪1	主民自	1治•		
	6-1				市民参加意識の向上	169	0		市民参加推進事業	市民活動推進課
	市民が主体のまち づくりを推進する				適切な制度運用と参加機会	再掲	0		市民参加推進事業	市民活動推進課
					の拡充 広報・情報提供の充実	170	0		広報紙発行事業	秘書広報課
	[住民自治]		6-1-1 市政情報の共有化		A IN IN INSCRIPTION	171	0		ホームページの更新管理	秘書広報課
			と市民参加によるま ちづくり	ブランド	 広聴の充実	172	0		広聴事業	秘書広報課
			【重点施策】		情報公開制度の適正な運用	173	0		情報の公開	総務課
					シティセールスの推進	174	$\vdash$	0	シティセールスの推進	シティプロモーション課
					7 / 1 C /V/V/IE/E	175		0	東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致等事業	シティプロモーション課
					コミュニティ活動の推進	176	0	0	コミュニティ活動の推進事業	市民活動推進課
		040	6-1-2 市民が主体の地域				0			
		040	コミュニティ活動の 推進		コミュニティ施設の活用促進	177	_		コミュニティセンター運営事業	市民活動推進課
19	6-2		, i.e.	/	+ D T N D # #	178	0		地区集会施設整備事業	市民活動推進課
	皆でまちを育む環	044	6-2-1 市民や大学・企業な		市民活動の推進 地方創生にむけた多様な主	179	0	0	市民活動推進事業	市民活動推進課
	境づくりを推進す る	041	ど多様な主体ととも に進めるまちづくり		体との連携の推進 産学官連携による協働事業	180			まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進	企画政策課
	[協働]		1-22-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-		及び新事業創出の推進 男女共同参画社会の実現に	181	0		産学官連携推進事業 	企画政策課
	门加强儿	0.40	6-2-2		向けた取り組みの推進	182	0		男女共同参画推進事業	市民活動推進課
		042	男女共同参画の推 進		相談支援体制の充実	183	0		女性の悩み相談事業	子育て支援課
20	6-3				電子行政の推進など市民ニーズ	184	0		配偶者等暴力被害者支援事業	子育て支援課
20	市民ニーズに応じ			/	に対応した行政サービスの推進	185	0		電子行政推進事業 	管財課
	た効率的で効果的 な行財政運営を行		6-3-1		窓口等の充実	186	0		窓口の休日実施	市民課
	5	043	市民目線で利用しやすい行政サービ			187	0		納税機会の充実 	納税課ほか
	[行財政]		スの実現			188			本埜支所庁舎等改修工事	本生支所市民サービス課 市民活動推進課・
					各種相談の実施 情報ネットワークの活用等に	189			市民相談の実施	秘書広報課
					よる効率的な行政運営	190	0		公共施設間情報ネットワーク整備事業	管財課
					事務事業の見直し	191	0		事務事業の再編・整理	総務課
						192	0	0	公共施設の整理統合と有効利用	資産経営課
						193			行政評価推進事業	企画政策課
			6-3-2 块结可能 <i>炒</i> 行財政		職員の育成と定員管理の適 正化	194	0		定員管理の適正化	人事課·総務課
		044	持続可能な行財政運営の実現	持続	<b>ゆくさいさんと</b> ロエマン・	195	0		職員能力の向上	人事課
			【重点施策】		健全で安定的な財政運営の 推進	196	0		計画的な財政運営	財政課
						再掲			行政評価推進事業	企画政策課
					総合計画の適切な進行管理	197		0	総合計画の推進	企画政策課
L					広域連携の推進	198			広域的連携体制の強化	企画政策課

	ייד	112年度 分 美他計画争某	计叫示							
1. 事業の概要				事業番号	1					
	実施計画事業名	環境基本計画の推進事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部環境保全課 保全係								
担当即有守	款項目及び予算名	4款 1項 6目 環境保全費		新市基本計画	0					
	予算事業名	環境基本計画の推進事業、環境保全事務	<b>条に要する経費</b>	主要事業	0					
	関連する施策名	1-①-1 かけがえのない自然環境の保全と 1-②-1 環境負荷の低減による低炭素社会		重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	1-①-1 かけがえのない自然環境の保全と活用 恵まれた自然環境を保全し、生物多様性の確保や地域の生態系を維持していくため、市民、事 連携し農地や樹林地、谷津田などの里山を適切に維持・管理する仕組みづくりを進めていきま 自らが地域の自然を守っていく意識を高めるため、自然に親しみ、環境について学ぶ機会を提 す。 1-②-1 環境負荷の低減による低炭素社会・資源循環型社会づくり ごみの減量化・資源化と適正処理を推進し、資源循環型社会の構築、再生可能エネルギーの活 ルギーの推進による低炭素社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。また、生活雑誌 用水域の水質汚濁や土壌・地下水汚染への対策を進め、地球環境への負荷低減を図っていき								
	事業年度	平成25年度から令和3年度								
	事業の実施目的 及び概要	環境基本計画に基づき、市民・事業者・行政が することにより、環境負荷の低減を図る。また、								
事業内容等	対 象	印西市全域								
ず木川口ず	根拠法令·関連計画 等	印西市環境基本条例、印西市環境基本計画								
	年度	年度計画の内容	年度の事業							
	令和2年度	・第3次環境基本計画策定の基礎調査 ・いんざい自然探訪の実施(年6回)	環境白書の作成(計画の進行 いんざい自然探訪の実施(年2 第3次環境基本計画策定の基 自然環境調査	2回)						

2.事業費の財源内訳

2. 字木貝切別源片	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					21,292,000	21,292,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					21,430,000	21,430,000
		決算額					17,149,694	17,149,694

3. 指標及び実績値

指	<del></del> 標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	環境審議会開催回数	回数	目標値	3	2	2	2	3
	<b>環境番職本開催自效</b>	凹奴	実績値	3	2	2	2	4
	環境推進会議開催回数	回数	目標値	10	10	10	10	10
活動指標	<b>環境推進去議開推自奴</b>	凹奴	実績値	10	10	10	10	9
心划行标	いんざい自然探訪実施		目標値	6	6	6	6	6
	回数	ш	実績値	4	5	5	5	2
	特定外来種(カミツキガ	数	目標値	20	20	20	20	20
	メ)の捕獲実績		実績値	34	13	16	4	12
	環境基本計画における	%	目標値	60	70	80	90	100
	環境指標の達成率	70	実績値	68	53	80	80	78
成果指標	いんざい自然探訪参加	人	目標値	120	120	120	120	120
八木 田 宗	者数	^	実績値	109	97	131	153	28
	里山保全活動団体数	団体	目標値	11	現状以上	現状以上	現状以上	現状以上
	王山床主冶剔凹体数	平四	実績値	11	11	12	12	12

4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスの影響によりいんざい自然探訪等の実施回数が下回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスの影響によりいんざい自然探訪等の参加者が下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルスの影響によりいんざい自然探訪等の実施回数及び参加者が下回った。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウィルスの影響により、いんざい自然探訪の開催数と参加者数が例年より減少したが、新しいプログラムを検討して実施していく。 今後も引き続き、小学生向けの企画を実施し、将来を担う子どもたちに自然の大切さを啓発していくとともに、里山保全団体の活動の推進や育成に努めていく。

节仰2年度 7 美爬引曲争朱計仙宗							
1. 事業の概要				事業番号	2		
	実施計画事業名	自然科学体験学習事業					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部指導課 教育センター					
但의마各寺	款項目及び予算名	9款 1項 4目 教育センター費		新市基本計画	0		
	予算事業名	自然科学体験学習事業		主要事業			
	関連する施策名	1-①-1 かけがえのない自然環境の保全	と活用	重点施策	0		
基本計画における 位置付け 施策の方向性 恵まれた自然環境を保全し、生物多様性の確保や地域の生態系を維持していくため、市民、 連携し農地や樹林地、谷津田などの里山を適切に維持・管理する仕組みづくりを進めていき 自らが地域の自然を守っていく意識を高めるため、自然に親しみ、環境について学ぶ機会を す。							
	事業年度	<sup>工</sup> 成17年度から実施					
	事業の実施目的 及び概要	自然観察や科学実験等の体験学習を通して	、科学的な見方や自然を愛する	心情を育てる事	業を実施する。		
	対 象	市内在住の小中学生とその保護者					
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	   印西市教育センター設置及び管理に関する約	条例				
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果			
	令和2年度	計5回の講座を開催する。 ①里山観察会 ②産学官連携科学講座 ③昆虫観察会 ④伝承技能体験教室 ⑤星空観望会	新型コロナウイルス感染防止の 実施を見送った。	観点から令和2	年度は講座の		

2.事業費の財源内訳

2. 手术貝切別////	אמני -							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		<b>積算額</b> (当初予算額)					130,000	130,000
	令和2年度	予算現額					0	0
		決算額					0	0

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	講座開催回数		目標値	6	6	6	5	5
	<b>再座用作凹</b> 数		実績値	6	6	6	5	0
活動指標	参加者数	1	目標値	220	220	220	220	220
/ 1到1日1宗		^	実績値	195	192	268	198	0
			目標値					
			実績値					
	満足度(講座終了後のア	%	目標値	90	90	90	90	90
	ンケート調査による)	70	実績値	99	100	100	99	I
成果指標			目標値					
以木田宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症防止のため実施を見送った
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症防止のため実施を見送った
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症防止のため実施を見送った

<u>り、7枚のカドル</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	コロナ禍においては、感染状況を確認しながら、募集人数や活動時間等を検討し、可能な範囲で活動を継続する。

1. 事業の概要				事業番号	3			
	実施計画事業名	草深の森等維持管理事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部環境保全課 保全係						
担当即看守	款項目及び予算名	4款 1項 6目 環境保全費		新市基本計画				
	予算事業名	草深の森等維持管理事業		主要事業				
	関連する施策名	1-①-1 かけがえのない自然環境の保全	と活用	重点施策	0			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	恵まれた自然環境を保全し、生物多様性の確保や地域の生態系を維持していくため、市民、事業者、行 連携し農地や樹林地、谷津田などの里山を適切に維持・管理する仕組みづくりを進めていきます。また、 自らが地域の自然を守っていく意識を高めるため、自然に親しみ、環境について学ぶ機会を提供していき す。						
	事業年度	平成10年度から実施						
		市民ボランティア等による維持管理やイベン として広く市民に利用してもらい、環境保全意		「民の憩いの場ち	自然学習の場			
	対 象	市民						
<b>事类中原签</b>	根拠法令・関連計画 等	印西市市民の森の設置及び管理に関する条	例、印西市市民の森の設置及び	<b>が管理に関する</b> の	<b>条例施行規則</b>			
事業内容等	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果				
	令和2年度	・清掃及び維持管理(市民ボランティア等の参加による維持管理含む) ・市民団体等によるイベントの開催	・清掃及び維持管理(市民ボラン理含む)	ンティア等の参加	による維持管			

2.事業費の財源内訳

4. 中不貝切別(版)	1 D/C							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)				1,034,000	5,059,000	6,093,000
	令和2年度	予算現額				1,034,000	5,059,000	6,093,000
		決算額				913,000	4,892,825	5,805,825

#### 3. 指標及び実績値

3. 指標及び美額	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	イベント開催回数		目標値	10	10	10	10	10
	11ハント 開催 回数	凹	実績値	5	5	8	4	0
活動指標	ボランティア清掃実施回		目標値	5	5	5	5	5
心划扫标	数	囙	実績値	6	5	12	10	11
			目標値					
			実績値					
	イベント参加人数	1	目標値	300	300	300	300	300
	イベント参加人数		実績値	399	472	377	341	0
成果指標	来場者数(朝夕1時間シ	1	目標値	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
从木田宗	ルバー人材調べ)	<b>\</b>	実績値	1,689	2,005	2,137	1,699	2,216
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に別りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	16 はは日本間とおりである	新型コロナウイルスの影響によりイベントが開催されなかったため開催回数が下回った。
②成果に対する評価	16 はば日福旭とわりである	新型コロナウイルスの影響によりイベントが開催されなかったため参加人数が下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルスの影響により草深の森でのイベントが開催されなかったため、開催 回数及び参加者が下回った。

5. 予仮の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
2 事業を拡大して実施	市民活動団体等の協力により、下草刈り等の整備が進み、キンラン等の保全が進んだ。 令和2年度は新型コロナウィルスの影響によりイベントが開催できなかったが、今後も引き続き市 民団体等の協力を得ながら、市民の憩いの場となるような森の整備活動を進めていく。

	TJ1	N2年度 分 美.	:武仙未	F:				
1. 事業の概要				事業番号	4			
	実施計画事業名	公園施設の管理		•				
事業名及び	担当部署名	都市建設部都市整備課 管理係						
担当部署等	款項目及び予算名	7款 3項 3目 公園緑地維持管理事業	Ě	新市基本計画				
	予算事業名	既存公園の整備事業、市民参加による 費、公園施設長寿命化対策事業	公園美化活動に要する経	主要事業				
	関連する施策名	1-①-2 緑と調和した生活空間の形成と	活用	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民の心がやすらぐ快適な生活空間の形成できるよう活用するとともに、市民等との協働るおいのある生活環境をめざします。						
	事業年度	平成18年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	遊具などの公園施設の修繕・エ事を行うことにより、安全で魅力ある公園等の維持に努める。						
	対 象	都市公園						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	都市公園法、印西市緑の基本計画						
	年度	年度計画の内容		美実績·成果				
	令和2年度	<ul><li>・遊具等の定期点検</li><li>・遊具等公園施設の修繕・工事</li><li>・長寿命化計画の作成</li><li>・松山下公園陸上競技場走路等改修工事</li></ul>	具等の定期点検 具等公園施設の修繕・工事 寿命化計画の作成 ・					

2.事業費の財源内訳

2. 事業負の別源内	76							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)	16,359,000	0	105,700,000	80,000,000	125,650,000	327,709,000
		予算現額	8,239,000	0	0	80,000,000	148,691,000	236,930,000
		決算額	8,239,000	0	0	80,000,000	143,522,947	231,761,947

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	公園施設日常点検回数	回/年	目標値	24	24	24	24	24
	公图加設口书点快回数	四/牛	実績値	24	24	24	24	24
活動指標			目標値					
/ 山 刬 扫 信			実績値					
			目標値					
			実績値					
	日常点検施設修繕•対	%	目標値	100	100	100	100	100
	策率	70	実績値	100	100	100	100	100
成果指標	公園施設を原因とした怪	件	目標値	0	0	0	0	0
八木141宗	我の件数	Ŀ	実績値	0	0	0	0	0
			目標値				_	
			実績値					

4.事業に対する評価

ナチ末にかりる町川		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 学後の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和3年度も適切な公園施設の管理を推進する。

1. 事業の概要				事業番号	5			
	実施計画事業名	緑の基本計画の策定・推進						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部都市整備課 管理係·整備係						
但当即看守	款項目及び予算名	7款 3項 3目 都市公園総務事務に要	要する経費	新市基本計画	0			
	予算事業名	都市公園総務事務に要する経費		主要事業				
	関連する施策名	1-①-2 緑と調和した生活空間の形成と	舌用	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民の心がやすらぐ快適な生活空間の形成できるよう活用するとともに、市民等との協働るおいのある生活環境をめざします。						
	事業年度	平成12年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	都市公園の整備及び管理の方針や緑化の打 して策定する。	生進等に関する施策や取組みを	総合的に展開す	ることを目的と			
	対 象	市内全域						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	都市緑地法						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	・計画の策定	・印西市緑の基本計画を策定し	.tz¯				

2.事業費の財源内訳

4. 于木具以州师门	7 P/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					6,799,000	6,799,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					6,799,000	6,799,000
		決算額					6,716,500	6,716,500

3. 指標及び実績値

指 指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	緑の基本計画の基礎調	%	目標値				100	-
	査	70	実績値				100	_
活動指標	緑の基本計画改定業務	%	目標値					100
/ 山 到 1日 1示		70	実績値					100
			目標値					
			実績値					
	緑の基本計画の改定	%	目標値				50	100
	成00至本計画00以足	70	実績値				50	100
成果指標			目標値					
从木油坑			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刃りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	印西市緑の基本計画を策定したため
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	印西市緑の基本計画を策定したため
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	印西市緑の基本計画を策定したため

1	5. <b>ラ後の方向性</b> 今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	1 事業を現行のまま継続して実施	今後は緑の基本計画に基づき、事業の推進を図る。

1. 事業の概要				事業番号	6		
	実施計画事業名	ごみの減量化・再資源化推進事業	£ .				
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部クリーン推進課 推進係					
但当即看守	款項目及び予算名	4款 2項 1目 清掃総務費		新市基本計画	0		
	予算事業名	ごみ減量化・再資源化推進事業		主要事業	0		
	関連する施策名	1-2-1 環境負荷の低減による低炭素社	会・資源循環型社会づくり	重点施策			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	ごみの減量化・資源化と適正処理を推進し、うていきます。また、生活雑排水による公共用の荷低減を図っていきます。					
	事業年度	平成元年度から実施					
	事業の実施目的 及び概要	環境負荷の低減に資する循環型社会の実現を目指し、市民へのごみ減量化意識の啓発活動の実施や事業者等と D協力体制の確立を図り、ごみの減量化・資源化を推進する。					
	対 象	市民、町内会・自治会、高齢者クラブ、子ども会、PTA、事業所、その他団体					
	TO THE PROPERTY OF	第2次印西市ごみ減量計画(平成24年度~~		± 1 m = 1 m	31年3月)		
	年度	年度計画の内容		事業実績・成果			
事業内容等	令和2年度	-リサイクル情報広場事業 -ごみ減量化等説明会 -マイパッグ普及促進協力店推奨事業 -資源物拠点回収 -生ごみ処理容器等購入費補助事業 -生ごみ処理機、剪定枝粉砕機貸出 -有価物集団回収奨励金事業 -廃棄物減量等推進員制度 -いんざい環境フェスタ -ごみ分別アブリの運用 -事業所へのごみ減量化の指導、助言 -ごみ集積所の維持管理 -リサイクル施設等見学会 -子ども服リユース事業「おさがりマルシェ」の 開催 -ごみ減量意識啓発映像の制作 -第3次印西市ごみ減量計画の策定	・リサイクル情報広場事業は6件 ・ごみ減量化等説明会は、町内 明会を行った。 ・廃食油約7.5トン、使用済み小 ・生ごみ処理容器等購入の83世 ・生ごみ処理機及び剪定金事業に ・有価物集団回収奨励金事業に ・高価物減量等推進員122人が ・ごみ分別アプリは、令和2年度 ・環境フェスタ、リサイクル施設・ フサイフルを染症の影響を考 ・過去2年度に引き続き、ごみ消 上で公開した。 ・第3次印西市ごみ減量計画を	会及び中学校に 型家電約9トンの 世帯に補助金交付 と機賃出を26件行 より、約1,372ト ごみ減量等に関 ままでに8,635」 等見学会及びお 信慮し中止とした。 就量方法の映像で	、3回延べ169人に説 拠点回収を行った。 すを行った。 けった。 ンが回収できた。 する活動を行った。 、がダウンロードした。 さがリマルシェは新型コ		

#### 2.事業費の財源内訳

2. 于木貝以州师下	3 DV \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)		630,000		165,000	20,711,000	21,506,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額		630,000		165,000	20,150,000	20,945,000
		決算額		630,000		150,000	15,479,427	16,259,427

3. 指標及び美積1	<u>B</u>							
指植	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	生ごみ処理容器等購入	件	目標値	50	65	67	69	71
	費補助金交付件数	H	実績値	64	45	47	52	83
活動指標	有価物集団回収奨励金	団体	目標値	120	123	126	129	131
7日到7日1末	交付団体数	<u>1</u>	実績値	121	121	117	110	99
			目標値					
			実績値					
	一人一日あたりのゴミの	a	目標値	749	727	711	701	696
	排出量	by .	実績値	875	863	864	877	884
人 成果指標	総資源化率	%	目標値	26.8	27.7	28.4	29.2	30.0
从木1日1末	心貝が七牛	Q	実績値	19.3	18.8	18.1	17.6	17.8
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

<u> </u>		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		生ごみ処理容器等購入費補助金については、前年度より交付件数の増ができたので、引き続き情報発信に努めたい。また有価物集団回収については、子ども会の廃止等により、団体数が減少にある。
②成果に対する評価		施策を行い一定の成果はあったと考えるが、当初設定した目標値と実績値が 乖離してしまった。(目標値:696g 実績値:884g)
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	現在、実施している事業を引き続き継続するとともに、事業に対する評価を踏まえ、さらなる充実にむけ 施策の検討を行う。

1. 事業の概要				事業番号	7				
	実施計画事業名	p西クリーンセンター施設整備事業の促進							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部クリーン推進課 次期中間処	<b>L</b> 理施設対策室						
担当即省等	款項目及び予算名	4款 2項 2目 塵芥処理費		新市基本計画	0				
	予算事業名	印西地区環境整備事業組合負担金		主要事業					
	関連する施策名	1-2-1 環境負荷の低減による低炭素社:	会・資源循環型社会づくり	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	ごみの減量化・資源化と適正処理を推進し、資源循環型社会の構築、低炭素社会の実現に向けた取り組み を推進していきます。また、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁や土壌・地下水汚染への対策を進め 地球環境への負荷低減を図っていきます。							
	事業年度	平成21年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	廃棄物の安全・安定的な処理を継続するため、印西地区環境整備事業組合が実施するクリーンセンター(廃 棄物中間処理施設)の施設更新を関係機関と連携し促進していく。							
	対 象								
事業内容等	根拠法令·関連計画等		印西地区環境整備事業組合規約、印西地区ごみ処理基本計画(平成31年3月)、次期中間処理施設整 業施設整備基本計画、次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画追加策定						
	年度	年度計画の内容	1,04	某実績·成果					
	令和2年度	- 負担金の拠出	負担金の拠出 印西地区環境整備事業組合る	との会議を行った					

2.事業費の財源内訳

2. 字木貝の別源門	1 p/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					1,114,457,000	1,114,457,000
		予算現額					1,115,786,000	1,115,786,000
		決算額					1,115,786,000	1,115,786,000

3. 指標及び実績値

3. 指標及ひ美額 指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	会議開催数		目標値	12	12	12	12	12
		囙	実績値	12	9	12	13	13
活動指標			目標値					
/白勁1日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	廃棄物中間処理施設の更新 を促進し、廃棄物の安全・安		目標値					
	定的な処理を継続する。		実績値					
成果指標			目標値					
八木 田 宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未にNyる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	印西地区環境整備事業組合との会議や関係各課も含めた会議を行っている。
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. う夜の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	次期中間処理施設の令和10年度稼働に向け、環境整備事業組合及び構成市町と連携して推進する。

1. 事業の概要				事業番号	8				
	実施計画事業名	住宅用省エネルギー設備設置費補助事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部環境保全課 保全係							
担当即有守	款項目及び予算名	4款 1項 6目 環境保全費		新市基本計画	0				
	予算事業名	住宅用省エネルギー設備設置費補助事	業	主要事業					
	関連する施策名	1-2-1 環境負荷の低減による低炭素社	:会・資源循環型社会づくり	重点施策					
基本計画における 位置付け		ごみの減量化・資源化と適正処理を推進し、資源循環型社会の構築、低炭素社会の実現に向けた即を推進していきます。また、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁や土壌・地下水汚染への対策地球環境への負荷低減を図っていきます。							
	事業年度	平成17年度から							
		地球温暖化の防止等環境への負荷低減のため、住宅用省エネルギー設備を設置する者に対して補助金を 交付する。							
	対 象	市内において、住宅用省エネルギー設備を設置した市民							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市環境基本計画(平成25年度~令和3	年度)						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果					
		・住宅用省エネルギー設備の設置補助 ※社会情勢・国・県の動向により補助制度 の見直し検討・ 、太陽光発電システム ・家庭用燃料電池システム ・太陽熱利用システム ・定置用リチウムイオン蓄電システム	太陽光発電システム 35基(界 太陽熱利用システム 2基(界 家庭用燃料電池システム 149 定置用リチウムイオン蓄電シス	計60基) 9基(1, 137基)	计254基)				

2.事業費の財源内訳

4. 中木貝ツ州까ド	אם כ							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)		17,300,000			10,000	17,310,000
		予算現額		17,883,000			10,000	17,893,000
			決算額		17,883,000			9,240

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	住宅用省エネシステム 等設置促進のPR(広報・		目標値	3	3	3	3	3
	HP・チラシ作製等)	囙	実績値	3	3	3	3	3
活動指標			目標値					
7日到月日7末			実績値					
			目標値					
			実績値					
	太陽光発電システム設	基	目標値	1,600	1,800	2,000	2,200	2,400
	置基数(累計)	¥	実績値	1,651	1,808	1,961	1,993	2,028
成果指標	エネファーム設置基数	基	目標値	510	690	870	1,050	1,230
八木田宗	(累計)	¥	実績値	482	655	844	988	1,137
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 手未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> 3. 7後のか同任</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も引き続き、省エネ設備の設置補助を進めていく。 なお、県及び近隣市の動向や対象設備の価格等を踏まえ、補助単価等については見直しを検討 していく。

1. 事業の概要				事業番号	9				
	実施計画事業名	合併処理浄化槽設置事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部環境保全課 保全係							
担当即有守	款項目及び予算名 4款 1項 5目 環境衛生費				0				
	予算事業名	合併処理浄化槽設置事業		主要事業	0				
	関連する施策名	1-2-1 環境負荷の低減による低炭素社	会・資源循環型社会づくり	重点施策					
基本計画における 位置付け									
	事業年度	昭和62年度から実施							
		生活雑排水による公共用水域の水質汚濁防止及び公衆衛生の向上を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付し、普及促進を図る。また、設置後5年を経過した浄化槽の簡易水質検査を実施し、浄化槽の維持管理の促進を図る。							
		市内において下水道法(昭和33年法律第79号)第4条第1項の許可又は同法第25条の11第1項に基づき策定された区域(下水道の整備が7年以上見込まれない地域を除く)以外の地域において、専用住宅等に浄化槽を設置しようとする者。							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	净化槽法、印西市環境基本計画、印西地域	盾環型社会形成推進地域計画						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	-高度処理型合併処理浄化槽への補助 ・浄化槽設置補助 ・単独槽取換補助 ・汲み取り転換補助 ・蒸発散装置補助(市単) ・合併処理浄化槽の簡易水質検査(市単)	浄化槽設置補助 69: ・うち 単独転換補助 16: ・うち 汲み取り転換補助 7基 会併処理浄化槽の簡易水質検	基  基	査75件(回答				

2.事業費の財源内訳

	4.辛未貝の別 郷M	/61							
		年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
			積算額 (当初予算額)	9,136,000	19,338,000			21,879,000	50,353,000
	財源内訳(円)	令和2年度	予算現額	9,136,000	19,338,000			21,879,000	50,353,000
			決算額	9,280,000	17,442,000			22,661,722	49,383,722

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	合併処理浄化槽設置促 進のPR(広報・HP・チラ	0	目標値	5	5	5	5	5
	シ作製など)		実績値	5	5	5	5	4
活動指標	合併処理浄化槽の簡易	件	目標値	40	40	40	40	40
/ロ301日1示	水質検査		実績値	43	49	47	49	68
			目標値					
			実績値					
	設置基数(補助対象累	基	目標値	3,300	3,400	3,450	3,500	3,570
	計)	争	実績値	3,382	3,444	3,516	3,579	3,648
成果指標	水質検査結果「適正」判	%	目標値	90	90	90	90	90
从木1日1末	定の率	90	実績値	86.04	95.91	96	100	90.7
			目標値		·			
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	印西地区環境整備事業組合と印西市、白井市、栄町で策定した循環型社会形成推進地域計画 や、市の実施計画とほぼ計画どおりの設置数であり、現行のまま継続する。

1. 事業の概要				事業番号	10				
	実施計画事業名	地下水汚染対策事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部環境保全課 指導係							
担当即有守	款項目及び予算名	4款 1項 6目 環境保全費		新市基本計画					
	予算事業名	地下水汚染対策事業		主要事業					
	関連する施策名	1-2-1 環境負荷の低減による低炭素社	:会・資源循環型社会づくり	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	資源循環型社会の構築、低炭素 5公共用水域の水質汚濁や土壌							
	事業年度	平成6年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	地下水汚染が確認されている浦部地区の汚染除去対策·効果判定業務の実施及び小林地区の汚染の確認のための水質調査並びに浄化対策の検討を実施する。							
	対 象	市民(対象地区)							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市環境保全条例、印西市環境保全条例	施行規則						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	<浦部地区> ・汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化 <・バ林地区> ・汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査	(浦部地区) ・汚染源の観測井及び民家井の 汚染対策に伴う地盤沈下調査( (小林地区) ・汚染源及び周辺の民家井のモ	(測量)を実施。					

#### 2.事業費の財源内訳

4.于不具以用师门	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)		660,000			13,374,000	14,034,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額		603,000			13,431,000	14,034,000
		決算額		603,000			13,431,000	14,034,000

3. 指標及び実績値

5. 指係及び天橋	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	浦部地区地下水汚染除	=- <b>1</b> \/\d	目標値	130	130	130	130	130
	去対策	試料	実績値	145	147	147	147	147
活動指標	小林地区地下水汚染機	=	目標値	30	30	30	30	30
<b>冶</b> 期拍標	構解明モニタリング	試料	実績値	30	33	33	30	30
			目標値					
			実績値					
	テトラクロロエチレン(浦	mg/l	目標値	0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.01以下
	部)		実績値	0.0073	0.0087	0.0082	0.0057	0.0066
成果指標	トリクロロエチレン(浦	mg/l	目標値	0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.01以下
八木111宗	部)	IIIg/ I	実績値	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる計1回		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

3. 7後の万円圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	今後も引き続きモニタリング調査を実施し、周辺環境への影響を注視していく。また、汚染の除去が進んだ際には、事業の完了を検討していく必要がある。

1. 事業の概要				事業番号	11					
	実施計画事業名	竹袋焼却場等跡地環境対策事業	竹袋焼却場等跡地環境対策事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部環境保全課保全係								
担当即有守	款項目及び予算名	4款 1項 6目 環境保全費		新市基本計画						
	予算事業名	焼却場等跡地環境対策事業	主要事業							
	関連する施策名	1-②-1 環境負荷の低減による低炭素社	会・資源循環型社会づくり	重点施策						
基本計画における 位置付け		ごみの減量化・資源化と適正処理を推進し、資源循環型社会の構築、低炭素社会の実現に を推進していきます。また、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁や土壌・地下水汚染へ 地球環境への負荷低減を図っていきます。								
	事業年度	平成14年度から実施								
	事業の実施目的 及び概要	竹袋焼却場跡地の廃棄物が、周辺環境へ影響を及ぼすことが無いよう、適切な対策を講じていく。								
	対 象	印西市竹袋地先								
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	共同命令適用以前に設置された一般廃棄物	最終処分場の埋立終了に係る技	<b>旨導指針</b>						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果						
	令和2年度	・モニタリング調査の実施	・モニタリング調査の実施							

2.事業費の財源内訳

	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					1,542,000	1,542,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					1,404,000	1,404,000
		決算額					924,000	924,000

3. 指標及び実績値

3. 旧僚及び天順		W II	- ·	T-+	T-+	T-*	^ <del>-</del> -	^ 1 <del></del>
指标	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	モニタリング調査サンプ	箇所	目標値	14	14	14	14	14
	ル数	回刀	実績値	14	14	14	14	14
活動指標	モニタリング調査項目数	項目	目標値	28	28	28	28	28
/山到1日1宗	モーダリング調査項日数	切口	実績値	28	28	28	28	28
			目標値					
			実績値					
	環境基準達成率(達成	%	目標値	100	100	100	100	100
	個所/調査個所)	70	実績値	92.86	92.86	93	94	93
成果指標			目標値					
八木 11 1示			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる計価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

3. 7後の万円圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	今後も引き続きモニタリング調査を実施し、周辺環境への影響を注視していく。また、焼却場として廃止するには対策工を実施する必要があり、その検討をする必要がある。

市和2年度 分 美施計画争集評価票								
1. 事業の概要				事業番号	12			
	実施計画事業名	クリーン印西推進運動事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部クリーン推進課 不法投棄対	対策係					
担当即看守	款項目及び予算名	4款 2項 1目 清掃総務費		新市基本計画	0			
	予算事業名	クリーン印西推進運動事業		主要事業				
	関連する施策名	1-②-2 多様な主体がつくりだすクリーン	なまちづくり	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	環境美化に対する意識の高揚を図るとともに、ポイ捨てや不法投棄の防止に向けた対策を強化していきます。また、クリーン印西推進運動やゴミゼロ運動、花を活用した魅力あるまちづくりの活動を市民等との協働 こより推進し、ごみのない美しいまちをめざします。						
	事業年度	平成6年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	「みんなでつくろう 美しいふるさと いんざい」をテーマに、市・市民・事業所等が一体となり、ごみの散乱防止 及び空き缶等の清掃を実施し、地域美化を推進する。						
	対 象	町内会・自治体・高齢者クラブ・子ども会・学校・事業者・その他団体						
	根拠法令·関連計画 等	印西市歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例、印西市環境基本計画						
事業内容等	年度	年度計画の内容	1.04	美実績·成果				
	令和2年度	・クリーン印西推進デーの実施(毎月第1月曜日)     ・ゴミゼロ運動	とおり参加があり、地域美化の・クリーン印西推進運動 158[(春の緊急事態宣言期間は、自6/1)・ゴミゼロ運動 中止(HP4/15、参考(R元年度)・クリーン印西推進運動 166[	意識向上を図った 団体、延べ25,3 I粛要請 HP要請 各団体宛文書4/	E。 86人 4/15、解除 17)			

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					3,994,000	3,994,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					2,493,000	2,493,000
		決算額					2,160,596	2,160,596

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	クリーン印西推進運動の		目標値	4	4	4	4	4
	広報・参加呼びかけ	ш	実績値	3	3	3	3	1
活動指標			目標値					
/ 山 刬 拍 信			実績値					
			目標値					
			実績値					
	クリーン印西推進デー参 加団体数	団体数	目標値	170	174	178	182	186
			実績値	167	176	171	166	158
成果指標	ゴミゼロ運動参加者数	Д	目標値	12,500	12,600	12,700	12,800	12,900
八木111示	コミゼロ連動参加有数		実績値	12,720	12,369	13,231	12,825	中止
			目標値					
			実績値					

4 事業に対する証価

4.事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ここ10年クリーン印西推進運動参加団体数は、横ばいである。毎年実施してくれる団体がほぼ定着してきている。 ゴミゼロ運動に関しては、緊急事態宣言により「中止」した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	成果指標の団体数については、若干減少しているが、コロナ禍の状況もあり、春の緊急 事態宣言時には、運動の自粛要請を行い、解除後においても、各団体の判断で実施す るか決定してもらったため、団体減少の要因に少なからず影響があったと考えている。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	地域美化意識は、一部の団体では着実に根付いてきているものの、町内会長、クリーン パートナー等の説明会時に当運動の周知や呼びかけをして、クリーン印西推進運動の 新規参加団体数を増加させたい。

<u> </u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実	地域美化意識は、一部の団体では着実に根付いてきているものの、町内会長、クリーンパートナー等の説明会時に当運動の周知や呼びかけをして、クリーン印西推進運動の新規参加団体数を増加させたい。

节和2平度 分 美施計画争耒評恤耒										
			事業番号	13						
実施計画事業名	実施計画事業名 歩行喫煙及びポイ捨て等防止対策事業									
担当部署名	環境経済部クリーン推進課 不法投棄対	対策係								
款項目及び予算名	4款 2項 1目 清掃総務費		新市基本計画	0						
予算事業名	歩行喫煙、ポイ捨て等防止事業		主要事業							
関連する施策名	1-②-2 多様な主体がつくりだすクリーン	なまちづくり	重点施策							
	環境美化に対する意識の高揚を図るとともに、ポイ捨てや不法投棄の防止に向けた対策を強化していきます。また、クリーン印西推進運動やゴミゼロ運動、花を活用した魅力あるまちづくりの活動を市民等との協働 こより推進し、ごみのない美しいまちをめざします。									
事業年度	平成19年度から実施									
事業の実施目的	清潔で快適な生活環境を確保することを目的に、歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例に基づき、啓発活動を行うとともに、市内全域のパトロールを実施し、禁止行為に対する指導等を行っている。 また、きれいなまちづくりを推進することが特に必要と認められる公共の場所を重点区域として指定し、職員による重点的な巡回、指導等を実施している。									
対 象	市、市民、事業者、土地所有者等									
年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果							
令和2年度	・職員によるパトロールの実施 ・違反者に対しての指導・勧告等 ・啓発活動の実施	おいて、95件の口頭指導を行った (千葉NT中央駅の指定喫煙場所を り、駅周辺での違反者及び喫煙行	。 R2年1月1日から 為が大幅に減少し	廃止したことによ た。)						
	実施計画事業名 担当部署名 款項目及び予算名 予算事業名 関連する施策名 施策の方向性 事業年度 事業の実施目的 及び概要 対象 根拠法令・関連計画等	実施計画事業名 歩行喫煙及びポイ捨で等防止対 担当部署名 環境経済部クリーン推進課 不法投棄対 款項目及び予算名 4款 2項 1目 清掃総務費 予算事業名 歩行喫煙、ポイ捨で等防止事業 関連する施策名 1-2-2 多様な主体がつくりだすクリーン 環境美化に対する意識の高揚を図るとともにす。また、クリーン印西推進運動やゴミゼロ道により推進し、ごみのない美しいまちをめざし事業年度 平成19年度から実施 清潔で快適な生活環境を確保することを目的とともに、市内全域のバトロールを実施し、禁また、きれいなまちづくりを推進することが特による重点的な巡回、指導等を実施している対象 市、市民、事業者、土地所有者等 印西市歩行喫煙、ポイ捨で等防止条例印西市歩行喫煙、ポイ捨で等防止条例的西市歩行喫煙、ポイ捨で等防止条例施行。年度計画の内容・職員によるパトロールの実施・違反者に対しての指導・勧告等・啓発活動の実施	実施計画事業名 歩行喫煙及びポイ捨で等防止対策事業 担当部署名 環境経済部クリーン推進課 不法投棄対策係 款項目及び予算名 4款 2項 1目 清掃総務費 予算事業名 歩行喫煙、ポイ捨で等防止事業 関連する施策名 1-②-2 多様な主体がつくりだすクリーンなまちづくり 環境美化に対する意識の高揚を図るとともに、ポイ捨でや不法投棄の防止にす。また、クリーン印西推進運動やゴミゼロ運動、花を活用した魅力あるまちにより推進し、ごみのない美しいまちをめざします。 事業年度 平成19年度から実施 清潔で快適な生活環境を確保することを目的に、歩行喫煙、ポイ捨で等防止をともに、市内全域のバトロールを実施し、禁止行為に対する指導等を行ってまた。きれいなまちづくりを推進することが特に必要と認められる公共の場所による重点的な巡回、指導等を実施している。 対象 市、市民、事業者、土地所有者等 印西市歩行喫煙、ポイ捨で等防止条例 印西市歩行喫煙、ポイ捨で等防止条例・西西市歩行喫煙、ポイ捨で等防止条例を行規則 年度 年度計画の内容 年度の事業 1 職員によるバトロールの実施・違反者に対しての指導・勧告等・・啓発活動の実施 1 指導職員(再任用職員)によるバト東下中央駅の指定喫煙場所をり、駅周辺での違反者及び喫煙行及、市内住宅街を中心として、車両た。	実施計画事業名 歩行喫煙及びポイ捨で等防止対策事業  担当部署名 環境経済部クリーン推進課 不法投棄対策係  款項目及び予算名 4款 2項 1目 清掃総務費 新市基本計画  予算事業名 歩行喫煙、ポイ捨で等防止事業 主要事業 関連する施策名 1-②-2 多様な主体がつくりだすクリーンなまちづくり 重点施策 施策の方向性 環境美化に対する意識の高揚を図るとともに、ポイ捨でや不法投棄の防止に向けた対策を強す。また、クリーン印西推進運動やゴミゼロ運動、花を活用した魅力あるまちづくりの活動を市により推進し、ごみのない美しいまちをめざします。  事業年度 平成19年度から実施 清潔で快適な生活環境を確保することを目的に、歩行喫煙、ポイ捨で等防止条例に基づき、長た。されいなまちづくりを推進することを目的に、歩行喫煙、ポイ捨で等防止条例に基づき、長た。されいなまちづくりを推進することが特に必要と認められる公共の場所を重点区域としてによる重点的な巡回、指導等を実施している。また。もれいなまちづくりを推進することが特に必要と認められる公共の場所を重点区域としてによる重点的な巡回、指導等を実施している。  対 象 市、市民、事業者、土地所有者等  ・市民、事業者、土地所有者等 ・市産、事業者、土地所有者等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						

2.事業費の財源内訳

	/ H/ N							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					985,000	985,000
財源内訳(円)		予算現額					985,000	985,000
		決算額					873,480	873,480

3. 指標及び実績値

指:	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	指導日数	日	目標値	312	312	312	312	312
	1日停口数	П	実績値	291	191	200	204	215
活動指標	歩行喫煙及びポイ捨て 等防止に関する広報・周		目標値	14	14	14	14	14
/ 山 判 1日 1示	知  一切に関する仏教・同	囙	実績値	14	14	25	20	17
			目標値					
			実績値					
	一日あたりの市内全域 における指導件数	件	目標値	9.7	~	$\nearrow$	~	>
			実績値	10.9	13.2	9	7	0.44
成果指標			目標値					
从木田标			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹木にNyの計画				
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)		
①活動に対する評価		コロナ禍で、街頭啓発の機会を失ったが、代わりに市内住宅街を中心として、車両(スピーカー)での啓発活動を行った。		
②成果に対する評価		千葉NT中央駅の指定喫煙場所を廃止したことで、1日あたりの指導件数が1人未満となった。		
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	重点区域内の喫煙場所撤去により、違反者の減少に大きな成果をあげることができたが、現在も駅圏周辺には、紙くず、空き缶等ポイ捨てごみが目立つ(千葉NT中央、牧の原、木下)ことから、引き続き啓発活動を実施する。		

_ 0. ラ 及の231引圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例の適正な運用を図り、(歩行)喫煙・紙くず、空き缶などのポイ捨て行為の取り締まりや、引き続き啓発活動を実施することで、さらにマナーの向上を推進する。

1. 事業の概要				事業番号	14				
	実施計画事業名	不法投棄対策事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部クリーン推進課 不法投棄す	環境経済部クリーン推進課 不法投棄対策係						
担크마看寺	款項目及び予算名	4款 2項 1目 清掃総務費		新市基本計画	0				
	予算事業名	不法投棄対策に要する経費		主要事業	0				
	関連する施策名	1-②-2 多様な主体がつくりだすクリーン	なまちづくり	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	、ポイ捨てや不法投棄の防止に 動、花を活用した魅力あるまち ます。							
	事業年度	平成13年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	産業廃棄物・一般廃棄物等の不法投棄に対し、早期発見・早期対応するための各種施策に取り組み、快適 な生活環境を保全する。							
	対 象	谷津地及び山林を中心とした市内全域							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・不法投棄監視カメラの運用 ・地元町内会等との協働による投棄物撤去 ・委託業者、市職員による監視 ・不法投棄監視カメラ機器更新10台	・監視カメラの運用(85台) (うち機動性の高い小型監視力・職員による不法投棄防止夜間・不法投棄等監視パトロール業増	パトロールの実施	施(7回)				

#### 2.事業費の財源内訳

	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		<b>積算額</b> (当初予算額)		160,000			6,527,000	6,687,000
	令和2年度	予算現額		160,000			5,674,000	5,834,000
		決算額		194,000			5,451,574	5,645,574

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	職員による不法投棄監	0	目標値	6	6	6	6	6
	視パトロール	Щ	実績値	6	7	7	7	7
活動指標	委託による不法投棄監	0	目標値	100	100	100	100	100
心划扫标	視パトロール	Щ	実績値	100	100	100	100	106
			目標値					
			実績値					
	不法投棄確認件数	件	目標値	132	>	Z	>	>
	1、	IT	実績値	91	126	159	149	185
成果指標	市民等からの不法投棄	件	目標値	46	>	Z	>	>
通報件数	1+	実績値	37	51	66	61	65	
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹耒に刈りる計恤		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		職員の日中のパトロールの強化及び委託による不法投棄監視パトロールを例年より6回 増加し、不法投棄行為の抑止に努めた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	コロナ禍で、不法投棄件数及び市民からの通報件数も昨年比増加してしまったが、監視カメラの設置場所の見直し、職員のパトロールと委託パトロールの回数を増加するなど対策を図った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	コロナ禍で、外出自粛だった影響により、5月、6月に悪質な産業廃棄物等の不法投棄が増加した。また、職員の日中のパトロールについても、1台から2台体制(緊急事態宣言時は、3台)に強化したことにより、不法投棄を発見する確率も向上した。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	不法投棄されにくい環境にすることが重要であることから、監視カメラの設置場所を状況により随時見直すことや幅広い時間帯で不法投棄パトロールを実施することにより、不法投棄の抑止に努める。

	<b>T</b> 7	和2年度 分 実施計画事業	評価景		
1. 事業の概要				事業番号	15
	実施計画事業名	花による景観づくりの推進			
事業名及び 担当部署等	担当部署名	企画財政部シティプロモーション課 プロ	1モーション係 ・ 都市建設部	『都市整備課	管理係
担当即有守	款項目及び予算名	2款 1項 6目 企画費/7款 3項 3	目 公園費	新市基本計画	
	予算事業名	四季の花の景観づくり推進事業、花いっ	ぱい運動推進に要する経費	主要事業	
	関連する施策名	1-②-2 多様な主体がつくりだすクリーン	なまちづくり	重点施策	
基本計画における 位置付け	施策の方向性	環境美化に対する意識の高揚を図るとともにす。また、クリーン印西推進運動やゴミゼロ頃により推進し、ごみのない美しいまちをめざし	動、花を活用した魅力あるまち		
	事業年度	平成18年度から実施			
	事業の実施目的 及び概要	うるおいのある生活空間の創出に向けて、公 彩りあるまちづくりを市民や事業者等とともに 市のシンボルとなっているコスモスを市内に『	進めます。また、コスモスの種等		
	対 象	市内			
+ W + M	根拠法令·関連計画 等	花壇づくり参加者募集要綱、印西市緑の基本	<b>二</b> 計画		
事業内容等	年度	年度計画の内容	1.65	美夫績·成果	
	令和2年度	・花壇づくり団体支援事業(市民、団体へのブランタ・種苗等の無料配布) ・庁舎玄関前への植栽活動 ・北総花の丘公園などの関係団体との連携 (種苗のやりとり・相互情報提供など) ・桜の植樹 ・コスモスの種の配付 ・公園美化活動団体への花苗の提供	・ホームページ(いんざい花だよ・庁舎玄関前への植栽活動・花壇づく)団体支援事業(市民の配布)・北総花の丘公園などの関係団・陽光桜の植樹・コスモスの種の配布個人配布:市民団体9、学校・幼田体配布:市民団体9、学校・幼	は、団体へのプラ は、団体との連携(情	報提供)

2.事業費の財源内訳

	3 (A/ N							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					6,677,000	6,677,000
		予算現額					6,477,000	6,477,000
		決算額					2,178,727	2,178,727

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事業の周知、広報及び		目標値	12	12	12	12	12
活動指標	ホームページ掲載回数	ī	実績値	14	14	14	14	4
	関係団体との連携回数		目標値	24	24	24	24	24
		ī	実績値	13	13	16	14	0
	花壇づくり団体支援事業	箇所	目標値	6	6	6	6	6
成果指標	実施箇所数	. 固 <i>附</i>	実績値	5	6	7	2	3
<b>八木</b> 扫标	<b>以</b> 不 11 1示							

4.事業に対する評価

	<u> マ・チ 木 (〜ハ) フ 切 町     </u>		
ı	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスの影響による。
	②成果に対する評価		新型コロナウイルスの影響で団体での活動が減少したことに伴い、実施団体数も減少したと考えられる。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルスの影響により、実績・結果が出せなかった。

0. 7 医02/21 同正	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	同種の事業を他課でも実施していることから、事業の統合を進めていくが、実施計画事業として は終了とする。

1. 事業の概要				事業番号	16			
	実施計画事業名	空き地等管理指導事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部環境保全課 指導係						
担当即有守	款項目及び予算名	4款 1項 6目 環境保全費	4款 1項 6目 環境保全費					
	予算事業名			主要事業				
	関連する施策名	1-②-2 多様な主体がつくりだすクリーン	なまちづくり	重点施策				
基本計画における 位置付け		環境美化に対する意識の高揚を図るとともにす。また、クリーン印西推進運動やゴミゼロ遺により推進し、ごみのない美しいまちをめざし	<b>動、花を活用した魅力あるまち</b>					
	事業年度	平成22年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	空き地の良好な衛生環境を確保し、もって生活環境の保持及び向上に寄与することを目的に、空き地に繁 、、放置されている雑草等の除去に関し指導を行う。						
	対 象	市民(対象地区)						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果				
	令和2年度	・現場の確認等	現場の確認を行うとともに、土地 依頼文を送付した。令和2年度		王管理するよう			

#### 2.事業費の財源内訳

	1 D/V							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		<b>積算額</b> (当初予算額)						0
	令和2年度	予算現額						0
		決算額						0

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	現場の確認	件	目標値	70	70	70	70	70
	- 近場の推認	1+	実績値	50	50	55	70	52
活動指標	土地所有者への適正管	件	目標値	70	70	70	70	70
/ 山 刬 旧 保	理要請数	1+	実績値	52	49	51	60	51
			目標値					
			実績値					
	現場確認及び指導により生活環境の保持及び		目標値					
	向上を図ることを目標と   する。		実績値					
成果指標			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	通報に基づき、現場確認及び土地所有者へ適正管理を依頼した。
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

· / 数数为内压				
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等			
	実施計画事業としては終了するが、今後も引き続き事業を実施し、生活環境の保持及び向上を進めていく必要がある。			

	节科	<b>阳2年度 分                                   </b>	: 評価祟		
1. 事業の概要				事業番号	17
	実施計画事業名	地域防災意識の高揚			
事業名及び 担当部署等	担当部署名	総務部防災課 防災係·危機管理室			
担当即有守	款項目及び予算名	8款 1項 5目 災害対策費		新市基本計画	
	予算事業名	防災意識啓発事業 自主防災組織助成	事業	主要事業	
	関連する施策名	1-3-1 多様化する災害に対応する、自 化	助共助も含めた防災対策の強	重点施策	0
基本計画における 位置付け 施策の方向性 施策の方向性 施策の方向性 が書きるとともに、啓発事業を通して市民一人ひとり 場に努めます。また、発災時に対応するため防災井戸や備蓄拠点の整備を行い、防災対 す。さらに消防・救急体制としては、平時はもとより災害時でも迅速かつ的確な消防・救急 う、消防職員の育成・確保や計画的な緊急車両等の整備を進めるとともに、消防団の組織 設・設備等の充実により、地域の消防・救急力を強化していきます。					
	事業年度	昭和37年度から実施			
	事業の実施目的 及び概要	災害発生時の被害を最小限に抑えることを 活動を側面から支援するとともに、地域にお			
	対 象	市民			
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	災害対策基本法、印西市地域防災計画			
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果	
	令和2年度	・自主防災組織に対する助成及び育成 支援 ・総合防災訓練の実施(原山中学校区) ・総合防災ブック、各種ハザードマッ プの配布	・自主防災組織に対する助成及・総合防災割線の実施・総合防災ブック、各種ハザート		

2.事業費の財源内訳

<u></u>								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					8,220,000	8,220,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					4,380,000	4,380,000
		決算額					2,941,968	2,941,968

#### 3. 指標及び実績値

指	指標内容		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	自主防災組織結成の周		目標値	2	2	2	2	2
	知	ī	実績値	3	7	2	2	2
活動指標	防災関連記事の広報		目標値	15	15	15	15	15
/山到1日1宗	紙·HP掲載	ī	実績値	15	16	10	19	17
			目標値					
			実績値					
	自治会に対する自主防	%	目標値	57	59	61	63	65
	災組織の結成率	Q	実績値	52	52	52	52	52
成果指標	自主防災組織訓練等参	災組織訓練等参	目標値	5,900	6,100	6,300	6,500	6,700
从未刊标	加者数(のべ人数) イ	Α	実績値	6,631	5,132	6,524	5,981	1,948
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価		コロナ禍の影響により、自主防災組織新規結成に向けた協議及び自主防災組織の訓練 が実施されなかったことによる滅
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u>0. 7                                   </u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	大災害から住民の命と生活を守るためには、「自主防災」「地区防災」が不可欠であることから引き続き、総合防災訓練等において、自助、共助の重要性を促すとともに、自主防災組織の新規結成促進に力を入れていく。

1. 事業の概要				事業番号	18			
	実施計画事業名	防災体制の強化事業						
事業名及び	担当部署名	総務部防災課 防災係・危機管理室						
担当部署等	款項目及び予算名	8款 1項 5目 災害対策費		新市基本計画	0			
	予算事業名	災害対策事務に要する経費、災害応急 用井戸整備事業、防災施設管理に要す する経費	主要事業	0				
	関連する施策名	1-3-1 多様化する災害に対応する、自l化	助共助も含めた防災対策の強	重点施策	0			
基本計画における 位置付け 施策の方向性 施策の方向性 施策の方向性 が選挙する。また、発災時に対応するため防災計戸や備蓄拠点の整備を行い、防災対策の強化を図 らに消防・救急体制としては、平時はもとより災害時でも迅速かつ的確な消防・救急活動が行える。 職員の育成・確保や計画的な緊急車両等の整備を進めるとともに、消防団の組織をはじめ消防施 の充実により、地域の消防・救急力を強化していきます。								
	事業年度	昭和37年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	災害発生時の被害を最小限に抑えることを目的として、防災施設の整備など、防災体制の強化を図る。						
	対 象	市民						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	災害対策基本法、印西市地域防災計画						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果				
	令和2年度	・災害用井戸の整備 ・備蓄拠点の整備 ・緊急情報発信システムの運用 ・非常用食糧の備蓄及び災害用資機材の整 備 ・地域防災計画の改訂(防災アセスメント調 査等)	・災害用井戸の整備 ・備蓄拠点の整備 ・緊急情報発信システムの運用 ・非常用食糧の備蓄及び災害用 ・地域防災計画の改訂(防災ア	用資機材の整備	;)			

2.事業費の財源内訳

2.争未其切别源内部								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)		0	18,700,000		42,234,000	60,934,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額		0	0		73,357,000	73,357,000
		決算額		5,000,000	0		53,919,816	58,919,816

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	防災非常食の新規購入	食	目標値	14,700	16,560	17,000	18,000	20,000	
	数	艮	実績値	24,220	18,510	18,290	15,120	30,400	
活動指標	災害用井戸新設数	箇所	目標値	1	1	1	1	1	
/ 山 刬 扫 信示	火舌用并尸制	回り	実績値	1	1	1	1	1	
			目標値						
			実績値						
	緊急情報発信システム	1	目標値	10,000	10,250	10,500	10,750	11,000	
	登録人数	^	実績値	9,484	9,813	10,249	11,593	12,597	
成果指標	防災非常食の備蓄数	食	目標値	86,300	86,500	86,500	88,000	94,800	
<b>从</b> 木田保	切火非市及の哺者数	及	実績値	84,962	86,880	93,776	87,810	92,400	
	防災井戸整備	箇所	目標値	1	2	3	4	5	
		<b></b>	<b>防災开尸整備</b>	直刀	実績値	1	2	3	4

4.事業に対する評価

4.争耒に対する評価									
	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)						
	①活動に対する評価	A 目標値を上回る							
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである							
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった							

<u> 3. 才後の刀间圧</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
2 事業を拡大して実施	大規模災害時には、物流、流通機能等が停止することから、引き続き計画的に非常食の備蓄に 努めるとともに、各家庭での備蓄についても啓発していく。 避難所においては、災害用井戸及び災害用マンホールトイレを設置するとともに、資機材等を整備する。 災害情報伝達手段の多様化を図る。

令和2年度 分 実施計画事業評価票									
1. 事業の概要				事業番号	19				
	実施計画事業名	消防団運営事業	防団運営事業						
事業名及び	担当部署名	総務部防災課 防災係							
担当部署等	款項目及び予算名	8款 1項 2目 非常備消防費/8款	1項 3目 消防施設費	新市基本計画					
	予算事業名	消防団運営活動に要する経費、消防団 設維持管理に要する経費	配備車両整備事業、消防施	主要事業					
	関連する施策名	1-3-1 多様化する災害に対応する、自l化	助共助も含めた防災対策の強	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	災害等の被害が最小限に抑えられるよう、地域における自主防災組織の育成や防災情報等の伝達機能、選 性対策の強化など、防災体制の充実を図るとともに、啓発事業を通して市民一人ひとりの防災意識の高揚に 好めます。また、発災時に対応するため防災井戸や備蓄拠点の整備を行い、防災対策の強化を図ります。さ いに消防・救急体制としては、平時はもとより災害時でも迅速かつ的確な消防・救急活動が行えるよう、消防 競員の育成・確保や計画的な緊急車両等の整備を進めるとともに、消防団の組織をはじめ消防施設・設備等 )充実により、地域の消防・救急力を強化していきます。							
	事業年度	昭和23年度より実施							
	事業の実施目的 及び概要	消防団は、地域防災体制の中核的存在として 消防団の活動しやすい環境づくりを目指し、 制の充実を図る。 また、老朽化している消防団配備車両及びが							
	対 象	消防団員							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	消防組織法、消防車両更新配備整備計画							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果					
	令和2年度	・各種災害等に対応するための訓練の実施 ・災害等を軽減するための啓発活動 ・消防団員の拡充 ・消防団施設等の整備 ・消防団車両の更新(小型ポンプ積載車 3 台)	<ul><li>・災害等を軽減するための啓発</li><li>・消防団員の拡充</li><li>・消防団施設等の整備</li><li>・消防団車両の更新</li></ul>	活動					

2.事業費の財源内訳

	7 M 1							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)		2,211,000	23,100,000		73,064,000	98,375,000
		予算現額		2,235,000	19,500,000		70,801,000	92,536,000
		決算額		1,966,000	19,500,000		62,090,794	83,556,794

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	消防団車両更新台数	台	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
活動指標	訓練実施回数	0	目標値	5	5	5	5	5
心到旧保	訓除天旭自教	田	実績値	7	4	3	2	0
			目標値					
			実績値					
	消防団員数		目標値	772	772	772	772	772
	/		実績値	653	640	631	614	608
成果指標	災害時出動回数	B	目標値					
从木油坑	火日时山刻回数	ı	実績値	19	22	14	18	8
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

<u> </u>		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	コロナ禍の影響により、訓練が実施されなかったことによる減
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

 · / BC * 2 / 2   T	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	消防団員数については減少傾向にあるため、処遇改善等の検討など、団員確保に努める。

1. 事業の概要				事業番号	20				
	実施計画事業名	防火水槽整備事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	総務部防災課 防災係							
担当即有守	款項目及び予算名	8款 1項 3目 消防施設費		新市基本計画					
	予算事業名	防火水槽整備事業		主要事業					
	関連する施策名	1-3-1 多様化する災害に対応する、自助化	加共助も含めた防災対策の強	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	災害等の被害が最小限に抑えられるよう、地域における自主防災組織の育成や防災情報等の伝達機能、避難対策の強化など、防災体制の充実を図るとともに、啓発事業を通して市民一人ひとりの防災意識の高揚に努めます。また、発災時に対応するため防災井戸や備蓄拠点の整備を行い、防災対策の強化を図ります。さらに消防・救急体制としては、平時はもとより災害時でも迅速かつ的確な消防・救急活動が行えるよう、消防職員の育成・確保や計画的な緊急車両等の整備を進めるとともに、消防団の組織をはじめ消防施設・設備等の充実により、地域の消防・救急力を強化していきます。							
	事業年度	昭和39年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	火災発生時において、迅速かつ円滑な消火活動を行うため、消防水利未充足地に防火水槽を整備するともに、既存防火水槽の改修を実施する。							
	対 象								
事業内容等		消防法、消防水利の基準							
	年度	年度計画の内容	1.04	実績・成果					
	令和2年度	<ul><li>・未充足地への防火水槽整備</li><li>・既設防火水槽の改修</li></ul>	・既設防火水槽の改修(有蓋工 ・既設防火水槽の補修(補強工						

2.事業費の財源内訳

	· M · V							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)					23,050,000	23,050,000
		予算現額					25,364,000	25,364,000
		決算額					24,125,310	24,125,310

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	  防火水槽改修数	基	目標値	2	3	3	3	3
	<b>加入</b> 小怕以修数	¥	実績値	3	3	2	4	7
活動指標			目標値					
/ 1到1日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	消防水利充足率	%	目標値	98	98	98	99	100
	用则水利儿足平	70	実績値	98	98	98	95	95
成果指標			目標値					
八木 11 保			実績値					
			目標値				·	
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 7夜の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、消防水利未充足地の改善に努める。

1. 事業の概要				事業番号	21			
	実施計画事業名	防犯対策事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民部市民活動推進課 防犯対策係	市民部市民活動推進課 防犯対策係					
但当即看守	款項目及び予算名	2款 1項 13目 諸費		新市基本計画	0			
	予算事業名	防犯対策に要する経費	主要事業					
	関連する施策名	1-3-2 犯罪や事故から市民を守る、安全	全・安心社会の構築	重点施策	0			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民が事故や犯罪にあわずに日常生活を送れることをめざし、一人ひとりの防犯意識の高揚を図っていす。また、交通事故撲滅のため、交通安全意識を高める取り組みと合わせて交通安全施設等の整備を近ていきます。印西市消費生活センターを拠点として、消費生活に関する情報提供や相談、講座の充実をことでトラブルを未然に防げる賢い消費者づくりを進め、消費者被害の防止を図っていきます。						
	事業年度	平成元年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	防犯講習会の実施及び広報紙等による啓発活動を通じて、市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るとともに、市民、事業者、行政、警察等関係団体と協働した防犯活動や青色回転灯装着車両による防犯パトロールの実施、防犯カメラ設置事業補助金の交付や防犯灯等の整備を行い、犯罪を抑止し、また、犯罪被害に遭われた方への支援を行い、安全で安心なまちづくりを推進する。また、暴力団等を排除するための取り組みとして、市の公共事務事業の暴排規定整備を推進することや、事業者が自主的な暴力団の排除に取り組むために必要な情報の提供に努める。						
	対 象	市民、事業者						
事業内容等	根拠法令·関連計画等	印西市安全で安心なまちづくり推進条例、同 印西市暴力団排除条例 印西市犯罪被害者等支援条例、同施行規則						
	年度	年度計画の内容	1 100 1 7 11	美実績・成果				
	令和2年度	・自主防犯活動の推進 ・市HPへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ・街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・暴力団排除規定整備の推進 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付	・市内犯罪発生状況を市HPに料・市内犯罪発生状況をを登録者に・地区別字別犯罪発生状況を一・警察と連携した合同パール・防犯灯の新設(57台)と維持管・既存防犯灯LED化の完了(H27・街頭での防犯啓発活動の実施・街車防犯力手の管理及び運3・防犯カメラ設置補助金の交付・防犯力メラ設置補助金の交付にある。	にE-mailやFAXで配信(月2回) 市HPに掲載(毎月) ・ル活動(毎月) ・パトロール業務(284日) 章理 27~R2で実施) は施(24回) 運用(駅ロータリー44台) う支援				

#### 2.事業費の財源内訳

	) W \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	L	<b>積算額</b> (当初予算額)		1,700,000			88,273,000	89,973,000
		予算現額		200,000			85,528,000	85,728,000
		決算額		200,000			70,770,523	70,970,523

#### 3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	地域安全パトロールの  実施(青色灯登載車によ	日	目標値	240	240	240	240	270
	る)	П	実績値	245	244	241	273	284
活動指標	新設防犯灯数	灯	目標値	100	100	100	100	100
心到旧宗	利政例犯別数	71	実績値	108	118	85	83	57
			目標値					
			実績値					
	刑法犯認知件数(窃盗	件	目標値	630	K	K	Ľ	K
成果指標	犯のみ)暦年の数値		実績値	<b>※</b> 592	<b>※</b> 579	<b>※</b> 513	<b>※</b> 453	<b>※</b> 439
以木扫标			目標値					
			実績値					

## 4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	防犯灯の整備が進み、町内会・自治会等からの設置要望件数が減少傾向にある。要望があっても設置基準を満たさないものや、設置が困難な箇所については設置出来ない場合もある。地域安全パトロールについては目標値を上回る日数で実施出来た。
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	防犯灯の設置が困難な箇所についての対応が今後の課題といえる。

3. 7 枚の <b>カ</b> 門圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市や防犯組合等による防犯活動のほか、平成29年度からは犯罪被害者等の救済のための見舞 金制度を創設、平成30年度から町内会・自治会等による防犯カメラ設置に対する補助を開始し、 防犯意識の高揚と安全で安心なまちづくりの推進に努めている。

1. 事業の概要				事業番号	22			
	実施計画事業名	防犯活動拠点施設運営事業		•				
事業名及び	担当部署名	市民部市民活動推進課 防犯対策係						
担当部署等	款項目及び予算名	2款 1項 13目 諸費		新市基本計画	0			
	予算事業名	防犯活動拠点施設運営費		主要事業				
	関連する施策名	1-3-2 犯罪や事故から市民を守る、安	全・安心社会の構築	重点施策	0			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民が事故や犯罪にあわずに日常生活を送れることをめざし、一人ひとりの防犯意識の高揚を図っていきます。また、交通事故撲滅のため、交通安全意識を高める取り組みと合わせて交通安全施設等の整備を進めていきます。印西市消費生活センターを拠点として、消費生活に関する情報提供や相談、講座の充実を図ることでトラブルを未然に防げる賢い消費者づくりを進め、消費者被害の防止を図っていきます。						
	事業年度	平成18年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	行政と地域住民及び関係機関等が連携して、自主防犯活動を推進する為、安全安心パトロールの活動拠点、市民安全情報の発信等、地域防犯活動の拠点としての機能を持たせた市民安全センターを維持管理し、自主防犯活動に対する支援を図ることにより、犯罪の発生を抑止する。						
	対 象	市民						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市市民安全センターの設置及び管理に	関する条例、同施行規則					
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	・地域安全安心パトロールの実施 ・防犯活動のための「活動拠点」「市民安全 情報」の提供 ・防犯活動に対する支援	・「市民安全情報(犯罪発生状況 ・印西市防犯パトロール隊によ 実施(355回) ・防犯に関する相談や指導、防 (随時)	る地域安全安心	パトロールの			

2.事業費の財源内訳

	4. 宇木貝の別源門	D/V							
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	<u> </u>	<b>積算額</b> (当初予算額)					132,000	132,000	
		予算現額					132,000	132,000	
		決算額					83,543	83,543	

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	市民安全情報の配信		目標値	36	36	36	36	24
	川氏女王情報の配信	ī	実績値	36	36	36	29	24
活動指標	防犯パトロール回数		目標値	900	910	920	930	940
<b>位</b> 划相保		囙	実績値	963	918	781	751	355
			目標値					
			実績値					
	印西市内犯罪認知件数 (暦年の数値)	件	目標値	800	7	7	7	7
		IT	実績値	<b>※</b> 719	<b>※</b> 756	<b>※623</b>	<b>※</b> 575	<b>※</b> 567
成果指標			目標値					
八木141宗			実績値					
			目標値			_	_	
			実績値					

4.事業に対する評価

※犯罪認知件数は各年中の数字

	<u> </u>		
١	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価		新型コロナウイルス感染症の蔓延による活動の自粛や、学校の臨時休校等により、やむなく防犯パトロール回数が減少している。
	②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	活動指標については目標値を下回っているものの、新型コロナウイルスによる自粛に起 因するものであり、成果については計画通りのものとなっている。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	地域安全安心パトロールの実施や、防犯パトロール隊等の自主防犯活動への支援及び市民への情報提供を継続していく。

	79.1	和2年度 分 美胞計画争業	:計叫示						
1. 事業の概要				事業番号	23				
	実施計画事業名	交通安全啓発事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民部市民活動推進課 市民安全係							
但当即看守	款項目及び予算名	2款 1項 8目 交通安全対策費		新市基本計画	0				
	予算事業名	交通安全対策事業		主要事業	0				
	関連する施策名	1-3-2 犯罪や事故から市民を守る、安全	③-2 犯罪や事故から市民を守る、安全・安心社会の構築						
基本計画における 位置付け	施策の方向性	す。また、交通事故撲滅のため、交通安全意 ていきます。印西市消費生活センターを拠点	「民が事故や犯罪にあわずに日常生活を送れることをめざし、一人ひとりの防犯意識の高揚を図っていきま。また、交通事故撲滅のため、交通安全意識を高める取り組みと合わせて交通安全施設等の整備を進めていきます。印西市消費生活センターを拠点として、消費生活に関する情報提供や相談、講座の充実を図るとでトラブルを未然に防げる賢い消費者づくりを進め、消費者被害の防止を図っていきます。						
	事業年度								
	事業の実施目的 及び概要	市民一人ひとりの交通安全意識の普及および啓発活動を実施することにより、特に交通弱者と呼ばれる高 齢者や児童等が被害者となる交通事故の減少に努める。							
	対 象	市民							
	根拠法令·関連計画 等	印西市交通安全計画 印西市自転車の安全・安心利用に関する条例							
事業内容等	年度	年度計画の内容	1 100 1 7 11	美実績・成果					
	令和2年度	【交通安全教室】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ、スケアードストレイト 【交通安全啓発活動】 ・交通パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・アクション10に伴う啓発活動 ・各推進運動に伴う啓発活動 ・自転車安全の日に伴う街頭啓発活動 ・自転車安全安心利用啓発活動 ・高齢者安全運転支援装置設置の促進	・新型コロナ感染拡大防止に伴校教育活動再開時及び夏・秋・おいて、児童登校時の見守り活また、交通安全教育資料用として、保育園、幼稚園へDVDをでいた。 ・年間を通じ、交通安全パトロー・自転車のルールとマナー、放気の啓発チラシを町内会等への買い、既販車に後付けで設置するペ進抑制装置の購入・設置に対し	冬の各交通安全動を実施した。 て、小中学校へ登し出した。 ・ルを実施した。 置自転車クリーンでした。	運動期間中に 啓発チラシ配 パキャンペーン 等による急発				

#### 2.事業費の財源内訳

2. 争未負の別源り	76 6							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)					11,395,000	11,395,000
	令和2年度	予算現額					11,395,000	11,395,000
		決算額					3,361,046	3,361,046

## 3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	交通安全教室の実施回		目標値	65	65	65	65	65
活動指標	数	田	実績値	72	61	66	68	0
/白 刬 田 1示	街頭啓発及び交通指導員 による交通パトロールの回	0	目標値	220	220	220	220	220
	数	囙	実績値	207	226	227	87	243
	印西市内での交通人身	件	目標値	200	7	N	7	7
成果指標	事故発生件数	1+	実績値	<b>※227</b>	<b>※224</b>	<b>※251</b>	<b>※</b> 208	<b>※</b> 170
<b>以未拍</b> 標			目標値					
			実績値					

#### 4.事業に対する評価

#### ※事故発生件数については各年中の数字

4.争業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		新型コロナ感染拡大防止により交通安全教室や街頭啓発は中止したが、職員による交通安全パトロールを年間を通じ実施した。
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナ感染拡大防止により交通安全教室や街頭啓発は中止したが、児童登校時の 見守り活動や啓発チラシの配付等を通じ、交通事故等の減少に寄与した。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も交通安全教室や啓発等を通じ、交通安全意識の高揚を図るとともに、全国的に高齢運転者の運転操作による重大な交通事故が発生していることを鑑み、高齢運転者の事故防止や被害軽減を目的としたペダル踏み間違い等による急発進等抑制装置の設置促進に資する。

1. 事業の概要				事業番号	24				
	実施計画事業名	放置自転車等対策事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民部市民活動推進課 市民安全係							
但크마名寺	款項目及び予算名	2款 1項 8目 交通安全対策費		新市基本計画	0				
	予算事業名	放置自転車等対策事業		主要事業					
	関連する施策名	1-3-2 犯罪や事故から市民を守る、安全	全・安心社会の構築	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民が事故や犯罪にあわずに日常生活を送れることをめざし、一人ひとりの防犯意識の高揚を図っていきす。また、交通事故撲滅のため、交通安全意識を高める取り組みと合わせて交通安全施設等の整備を進むていきます。印西市消費生活センターを拠点として、消費生活に関する情報提供や相談、講座の充実を図ことでトラブルを未然に防げる賢い消費者づくりを進め、消費者被害の防止を図っていきます。							
	事業年度	平成6年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	自転車等の交通にかかる事故の防止と交通 置禁止区域における放置自転車等の撲滅を		良好な環境確保を	を図るため、放				
	対 象	市民							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市自転車等の放置防止及び自転車等駅	主車場の附置義務に関する条例						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	<ul><li>・看板等による放置禁止の啓発活動</li><li>・放置禁止区域での指導巡視活動</li><li>・放置自転車の撤去活動</li></ul>	・看板や路面シール等で、放置した。 ・市内5駅圏における禁止区域・禁止区域における命令、禁止での活動を実施した。	を中心に巡視活	動を実施した。				

#### 2.事業費の財源内訳

	3 (2/ \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)				32,000	5,740,000	5,772,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額				32,000	5,740,000	5,772,000
		決算額				29,960	5,418,485	5,448,445

#### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	放置自転車の巡視及び	П	目標値	270	270	270	270	270
	警告·撤去	ı	実績値	265	151	150	240	242
活動指標			目標値					
心到旧标			実績値					
			目標値					
			実績値					
	放置禁止区域内の撤去	台	目標値	150	145	140	135	130
	台数	П	実績値	123	123	61	49	30
成果指標	放置禁止区域外の撤去	台	目標値	70	68	66	64	62
从木1日1末	台数	П	実績値	56	45	44	39	28
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

3. 7後の万円圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	放置自転車の禁止区域内・外において、成果目標値を達成しており、今後も継続し、放置自転車 等の撲滅を目指す。

1. 事業の概要				事業番号	25				
	実施計画事業名	交通安全対策施設整備事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部土木管理課 維持係							
担크마百寺	款項目及び予算名	2款 1項 8目 交通安全対策施設整備	<b>事業</b>	新市基本計画					
	予算事業名	交通安全対策施設整備事業		主要事業					
	関連する施策名	1-3-2 犯罪や事故から市民を守る、安全	全・安心社会の構築	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民が事故や犯罪にあわずに日常生活を送す。また、交通事故撲滅のため、交通安全意ていきます。印西市消費生活センターを拠点ことでトラブルを未然に防げる賢い消費者づい	識を高める取り組みと合わせて として、消費生活に関する情報	交通安全施設等 是供や相談、講座	の整備を進め その充実を図る				
	事業年度								
	事業の実施目的 及び概要	警戒標識や反射鏡等の交通安全施設の整備を行い、交通の円滑化と安全性の確保及び事故防L る。							
	対 象	道路利用者							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	第9次印西市交通安全計画							
	年度	年度計画の内容	10.20	美実績・成果					
	令和2年度	握した箇所について現地確認の実施	区画線工 7,493m 道路反射鏡 22基 視線誘導標 26基 標識工 5基 車線分離標 17本 ガードレール 23m						

#### 2.事業費の財源内訳

	3 PA V							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					28,047,000	28,047,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					28,047,000	28,047,000
		決算額					26,628,140	26,628,140

#### 3. 指標及び実績値

指标	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	交通安全施設対応率	%	目標値	100	100	100	100	100
	(実施箇所/必要箇所)	90	実績値	100	100	100	100	100
活動指標			目標値					
/ 山 刬 1日 1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	交通安全施設の整備を 行い、交通の円滑化と安		目標値					
	全性を確保する。		実績値					
成果指標			目標値					
<b>以未拍</b> 標			実績値					
			目標値					
			実績値					

#### 4.事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価		交通安全施設の整備を行い、交通の円滑化と安全性を確保する観点から、数 値目標なし。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

0. / DC ** / J   T   T	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	千葉ニュータウンやその他の地域での開発や人口増に伴う通行車両の増加により、要望箇所や 対応を必要とする箇所が増加している。危険が予測される優先度の高い箇所から対応していく。

1. 事業の概要				事業番号	26					
	実施計画事業名	消費生活相談事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部商工観光課 商工振興係								
担当即有守	款項目及び予算名	6款 1項 3目 消費者行政推進費	新市基本計画							
	予算事業名	消費者行政推進事務に要する経費		主要事業						
	関連する施策名	1-3-2 犯罪や事故から市民を守る、安全	全・安心社会の構築	重点施策						
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民が事故や犯罪にあわずに日常生活を送れることをめざし、一人ひとりの防犯意識の高揚を図っていきま け。また、交通事故撲滅のため、交通安全意識を高める取り組みと合わせて交通安全施設等の整備を進め ていきます。 印西市消費生活センターを拠点として、消費生活に関する情報提供や相談、講座の充実を図ることでトラブ レを未然に防げる賢い消費者づくりを進め、消費者被害の防止を図っていきます。								
	事業年度	平成元年度から実施								
	事業の実施目的 及び概要	消費生活に関する各種相談に際し、適切かつ迅速な処理を行い、消費者が安心して生活できる環境をつくるとともに、消費者の保護と育成を図る。								
	対 象	市民								
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市消費生活センターの組織及び運営等 関する条例施行規則	に関する条例、印西市消費生活	センターの組織	及び運営等に					
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果						
	令和2年度	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 (週4日1人、1日2人))	・広報紙への啓発記事3回掲載 ・新規相談件数568件 ・消費生活講座等1回開催 ・放射性物質検査9件	i -						

2.事業費の財源内訳

2. 字未真切别 源户	/6 5							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)		120,000		59,000	296,000	475,000
財源内訳(円)		予算現額		120,000		59,000	296,000	475,000
		決算額		82,132		62,000	187,805	331,937

3. 指標及び実績値

3. 指憬及ひ美積		単位						
指導	指標内容		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	相談開設日数	B	目標値	240	240	240	240	240
	1日成用及口致	ı	実績値	243	244	244	240	243
活動指標	講座実施回数		目標値	6	6	6	6	6
7日到1日1示	<b>两庄</b> 天旭日数	1	実績値	3	5	3	8	1
			目標値					
			実績値					
	相談件数(新規分)	件	目標値	400	400	400	400	400
	100011 90 (401000)		実績値	517	452	614	525	568
成果指標	講座受講人数	人	目標値	120	120	120	120	120
/火木 10 15	時圧文時八奴		実績値	199	227	209	368	200
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる計1111		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症拡大により、講座等を実施することができず、目標値を達成できなかった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	引き続き、消費生活に関する情報提供や相談、消費生活講座等の充実を図り、消費者被害の防止に努める。

7424及 7 关旭们回争朱計顺宗									
1. 事業の概要				事業番号	27				
	実施計画事業名	社会福祉協議会との連携及び活動支援							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	福祉部社会福祉課 厚生係							
担ヨ即者寺	款項目及び予算名	3款 1項 1目 社会福祉総務費		新市基本計画					
	予算事業名	社会福祉推進事業		主要事業					
	関連する施策名	2-①-1 社会の変化に対応した地域支え	合い支援	重点施策					
基本計画における 位置付け	、町内会等、民生委員・児童委が有機的に機能する支え合い								
	事業年度	昭和52年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	地域福祉を推進するため、社会福祉協議会との連携、支援を行う。							
	対 象	社会福祉協議会							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	社会福祉法、印西市地域福祉計画、印西市地	地域福祉活動計画						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・社会福祉協議会への支援 ・地域福祉計画と地域福祉活動計画との連携 ・地域福祉計画と地域福祉活動計画との連携 ・地域福祉計画と地域福祉活動計画との連携 ・地域福祉計画と地域福祉活動計画は、ともに、地域福祉計画と地域福祉活動計画は、ともに、進という目標を掲げ、それぞれの立場において割を担い、相互に連携し地域福祉を推進した。							

2.事業費の財源内訳

<u>ナ 木 貝 ツ 州 州 川</u>	I DV							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					45,925,000	45,925,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					45,925,000	45,925,000
		決算額					45,925,000	45,925,000

3. 指標及び実績値

5. <b>日保及び天順</b> 指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	社会福祉協議会との連	件	目標値	1	1	1	1	1
	携事業	1+	実績値	1	1	1	1	1
活動指標			目標値					
/白到7日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	福祉ボランティア登録者	人	目標値	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500
	数		実績値	1,298	1,262	1,246	1,262	1,065
成果指標			目標値					
从木1口示			実績値					
			目標値		·			
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未にNyの計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		地域福祉サービスを後退させないよう、地域福祉計画に基づき継続的に連携・支援する必要がある。
②成果に対する評価		福祉ボランティア登録者数が減少しているが、新型コロナウイルスの影響が あったものと推測している。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	地域福祉サービスを後退させないよう、地域福祉計画に基づき継続的に連携・支援する必要がある。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 争業を現行のまま継続して実施	社会福祉協議会は、行政、地域住民及び関係団体と協働して地域福祉活動の推進を図ることを目的とする地域を代表する公共性の高い団体であることから、地域福祉の中核的役割を果たしていただくために、職員の資質の向上、地域住民のくらしの課題解決を目指し、福祉サービスの向上に努めてもらえるよう、市として支援を継続していく。

1. 事業の概要				事業番号	28				
	実施計画事業名	地域福祉づくりの推進							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	福祉部社会福祉課 厚生係							
但当即看守	款項目及び予算名	3款 1項 1目 社会福祉総務費	新市基本計画	0					
	予算事業名	社会福祉総務事務に要する経費(地域社	冨祉づくりの推進)	主要事業					
	関連する施策名	2-①-1 社会の変化に対応した地域支え	合い支援	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民一人ひとりが地域で支え合い、いきいきと暮らせるよう、社会福祉協議会、町内会等、民生委員・ 員、学校等と連携し、声かけ・見守りやボランティア活動などの地域福祉活動が有機的に機能する支え のネットワークを強化していきます。							
	事業年度	平成29年度~令和2年度(第3次)、令和3年度~令和7年度(第4次)							
	事業の実施目的 及び概要	印西の地域福祉づくりを積極的に推進するため、地域福祉計画の進行管理をすすめる。							
	対 象	市民、各種団体、事業者等							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	社会福祉法、印西市地域福祉計画、印西市地	地域福祉活動計画						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	<ul><li>・第3次印西市地域福祉計画の推進及び進行管理</li><li>・第4次印西市地域福祉計画策定(策定委員会設置)</li></ul>	会を開催し、現地域福祉計画の	評価、次年度に同	句けての協議				

2.事業費の財源内訳

<u>ナ 木 貝 ツ 州 州 川</u>	I DV							
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					5,129,000	5,129,000
		予算現額					5,129,000	5,129,000
		決算額					4,980,474	4,980,474

3. 指標及び実績値

1. 指標及び天橋	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	地域福祉推進委員会の 開催回数	0	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	2	2	1
活動指標	地域福祉策定委員会の 開催回数	0	目標値				3	4
			実績値				3	4
			目標値					
			実績値					
	地域福祉計画に関する 事業実施率	%	目標値	100	70	80	90	100
			実績値	85	79	87	92	93
成果指標			目標値					
			実績値					
			目標値	·	·			
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争未に対する計画								
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)						
①活動に対する評価	14 (十)十日 褶細 とないかある	地域福祉計画推進委員会、地域福祉計画策定委員会を開催し活発な意見交換が図れた。						
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ほぼ目標値どおりではあるが、事業の達成度が低いものも見受けられた。						
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	ほぼ目標値どおりではあるが、目標値は達成できなかった。						

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も地域福祉の理解を広げるため、計画の周知・啓発に努めるとともに、具体的な取り組みについては、PDCAサイクルに基づき評価・点検を行い、実施評価の低いものについて達成度を上げていき、効果的な計画となるよう推進していきます。

	TJ1	加2年度 分 美施計画争系	计叫示						
1. 事業の概要				事業番号	29				
	実施計画事業名	民生委員児童委員活動の支援等							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	福祉部社会福祉課 厚生係							
但크마百寸	款項目及び予算名	3款 1項 1目 社会福祉総務費		新市基本計画					
	予算事業名	民生委員児童委員活動に要する経費	:委員児童委員活動に要する経費						
	関連する施策名	2-①-1 社会の変化に対応した地域支え	合い支援	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民一人ひとりが地域で支え合い、いきいきと暮らせるよう、社会福祉協議会、町内会等、民生委員、学校等と連携し、声かけ・見守りやボランティア活動などの地域福祉活動が有機的に機能するのネットワークを強化していきます。							
	事業年度								
	事業の実施目的 及び概要	民生委員・児童委員の活動が円滑に行われなどの支援を行う。	るよう、各種福祉情報の提供や	実費弁償としての	舌動費の支給				
	対 象	民生委員、児童委員							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	民生委員法、児童福祉法							
	年度	年度計画の内容		ਞ実績∙成果					
	令和2年度	・民生委員・児童委員活動の支援	<ul> <li>・災害時等連絡・見守りカードの・地域福祉計画推進の協力・推・高齢者実態調査の実施</li> </ul>						

2.事業費の財源内訳

2. 于木貝以州(赤)	7 P/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)		551,000			8,191,000	8,742,000
		予算現額		551,000			8,191,000	8,742,000
		決算額		239,260			6,854,159	7,093,419

3. 指標及び実績値

5. 相保及び <b>矢</b> 積 指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	民生・児童委員数	14 12 <del>2 2 2 4</del> 1	目標値	143	143	143	150	150
		^	実績値	129	132	132	124	122
活動指標			目標値					
/立 刬 扫 信示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	民生・児童委員の活動	件	目標値	8,400	9,000	9,000	9,000	9,000
	数(活動日誌)	IT	実績値	8,912	9,886	9,820	8,915	5,101
成果指標			目標値					
从未刊宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未にNyの計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	欠員が生じている地区の民生委員・児童委員の確保に努めた。
②成果に対する評価		新型コロナウイルスの影響で、訪問活動が制限された時期があったため、目標値より活動件数が少なかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルスの影響で訪問活動は少なかったものの、高齢者等の支援 や地域住民の生活相談等を継続的に行うことができた。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	民生委員・児童委員、社会福祉協議会、地域組織やボランティア等と連携を図り、市民一人ひとりが、福祉の受け手であり、担い手であるという「地域での支え合い意識」を育み、地域コミュニティの醸成や地域住民の支え合い体制の構築に努める。

	13 4	加2年度 万 天旭計画事業	计叫示						
1. 事業の概要				事業番号	30				
	実施計画事業名	生活保護受給者自立への支援							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	福祉部社会福祉課 保護係	祉部社会福祉課 保護係						
担크마有寺	款項目及び予算名	3款 4項 1目 生活保護総務費/3款	4項 2目 扶助費	新市基本計画					
	予算事業名	生活保護事業に要する経費、生活保護	扶助事業	主要事業					
	関連する施策名	2-①-2 社会保険制度を含めたセーフティ	ィネットの強化	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	誰もが健康的かつ文化的な生活を営めるよう 生活困窮者自立支援制度に基づき、生活保 わたり市民が安定した生活を送れるよう、国	護に至る前の段階の自立支援の	)強化を図ります					
	事業年度	平成8年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	生活保護法に基づき、困窮状況に応じた金銭又は現物給付により、最低生活の保障と経済的社会的 支援する。							
	対 象	生活保護受給世帯							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	生活保護法							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果					
	令和2年度	年度計画の内容 年度の事業実績・成果 各種扶助の給付 経済的社会的自立の支援 被保護者就労支援事業の実施 ・生活保護法に基づき、各種扶助費の給付及び社会 援を行った。 ・被保護者就労支援事業により就労につなげ経済的 を行った。							

2.事業費の財源内訳

4. 于木具以州师广	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	586,899,000	27,549,000	0	0	158,092,000	772,540,000
		予算現額	587,772,000	27,549,000	0	0	208,231,000	823,552,000
		決算額	582,904,869	29,842,384	0	0	204,368,663	817,115,916

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	新規就労支援対象件数	件	目標値	20	20	20	20	20
	利	1+	実績値	26	18	16	10	7
活動指標			目標値					
/ 山 刬 旧 保			実績値					
			目標値					
			実績値					
	生活保護からの自立世		目標値	10	10	10	10	10
	帯数		実績値	14	13	15	16	5
成果指標			目標値					
以木田宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

ア・デオ アンファ の 田 四		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	被保護世帯の高齢化や、稼働年齢層の受給者であっても疾病等により稼働能力無しと 判断される者も多く、新規の支援対象者が少なかったことから目標値を下回ったが、継 続支援対象者を含め21件の就労支援を行った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	企業への求人開拓やハローワークや会社への同行訪問、面接対策指導等の支援を 行ったが、新型コロナウイルスの影響で対面での支援を中断せざるを得ない期間があったり、企業の求人自体が減少したこと等から、就職者数は少なく目標値を下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	関係機関やハローワークの就労支援員などとも連携し、対象者の就労支援に努めたが、新型コロナの影響で対面での支援などが十分に行えなかったこと、求人自体の減少などにより、就職できた者は少なく、計画を下回る成果であった。

<u> </u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	生活保護法に基づき、被保護者就労支援事業を実施する。また、今後も関係機関と連携し、就労支援を行うことで就労につなげ、経済的な自立を図れるよう支援していく。

1. 事業の概要				事業番号	31			
	実施計画事業名	生活困窮者自立への支援						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	福祉部社会福祉課 厚生係						
担当即有守	款項目及び予算名	3款 1項 1目 社会福祉総務費		新市基本計画				
	予算事業名	生活困窮者自立支援事業に要する経費	}	主要事業				
	関連する施策名	2-①-2 社会保険制度を含めたセーフテ	ィネットの強化	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	誰もが健康的かつ文化的な生活を営めるよう、生活保護制度により、最低限度の生活を保障するとともに 生活困窮者自立支援制度に基づき、生活保護に至る前の段階の自立支援の強化を図ります。また、生涯 わたり市民が安定した生活を送れるよう、国民年金制度の普及啓発に努めます。						
	事業年度	平成27年度から実施						
		生活困窮者自立支援法に基づき、現に、経済的に困窮し、最低限の生活を維持することができなくなるおる れのある者に対して、自立に向けた支援をする。						
	対 象	現に、経済的に困窮し、最低限の生活を維持	現に、経済的に困窮し、最低限の生活を維持することができなくなるおそれのある者					
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	生活困窮者自立支援法						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	<ul><li>・生活困窮者自立支援事業の実施</li><li>・住居確保給付金の給付</li></ul>	・生活困窮者自立支援事業とし 件あり、そのうち自立相談支援 3件、家計改善支援事業11件! ・住居確保給付金は、新型コロ 緩和されてこともあり、14件の ・生活困窮者世帯の子どもの学 親世帯の子どもの学習支援と位 実績はなかった。	事業19件、就労 実施した。 ナウイルスのため 給付があった。 ○習支援事業につ	準備支援事業 か、支給要件が いては、ひとり			

2.事業費の財源内訳

	<i>3</i> 14/ \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)	20,842,000				15,060,000	35,902,000
		予算現額	23,012,000				17,385,000	40,397,000
		決算額	23,051,600				16,274,888	39,326,488

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	新規相談受付件数	件	目標値	150	150	150	150	150
	初风怕缺乏的计数	IT	実績値	106	148	161	137	364
活動指標			目標値					
/白到1日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	生活困窮からの自立世	件	目標値	25	30	35	40	50
	帯数	H	実績値	32	35	39	42	37
成果指標			目標値					
<b>以未拍</b> 標			実績値					
			目標値				·	
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 字末に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	新型コロナウイルスの影響もあるのか新規相談受付件数が増加した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	就労開始や就労収入増加に至る件数が少なかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	計画に見合った自立支援を行った。支援ブラン終結後も電話連絡などによるフォローアップを行ったり、自立に至らないケースについてもブランを延長し、相談、支援を継続している。

O. / 医6751所注	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	生活困窮自立支援法に基づき、包括的な相談支援等を継続する。また、生活困窮者の支援につながるよう事業周知に努める。

1. 事業の概要				事業番号	32				
	実施計画事業名	年金相談事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民部国保年金課 高齢者医療年金係							
担当即看守	款項目及び予算名	3款 5項 1目 国民年金総務費	3款 5項 1目 国民年金総務費 新市基本計画						
	予算事業名	国民年金事務に要する経費		主要事業					
	関連する施策名	2-①-2 社会保険制度を含めたセーフティ	ィネットの強化	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	誰もが健康的かつ文化的な生活を営めるよう、生活保護制度により、最低限度の生活を保障するとともに、 生活困窮者自立支援制度に基づき、生活保護に至る前の段階の自立支援の強化を図ります。また、生涯に わたり市民が安定した生活を送れるよう、国民年金制度の普及啓発に努めます。							
	事業年度	平成14年度から実施							
		相談業務として、厚生年金等の請求手続き、 を実施する。	必要書類の指導、年金見込み客	<b>頁の試算、被保</b> 険	者期間の調査				
	対 象	20歳以上の市民(被保険者・受給者)							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	国民年金法							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・年金相談の実施	相談件数は29件、年金事務所が図られた。また、事前に相談しておくことによりスムーズな相広報紙、ホームページに掲載し	内容を確認し、そ 談を実施した。	の詳細を調査				

#### 2.事業費の財源内訳

C:于不良V对III(1)								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	<b>積算額</b> (当初予算額)					62,000	62,000	
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					62,000	62,000
		決算額					61,116	61,116

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	+0=% (=) %+	相談回数		目標値	7	7	7	6	6
	111 放凹 数	ī	実績値	7	7	7	6	6	
活動指標	広報等の周知活動		目標値	12	12	12	12	12	
心到田保		ī	実績値	12	11	12	12	9	
			目標値						
			実績値						
	相談者数	,	目標値	56	56	56	48	48	
	11日以1日致	Α	実績値	20	31	17	21	29	
成果指標			目標値						
从未归标	八木111 伝		実績値						
			目標値						
			実績値						

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる計1回		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	以前は、年金相談は船橋年金事務所まで出向かなければならなかったが、近年、柏、成田にも相談窓口が開設された。近場で相談ができることにより利用者は減少されたと思われるが、相談したい利用者に対しては漏れなく相談することができ、利用者のニーズに適切に対応できた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	年金が支給開始される人口と利用者の人数を比較しながら、相談回数を調整し、市民の利便性 を図るため相談事業を継続していく。

1. 事業の概要				事業番号	33			
	実施計画事業名	保育園運営事業						
事業名及び	担当部署名	健康子ども部保育課 保育係						
担当部署等	款項目及び予算名	3款 3項 4目 保育所費/3款 3項 1目 児童福祉総務費 新市基本計画 С						
	予算事業名 保育園運営に要する経費、民間保育園の助成に関する経費、民間 保育園の保育委託に関する経費							
	関連する施策名	2-2-1 ライフスタイルにあわせた多様な	子育て支援策	重点施策	0			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、子ども・子育て支援事業計画等に基づき、待機児童解消への取り組みをはじめとして、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。						
	事業年度	平成17年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	・公立保育園の適切な運営により、保育を必育サービスの提供を行う。 ・民間保育園の運営に対する補助を行い、保整備補助を行い、保整備補助を行い、保育の受け皿拡大を図り、・保育を必要とする児童の受入れを行う民間る。	育サービスの充実を図る。また、 保育園待機児童解消を進めてし	、民間保育園新記 いく。	投に対する施設			
	対 象	保育を必要とする保護者と就学前児童						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、子ども・	子育て支援事業計画					
	年度	年度計画の内容		業実績・成果				
	令和2年度	・待機児童解消のための取り組みの実施等・各種保育サービスの実施 (時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) ・民間保育園の運営に対する補助 ・民間保育園新設に対する施設整備補助 ・民間保育園5園開園	・公立保育園(5園)、私立保育園 ※保育園運営に要する経費、 費、民間保育園の保育委託に ・民間保育園5園開園 ・小規模保育事業所2施設の整	民間保育園の助 関する経費	」成に関する経			

2.事業費の財源内訳

	/ W N							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)	1,650,689,000	862,587,000		419,661,000	1,587,225,000	4,520,162,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額	1,705,757,000	881,355,000		410,939,000	1,514,425,000	4,512,476,000
		決算額	1,403,394,749	662,817,173		315,880,919	1,307,099,290	3,689,192,131

3. 指標及び実績値

3. 拍像及び美積								
指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	  年度末保育園入園者数	人	目標値	1,753	1,777	1,770	1,731	1,701
	<b>一</b>		実績値	1,806	1,941	2,346	2,414	2,739
活動指標			目標値					
/直到1日1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	10月1日現在待機児童	人	目標値	30	0	0	0	0
	数		実績値	96	217	236	273	195
成果指標			目標値					
八木 旧 伝			実績値					
			目標値			·		
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	民間保育園の新設により、目標値を超える結果となった。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	民間保育園の新設により施設及び入園者数は増となったが、前年度からの入園保留児 童数が多かったことや子育て世代の転入などによる増により、目標値を下回る結果となっ た。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	民間保育園の新設により、施設及び入園者数は増となり目標を上回ったが、待機児童数は減ったが、目標値を下回る結果となった。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	第2期子ども・子育て支援事業計画において、小規模保育事業所の整備により1歳児及び2歳児の受け皿を確保することとしていたが、3歳児の受け皿が不足することになったことから、既存民間保育施設の定員拡大、民間保育施設を整備し保育の受け皿を確保する。

1. 事業の概要				事業番号	34					
	実施計画事業名	保育園施設整備改修事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部保育課 管理係								
担当即看守	款項目及び予算名	3款 3項 4目 保育所費		新市基本計画						
	予算事業名	保育園施設改修事業		主要事業						
	関連する施策名	2-②-1 ライフスタイルにあわせた多様な	子育て支援策	重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、子ども・子育て支援事業計画等に基づき、待機児童解消への取り組みをはじめとして、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。								
	事業年度	平成18年度から実施								
	事業の実施目的 及び概要	良好な保育環境を確保するため、老朽化した保育園施設の計画的な改修整備を推進する。								
	対 象	公立保育園								
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市子ども・子育て支援事業計画								
	年度	年度計画の内容	年度の事業	<b>業実績・成果</b>						
	令和2年度	· 内野保育園改修工事検討	・内野保育園改修工事の検討							

2.事業費の財源内訳

2. 于木貝以州(赤)	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	財源内訳(円) 令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					0	0
財源内訳(円)		予算現額					0	0
		決算額					0	0

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	改修工事の実施数	園	目標値	3	4	1	1	0
	以修工事の天肥奴	墨	実績値	4	4	1	1	0
活動指標			目標値					
/1 到 11 1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標			目標値					
八木 田 宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 手未に対する計画									
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)							
①活動に対する評価		令和2年度は、内野保育園改修工事の検討時期のため、予算支出等はなし。 令和3年度の実施設計委託業務費の予算化。							
②成果に対する評価		令和2年度は、内野保育園改修工事の検討時期のため、予算支出等はなし。 令和3年度の実施設計委託業務費の予算化。							
③総合的な評価		令和2年度は、内野保育園改修工事の検討時期のため、予算支出等はなし。 令和3年度の実施設計委託業務費の予算化。							

3. 予復の万円注	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和3年度より印西市公共施設長寿命化計画の実施計画に則して、公立保育園の改修を実施していく。

节仰2千度 7   天旭計画事業計画景										
1. 事業の概要				事業番号	35					
	実施計画事業名	放課後児童健全育成事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部保育課 管理係								
但当即看守	款項目及び予算名	3款 3項 5目 児童福祉施設費		新市基本計画						
	予算事業名	学童クラブに要する経費		主要事業	0					
	関連する施策名	2-②-1 ライフスタイルにあわせた多様な	子育て支援策	重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	「日民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、子ども・子育て支援事業計画等に基づき、待機児童解への取り組みをはじめとして、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、 各的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。								
	事業年度	平成17年度から実施 ※平成17年11月1日から公設公営。								
	事業の実施目的 及び概要	就労等により昼間保護者等監護する者がいない家庭の児童の健全育成を図るため、授業の終了した放課後 及び長期休業その他学校休業日、土曜日において、家庭にかわる適切な遊び及び生活の場を提供する。								
	対 象	市内の小学校に就学中の児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいない児童								
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	児童福祉法、印西市子ども・子育て支援事業	計画							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果						
	令和2年度	・学童クラブの実施及びサービス充実の検討 ・民間学童クラブ3か所開所 ・民間学童クラブ3か所開所 ・民間学童クラブへの補助の実施(10学童クラブ) ・民間学童クラブ設置の検討 ・指定管理者による運営(9学童クラブ) ・指定管理者選定(3学童クラブ)	<ul> <li>・公立学童クラブ(22学童クラブ・民間学童クラブ(10学童クラブ (10学童クラブ 公設民営(指定管理者) 9学 民設民営 10学童クラブ 計32学童クラブ</li> </ul>	)への運営費補						

2.事業費の財源内訳

4. 于木具以州师门	7 P/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)	38,803,000	38,803,000	0	36,073,000	120,637,000	234,316,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額	82,356,000	63,158,000	0	36,073,000	112,702,000	294,289,000
		決算額	69,156,000	61,465,000	0	28,699,470	61,465,620	220,786,090

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	学童保育実施個所数	箇所	目標値	26	26	27	27	27
	子里休月夫他他所致	固別	実績値	26	26	27	29	32
活動指標	入所定員数	1	目標値	1,101	1,131	1,171	1,171	1,171
心刬徂徕	八別足貝奴	^	実績値	1,101	1,131	1,171	1,266	1,400
			目標値					
			実績値					
	入所児童数	1	目標値	938	981	1,025	1,068	1,077
	八川元里数	_ ^	実績値	905	1,075	1,122	1,257	1,351
成果指標	入所待機児童数	1	目標値	0	0	0	0	0
从木田保	八川可极光里数		実績値	32	53	92	43	25
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

	4.争耒に刈りる計画									
I	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)							
	①活動に対する評価	A 目標値を上回る								
	②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	待機児童の解消にいたらなかった。							
	③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	待機児童の解消にいたらなかった。							

3. 7後の万円圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	今後、指定管理者制度を促進、民間学童クラブへの補助を継続的に行い、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進め、児童への適切な遊び及び生活の場を提供する。

节和2年度 分 美施計画事業評価票										
1. 事業の概要				事業番号	36					
	実施計画事業名	学童クラブ施設整備事業	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部保育課 管理係	建康子ども部保育課 管理係							
担当即有守	款項目及び予算名	3款 3項 5目 児童福祉施設費		新市基本計画						
	予算事業名	学童クラブ施設整備事業		主要事業	0					
	関連する施策名	2-②-1 ライフスタイルにあわせた多様な	子育て支援策	重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	5民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、子ども・子育て支援事業計画等に基づき、待機児童解消への取り組みをはじめとして、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。								
	事業年度	平成26年度より実施(事業分割)								
	事業の実施目的 及び概要	学童クラブへのニーズの高まりに対応するため、計画的な学童クラブの整備を図るとともに、安全で快適な保育環境を確保するため、老朽化した学童クラブの計画的な改修を実施する。								
	対 象	学童クラブ未設置校、待機児童発生学童クラブ、印西市立学童クラブ								
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	児童福祉法、印西市子ども・子育て支援事業	計画							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果						
	令和2年度	・学童クラブの新設等の検討 ・原第3学童クラブ新設工事設計 ・内野学童クラブ新設工事設計 ・西の原学童クラブ新設(移転)工事	・原第3学童クラブ新設工事設計 ・内野学童クラブ新設工事設計 ・西の原学童クラブ新設(移転) を図った。 ・原第3学童クラブ新設工事を た。 ・内野学童クラブ新設工事を実 ・牧の原第2学童クラブの新設: 度工事設計)	を行った。 工事を実施し、8 実施し、80名の5 施し、80名の定	定員増を図った。					

2.事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	36,620,000	9,155,000	60,400,000	0	15,211,000	121,386,000	
		予算現額	111,692,000	27,923,000	180,900,000	54,829,000	45,694,000	421,038,000	
		決算額	112,608,000	28,152,000	98,100,000	54,829,000	39,301,592	332,990,592	

3. 指標及び実績値

5. 相保及U关模 指	 漂内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	新設・改修工事の実施	箇所	目標値		0	1	1	3
	数	自力	実績値		0	1	1	3
活動指標			目標値					
心划旧宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標			目標値					
从木田保			実績値					
			目標値			·	·	
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未にNyの計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

3. 7後の万円圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和3年度は、印西市立牧の原小学校に2か所目の学童クラブを整備(新設工事設計)を行う予定。

			事業番号	37					
実施計画事業名									
担当部署名	健康子ども部子育て支援課 給付係	建康子ども部子育て支援課 給付係							
款項目及び予算名	3款 3項 2目 児童措置費		新市基本計画						
予算事業名	児童手当給付事業、子ども手当給付事業	<u> </u>	主要事業						
関連する施策名	2-2-1 ライフスタイルにあわせた多様な	子育て支援策	重点施策	0					
施策の方向性	の取り組みをはじめとして、多様な保育サービ	民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、子ども・子育て支援事業計画等に基づき、待機児童解消へ取り組みをはじめとして、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済 、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。							
事業年度	昭和46年度から実施(平成22年度から平成23年度は子ども手当)								
事業の実施目的 及び概要	記章を養育している人に手当を支給する事により、家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全 3育成及び資質の向上を図る。								
対 象	中学校3年生までの子ども								
根拠法令·関連計画 等	児童手当法								
年度	年度計画の内容	年度の事業	<b>≹実績∙成果</b>						
令和2年度	・児童手当の支給	・児童手当の支給により、子育られた。	で家庭の経済的負	負担の軽減が図					
	担当部署名 款項目及び予算名 予算事業名 関連する施策名 施策の方向性 事業年度 事業の実施目的 及び概要 対象 根拠法令・関連計画等	担当部署名 健康子ども部子育て支援課 給付係 款項目及び予算名 3款 3項 2目 児童措置費 予算事業名 児童手当給付事業、子ども手当給付事業 関連する施策名 2-②-1 ライフスタイルにあわせた多様な・ 市民が安心して子どもを出産し育てていける。の取り組みをはじめとして、多様な保育サービ的、精神的負担の軽減など子育て家庭への通事業年度 昭和46年度から実施(平成22年度から平成2 事業の実施目的 及び概要 児童を養育している人に手当を支給する事にな育成及び資質の向上を図る。 対象 中学校3年生までの子ども 根拠法令・関連計画 等 児童手当法 年度 年度計画の内容 ・児童手当の支給	担当部署名 健康子ども部子育て支援課 給付係  款項目及び予算名 3款 3項 2目 児童措置費  予算事業名 児童手当給付事業、子ども手当給付事業 関連する施策名 2-2-1 ライフスタイルにあわせた多様な子育て支援策  市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、子ども・子育て支援事業計画の取り組みをはじめとして、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づく的、精神的負担の軽減など子育で家庭への適切な支援を進めていきます。  事業年度 昭和46年度から実施(平成22年度から平成23年度は子ども手当)  事業の実施目的及び概要 児童を養育している人に手当を支給する事により、家庭における生活の安定とな育成及び資質の向上を図る。  対 象 中学校3年生までの子ども  根拠法令・関連計画 等 児童手当法  年度 年度計画の内容 年度の事業・・児童手当の支給により、子育でもれた。	実施計画事業名 児童手当の給付  担当部署名 健康子ども部子育で支援課 給付係  款項目及び予算名 3款 3項 2目 児童措置費 新市基本計画 予算事業名 児童手当給付事業、子ども手当給付事業 主要事業 関連する施策名 2一②一1 ライフスタイルにあわせた多様な子育で支援策 重点施策  市民が安心して子どもを出産し育でていけるよう、子ども・子育で支援事業計画等に基づき、待の取り組みをはじめとして、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくと的、精神的負担の軽減など子育で家庭への適切な支援を進めていきます。  事業年度 昭和46年度から実施(平成22年度から平成23年度は子ども手当)  事業の実施目的 及び概要 児童を養育している人に手当を支給する事により、家庭における生活の安定と次代の社会を担な育成及び資質の向上を図る。  対 象 中学校3年生までの子ども  根拠法令・関連計画 等 児童手当法  年度 年度計画の内容 年度の事業実績・成果 ・児童手当の支給により、子育で家庭の経済的負られた。					

2.事業費の財源内訳

4. 于木貝切別源門											
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計			
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	1,332,071,000	280,906,000			282,334,000	1,895,311,000			
		予算現額	1,332,071,000	280,906,000			282,953,000	1,895,930,000			
		決算額	1,325,407,998	282,056,666			283,930,827	1,891,395,491			

3. 指標及び実績値

5. 指標及び美積	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
児童知	児童手当給付事業の周		目標値	5	5	5	5	5
	知	Ш	実績値	5	5	6	6	6
活動指標			目標値					
/口到11元			実績値					
			目標値					
			実績値					
	児童手当支給対象児童	ı	目標値	13,000	13,182	13,235	13,155	13,063
	数	\ \	実績値	13,657	14,178	14,748	15,268	15,748
成果指標			目標値					
<b>以</b> 本旧标			実績値					
			目標値				·	
			実績値					

4.事業に対する評価

4.7	未に対りる計画		
	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
	②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
	③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 写伎の万미性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	制度についての周知を図りつつ、法令等に基づき支給を継続していく。

1. 事業の概要				事業番号	38					
	実施計画事業名	子ども医療費助成事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部子育て支援課 給付係								
担当即有守	款項目及び予算名	4款 1項 3目 母子衛生費		新市基本計画	0					
	予算事業名	子ども医療費助成事業		主要事業	0					
	関連する施策名	2-②-1 ライフスタイルにあわせた多様な	子育て支援策	重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	への取り組みをはじめとして、多様な保育サー	市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、子ども・子育て支援事業計画等に基づき、待機児童解消への取り組みをはじめとして、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。							
	事業年度	昭和61年度から実施								
	事業の実施目的 及び概要	子どもの医療に要する費用を負担する保護者に、当該費用の全部又は一部を助成することにより、子どもの 保健対策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を図る。								
	対 象	印西市に住民登録があり、健康保険に加入している中学校3年生までの子どもの保護者								
事業内容等	根拠法令·関連計画等	千葉県子ども医療助成事業補助金交付要綱 印西市子ども医療費助成規則								
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果						
	令和2年度	医療費等の助成 医療費等を助成したことにより、子どもの保健対策 子育て世帯の経済的負担の軽減が図れた。 ・助成件数 184,807件 ・助成額 381,085,487円								

2.事業費の財源内訳

	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		<b>積算額</b> (当初予算額)		149,443,000		1,187,000	374,374,000	525,004,000
	令和2年度	予算現額		115,203,000		1,187,000	309,355,000	425,745,000
		決算額		105,080,000		1,428,834	287,336,165	393,844,999

3. 指標及び実績値

15. 日保及び天順	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	子ども医療費助成事業	0	目標値	3	3	3	3	3
	の周知(広報への掲載)	Ш	実績値	7	6	5	4	3
活動指標	受給発行枚数	枚	目標値	15,000	15,100	15,200	15,100	15,000
/ 山 刬 旧 信	文和光1]仪数	松	実績値	15,704	16,383	16,968	17,640	18,246
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標			目標値					
<b>八木</b> 佰倧			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に対りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

I	3. <b>ラ後の方向性</b> 今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	1 事業を現行のまま継続して実施	新たな対象者への個別通知や広報への掲載を実施し、確実な事業周知を図っていく。

	节7	和2年度 分	実施計画事業	評価景				
1. 事業の概要					事業番号	39		
	実施計画事業名	高校生等医療費	別成事業					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部子育っ	て支援課 給付係					
但当即看守	款項目及び予算名	4款 1項 3目 母	子衛生費		新市基本計画			
	予算事業名	高校生等医療費助	成事業		主要事業	0		
	関連する施策名	2-②-1 ライフスタ	イルにあわせた多様な	子育て支援策	重点施策	0		
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、子ども・子育て支援事業計画等に基づき、待機児童解消への取り組みをはじめとして、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。						
	事業年度	平成29年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	高校生等の医療に要する費用を負担する保護者に、当該費用の全部又は一部を助成することにより、保護 者の経済的負担の軽減を図る。						
	対 象	印西市に住民登録があり、健康保険に加入している高校生等の保護者						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市高校生等医療	費助成規則					
	年度	年度計	画の内容	年度の事業	ŧ実績∙成果			
	令和2年度	・医療費の助成		医療費等を助成したことにより、 子育で世帯の経済的負担の軽. ・助成件数 13,785件 ・助成額 38,042,623円		策の充実及び		

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					36,264,000	36,264,000
財源内訳(円)		予算現額					39,264,000	39,264,000
		決算額					38,306,623	38,306,623

3. 指標及び実績値

1. 指標及び天順	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	高校生等医療費助成事	0	目標値		3	3	3	3
	業の周知	ш	実績値		7	4	4	2
活動指標	助成件数	件	目標値					
/白到7日1宗	划以干数	H	実績値		7,384	13,232	3 3 3 4 4 2 12 14,292 13,785	13,785
	助成額	Ħ	目標値					
	功队银	1.1	実績値		17,752,593	32,934,457	38,928,183	38,042,623
			目標値					292 13,785
			実績値					
成果指標			目標値					38,928,183 38,042,623
从木1口示			実績値					
			目標値					
			実績値				3 3 4 2 14,292 13,785	

4.事業に対する評価

_	4.争耒に刈りる計画		
	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価		広報掲載回数は目標に達しなかったものの、ホームページへの事業掲載や窓口で新たな対象者が確認できた際には事業紹介を実施した。
	②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	助成件数、金額の実績増減が事業評価に必ずしもつながるものとはならないが、事業の 周知に関しては目標未達となった。

<u> 5. 亨俊の万円性</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新たな対象者への個別通知や広報への掲載を実施し、確実な事業周知を図っていく。

1. 事業の概要				事業番号	40				
	実施計画事業名	子育てヘルプサービス事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部子育て支援課 支援係							
近当即有书	款項目及び予算名	3款 3項 1目 児童費福祉総務費		新市基本計画	0				
	予算事業名	子育てヘルプサービス事業		主要事業					
	関連する施策名	2-2-1 ライフスタイルにあわせた多様な	子育て支援策	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、子ども・子育て支援事業計画等に基づき、待機児童解消への取り組みをはじめとして、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、経済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。							
	事業年度	平成18年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	一時的に家事、育児等の支援が必要な家庭にホームヘルパーを派遣することにより、保護者と児童等の生活の安定を図り、ゆとりある子育てを支援する。							
	対 象	市内に居住し、かつ、在宅している小学生以下の児童がいる世帯							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	子ども・子育て支援事業計画							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・ホームヘルパーの派遣	ホームヘルパーを派遣し、家事者と児童の生活の安定を図るこ (実績) 授乳62回 沐浴の介助95回、居室の清掃オムツ交換88回、買い物45回 食事の準備164回、その他(上 衣服の洗濯及び補修99回	とができた。 及び整理181回	l				

2.事業費の財源内訳

2. 于木貝以州(赤)	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)				351,000	3,361,000	3,712,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額				351,000	3,306,000	3,657,000
		決算額				226,200	2,495,148	2,721,348

3. 指標及び実績値

1. 指標及び天橋	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	利用登録数	ı	目標値	40	45	50	50	50
	利用 <b>全</b> 球数 		実績値	23	44	59	65	49
活動指標	周知件数	件	目標値	750	1,230	1,250	1,250	1,250
/ 山 刬 拍 信		1+	実績値	1,193	1,132	1,670	1,670 1,693 1,844	
			目標値					
			実績値					
	利用者アンケート実施件	件	目標値	40	45	50	50	50 50 65 49 1,250 1,250 1,693 1,844
	数	H	実績値	23	44	55	63	
成果指標	利用件数	件	目標値	60	65	70	70	100
从木田保	がかける	IT	実績値	51	120	111	100	73
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刃りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	コロナ禍で利用者数が減った為。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

3. 予後の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	母子手帳配布時、ブックスタート時等に周知を図り、小学生以下の児童がいる一時的に家事、育児等の支援が必要な世帯(産前、産後、傷病等)への支援を図っていく。

	<b>፲</b> ፻	和2年度 分 美施計画事業	評価景						
1. 事業の概要				事業番号	41				
	実施計画事業名	ひとり親家庭等支援事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部子育て支援課 給付係/児	皇童相談係/支援係						
担ヨ即省寺	款項目及び予算名	3款 3項 3目 母子福祉費		新市基本計画					
	予算事業名	ひとり親家庭等支援事業、ひとり親家庭	等医療費助成事業	主要事業					
	関連する施策名	2-2-1 ライフスタイルにあわせた多様な	子育て支援策	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産し育てていける への取り組みをはじめとして、多様な保育サー 済的、精神的負担の軽減など子育て家庭へ	ービスの展開や良好な保育環境	づくりを進めてい					
	事業年度	平成20年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	助言や指導を行うための母子・父子自立支援	は子家庭の母や父子家庭の父が将来にわたり自立し、安定的な生活を送ることができるよう、自立に必要な 対言や指導を行うための母子・父子自立支援員の設置や各種給付金の支給などを行う。 に、ひとり親家庭等の医療費を助成することにより、ひとり親家庭の福祉の増進を図る。						
	対 象	母子家庭の母、父子家庭の父、父母のいない児童の扶養義務者							
事業内容等		印西市母子・父子自立支援員設置規則、印西市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例施行規則、印西市ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金の支給に関する要綱、印西市ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等の支給に関する要綱・印西市ひとり親家庭等ファミリーサポートセンター利用料助成要綱							
	年度	年度計画の内容		美実績•成果					
	令和2年度	・相談体制として母子・父子自立支援員を設置 ・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金の支約 ・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等の支給 ・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援 ・ひとり親家庭等医療費等の助成 ・ひとり親家庭等ファミリーサポートセンター利用料助成	自立支援員による4 実施したことにより 合付金 6件 516 合付金 2件 2.88 忠定試験合格支援 件・1,744回 8,650, センター利用料助所	、ひとり親家庭 6,716円 0,000円 0件 445円					

#### 2.事業費の財源内訳

- T 不 尺 V M M N N	3 D/ \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	2,609,000	3,642,000			5,084,000	11,335,000
		予算現額	2,609,000	4,854,000			8,442,000	15,905,000
		決算額	2,609,000	4,342,494			7,515,462	14,466,956

#### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事業の周知(広報への		目標値	8	8	8	8	8
活動指標	掲載)	Ш	実績値	12	12	4	12	12
/ 山 刬 拍 保	母子・父子自立支援員 による相談事業実施日 数	日	目標値	240	240	240	240	240
		П	実績値	243	246	244	243	243
	母子·父子自立支援員		目標値	35	35	35	35	35
成果指標	への相談延人数	^	実績値	49	44	27	16	27
从木相保			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

I	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	②成果に対する評価		事業番号46家庭児童相談事業における相談件数は増加傾向にあり、母子・父子自立支援に限らず、総合的な相談支援を行っているため。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	広報やホームページ等により情報提供の充実を図り、ひとり親家庭の自立支援に努める。

1. 事業の概要				事業番号	42				
	実施計画事業名	ひとり親家庭等生活向上事業	トとり親家庭等生活向上事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部子育て支援課 支援係	- 建康子ども部子育て支援課 支援係						
担当即有守	款項目及び予算名	3款 3項 1目 児童福祉総務費		新市基本計画					
	予算事業名	ひとり親家庭等生活向上事業		主要事業	0				
	関連する施策名	2-②-1 ライフスタイルにあわせた多様な	子育て支援策	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民が安心して子どもを出産し育てていけるよう、子ども・子育て支援事業計画等に基づき、待機児童解消への取り組みをはじめとして、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進めていくとともに、総済的、精神的負担の軽減など子育て家庭への適切な支援を進めていきます。							
	事業年度	令和元年度から新規モデル事業として実施							
	事業の実施目的 及び概要	生活保護世帯やひとり親世帯等への支援として、学習支援や居場所の提供を行い家族への支援を図る。							
	対 象	生活保護世帯及びひとり親世帯等の児童(小学校4年生から18歳まで)							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	生活困窮者自立支援法、母子家庭、父子家庭又はひとり親家庭等生活向上事業実施要綱、千葉県母子 庭等対策費補助金交付要綱							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果					
		・生活保護世帯及びひとり親世帯等の児童 (小学校4年生から18歳まで)を対象に学習 支援や居場所の提供を行うことにより、基本 的な日常生活習慣や学習習慣の定着等を 行う	置日) 曜日)(令和2年度 80名」、「中学生・ とから、今後の事 rート調査を実施	高校生等の部 業の継続及び					

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)	73,000	7,201,000			2,475,000	9,749,000
		予算現額	73,000	6,761,000			3,051,000	9,885,000
		決算額	73,000	6,760,000			3,042,985	9,875,985

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	周知回数		目標値				3	3
活動指標		쁘	実績値				3	3
心到旧保			目標値					
			実績値					
	利用者数	,	目標値				60	60
成果指標	利用有数	^	実績値				13	33
从木油坑			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		事業利用者数が定員数を下回ったため、事業周知を図り、利用者の増加を図る必要が ある。
②成果に対する評価		事業利用者数が定員数を下回ったが、アンケート調査の結果、勉強の意欲向上に繋がっており、成果が出たとの意見が多かったため。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	事業周知を図り、利用者の増加を図る必要がある。

<u>5. 今後の方向性</u>

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	利用者数が目標を下回ったが、利用者やその保護者からは、学習への取り組みや成績向上の他にも家での生活の様子等に効果があったとの声も上がり、利用者には一定の効果が見られた。 今後は、事業周知及び対象者への事業案内の配布やアンケート調査を実施し、利用者の増加を図っていく。また、利用者が継続して事業へ参加できるよう、スタッフの確保及び資質向上について事業者へ求めていく。

1. 事業の概要				事業番号	43		
	実施計画事業名	特定不妊治療費助成事業					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部健康増進課 母子保健係					
担当即有守	款項目及び予算名	4款 1項 3目 母子衛生費		新市基本計画			
	予算事業名	特定不妊治療費助成事業		主要事業			
	関連する施策名	2-2-1 ライフスタイルにあわせた多様な	子育て支援策	重点施策	0		
基本計画における 位置付け	画等に基づき、行 づくりを進めてい 。						
	事業年度	平成27年度から実施					
	事業の実施目的 及び概要	不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、高額な医療費のかかる、配偶者間の体外受精・顕微拐る経費である特定不妊治療費の一部を助成する。					
事業内容等	対 象	5つの要件を満たしている方 1. 本人及び配偶者が、申請日において住民 ていること 2. 戸籍上夫婦であること 3. 申請日において、本人及び配偶者に印西 4. 千葉県特定不妊治療費助成事業の交付: 5. 千葉県に提出する「特定不妊治療受診等 月1日以降になっていること	市税の滞納がないこと 決定を受けていること				
	根拠法令·関連計画 等						
	年度	年度計画の内容	1.2.1	美実績・成果			
	令和2年度	・特定不妊治療費の一部助成 ※補助率…千葉県特定不妊治療費助成決 定額を差し引いた自己負担金額の1/2補 助 (限度額 7万5千円) ・パンフレット等による事業の周知	・特定不妊治療費の一部助成 助成決定数(実):57件(延) 男性不妊治療再掲(実):1件 ※補助率…千葉県特定不妊治 自己負担金額の1/2補助(限 ・パンフレット等による事業の周	(延):1件 療費助成決定額 度額 7万5千円			

2.事業費の財源内訳

2. 学未真切别 源户	7句 5							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)					5,704,000	5,704,000
	令和2年度	予算現額					5,704,000	5,704,000
		決算額					5,595,000	5,595,000

3. 指標及び実績値

指标	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	助成申請者数	組	目標値	70	75	80	85	90
	<b>列</b> 从中胡石	<b>小</b> 丘	実績値	101	92	125	76	96
活動指標			目標値					
/白3月1日1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	助成利用者数	組	目標値	70	75	80	85	90
	奶烧机用有数	九	実績値	100	92	125	76	96
成果指標			目標値					
以木田宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

ア・デオ にとり プロコ 画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	国の3次補正予算に伴う改正により、助成対象者の要件や助成額等の改正があり、内容が拡充された。今後も助成申請者が増えることが予想される。 引き続き不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図る。

1. 事業の概要				事業番号	44				
	実施計画事業名	家庭児童相談事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部子育て支援課 児童相談(	系						
担当即看守	款項目及び予算名	3款 3項 1目 児童福祉総務費		新市基本計画					
	予算事業名	家庭児童相談等に要する経費		主要事業					
	関連する施策名	2-2-2 子どもと親とを支える子育て環境	きづくり	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	不安や悩みを抱えずに楽しく子育てができる てに関する相談・助言等ができる体制を強化 づくりができる場の提供を進めていきます。							
	事業年度	平成8年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	子育てへの不安や悩みを軽減及び児童の心の痛みを的確に捉え、いじめや不登校及び児童虐待の減少に つながるよう、家庭における適正な養育等家庭児童の福祉に関する相談及び指導の充実強化を図る。							
	対 象	18歳までの児童について養育上の諸問題を持つ家庭							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	児童福祉法							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・家庭相談員による相談業務の実施(電話、 面接、訪問)	・相談業務を通して子育てへのできた。 ・関係機関とのケース会議を行 努めた。						

2.事業費の財源内訳

<u>ナ 木 貝 ツ 州 州 川</u>	I DI N							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					33,000	33,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					33,000	33,000
		決算額					29,713	29,713

3. 指標及び実績値

5. 相保及び <b>矢</b> 積 指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	家庭相談室の周知		目標値	12	12	12	12	12
	(広報への掲載)	Щ	実績値	12	12	12	12	12
活動指標			目標値					
/白 到 1日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	相談件数	件	目標値	970	900	900	900	900
	行政に致	П	実績値	855	740	1,366	1,660	1,343
成果指標			目標値					
/人术]日/示	从不1日1示		実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に別りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	年間12回広報掲載により、児童相談所の周知を実施している。今後も継続予定。
②成果に対する評価		「189(いちはやく)」や「子ども110番」の利用など、家庭児童相談室や児童相談所に連絡する者が増えていると思われる。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	相談に関しては、これまで通り電話、面接、訪問等で対応し、市民にとって利用しやすい 相談窓口になるよう取り組んでいく必要がある。

3. 7後の万円圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	子どもや家庭に関する問題や不安について解決ができるよう、専門職の設置をすすめる等、家庭児童相談の体制強化を図っていく。

1. 事業の概要				事業番号	45			
	実施計画事業名	児童虐待防止対策事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部子育て支援課 児童相談(	系					
担当即有守	款項目及び予算名	3款 3項 1目 児童福祉総務費	新市基本計画					
	予算事業名	子ども虐待防止対策事業		主要事業				
	関連する施策名	2-②-2 子どもと親とを支える子育て環境	うくり	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	不安や悩みを抱えずに楽しく子育てができる てに関する相談・助言等ができる体制を強化 づくりができる場の提供を進めていきます。						
	事業年度	平成17年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	身体的虐待、面前DVなどの児童虐待が年々増加していることから、虐待の防止及び対策に関し、多様な機 関と連携を図りきめ細やかな対応が求められている。 児童虐待の早期発見や適切な保護を図り児童虐待の減少に努める。						
	対 象	啓発については市民。相談等については18歳までの児童及びその保護者。						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	児童虐待の防止等に関する法律、児童福祉						
尹未內合守	年度	年度計画の内容	1.2.	美実績·成果				
	令和2年度	・虐待防止の啓発 ・会議等の実施	代表者会議、実務者会議等を行情報を共有し支援方策の検討、た。・代表者会議 R2.7.31 14名中・実務者会議 4回実施・進行管理会議 8回実施・個別支虐・6個別支虐・6間対した事発用のティ児童専門部会員の協力により5で地域行事等が無かったことがで地域行事等が無かったことが	. 適切な対応に多 13名出席 ツシュ4,000個を 2施設、1機関に	をおいることができません。 主任児童委員・配布。コロナ禍			

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					264,000	264,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					264,000	264,000
		決算額					157,200	157,200

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	•会議開催数(代表者		目標値	13	13	13	13	13
	会議•実務者会議等)	亘	実績値	12	13	13	13	13
活動指標	・街頭啓発の実施		目標値	11	11	11	11	11
/白 划 1日1宗	「国頭合光の天心	ī	実績値	13	12	10	10	0
			目標値					
			実績値					
	関係機関との連携等に より児童虐待件数等の		目標値					
	減少に努める	П	実績値					
成果指標			目標値					
以木田宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に対りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		関係機関との定期的な会議の開催が予定通り行われている。また、主任児童委員や民生委員を含む児童専門部会の協力を得て、公共施設等53カ所での啓発を行った。
②成果に対する評価		関係機関との定期的な会議の他、個別支援会議を行うことで、ケース対応の共通認識 が図られていることから今後も積極的に開催をしていきたい。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	主任児童委員等地域の力を通じて児童虐待予防・早期発見の啓発が行われている。また、関係機関との会議を通じた連携及び、個別支援会議で虐待ケースへの対応の共通 認識が行図れている。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	児童虐待の予防・早期発見をこれまで通り実施しつつ、関係機関との連携を強化し、虐待ケースについての保護、支援に努めていく。

1. 事業の概要				事業番号	46				
	実施計画事業名	父親育児支援事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部子育て支援課 支援係							
担当即有守	款項目及び予算名	3款 3項 1目 児童福祉総務費		新市基本計画					
	予算事業名	(地方創生)父親育児支援事業		主要事業					
	関連する施策名	2-②-2 子どもと親とを支える子育て環境	うづくり	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	不安や悩みを抱えずに楽しく子育てができるよう、また子どもたちが心身ともに健やかに成長する てに関する相談・助言等ができる体制を強化していくとともに、身近な地域で子育て中の親子が交 づくりができる場の提供を進めていきます。							
	事業年度	平成27年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	若い夫婦や子育て世代が比較的多いことから、ワーク・ライフ・バランスの実現による父親の育児参加を促進することで、出産・子育てのしやすい環境づくりを目指す。							
	対 象	乳幼児等を養育する保護者(父親)							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	まち・ひと・しごと創生法 子ども・子育て支援	事業計画						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・父親子育て手帳の作成 ・父親育児セミナーの実施	・父親子育て手帳:1,000部作 ・父親育児セミナー:新型コロナ により中止		感染予防対策				

2.事業費の財源内訳

4. 于木具以州师门	7 P/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					279,000	279,000
		予算現額					279,000	279,000
		決算額					237,688	237,688

3. 指標及び実績値

5. 田保及び天順	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	父親育児手帳発行部	部	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	数	며	実績値	911	966	784	807	851
活動指標			目標値					
心到田保			実績値					
			目標値					
			実績値					
	父親育児セミナー参	,	目標値	30	30	30	30	30
	加人数	_ ^	実績値	41	20	30	31	中止
成果指標			目標値					
从木油坑			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刃りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	健康増進課の母子健康手帳交付時に父親子育て手帳を配布。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症感染予防対策により事業を中止。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響により父親育児セミナーが中止。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	父親育児手帳は今後も継続して配布。父親育児セミナーについては、事業の内容や、実施方法 の検討を行い、今後も新型コロナウイルス感染症による影響が生ずる場合はリモートやオンライ ンによる実施も検討する。

	节7	和2年度 分 実施計画事業	評価景							
1. 事業の概要				事業番号	47					
	実施計画事業名	子ども発達センター事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	福祉部障がい福祉課 子ども発達センタ	<del>7</del> —							
但当即有守	款項目及び予算名	3款 3項 5目 児童福祉施設費	新市基本計画	0						
	予算事業名	子ども発達センター相談事業、子ども発	も発達センター相談事業、子ども発達センター療育事業							
	関連する施策名	2-②-2 子どもと親とを支える子育て環境	きづくり	重点施策						
基本計画における 位置付け	施策の方向性	下安や悩みを抱えずに楽しく子育てができるよう、また子どもたちが心身ともに健やかに成長するよう、子育 にに関する相談・助言等ができる体制を強化していくとともに、身近な地域で子育て中の親子が交流し、仲間 びくりができる場の提供を進めていきます。								
	事業年度	平成17年度から実施	- 平成17年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	発達障害者支援法の趣旨に基づき、発達障害を早期に発見し発達障害児の自立及び社会参加に資するよう生活全般にわたる支援を行う。また、児童福祉法に基づき、障害児に日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への支援を図る。								
	対 象	0歳~就学前児								
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	発達障害者支援法、児童福祉法								
	年度	年度計画の内容	1.02	美震績・成果						
	令和2年度	・巡回相談等の実施 ・知識啓発のための定期的な学習会の開催 ・発達の遅れなどのある子どもへの支援	・市内の保育園及び幼稚38園に対 実施した。園での対応方法やアドバの理解が図られた。 ・学習会の開催は新型コロナの影響 修で学んだことを支援の場で実践し を行った。 ・利用者のニーズと状況に合わせた を設定し療育を行った。契約者121、 した。小集団の療育の中で、問題が が身についた。	バイスを行い支援かい で実施を見合わったり必要な保護者 プループを組み、 人に対し延べ3,557	必要なお子さん さた為、職員研 に対し情報提供 それぞれに課題 回の療育を実施					

2.事業費の財源内訳

4.尹未真の別派り	/61							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)		2,678,000		4,885,000	1,731,000	9,294,000
		予算現額		2,678,000		4,885,000	1,731,000	9,294,000
		決算額		2,941,580		4,248,615	1,171,253	8,361,448

3. 指標及び実績値

3. 拍標及び美積 指	<del>[E</del> 標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	定期巡回相談事業	0	目標値	40	60	60	60	60
		Ш	実績値	37	66	58	64	62
活動指標	療育日数	В	目標値	237	237	237	237	237
/ 山 刬 扫 信示		н	実績値	235	232	234	235	184
			目標値					
			実績値					
	定期巡回相談人数	人	目標値	200	250	250	250	250
	<b>上</b>		実績値	138	244	211	228	215
成果指標	療育延人数	人	目標値	5,700	5,000	5,000	5,000	5,000
从木油坑	7. 月 些 八 数		実績値	4,614	4,740	5,016	4,217	3,557
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

サ・尹木 に 刈り 包計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナの影響により、約2か月療育の実施を見合わせたため実績値が目標を下回っています。
②成果に対する評価		新型コロナの影響により、約2か月療育の実施を見合わせたため療育延べ人数の実績値が目標を下回っています。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

3. 才发60万间压	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	引続き巡回相談の実施及び利用者のニーズや状況に合わせた療育体制を整え、質の高いサービスの提供に努めます。

1. 事業の概要				事業番号	48				
	実施計画事業名	地域子育て支援拠点事業							
<b>声</b> ₩ 欠 耳 1 °	担当部署名	健康子ども部子育て支援課 支援係							
事業名及び 担当部署等	款項目及び予算名	3款 3項 5目 児童福祉施設費		新市基本計画	0				
	予算事業名	小林子育て支援センターに要する経費・中央 業活動に要する経費・滝野子育て支援センタ 場事業、こぎつねコンタの広場、わくわくぽか する経費	主要事業						
	関連する施策名	2-2-2 子どもと親とを支える子育て環境	づくり	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	不安や悩みを抱えずに楽しく子育てができるよう、また子どもたちが心身ともに健やかに成長するてに関する相談・助言等ができる体制を強化していくとともに、身近な地域で子育て中の親子が交づくりができる場の提供を進めていきます。							
	事業年度	平成17年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導、子育てに関する情報提供や交流事業などを行い、 より身近な地域で子育て不安の解消等に向けた「子育て支援」の充実に取り組む。							
	対 象	妊産婦又は乳幼児(O歳から就学前まで)及びその保護者							
	根拠法令·関連計画 等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、子ども・	子育て支援事業計画						
	年度	年度計画の内容		美実績・成果					
事業内容等	令和2年度	ンター、滝野子育て支援センター、西の原保育園にあらで事業を実施(週6日開設) ※基本事業に加え地域に出向いた地域支	びの指導や地域の子育て支援 世代の親子のふれあいや、親同など、育児への孤立感や虐待[0]	:等による子どもの推進を図った。 可推進を図った。 司士の情報交換 方止の仲間作りを 「拠点事業を実施 時間制限(1時間	への健全な遊また、子育で 及び育児相談 する子育で世 した。新型コロ				

2.事業費の財源内訳

<u> </u>	2. 于木具V州//// / / / / / / / / / / / / / / / / /										
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計			
		<b>積算額</b> (当初予算額)	7,148,000	7,148,000			37,090,000	51,386,000			
	令和2年度	予算現額	7,148,000	7,148,000			37,090,000	51,386,000			
		決算額	7,148,000	7,148,000			35,186,130	49,482,130			

3. 指標及び実績値

5. 相保及い失稿	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	地域子育て拠点事業	事業	目標値	17	17	17	17	17
	地域丁月   拠点争未	尹未	実績値	17	17	20	21	24
活動指標	育児相談実施回数	回	目標値	820	1,300	1,300	1,300	1,300
/山 到 1日 1示		ī	実績値	1,292	1,313	1,561	1,522	400
			目標値					
			実績値					
	地域子育て拠点事業	人	目標値	47,000	47,000	47,000	47,000	53,500
	利用者数		実績値	75,110	72,718	73,336	65,186	33,453
成果指標	育児相談利用者数	人	目標値	2,800	3,300	3,300	3,300	3,300
从未担保 目光	月九佰政机而省数		実績値	3,248	3,467	3,338	2,668	409
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

 アネルツッツ町岬		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		新型コロナウィルス感染症予防対策により、4月から事業休止、7月より再開のため、実施回数の減。
②成果に対する評価		新型コロナウィルス感染症予防対策により、4月から事業休止、7月より再開のため、利用者数が減。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウィルス感染症予防対策により、4月から事業休止、7月より再開のため、利用者数が減。

O: / D(00/01/19]II	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業継続(現行のまま継続)	子育て支援センター及び児童館の24か所で子育て支援拠点事業を実施し、乳幼児の保護者及び妊産婦に対し、子育て支援対策として子育てに関する相談・指導及び情報提供等を提供する。

·- ·	加4年度 刀 天旭司 四争未	- H       -   -   -   -   -   -   -   -							
			事業番号	49					
実施計画事業名	オープァミリーサポートセンター事業								
担当部署名	健康子ども部子育て支援課 支援係								
款項目及び予算名	3款 3項 1目 児童福祉総務費	款 3項 1目 児童福祉総務費 新市基本計画							
予算事業名	ファミリーサポートセンター事業		主要事業						
関連する施策名	2-2-2 子どもと親とを支える子育て環境	きづくり	重点施策						
施策の方向性									
事業年度	平成19年度から実施								
事業の実施目的 及び概要	育児の援助を行いたい者と育児の援助を受けたい者からなる会員組織として「ファミリーサポートセンター」を 設立し、会員同士が育児に関する相互援助活動を行うことを支援する事業を実施することにより、仕事と育 児を両立できる環境を整備する。								
対 象									
根拠法令·関連計画 等	  児童福祉法、児童福祉法施行規則、子ども・ 	子育て支援法、子ども・子育て支	援事業計画						
年度	年度計画の内容	年度の事業	実績・成果						
令和2年度	・事業の実施 ・会員の募集 ・会員対象の研修の実施 ・会員対象の研修の実施 ・会員対象の研修の実施 ・会員対象の研修の実施 ・会員対象の研修の実施 ・子どもの預かりや送迎など、地域ることができた。 ・子ですで支援歌へのチラシの配で事業の周知及び会員の確保に会員を対象に保健師、看護師、保		目互援助活動を到域への子育て支 己布、広報紙、ホ に努めた。 保育士などの専	による研 による研					
	担当部署名 款項目及び予算名 予算事業名 関連する施策名 施策の方向性 事業年度 事業の実施目的 及び概要 対象 根拠法令・関連計画等 年度	担当部署名     健康子ども部子育で支援課 支援係     款項目及び予算名	担当部署名 健康子ども部子育て支援課 支援係  款項目及び予算名 3款 3項 1目 児童福祉総務費  予算事業名 ファミリーサポートセンター事業 関連する施策名 2一②一2 子どもと親とを支える子育て環境づくり  不安や悩みを抱えずに楽しく子育てができるよう、また子どもたちが心身ともしてに関する相談・助言等ができる体制を強化していくとともに、身近な地域でづくりができる場の提供を進めていきます。  事業年度 平成19年度から実施  事業の実施目的	実施計画事業名					

#### 2.事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	積算額 (当初予算額)	1,920,000	1,920,000			2,776,000	6,616,000
		予算現額	2,452,000	1,953,000			2,765,000	7,170,000
		決算額	2,452,000	1,953,000			2,731,388	7,136,388

#### 3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	周知回数		目標値	32	32	32	32	32
活動指標		ш	実績値	32	53	36	41	32
	利用会員数(両方会	1	目標値	450	500	500	500	500
/ 山 刬 旧 信	員を含む)		実績値	554	606	663	675	708
	提供会員数(両方会員を含む)	人	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	150	150	171	185	160
	利用件数	件	目標値	1,300	1,350	1,400	1,450	1,450
	では、一下女	П	実績値	1,073	1,252	965	1,690	1,335
成果指標			目標値					
以木伯倧			実績値					
			目標値					
			実績値					

#### 4.事業に対する評価

	ア・デオトハック町間		
ı	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の流行により、提供会員が減少した。
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の流行により、利用者が減少した。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> 0. 7 数の分下に</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	利用会員数の減少及び提供会員数が少ないため、今後は利用会員・提供会員の増加に向け、周知を図っていく。

1. 事業の概要				事業番号	50				
	実施計画事業名	都市再生機構事務所用地の活用							
事業名及び	担当部署名	企画財政部資産経営課 資産経営係							
担当部署等	款項目及び予算名	3款 1項 1目 社会福祉総務費 2款 1項 1目 一般管理費		新市基本計画					
	予算事業名	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合が	<b>ō</b> 設整備事業	主要事業	0				
	関連する施策名	6-3-2 持続可能な行財政運営の実現		重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	行政改革大綱に基づく事務事業の見直し、2 運営の推進などにより、自立した基礎自治体す。また、総合計画に基づき持続可能な行助	としての総合的かつ専門的な行						
	事業年度	令和元年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	JR都市再生機構事務所跡地を活用し、市民福祉の向上を図るための複合施設を整備する。							
	対 象	市民							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	UR都市再生機構事務所用地活用に係る施設を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を備方針、(仮称)千葉ニュータウン	中央駅圏複合施	设整備基本計画				
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	<ul><li>事業者の選定準備</li><li>・UR都市再生機構事務所及び付帯施設の解体工事</li></ul>	・(仮称) 千葉ニュータウン中央 に向けて、UR都市再生機構事 を行った。 ・(仮称) 千葉ニュータウン中央 民間事業者の募集に向けて、 に、当該事業の実施方針及び	務所及び付帯施 駅圏複合施設の 事業手法等の検記	設の解体工事 整備等を行う 対を行うととも				

2.事業費の財源内訳

4. 于木貝の別源ド	1 D/\							
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					167,750,000	167,750,000
	令和2年度	予算現額					181,737,000	181,737,000
		決算額					141,000,700	141,000,700

3. 指標及び実績値

5. 指係及び失順	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	(仮称)千葉ニュータウン中央駅 圏複合施設整備基本計画策定	0	目標値				7	_
	庁内検討会議の回数	ы	実績値				7	_
活動指標	(仮称)千葉ニュータウン中央駅 圏複合施設整備基本計画策定		目標値				4	_
	委員会の回数	ī	実績値				4	_
	市民アンケート・パブリックコメン		目標値				1	_
	٢	ī	実績値				1	_
	基本計画策定に関する	%	目標値				100	100
	事業実施率	70	実績値				95	100
成果指標			目標値					
汉末田倧			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u>り. 71枚のカドリエ</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	千葉ニュータウン中央駅圏における多種多様な市民ニーズに対応するため、民間事業者の創意 工夫や資金等を活用した事業手法により、新たな複合施設を整備する。

1. 事業の概要				事業番号	51		
	実施計画事業名	老人福祉センター・老人憩いの家	施設運営				
	担当部署名	福祉部高齢者福祉課 生きがい支援係					
事業名及び 担当部署等	款項目及び予算名	3款 2項 2目 高齢者福祉施設費(一	般会計)	新市基本計画			
	予算事業名	総合福祉センター施設管理に要する経費、係 する経費、保健福祉センター施設管理に要す ター事業に要する経費、そうふけ老人福祉セ	主要事業				
	関連する施策名	2-3-1 高齢者の生きがいづくりと社会参	加の促進	重点施策	0		
基本計画における 位置付け	施策の方向性	高齢者が健康で生きがいを持った生活を営めるよう、交流の促進や就労の支援を行うことで、多様な分野における自発的な社会参加を推進していきます。					
	事業年度	昭和62年度から実施					
	事業の実施目的 及び概要	高齢者の健康の増進、教養の向上及びレク! の展開を行う。	Jエーションのための便宜を供与	するため施設の	提供及び事業		
	対 象	60歳以上の市民					
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	老人福祉法、地方自治法					
	年度	年度計画の内容		美実績·成果			
	令和2年度	け)、老人憩いの家1館(滝野)における各種	高齢者の生きがいづくりや健康 目的に、施設の運営や事業を行け、高齢者同士の交流を図ると 生きがいづくりの推進を図った。	った。また、自E ともに、サークル	由来館の場を設		

#### 2.事業費の財源内訳

2. 尹未真の別線内部								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	積算額 (当初予算額)	0	0	0	22,873,000	131,744,000	154,617,000
財源内訳(円)		予算現額	0	0	0	22,873,000	132,354,000	155,227,000
		決算額	0	0	0	22,058,000	122,332,442	144,390,442

### 3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	活動施設(老人福祉セン	施設	目標値	4	4	4	4	4
	ター・老人憩いの家)	心改	実績値	4	4	4	4	4
活動指標	主催事業開催日	В	目標値	178	200	200	200	200
/白到/旧标	土惟争未闭惟口	Ц	実績値	199	156	152	129	72
			目標値					
			実績値					
	施設延べ利用者数	1	目標値	60,000	60,000	60,000		60,000
	心放延、利用有效	Α	実績値	50,916	60,156	52,495	42,330	19,786
成果指標	主催事業参加人数	1	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
八木111宗	工作争未参加入奴	^	実績値	1,793	1,610	1,770	1,804	865
		•	目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.事業に对する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	中央老人福祉センター"いこいの湯"について、レジオネラ属菌の検出に伴う改修工事のため、1年間休止しており、主催事業(ふれあいサタデー)が未実施であったこと及び、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館や主催事業の中止により、主要事業開催日数が減少した。
②成果に対する評価		中央老人福祉センター"いこいの湯"について、レジオネラ属菌の検出に伴う改修工事のため、1年間休止していたこと及び新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館や主催事業の中止により、設利用者数及び主催事業参加人数が減少した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	中央老人福祉センター"いこいの湯"の休止及び新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館により、目標値を大きく下回った。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を実施しながら、施設利用者数の回復及び増加に努めるとともに、"いこいの湯"については、改修工事が完了したことから、設備等の衛生管理をより 徹底し、安定的な運営を行う。

1. 事業の概要				事業番号	52			
	実施計画事業名	高齢者クラブ活動推進事業	動推進事業					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	福祉部高齢者福祉課 生きがい支援係						
担当即看奇	款項目及び予算名	3款 2項 1目 高齢者福祉総務費(一	般会計)	新市基本計画				
	予算事業名	高齢者クラブ活動推進事業		主要事業				
	関連する施策名	2-3-1 高齢者の生きがいづくりと社会	参加の促進	重点施策	0			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	高齢者が健康で生きがいを持った生活を営めるよう、交流の促進や就労の支援を行うことで、多様な分野における自発的な社会参加を推進していきます。						
	事業年度	昭和39年度から実施						
			者の生きがい対策や健康な体の維持につなげることを目的に、高齢者クラブが高齢者の自主的活動 :して活発な活動ができるよう、指導者の育成や組織づくりの支援を行う。					
	対 象	印西市高齢者クラブ会員						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	老人福祉法						
	年度	年度計画の内容	1 122 1 0 1	業実績·成果				
	令和2年度	・高齢者クラブ事業活動への支援及び活動 費の助成	高齢者の生きがいづくりや体の目的としており、令和2年度は、響で行事がほぼ中止となったが活動を行った。	新型コロナウイル	ス感染症の影			

2.事業費の財源内訳

2. 于未真以别源内部								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)		2,315,000			3,394,000	5,709,000
財源内訳(円)		予算現額		2,315,000			3,394,000	5,709,000
		決算額		1,977,000			2,003,933	3,980,933

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	高齢者クラブ会員数	人	目標値	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700
	同断石ソノノ云貝奴		実績値	2,383	2,313	2,275	2,222	1,933
活動指標	高齢者クラブ活動事	事業	目標値	50	50	50	50	50
/ 白刬相保	業数	<b>学</b> 术	実績値	43	41	45	44	47
			目標値					
			実績値					
	総合運動会参加者数	参加者数 人	目標値	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
	松口建划云梦加有奴	^	実績値	952	627	846	706	2,222 1,933 50 50 44 47
成果指標	市作品展出品者数	人	目標値	150	150	150	150	150
以未担保	川下加坡山加石数		実績値	158	152	155	144	中止
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる計画					
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)			
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的に活動ができず目標値を下回った。			
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業の実施を中止したことにより、目標値を下回った。			
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症のため事業等の活動ができず目標値を下回った。			

3. 予後の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	高齢者の積極的な社会参加の場として、高齢者が健康で活動的な生活を送り、生きがいを持って 地域社会の活性化を図ることができるよう今後も支援していく。

1. 事業の概要				事業番号	53					
	実施計画事業名	高齢者就労支援事業								
事業名及び	担当部署名	福祉部高齢者福祉課 生きがい支援係	福祉部高齢者福祉課 生きがい支援係							
担当部署等	款項目及び予算名	3款 2項 1目 高齢者福祉総務費(一	般会計)	新市基本計画	0					
	予算事業名	高齢者就労支援センター運営に要する経費 補助事業	、シルバー人材センター運営費	主要事業						
	関連する施策名	2-3-1 高齢者の生きがいづくりと社会者	参加の促進	重点施策	0					
基本計画における 位置付け										
	事業年度	平成17年度から実施(平成9年度から実施)								
	事業の実施目的 及び概要	高齢者の豊かな経験と知識、技能を発揮し、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、高齢者の 生活の安定と生きがいの確保を目的とし、高齢者就労支援センターにおいて高齢者の就労を支援する。 また、高齢者に臨時的・短期的な就業を提供するシルバー人材センターの運営を支援する。								
	対 象	60歳以上の市民								
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	地方自治法、高年齢者等の雇用の安定等に	:関する法律							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果						
	令和2年度	・高齢者就労支援センターの運営(指定管理者による管理運営) ・技術講習会の実施 ・研修会の実施 ・就業情報の提供 ・シルバー人材センター運営費の補助及び 指導、助言	高齢者就労支援センターの講開催した。 また、入会説明会参加者に対して「ハローワーク成田」や「白井行った。	ン、就業情報の <b>提</b>	供を目的とし					

2.事業費の財源内訳

2. 尹未真の別源り	761							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		<b>積算額</b> (当初予算額)					12,267,000	12,267,000
	令和2年度	予算現額					12,267,000	12,267,000
		決算額					12,267,000	12,267,000

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	講座∙講習会開催数		目標値	4	5	5	5	5
	神圧 神日玄川底数	П	実績値	5	5	8	6	1
活動指標	事業受託件数	件	目標値	2,350	2,500	2,500	2,500	2,500
/口到][日]示	李未又礼什奴	IT	実績値	2,445	2,368	2,307	2,270	2,024
			目標値					
			実績値					
	講座·講習会参加者	1	目標値	120	140	160	180	200
	数(延べ)	^	実績値	115	93	124	56	7
成果指標	受注契約金額	千円	目標値	205,000	220,000	225,000	230,000	235,000
<b>八木</b> 扫标	文件关利亚镇	713	実績値	214,508	214,614	204,162	209,637	189,932
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		新型コロナウイルス感染症の影響により受託件数は減少しているが公共事業は前年度 より増加した。
②成果に対する評価		一部講習会について、コロナウイルスの発生を受け開催を自粛した。また、講座内容のマンネリ化を避けるため、今後は参加者からアンケートを取る等して新規メニューの開拓をするよう工夫する。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、講座は1回のみの実施となったが、 今後も広報や町内会回覧等を実施し、啓発していく。

3. 子夜切力问任	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、高齢者の生活の安定と生きがいの確保を目的とし、引き続き高齢者就労支援センターにおいて、高齢者の就労を支援する。

	TD1	N2年度 分 美胞計画争员	未计测示	į					
1. 事業の概要				事業番号	54				
	実施計画事業名	介護保険事業							
	担当部署名	福祉部高齢者福祉課 介護認定給付金							
事業名及び 担当部署等	款項目及び予算名	2款1項1目施設/2目居宅/3目密着型/4目目審査支払	日特定入所者/5目介護支援/6	新市基本計画	0				
	予算事業名	施設、居宅、密着型、特定入所者、居宅介護支型介護予防、介護予防支援、特定入所者介護 <sup>3</sup>		主要事業					
	関連する施策名	2-3-2 地域ぐるみで高齢者を支える見	守り・予防・介護の仕組みづくり	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	高齢者が要介護状態になることを予防し、また、要介護状態になっても住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域包括ケアシステムの構築を図るとともに、ケアプランに基づく必要な介護サービスや介護予防、在宅福祉サービスの充実を図っていきます。							
	事業年度	平成12年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要		加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴・排泄・食事等の介護を 要する方に対して、自立した日常生活を営むことができるよう、必要なサービスの給付を行う。						
	対 象	要介護等認定者							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	老人福祉法、介護保険法、第7期印西市高	5齢者福祉計画及び介護保険事	<b>事業計画</b>					
	年度	年度計画の内容	1 12 1	業実績·成果					
	令和2年度	・各サービス給付事業(施設・居宅・地域 密着型・特定入所者・居宅介護支援・審査 支払・介護予防・地域密着型介護予防・介 護予防支援・特定入所者介護予防)		等の介護を要す、自立した日常生 、の給付を行った 居宅・地域密着型	る方に対して、 活を営むことが こ。 !・特定入所者				

2.事業費の財源内訳

	3 D/ \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	899,467,000	753,397,000		2,010,799,000	1,494,423,000	5,158,086,000
		予算現額	899,467,000	753,397,000		2,010,801,000	1,464,571,000	5,128,236,000
		決算額	899,467,000	753,397,000		1,850,246,417	1,484,107,810	4,987,218,227

3. 指標及び実績値

3. 拍標及び美種	<del>[2</del> 標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	<b>△#</b> ₩↓#	7 M	目標値	4,509,580	4,921,678	4,655,156	4,932,538	5,575,000
	介護給付費	千円	実績値	3,967,659	4,064,945	4,268,049	4,982,856	4,987,218
活動指標	要介護認定者	I	目標値	2,826	3,006	3,000	3,113	3,249
/ 山 刬 扫 1 示	女 月	^	実績値	2,710	2,913	3,013	3,099	3,149
			目標値					
			実績値					
	介護が必要になって		目標値					
	も高齢者が地域で安		実績値					
成果指標	心して暮らしていける 事を目指すとともにい		目標値					
从未归标	つまでも自立した生活		実績値					
	を送れるよう支援しま		目標値			· ·		
す。		実績値						

4.事業に対する評価

4.事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	国の動向を注視しながら介護保険事業を継続していく。

1. 事業の概要				事業番号	55				
	実施計画事業名	地域包括支援センター運営事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	福祉部高齢者福祉課 包括支援係							
但当即省守	担当即者等 款項目及び予算名 3款 1項 1目 包括的支援事業・任意事業費(介護保険特別会計)								
	予算事業名	包括的支援事業・任意事業		主要事業					
	関連する施策名	2-3-2 地域ぐるみで高齢者を支える見	守り・予防・介護の仕組みづくり	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	高齢者が要介護状態になることを予防し、また、要介護状態になっても住み慣れた地域での生活を継続るよう、地域包括ケアシステムの構築を図るとともに、ケアプランに基づく必要な介護サービスや介護予防在宅福祉サービスの充実を図っていきます。							
	事業年度	平成18年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、地域包括支援センターが中心となり、高齢者に対し、ニーズや心身の状態の変化に応じた適切なサービスを包括的・継続的に 提供できるよう支援を行う。							
	対 象	65歳以上の市民及び40歳以上65歳未満の	35歳以上の市民及び40歳以上65歳未満の特定疾病該当者						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	介護保険法、第7期印西市高齢者福祉計画	及び介護保険事業計画						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・地域包括支援センターの運営 ・高齢者虐待防止ネットワーク事業 ・認知症施策の推進 ・在宅医療・介護連携の推進 ・生活支援体制整備の推進 ・地域ケア会議の推進	・地域包括支援センターは5か所設置し 施染防止に努めたり創意工夫しながら事 ・高齢者虐待ネットワーク連絡協議会を ・認知症施策の推進は、認知症力工、影 新型コロナのため中止したが、代替えと 括単位で個別相談会の開催や掲示板の ・在宅医療・介護連携推進事業は、推進 モートやネット上の掲示板を活用した。 ・生活支援体制整備事業は、サポーター ・地域ケア会議は研修会や地域ケア会影	事業を実施した。 1回開催した。 2回開催した。 2回症サポーター養原 して認知症予防をHP 設置等を行った。 会議は書面開催とし 養成講座等を開催し	戊講座(小学校)は 上で啓発したり、包 、各連絡会はリ た。(参加者19名)				

2.事業費の財源内訳

- T - T - T - T - T - T - T - T - T - T	I PAY N							
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	積算額 (当初予算額)	42,546,000	21,273,000		21,273,000	25,417,000	110,509,000
		予算現額	42,546,000	21,273,000		21,273,000	25,417,000	110,509,000
		決算額	41,478,080	20,739,040		20,739,040	24,779,115	107,735,275

#### 3. 指標及び実績値

<b>3. 指標及ひ美積1</b>	Е								
指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	地域包括支援セン	件	目標値	3	5	5	5	5	
	ターの設置	П	実績値	3	5	5	5	5	
活動指標	地域包括支援センター・ 在宅介護支援センター	件	目標値	1,800	2,000	150	150	150	
<b>冶</b> 划 担 保	運営事業(高齢者実態把握)	Ħ	実績値	1,773	199	147	169	196	
	認知症サポーター養		回	目標値	25	25	26	27	28
	成講座の開催	ī	実績値	25	23	22	25	5	
	総合相談支援利用者	件	目標値	2,500	3,000	3,000	3,000	3,000	
	数	П	実績値	2,372	3,406	3,935	3,752	4,635	
成果指標	予防給付ケアプラン・予防	件	目標値	650	800	800	800	800	
八木111宗	ケアマネジメント作成件数	IT	実績値	679	469	681	616	764	
	認知症サポーター養	<b>養</b> 」	目標値	500	500	1,120	1,130	1,140	
	成講座受講者数		実績値	1,103	1,117	1,133	1,276	107	

4.事業に対する評価

_	4 尹未に刈りる計画		
	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	地域包括支援センターに関しては目標値を達成できている。認知症サポーター養成講座 については、小学校が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたことにより目 標値に到達できなかった。
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	総合相談支援利用者数については年々伸びており目標値を達成できている。認知症サポーター養成講座については、小学校が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたことにより目標値に到達できなかった。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	地域包括支援センターに関しては、ケアプラン等作成件数も延びており、ほぼ目標は達成できている。認知症サポーター養成については、新型コロナ感染拡大防止のため中止とした。

1	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	1 事業を現行のまま継続して実施	地域包括ケアシステムの深化・推進のため、地域包括支援センターの安定した運営を継続する。 今後の課題としては、高齢者人口の増加に伴い圏域の見直しや増員についての検討、コロナ禍 での事業の実施について検討する。

1. 事業の概要				事業番号	56			
	実施計画事業名	介護予防事業						
事業名及び	担当部署名	福祉部高齢者福祉課 生きがい支援係	•包括支援係					
担当部署等	款項目及び予算名	3款 1項 2目 介護予防·日常生活支援総	合事業費(介護保険特別会計)	新市基本計画	0			
	予算事業名	一般介護予防事業に要する経費、介護 ス事業に要する経費	予防・日常生活支援サービ	主要事業	0			
	関連する施策名	2-3-2 地域ぐるみで高齢者を支える見	守り・予防・介護の仕組みづくり	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	高齢者が要介護状態になることを予防し、まきるよう、地域包括ケアシステムの構築を図防、在宅福祉サービスの充実を図っていきま	るとともに、ケアプランに基づく必					
	事業年度	平成18年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	各種介護予防事業の取組により、要介護状で生活を継続することができるように支援す		に、高齢者が住	み慣れた地域			
	対 象	65歳以上の市民						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	地域支援事業実施要綱(国)、第7期印西市	高齢者福祉計画及び介護保険	事業計画				
	年度	年度計画の内容	1 100	実績・成果				
	令和2年度	<ul><li>動いて!認知症予防</li><li>脳の健康教室</li><li>介護支援ボランティア事業</li><li>いんざい健康ちょきん運動</li></ul>	コロナ禍で一部事業が中止となった 護予防を実施した。 地域で住民主体で行う「いんざい健 ナ禍で実施できるよう、感染対策や 取組状況等、必要な情報を随時提 た。 ・動いて!認知症予防(6回実施 ・脳の健康教室(12回実施 ・介護女援ボランティア事業(登録者 ・いんざい健康ちょきん運動(1,409[	康ちょきん運動」に 実施時の注意事り 供し、活動継続のが 上人数65人) 57人) 660人 受入施設等	こついても、コロ 夏、各グループの こめの支援を行っ 等指定施設数25)			

2.事業費の財源内訳

4. 事不良以別哪門	10/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)	2,407,000	1,203,000		4,002,000	2,015,000	9,627,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額	2,407,000	1,203,000		4,002,000	2,015,000	9,627,000
		決算額	1,398,110	873,819		2,800,268	1,918,354	6,990,551

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	介護支援ボランティア	1	目標値	85	90	95	100	110
	の登録人数	^	実績値	68	64	68	85	60
活動指標	いんざい健康ちょきん	地区	目標値	17	19	21	23	25
/口到][日]示	運動実施地区	地区	実績値	45	58	66	70	72
			目標値					
			実績値					
	介護支援ボランティア	か所	目標値	16	18	18	18	18
	の受入施設	73 - 131	実績値	17	17	21	25	25
人 成果指標	いんざい健康ちょきん	人	目標値	318	1,100	1,150	1,200	1,250
从木101末	運動実施人数	<b>\</b>	実績値	1,074	1,335	1,459	1,468	967
			目標値		·		·	
			実績値					

4.事業に対する評価

ア・デオトクリッの円間		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響で、介護支援ボランティア受入施設での活動が中止となり、登録人数も減少した。いんざい健康ちょきん運動の実施地区も新型コロナウイルス感染症の影響で、新規立ち上げ数も激減したが、目標値は上回っている。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響のため、いんざい健康ちょきん運動の活動を休止する グループが多く、実施人数が減少した。介護支援ボランティアの受入施設での活動も中 止しているものの、登録数は昨年と変化なく、目標値も上回っている。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、事業の中止や活動の休止がみられ、目標値に届かない指標があった。その一方で、目標値を上回っている指標もある。 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、介護予防事業を実施していく必要がある。

0. / 皮の/パロ	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、目標値に達せない指標もあった。しかし、コロナ 禍だからといって介護予防事業を中止してしまうと、身体機能の低下にもつながってくる。そのため、コロナ 禍でも感染対策を講じながら介護予防事業に取り組めるよう、検討していく必要がある。

节和2年度 分 美施計画争耒評価祟							
1. 事業の概要				事業番号	57		
	実施計画事業名	高齢者在宅福祉事業					
事業名及び	担当部署名	福祉部高齢者福祉課 生きがい支援係					
担当部署等	款項目及び予算名	3款 2項 1目 高齢者福祉総務費(一般会計) 4款 1項 1目 保健福祉事業費(介護保険特別会計) 新市基本計画					
	予算事業名	高齢者在宅福祉事業、保健福祉事業に	要する経費	主要事業	0		
	関連する施策名	2-3-2 地域ぐるみで高齢者を支える見っ	守り・予防・介護の仕組みづくり	重点施策			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	高齢者が要介護状態になることを予防し、また、要介護状態になっても住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域包括ケアシステムの構築を図るとともに、ケアプランに基づく必要な介護サービスや介護予防、在宅福祉サービスの充実を図っていきます。					
	事業年度	平成13年度から実施					
	事業の実施目的 及び概要	高齢者が在宅において安心して生活し健康? 庭生活での自立を支援する。	を保持できるよう、介護予防・生活	舌支援の観点から	ら高齢者の家		
	対 象	高齢者及び在宅高齢者を介護する家族					
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	第7期印西市高齢者福祉計画及び介護保険 第7期印西市高齢者福祉計画及び介護保険	事業計画				
	年度	年度計画の内容	1.02	美実績・成果			
	令和2年度	・外出支援サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ・福祉タクシー事業など ・高齢者ふれあいバス無償化事業	介護予防・生活支援の観点から 援した。 ・日常生活用具給付等サービス /月) ・外出支援サービス延利用件数 ・救急医療情報キット配布数 1 ・福祉タクシー延利用回数 2.11 ・高齢者ふれあいバス無料乗車	·事業(緊急通報 7 252件 04件 61件	表置貸与200人		

2.事業費の財源内訳

	3 (A) (							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					18,188,000	18,188,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					18,188,000	18,188,000
		決算額					17,114,311	17,114,311

3. 指標及び実績値

3. 拍憬及ひ美粮		N/ //	- "	_	- 5 / -			
指标	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	 外出支援サービス	円	目標値	1,900,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
	77四又版り こへ	С	実績値	2,064,800	1,866,200	1,792,000	1,960,000	1,764,000
活動指標	日常生活用具給付等	円	目標値	7,200,000	7,200,000	7,200,000	7,200,000	7,200,000
/口到]日1示	サービス	1.1	実績値	6,775,810	6,852,158	6,900,772	6,817,403	6,991,988
			目標値					
			実績値					
	要支援、要介護状態に陥らず、在宅 において安心して生活し健康を保持		目標値					
	できるよう、高齢者の家庭生活での 自立を支援する。		実績値					
成果指標			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	高齢者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、引き続きサービスを継続する。

1. 事業の概要				事業番号	58				
	実施計画事業名	<b>障がい福祉サービス事業</b>							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	福祉部障がい福祉課 給付係							
担当即看守	款項目及び予算名	3款 1項 2目 障害福祉費		新市基本計画					
	予算事業名	障害者自立支援給付事業		主要事業	0				
	関連する施策名	2-3-3 障がいのある人へのきめ細かな	生活支援と社会参加の促進	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	障がいのある人一人ひとりの心身の状況や個別のニーズに応じた、生活介護や居宅介護などの事業、グループホーム事業や就労継続支援の訓練等給付事業の福祉サービス及び福祉施設のていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を推進しま							
	事業年度	平成18年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	障がいのある人の福祉の増進を図ることを目的とし、障がいのある人が基本的人権を享有する個人としての 尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスに係る給付る の他の支援を行う。							
	対 象	障害者総合支援法に基づく障害者等							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	障害者総合支援法、児童福祉法、印西市障	害者プラン						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスの提供・児童福祉法に基づく障がい児通所支援(児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援)	障がいのある人が、自ら障害福 請に基づき必要なサービスを受 を営むことができるよう支援した	けることにより、					

2.事業費の財源内訳

<u> </u>	3 P/V							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	860,277,000	430,139,000			430,139,000	1,720,555,000
		予算現額	860,277,000	430,139,000			475,711,000	1,766,127,000
		決算額	784,914,034	410,987,272			515,891,275	1,711,792,581

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	障害福祉サービス受	ı	目標値	680	720	760	800	840
	給者証交付人数	^	実績値	679	761	826	882	935
活動指標	障害支援区分認定調	1	目標値	80	90	95	100	105
/白到1日1宗	查人数	^	実績値	89	129	157	103	138
			目標値					
			実績値					
	障害福祉サービス利	1	目標値	680	720	760	800	840
	用実人数	^	実績値	667	747	795	816	828
成果指標			目標値					
从木田宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる許伽		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	相談事業により、認定調査人数が増加し、障がいのある方の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供に繋がった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	障がいのある方の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供に繋がった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	障がいのある方の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供に繋がった。

0. 子及60万円正	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き障がいのある方の個々の心身の状況やニーズに応じた福祉サービス及び福祉施設の 充実を図っていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的・経済的な自立 を支援していく。

1. 事業の概要				事業番号	59				
	実施計画事業名	地域生活支援事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	福祉部障がい福祉課 給付係							
担当即看守	款項目及び予算名	3款 1項 2目 障害福祉費		新市基本計画	0				
	予算事業名	障害者自立支援給付事業		主要事業					
	関連する施策名	2-③-3 障がいのある人へのきめ細かな	生活支援と社会参加の促進	重点施策	0				
基本計画における 位置付け 施策の方向性 「でいくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を推進し									
	事業年度	平成18年度から実施							
		障がいのある人が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や障がいのある人の状況に応じて、効率的・効果的な福祉サービス事業の推進を図るとともに、コミュニケーション等におけるバリアの解消を図る。							
	対 象	障害者総合支援法に基づく障害者等							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	<b>p</b> 障害者総合支援法、印西市障害者プラン							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	<b>業実績・成果</b>					
	令和2年度	・相談支援事業 ・意思疎通支援事業 ・日常生活用具の給付 ・移動支援事業 ・地域活動支援センター事業 (I・II・III 型) ・成年後見制度利用支援事業	障がいのある人がその有する 日常生活又は社会生活を営む						

2.事業費の財源内訳

4. 于木具以州师门	1 D/N							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	82,233,000	41,116,000			109,445,000	232,794,000
		予算現額	83,861,000	41,930,000			110,261,000	236,052,000
		決算額	44,687,000	21,528,000			135,177,156	201,392,156

3. 指標及び実績値

1. <b>指標及び実積値</b> 指標内容		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	移動支援事業委託契	所	目標値	8	13	13	13	13
	約事業所数	ולז	実績値	13	15	12	12	13
活動指標	日中一時支援事業委	所	目標値	37	37	37	37	37
/ 山 判 旧 伝	託契約事業所数	ולז	実績値	35	35	43	43	45
			目標値					
			実績値					
	移動支援事業利用実	Д	目標値	106	110	110	110	110
	人数		実績値	104	108	118	110	80
成果指標	日中一時支援事業利	ı	目標値	125	170	170	170	170
从木田宗	用実人数	^	実績値	165	151	146	165	149
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

	4.争耒に刈りる計画		
I	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	②成果に対する評価		移動支援サービス利用者数は、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響ため滅になったと思われる。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	平成30年度より基幹相談支援センターを設置し、24時間・365日の相談支援が行える体制を整備し、相談事業の充実を図ることができた。 今後も障がいのある人が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援を行うため引き続き事業を継続する。

1. 事業の概要				事業番号	60				
	実施計画事業名	重度心身障がい者医療費助成事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	福祉部障がい福祉課 給付係							
但当即看守	款項目及び予算名	3款 1項 2目 障害福祉費		新市基本計画					
	予算事業名	障害者援護費		主要事業					
	関連する施策名	2-3-3 障がいのある人へのきめ細かな	生活支援と社会参加の促進	重点施策	0				
基本計画における 位置付け									
	事業年度	昭和49年度から実施							
		障がいのある人及びその家族の経済的負担の軽減を図るため、重度の心身に障がいのある人に対する医療費等の一部を助成する。							
	対 象	印西市重度心身障害者の医療費助成に関する条例第3条							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市重度心身障害者の医療費助成に関す	- -る条例						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	<b>業実績・成果</b>					
	令和2年度	・保険内診療費等の自己負担の一部を助成	重度心身障害者の医療費を助 人及びその家族の経済的負担 30,800件)						

2.事業費の財源内訳

ナ <b>イ</b> 見 <i>ツ州(III)</i>									
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
		<b>積算額</b> (当初予算額)	0	65,896,000	0	19,686,000	125,110,000	210,692,000	
	令和2年度	予算現額	0	65,896,000	0	19,686,000	125,110,000	210,692,000	
		決算額	0	56,537,000	0	21,237,304	105,625,071	183,399,375	

3. 指標及び実績値

3. 徂憬及び天順]								
指标	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	重度心身障がい者医		目標値	1	1	1	1	1
	療費助成事業広報掲 載回数	回	実績値	1	1	1	1	1
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	重度心身障がい者医療		目標値	標値 制度の周知を図り、重度障害者を対象に、請求のあった医療				
	費助成制度の周知と重 度障がい者の負担軽減		実績値	負担の一部を	助成することで	で、重度障害者	の負担軽減に	つなげる。
成果指標 成果指標			目標値					
<b> 火水  </b>			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> 3. 7後のカ門圧</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	平成27年8月1日の制度改正により対象者の拡充を行っており、今後も重度の障がいのある人及びその家族の経済的負担の軽減を図るため、引き続き事業を継続する。

1. 事業の概要				事業番号	61				
	実施計画事業名	<b>障がい者グループホーム運営費</b>	等補助事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	福祉部障がい福祉課 給付係							
担当即有守	款項目及び予算名	3款 1項 2目 障害福祉費		新市基本計画					
	予算事業名	障害者援護費		主要事業					
	関連する施策名	2-3-3 障がいのある人へのきめ細かな	生活支援と社会参加の促進	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性		がいのある人一人ひとりの心身の状況や個別のニーズに応じた福祉サービス及び福祉施設の充実を図っいくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を推進します。						
	事業年度	平成18年度から実施							
		障がい者グループホーム等に運営費の補助を行い、入居者の安定したサービスを提供することにより、地域 生活移行の促進を図る。また、グループホーム等に入居している障がいのある人へ家賃の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し、もって福祉の増進を図る。							
		印西市障害者グループホーム等入居者家賃 印西市障害者グループホーム等運営費補助		Ť					
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市障害者グループホーム等入居者家賃 印西市障害者グループホーム等運営費補助							
	年度	年度計画の内容	1.02	業実績·成果					
	令和2年度	・グループホーム等への運営費補助 ・入居障がい者への家賃の一部助成	運営費の補助及び入居する障を助成することにより、経済的負因った。 助成数 グループホーム等入局グループホーム等運営費	負担の軽減と日常 B者家賃助成 83	生活の確保を				

### 2.事業費の財源内訳

4. 中木貝WMWM	2. 字木貝以州 - 原内 - 原									
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計		
		積算額 (当初予算額)		19,824,000			19,824,000	39,648,000		
	令和2年度	予算現額		19,824,000			19,824,000	39,648,000		
		決算額		13,611,464			13,611,464	27,222,928		

### 3. 指標及び実績値

3. 拍標及(		*****		_ 5 / -	_ 5 / -			
	指標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	グループホーム等入	人	目標値	46	72	78	84	90
活動指標	居者数	^_	実績値	66	74	85	100	115
	<b>=</b>		目標値					
	示		実績値					
			目標値					
			実績値					
	障害者グループホーム	%	目標値	82	83	84	85	86
	等入居者家賃助成率	70	実績値	65	66	68	69	72
成甲 长	<b>=</b>		目標値					
成果指標	示		実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に対りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	障がいのある人の地域生活移行の促進が図られた。
②成果に対する評価		グループホーム等に入居している障がいのある人の経済的負担が軽減され、福祉の増進が図られた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	グループホーム等の入居者の増により、障がいのある人の社会的、経済的な自立が推 進された。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き障がいのある人一人ひとりの心身の状況や個別ニーズに応じた福祉サービス及び福祉 施設の充実を図っていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的・経済的 な自立を支援していく。

下州2年及 才										
1. 事業の概要				事業番号	62					
	実施計画事業名	障がい者福祉施設整備事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	福祉部障がい福祉課 給付係								
近日的有分	款項目及び予算名	3款 1項 2目 障害福祉費		新市基本計画	0					
	予算事業名	障害福祉施設整備事業		主要事業						
	関連する施策名	2-③-3 障がいのある人へのきめ細かな	生活支援と社会参加の促進	重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性		がいのある人一人ひとりの心身の状況や個別のニーズに応じた福祉サービス及び福祉施設の充実を図 いくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を推進します。							
	事業年度	平成20年度から実施								
	事業の実施目的 及び概要	障がいのある人の福祉の増進を図るため、障がい者援護施設の整備を行う社会福祉法人等に対し、補助金 を交付することにより施設整備を推進する。また、障がいのある人の社会参加の促進等を図るため、障がい 者支援施設等整備を推進する。								
	対 象	社会福祉法人等								
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市障害者プラン								
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果						
	令和2年度	・障がい者施設整備の検討	生活介護支援事業所に対し発 し、災害時に備えた設備整備の		補助金を交付					

2.事業費の財源内訳

財源内訳(円) 令和2年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計		
		<b>積算額</b> (当初予算額)					0	0	
	令和2年度	予算現額					2,692,000	2,692,000	
		決算額					2,691,742	2,691,742	

3. 指標及び実績値

5. 指標及び美種	·標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	障がい者(児)福祉施設	件	目標値	1	0	1	1	1
整備補助交付決定件数 活動指標	整備補助交付決定件数	ŀ	実績値	1	0	0	0	3
			目標値					
			実績値					
	障がい者(児)福祉施設	件	目標値	1	0	1	1	3
	整備補助交付件数	IT	実績値	0	1	0	0	3
成果指標	市内施設数	件	目標値	42	44	45	47	49
以木田保	1月77月1世紀 女父	ŀ	実績値	43	48	54	59	65
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未にNyの計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 亏後の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も引き続き施設整備を行う事業者に補助金を交付し施設整備の充実を図る。

			事業番号	63			
実施計画事業名	ふれあいサポートセンターいんざい管理運営事業						
担当部署名	福祉部 障がい福祉課 支援係・給付係	•					
款項目及び予算名	3款 1項 2目 障害福祉費		新市基本計画	0			
予算事業名	障害福祉事業に要する経費		主要事業				
関連する施策名	2-3-3 障がいのある人へのきめ細かな	生活支援と社会参加の促進	重点施策	0			
施策の方向性	障がいのある人一人ひとりの心身の状況や個別のニーズに応じた福祉サービス及び福祉施設の充実を ていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を推進します。						
事業年度	平成30年度から実施						
	3 障がいを対象とする相談支援業務、就労相談業務のほか主に精神障がいのある人を対象とした自立訓練等の事業を実施、連携を図りながら一人でも多くの方が社会参加できるよう、支援をおこなう。						
対 象	印西市障がい者サポートセンター設置及び管理に関する条例第13条に該当する者						
根拠法令·関連計画 等	障害者総合支援法、印西市障がい者サポー	トセンター設置及び管理に関する	る条例				
年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
令和2年度	・自立訓練(生活訓練) ・特定相談支援 ・障がいのある人の就労相談 上記事業を指定管理者制度を導入して施設 運営を行う。						
	担当部署名 款項目及び予算名 予算事業名 関連する施策名 施策の方向性 事業年度 事業の実施目的 及び概要 対 象 根拠法令・関連計画 等 年度	担当部署名 福祉部 障がい福祉課 支援係・給付係 款項目及び予算名 3款 1項 2目 障害福祉費	担当部署名 福祉部 障がい福祉課 支援係・給付係  款項目及び予算名 3款 1項 2目 障害福祉費  予算事業名 障害福祉事業に要する経費  関連する施策名 2-3-3 障がいのある人へのきめ細かな生活支援と社会参加の促進  施策の方向性 障がいのある人一人ひとりの心身の状況や個別のニーズに応じた福祉サーていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的事業年度 平成30年度から実施  事業の実施目的 及び概要 3障がいを対象とする相談支援業務、就労相談業務のほか主に精神障がい等の事業を実施、連携を図りながら一人でも多くの方が社会参加できるよう、  対 象 印西市障がい者サポートセンター設置及び管理に関する条例第13条に該当  根拠法令・関連計画 等 障害者総合支援法、印西市障がい者サポートセンター設置及び管理に関する条例第13条に該当  根拠法令・関連計画 等 障害者総合支援法、印西市障がい者サポートセンター設置及び管理に関する条例第13条に該当  を度 年度計画の内容 年度の事業  ・自立訓練(生活訓練)・特定相談支援・障がいのある人の就労相談 指定管理者制度により障がいる図り、社会的、経済的な自立をを図った。	実施計画事業名 ふれあいサポートセンターいんざい管理運営事業  担当部署名 福祉部 障がい福祉課 支援係・給付係  款項目及び予算名 3款 1項 2目 障害福祉費 新市基本計画 予算事業名 障害福祉事業に要する経費 主要事業 関連する施策名 2-③-3 障がいのある人へのきめ細かな生活支援と社会参加の促進 重点施策  施策の方向性 障がいのある人一人ひとりの心身の状況や個別のニーズに応じた福祉サービス及び福祉施訂でいくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的、経済的な自立を推進し 事業年度 平成30年度から実施  事業の実施目的 及び概要 3障がいを対象とする相談支援業務、就労相談業務のほか主に精神障がいのある人を対象と等の事業を実施、連携を図りながら一人でも多くの方が社会参加できるよう、支援をおこなう。 対象 印西市障がい者サポートセンター設置及び管理に関する条例第13条に該当する者根拠法令・関連計画 等 障害者総合支援法、印西市障がい者サポートセンター設置及び管理に関する条例第2条例第13条に該当する者根拠法令・関連計画 等 障害者総合支援法、印西市障がい者サポートセンター設置及び管理に関する条例  年度 年度計画の内容 年度の事業実績・成果 ・自立訓練(生活訓練)・特定相談支援・障がいのある人への就労切り、社会的、経済的な自立を推進し、障がい者を図った。			

2.事業費の財源内訳

-· ナ ヘ 凡 ツ // // // // /								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)				19,085,000	32,198,000	51,283,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額				19,085,000	32,198,000	51,283,000
		決算額				26,982,214	23,567,550	50,549,764

3. 指標及び実績値

指标	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	ふれサポ懇親会		目標値				8	12
	かれり小恋机士	1	実績値				7	6
活動指標			目標値					
7日 3月1日1末			実績値					
			目標値					
			実績値					
	生活訓練事業	人	目標値				15	20
			実績値				16	18
成果指標	特定相談支援	件	目標値				50	70
从木油水	付足怕談又拔	1+	実績値				67	66
	就労相談支援	件	目標値				120	120
	州乃16改义1友		実績値				123	122

4.事業に対する評価

4.尹未に刃りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染防止のため、ふれサポ懇親会はほとんど開催できなかった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	着実に利用者が増加してきており、ほぼ目標値どおりであった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	生活訓練事業、特定相談支援及び就労相談支援はほぼ目標値どおりであり、地域の方 や利用希望者との懇親会などイベント事業は新型コロナウイルス感染防止のため、目標 値を下回ったが、利用者も増加してきている。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	ふれあいサポートセンターいんざいは、主に精神に障がいのある人の自立訓練、障がいのある 人の就労支援及び相談支援の3つを柱とし、障がいのある人等の自立と社会参加に向けて支援 を継続して行っていく。

			事業番号	64			
実施計画事業名	健康診査事業						
担当部署名	健康子ども部健康増進課 健康支援係						
款項目及び予算名	4款 1項 4目 健康づくり推進費		新市基本計画	0			
予算事業名	健康診査事業		主要事業				
関連する施策名	2-4-1 生涯いきいきと健やかに暮らすた	こめの健康づくりの推進	重点施策	0			
基本計画における 位置付け 施策の方向性 施策の方向性 施策の方向性 を選挙していると健やかに暮らすため、市民一人ひとりが自らの健康づくりについて学び、実践できる。 育や歯と口腔を含めた健康教育等により健康づくりの意識啓発に努めます。また、健康の保持・増設 の予防・早期発見に向けて各種健康診査等を実施するとともに、母子保健対策事業などにより、子と やかな成長を支援する体制の充実を図っていきます。さらに、市民の生命や健康を脅かす感染症、 題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。							
事業年度							
事業の実施目的 及び概要	生活習慣病対策として疾病を早期に発見し、生活習慣の改善指導および適切な治療へと結び付ける。						
対 象	①39歳以下健康診査:19歳以上〜39歳以下の人 ②40歳以上健康診査:40歳以上の生活保護受給者 ③肝炎ウイルス検診:40歳または41歳以上で過去に実施していない人 ④口腔疾患健診:30〜70歳の5 歳刻みの人 ⑤骨粗しょう症検診:20〜70歳の5歳刻みの女性 ⑥在宅訪問歯科健診:在宅療養者						
根拠法令·関連計画 等	根拠法令等:健康増進法、印西市健康診査実施規則 関連計画:第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)、第7期印西市高齢者福祉計画及 護保険事業計画						
年度	年度計画の内容	年度の事業	美震績•成果				
令和2年度	・39歳以下健康診査 ・40歳以上健康診査 ・肝炎ウイルス検診 ・口腔疾患健診 ・骨粗しょう症検診 ・在宅訪問歯科健診	・39歳以下健康診査(597人) ・40歳以上健康診査(9人) ・肝炎ウイルス検診(中止) ・口腔疾患健診(200人) ・骨粗しょう症検診(613人) ・在宅訪問歯科健診(0人)					
	担当部署名 款項目及び予算名 予算事業名 関連する施策名 施策の方向性 事業年度 事業の実施目的 及び概要 対 象 根拠法令・関連計画 等 年度	担当部署名 健康子ども部健康増進課 健康支援係  款項目及び予算名 4款 1項 4目 健康づくり推進費 予算事業名 健康診査事業 関連する施策名 2-④-1 生涯いきいきと健やかに暮らすため、市民一育や歯と口腔を含めた健康教育等により健康の予防・早期発見に向けて各種健康診査等でかかな成長を支援する体制の充実を図ってし題等の危機管理対策として、拡大防止や適切事業の危機管理対策として、拡大防止や適切事業の実施目的及び概要 生活習慣病対策として疾病を早期に発見し、対象 ③肝炎ウイルス検診・40歳または41歳以上歳刻みの人 ⑤骨粗しよう症検診・20~70歳収上のよりに関連計画・第2次健康いんざい21(印西市侵護保険事業計画  年度 年度計画の内容・39歳以下健康診査・40歳以上健康診査・40歳以上健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・40歳以上健康診査・40歳以上健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・40歳以上健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・120円の内容・39歳以下健康診査・40歳以上健康診査・40歳以上健康診査・40歳以上健康診査・40歳以上健康診査・40歳以上のは、40円の内容・40円の内容	担当部署名 健康子ども部健康増進課 健康支援係  款項目及び予算名 4款 1項 4目 健康づくり推進費  予算事業名 健康診査事業  関連する施策名 2-④-1 生涯いきいきと健やかに暮らすための健康づくりの推進  生涯いきいきと健やかに暮らすため、市民一人ひとりが自らの健康づくりにつ育や歯と口腔を含めた健康教育等により健康づくりの意識啓発に努めます。の予防・早期発見に向けて各種健康診査等を実施するとともに、母子保健対やかな成長を支援する体制の充実を図っていきます。さらに、市民の生命や題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。 事業年度  事業の実施目的及び概要 生活習慣病対策として疾病を早期に発見し、生活習慣の改善指導および適切が情報の提供に努めていきます。  (1)39歳以下健康診査・19歳以上~39歳以下の人 ②40歳以上健康診査・39歳以下の人 ③40歳以上健康診査・39歳以下の人 ③40歳以上健康診査・19歳以上で過去に実施していない人 ④ 歳刻みの人 ⑤骨粗しよう症検診・20~70歳の5歳刻みの女性 ⑥在宅訪問根拠法令・関連計画・第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)、第7期関連計画・第2次健康がんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)、第7期関連計画・第2次健康が合き、40歳以上健康診査・40歳以上・4	実施計画事業名   健康   健康   健康   健康   技援係   接康   接康   接康   接康   接康   接康   接康   接			

#### 2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)		1,693,000			12,066,000	13,759,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額		1,113,000			8,228,000	9,341,000
		決算額		1,777,000			6,986,901	8,763,901

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各種健(検)診周知·P		目標値	5	5	6	6	7
	R	П	実績値	5	5	6	6	7
活動指標	39歳以下健康診査	日	目標値	34	34	34	34	34
/ 山 刬 扫 信示	実施日数	П	実績値	34	34	33	33	190
			目標値					
			実績値					
	39歳以下健康診査 受診者数	1	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	1,066	1,137	1,105	1,078	597
成果指標	骨粗鬆症検診受診者	人	目標値	700	700	700	700	700
<b>八木</b> 旧标	数		実績値	837	714	662	863	613
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

ナ・チ 木 「ケン・フ・ひり」 四		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	コロナウイルス感染拡大の影響により、39健診を集団から個別に方法を変更した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	コロナウイルス感染拡大の影響により、受診者数が目標より下回った
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	コロナウイルス感染拡大の影響により、受診者数が目標より下回った

I	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
		コロナウイルス感染拡大の影響があり、受診者数の伸び悩みがあるが、感染予防につとめなが ら継続していく。

1. 事業の概要				事業番号	65			
	実施計画事業名	がん検診事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部健康増進課 健康支援係						
担当即看守	款項目及び予算名	4款 1項 4目 健康づくり推進費	新市基本計画	0				
	予算事業名	がん検診事業、がん検診推進事業		主要事業	0			
	関連する施策名	2-4-1 生涯いきいきと健やかに暮らすた	<b>-</b> めの健康づくりの推進	重点施策	0			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	生涯いきいきと健やかに暮らすため、市民一人ひとりが自らの健康づくりについて学び、実践できる 育や歯と口腔を含めた健康教育等により健康づくりの意識啓発に努めます。また、健康の保持・増設 の予防・早期発見に向けて各種健康診査等を実施するとともに、母子保健対策事業などにより、子ど やかな成長を支援する体制の充実を図っていきます。さらに、市民の生命や健康を脅かす感染症、 題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。						
	事業年度							
	事業の実施目的 及び概要	がん疾患などの予防を図るために検診の必! に結びつける。また、無料クーポン券、がん枝 上を図る。						
事業内容等		がん検診事業 ①子宮頸がん検診:20歳以上の女性 ②乳が がん検診:40歳以上 ⑤肺がん検診:40歳以 がん検診推進事業 ①子宮頸がん検診:20、30歳の女性 ②乳が	上 ⑥前立腺がん検診:50歳以		以上 ④大腸			
		健康増進法、印西市健康診査実施規則、第2 期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業		東増進・食育推進	韭計画)、第7			
	年度	年度計画の内容	年度の事業	実績·成果				
	令和2年度	・がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん・前立腺がん)の実施	胃がん検診(3018人) 大腸がん検診(5,160人) 肺がん検診(5,160人) 乳がん検診(6,789人) 子宮がん検診(5,499人) 前立腺がん検診(1,123人)					

2.事業費の財源内訳

4. 手未買い別源り	766							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)	514,000				132,047,000	132,561,000
	令和2年度	予算現額	514,000				104,520,000	105,034,000
		決算額	504,000				102,635,841	103,139,841

3. 指標及び実績値

3. 指標及ひ美額								
指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各種がん検診広報・	回	目標値	5	5	5	5	5
活動指標	PR	П	実績値	5	5	6	5	5
7日到11日1示			目標値					
			実績値					
	胃・大腸・肺・乳・子宮 頸がん検診平均受診	%	目標値	15	15	15	16	16
	率	/0	実績値	13.3	13.4	13.0	12.4	10.9
成果指標	胃・大腸・肺・乳・子宮 頸がん検診平均精検	%	目標値	90	90	90	90	100
	受診率	70	実績値	91.0	91.0	89.8	89.1	78.6
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未!〜刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	コロナウイルス感染拡大の影響により、受診者数が目標より下回った
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	コロナウイルス感染拡大の影響により、受診者数が目標より下回った

0. / 医07万円	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	コロナウイルス感染拡大の影響があり、受診者数の伸び悩みがあるが、感染予防につとめなが ら継続していく。

	Ti 1	112年度 分 美他計画争某	:計ਘ汞						
1. 事業の概要				事業番号	66				
	実施計画事業名	特定健診・特定保健指導							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民部国保年金課 給付係							
担ヨ即者守	款項目及び予算名	5款 2項 1目 特定健康診査等事業費	Ė	新市基本計画					
	予算事業名	特定健康診査等事業に要する経費	主要事業						
	関連する施策名	2-④-1 生涯いきいきと健やかに暮らすた	こめの健康づくりの推進	重点施策	0				
基本計画における 位置付け 施策の方向性 施策の方向性 施策の方向性 がな成長を支援する体制の充実を図っていきます。さらに、市民の生命や健康を脅かす原題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。									
	事業年度	Z成20年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	40歳以上75歳未満の国民健康保険加入者の原因となるメタボリックシンドロームとその「に重点を置いた効果的な保健指導を実施し、	予備群を早期に発見し、その健認	診結果に従い、生					
	対 象	40歳以上75歳未満							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	高齢者の医療の確保に関する法律(印西市	<b>ī国民健康保険特定健康診査等</b>	実施計画)					
7 441 7 41 3	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・特定健康診査の実施 ・特定保健指導の実施	令和2年度は、新型コロナウイ/ 団検診を中止し、個別健診のみ報・ホームページ等の周知及び より受診を促した。 個別健診 3,569人 特定保健指導支援者 65人	の実施とした。	列年どおり、広				

2.事業費の財源内訳

2.于不良以别师!	3 D/V							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)		50,700,000				50,700,000
	令和2年度	予算現額		37,886,000				37,886,000
		決算額		37,370,796				37,370,796

3. 指標及び実績値

5. 相保及い天積	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	特定健康診査受診者	ı	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
	数	<b>A</b>	実績値	5,008	4,887	4,833	4,864	3,569
活動指標	特定保健指導支援者	1	目標値	150	150	150	150	150
/山 到 1日1宗	数	人	実績値	165	135	180	204	65
			目標値					
			実績値					
	特定健康診査受診率	%	目標値	40	40	40	40	40
	村足匠原形直叉形干		実績値	31	31	31	31	23
成果指標	特定保健指導の支援	%	目標値	30	30	30	30	30
从木111末	率	70	実績値	31	33	30	30	13
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

	ア・デオルツッツ町画		
ı	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価		新型コロナウイルス感染症の影響により、特定健診の受診控え及び、実施方法を個別 健診のみとしたことにより受診者数、特定保健指導支援者数が減となってしまった。
	②成果に対する評価		新型コロナウイルス感染症の影響により、特定健診の受診控え及び、実施方法を個別 健診のみとしたことにより特定健診受診率、特定保健指導支援率が減となった。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響により、特定健診の受診控え及び実施方法を個別健 診のみとしたことで、目標値を下回ってしまった。

<u>0. 7 及027 内压</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	令和3年度は、特定健診の実施方法を従来どおり行うこととしている。引き続き、特定健康診査・ 特定保健指導の必要性の周知を図り、継続受診を促す。

1. 事業の概要				事業番号	67				
	実施計画事業名	人間ドック等受検費用補助事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民部国保年金課 給付係							
担当即有守	款項目及び予算名	5款 1項 1目 保健衛生普及費	5款 1項 1目 保健衛生普及費						
	予算事業名	保健衛生普及事務に要する経費		主要事業					
	関連する施策名	2-④-1 生涯いきいきと健やかに暮らす	ための健康づくりの推進	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	生涯いきいきと健やかに暮らすため、市民一育や歯と口腔を含めた健康教育等により健原の予防・早期発見に向けて各種健康診査等やかな成長を支援する体制の充実を図っては問題等の危機管理対策として、拡大防止や	東づくりの意識啓発に努めます。 を実施するとともに、母子保健対 いきます。さらに、市民の生命や	また、健康の保持 策事業などによ 健康を脅かす感	寺・増進や疾病 り、子どもの健				
	事業年度	平成16年度から実施(平成22年度から人間ドック検査助成を開始)							
	事業の実施目的 及び概要	人間ドック及び脳ドックの受検費用の一部を 療費の削減を図る。	助成し、疾病の早期発見及び早	期治療による健	東の増進、医				
	対 象	国民健康保険加入している40歳以上の者で国民健康保険税を完納している世帯に属する者(特定健康診査受診者は除く)							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市人間ドック等受検に係る助成に関する	る規則						
	年度	年度計画の内容	年度の事業						
	令和2年度	・人間ドック及び脳ドック受検費用の 一部助成 ※補助率・・受検費用の1/2 限度額・・人間ドック3万円、 脳ドック2万円 ・広報、ホームページでの周知	広報、ホームページによる事業 脳ドックの費用の一部を助成す 治療による健康増進に寄与した 人間ドック受検者数 759件 脳ドック受検者数 175件	ることで疾病の					

2.事業費の財源内訳

4.尹未貝の別源り	7G B							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)		26,590,000				26,590,000
		予算現額		26,590,000				26,590,000
		決算額		21,686,100				21,686,100

3. 指標及び実績値

1 指標及び美観		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	広報等による周知	]	目標値	2	2	2	2	2
	仏教寺による同和	回	実績値	3	3	3	3	3
活動指標								
/ 1到1日1示								
			目標値					
			実績値					
	人間ドック助成金支給		目標値	650	650	850	850	850
	者数	_ ^	実績値	637	816	861	904	759
成果指標	脳ドック助成金支給者	Д	目標値	300	300	300	300	300
从木田保	数		実績値	180	231	212	200	175
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 尹未に刈りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価		事業の周知を図ることにより、人間ドックについては、継続して受診するものが増えている。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	広報やホームページ等で事業について周知を図ることができた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4・5月は人間ドック等の受け入れ をしていない医療機関が多く、受検件数は見込件数より少なかった。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	契約医療機関を増やし、また指定検査項目を見直すことで受検対象者の拡大を図る。

1. 事業の概要				事業番号	68					
	実施計画事業名	乳幼児健診事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部健康増進課 母子保健係								
担当即有守	款項目及び予算名	4款 1項 3目 母子衛生費		新市基本計画						
	予算事業名	乳幼児健診事業		主要事業						
	関連する施策名	2-4-1 生涯いきいきと健やかに暮らすか	こめの健康づくりの推進	重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	生涯いきいきと健やかに暮らすため、市民一人ひとりが自らの健康づくりについて学び、実践できるよう、食育や歯と口腔を含めた健康教育等により健康づくりの意識啓発に努めます。また、健康の保持・増進や疾病の予防・早期発見に向けて各種健康診査等を実施するとともに、母子保健対策事業などにより、子どもの健やかな成長を支援する体制の充実を図っていきます。さらに、市民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。								
	事業年度	平成9年度から実施								
		幼児期に各健診を実施し、成長発達に問題のある児を早期発見し、適切な指導及び措置を行い、健康の保持増進を図る。また、保護者の支援として健診票に設けた保護者用の質問項目を活用し、育児について相談しやすい環境を整備する。								
	対 象	1歳6か月児健康診査:1歳6~8か月児とその親 2歳児歯科健診:2歳5~7か月児とその親 3歳児健康診査:3歳5~7か月児とその親								
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	母子保健法、次世代育成支援対策推進法、	第2次健康いんざい21(印西市(	建康増進・食育排	進進計画)					
	年度	年度計画の内容	102.00	美美績・成果						
	令和2年度	・1歳6か月健診・2歳児歯科健診・3歳児健診	新型コロナウイルス感染症の予開。 1歳6か月健診は内科健診・身が 施。歯科健診は個別健診(市内施。 2歳児歯科健診は、個別健診(実施。 3歳児健診は集団健診方式で多る。	体計測等は集団 22歯科医院委 市内22歯科医院	健診方式で実 託契約)にて実					

2.事業費の財源内訳

1-1/424 7/1 11/1/1	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)	0				8,038,000	8,038,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額	2,376,000				16,356,000	18,732,000
		決算額	2,376,000				9,945,148	12,321,148

3. 指標及び実績値

3. 拍像及び天積旭								
指標	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	1歳6か月児健康診査		目標値	31	31	31	31	31
活動指標	実施回数	亘	実績値	30	30	28	28	35
7D =W 1D 13x	3歳児健康診査実施		目標値	32	32	32	32	32
	回数	ш	実績値	32	31	30	29	38
	1歳6か月児健康診査 受診率	%	目標値	95	95	95	95	95
		/0	実績値	99	98	99	98	86
成果指標	3歳児健康診査受診	%	目標値	95	95	95	95	95
八木111宗	率	70	実績値	97	93	99	97	85
			目標値				·	·
			実績値					

4.事業に対する評価

4.事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症拡大のため、健診を一時中止した。健診再開の際には運営 方法を見直し、受付方法や人数制限等の配慮をし開催した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症対策を講じての運営に変更した。対象児の健診実施時期が 遅れ、利用者へ不便をかけた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染対策を万全に実施つつ、安全な健診運営に努める。 また、限られた時間での保護者主訴への対応を行っていく。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	新型コロナウイルス感染症対策を万全に実施つつ、安全な健診運営に努める。 また、限られた時間で保護者主訴への対応を行い、受診率の向上に努める。

1. 事業の概要				事業番号	69				
	実施計画事業名	出産育児支援事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部健康増進課 母子保健係	地域保健係						
担当即看守	款項目及び予算名	4款 1項 3目 母子衛生費		新市基本計画					
	予算事業名	出産育児支援事業		主要事業					
	関連する施策名	2-4-1 生涯いきいきと健やかに暮らす†	こめの健康づくりの推進	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	生涯いきいきと健やかに暮らすため、市民一 育や歯と口腔を含めた健康教育等により健康 の予防・早期発見に向けて各種健康診査等 やかな成長を支援する体制の充実を図ってし 題等の危機管理対策として、拡大防止や適ち	東づくりの意識啓発に努めます。 を実施するとともに、母子保健対 いきます。さらに、市民の生命や(	また、健康の保持 策事業などによ 建康を脅かす感	寺・増進や疾病 り、子どもの健				
	事業年度								
	事業の実施目的 及び概要	妊娠、出産育児に向け母子共に健康な生活が送れるよう援助し、また不安を解決できるための相談や仲間 づくりを支援する。さらに、次世代育成支援として、思春期保健対策を併せて行っていく。							
	対 象	妊産婦、新生児、乳幼児							
	根拠法令·関連計画 等	母子保健法第13条規定、子ども・子育て支援法、第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)、子ども・子育て支援事業計画							
	年度	年度計画の内容	102.00	実績·成果					
事業内容等	令和2年度	・妊婦、乳児健康診査の実施 ・プレママクラスの開催 ・母子健康手帳の交付 ・産後の助産師等による電話相談 ・訪問指導の実施(妊産婦、新生児、乳幼児等 特に新生児期から4か月児まで全戸訪問) ・4か月児相談・もぐもぐ、かみかみ教室の開催 ・子どもガイドブックの発行 ・思春期保健対策	・妊婦、乳児健康診査の実施(ダ・ブレママクラスの開催 caース・母子健康手帳の交付 862件・産後の助産師等による電話相・訪問指導の実施(こんにちはず婦730人)・4か月児相談(ころころ相談)電・もぐもぐ、かみかみ教室(個別・来所相談実施7回 延べ118人・子どもガイドブックの発行(1,34・忠春期保健対策 小中学校・	延べ123人参加 談 1,706件 示ちゃん訪問)(写 記話相談 653件 551回 来所者41 の離乳食相談に 参加、メール相談 16冊)	1 1月740人、産 88人 変更して開催) 後 延べ6件				

2.事業費の財源内訳

_2.尹未真の別源内武								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)	1,379,000	1,379,000			124,367,000	127,125,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額	1,595,000	1,379,000			123,700,000	126,674,000
		決算額	1,627,500	1,533,000			101,486,997	104,647,497

3 指標及び実績値

3. 拍憬及ひ天積	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
781	宗 <b>乃</b> 谷	中世	<b>上</b> 刀	十八20十尺	十成294段	十成30年度	卫和儿牛皮	卫和44及
	  4か月児相談実施回数		目標値	31	31	31	31	31
	中3.万九伯欧天旭自致	1	実績値	31	30	30	28	51
活動指標	こんにちは赤ちゃん訪問	件	目標値	720	820	820	820	820
/ 山 刬 拍 信示	実施件数	14	実績値	784	861	867	812	740
			目標値					
			実績値					
	4か月児相談参加率	%	目標値	95	95	95	95	95
成果指標	+が7万元1日政多加平		実績値	96	92	97	96	79
从术刊标	こんにちは赤ちゃん訪問 実施率	%	目標値	97	97	97	97	97
			実績値	97	97	98	97	88

4.事業に対する評価

ナ・デオルツッツ町岬		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一時事業を中止した。再開時も、参加数を限定する等配慮し目標より下回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施者(参加者)数が目標より下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施者(参加者)数が目標より下回った。

0. 才数02月间上						
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等					
1 単 美 友 相 2 テ / ハ キ 主 み 3 二 1 年 14 1	引き続き妊娠期から子育て期までの、切れ目のない支援を継続させていく。 また、思春期保健対策の充実を目指し、学校との連携に努める。					

1. 事業の概要				事業番号	70					
	実施計画事業名	予防接種事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部健康増進課 母子保健係								
担ヨ即省寺	款項目及び予算名	4款 1項 2目 予防費		新市基本計画	0					
	予算事業名	予防接種事業	主要事業							
	関連する施策名	2-4-1 生涯いきいきと健やかに暮らす#	こめの健康づくりの推進	重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	生涯いきいきと健やかに暮らすため、市民一人ひとりが自らの健康づくりについて学び、実践できる育や歯と口腔を含めた健康教育等により健康づくりの意識啓発に努めます。また、健康の保持・増造の予防・早期発見に向けて各種健康診査等を実施するとともに、母子保健対策事業などにより、子とやかな成長を支援する体制の充実を図っていきます。さらに、市民の生命や健康を脅かす感染症、題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。								
	事業年度									
	事業の実施目的 及び概要	予防接種法に基づき、予防接種の知識の普及や意識の向上に努め、予防接種を主体的、計画的に接種することにより、感染症予防を図る。								
		BCG(生後3か月~1歳未満)、Hib(生後2カ月~5歳未満)・小児肺炎球菌(生後2カ月~5歳未満)、DP(生後3か月~7歳6か月未満)、単独不活化ポリオ(生後3か月~7歳6か月未満)、4種混合(生後3か.7歳6か月未満)、MR1期(1歳~2歳未満)・2期(就学前且つ5歳~7歳未満)、日本脳炎1期(3歳~7歳か月未満、特例対象者)・2期(9歳~13歳未満・特例対象者)、DT(11歳~13歳未満)、子宮頸がんフン(中学生・高校1年生)高齢者インフルエンザ(65歳以上、60歳~64歳は内臓疾患障害者手帳一級にする者)、高齢者肺炎球菌(65歳以上、60歳~64歳は内臓疾患障害者手帳一級に値する者1回限り)風しん予防接種費用助成事業:妊娠を希望する女性及び配偶者・妊婦の配偶者								
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	予防接種法,第2次健康いんざい21(印西市	·健康増進·食育推進計画)							
	年度	年度計画の内容	1.00	美人 美実績·成果						
	令和2年度		市内33医療機関及び県内相互た。新型コロナウイルス感染症 安視したが大きく低下することはイルス感染症拡大の為に長期 療機関等に38件契約し適切な持 学童期への接種勧奨は、長期 対しハガキでの接種勧奨を実施 ムページにて転入者に対して随 国の風しんの追加的対策として の第5期定期接種が開始され、	拡大を受け、受記 はなかった。また、 里帰り等の希望な 養種機会の確保! もした。を はいた。 は した。 発をした。 は 、 が 、 が 、 が 、 が 、 が 、 、 の 、 が 、 の で の に の で の で の で の で の で の で の で の で	率の低下を不 新型コロナウ が増え、市外医 こつなげた。 せ未接種者に 、報及び市ホー 食査及び風しん					

2.事業費の財源内訳

4. 中未貝の別源的	10人							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)	13,631,000				364,560,000	378,191,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額	13,631,000				364,560,000	378,191,000
		決算額	14,231,000				337,266,822	351,497,822

3. 指標及び実績値

	<b>3. 指標及び美種1</b>	旦							
	指标	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	活動指標	麻しん・風しんワクチン 予防接種率(MR1期)	%	目標値	95	95	95	95	95
			90	実績値	92	93	102	91	86
		麻しん・風しんワクチン 予防接種率(MR2期)	%	目標値	100	100	100	100	100
			期)	実績値	94	93	99	94	94
		集団麻しん発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
	成果指標		IT	実績値	0	0	0	0	0
	<b>八木田宗</b>			目標値					
				実績値					

4.事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		新型コロナウイルス感染症拡大により接種率の低下が心配されたが、緊急事態宣言解除後の接種数の向上が見られた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> 3. 7後のカドエ</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	予防接種事業は予防接種法により定められた事業であり、適正に継続実施していく。

1. 事業の概要				事業番号	71				
	実施計画事業名	結核検診事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部健康増進課 健康支援係							
担当即有守	款項目及び予算名	4款 1項 2目 予防費		新市基本計画					
	予算事業名	結核検診事業		主要事業					
	関連する施策名	2-④-1 生涯いきいきと健やかに暮らす†	とめの健康づくりの推進	重点施策	0				
基本計画における 位置付け		生涯いきいきと健やかに暮らすため、市民一人ひとりが自らの健康づくりについて学び、実践できるよう、食育や歯と口腔を含めた健康教育等により健康づくりの意識啓発に努めます。また、健康の保持・増進や疾病の予防・早期発見に向けて各種健康診査等を実施するとともに、母子保健対策事業などにより、子どもの健やかな成長を支援する体制の充実を図っていきます。さらに、市民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。							
	事業年度								
		結核予防及び結核患者に対する適切な医療 る。	の普及を図る。また、胸部疾患の	の早期発見・早期	治療につなげ				
	対 象	40歳以上							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医 ざい21(印西市健康増進・食育推進計画)、							
	年度	年度計画の内容	1.4.	<b>美実績・成果</b>					
	令和2年度	・結核検診の実施	結核検診(5,160人)						

2.事業費の財源内訳

2. 手木貝の別 源ド	3 <b>0</b> /\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					8,320,000	8,320,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					8,320,000	8,320,000
		決算額					6,638,160	6,638,160

3. 指標及び実績値

3. 指標及び美額 指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	検診広報・PR	0	目標値	5	5	5	5	5
	1	田	実績値	5	5	5	5	5
活動指標			目標値					
心划归宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	結核検診精検受診率	%	目標値	100	100	100	100	100
	和核快影相快文影平	70	実績値	94.9	90.5	91.3	93.2	82.3
成果指標			目標値					
以木田宗			実績値					
			目標値		·			
			実績値					

4.事業に対する評価

-	・・ナイン・フロー		
ı	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	コロナウイルス感染拡大の影響により、受診者数が目標より下回った
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	コロナウイルス感染拡大の影響により、受診者数が目標より下回った

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	コロナウイルス感染拡大の影響があり、受診者数の伸び悩みがあるが、感染予防につとめながら継続していく。

1. 事業の概要				事業番号	72				
	実施計画事業名	健康危機管理対策事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部健康増進課 庶務係							
担ヨ即省寺	款項目及び予算名	4款 1項 2目 予防費	新市基本計画						
	予算事業名	健康危機管理対策事業		主要事業					
	関連する施策名	2-4-1 生涯いきいきと健やかに暮らすた	こめの健康づくりの推進	重点施策	0				
基本計画における 位置付け 施策の方向性 施策の方向性 を選手を支援する体制の充実を図っていきます。さらに、市民の生命や健康を脅かす感染症、 題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。									
	事業年度	平成18年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	食中毒、医薬品被害等、その他なんらかの原因により、市民の生命、健康を脅かす事態やその可能性のる事態に対する情報収集を行い、健康被害の発生の予防、拡大防止を図る。また、新型インフルエンザ等策特別措置法に基づき策定した、新型インフルエンザ等のに備え、感染対策等を推進する。その他、地震等による大規模な災害発生に備え、情報収集及び情報提供機能の強化、要援護者等への援、被災者の健康管理対策等の構築を図る。							
	対 象	市民							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	千葉県健康危機管理基本指針、印西市地域 県AEDの使用及び心肺蘇生法の実施の促進		エンザ等対策行	動計画、千葉				
	年度	年度計画の内容	12	美実績·成果					
	令和2年度	・感染症予防 ・食中毒、医薬品被害等の対策 ・災害時保健医療体制の整備 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置の促進 (既存機器の更新含む)	- 感染症予防 ・食中毒、医薬品被害等の対策 ・災害時保健医療体制の整備 ・健康危機管理予防対策(啓発 - AED(自動体外式除細動器) む) ・新型コロナウイルス感染症対	等) 段置の促進(既存	7機器の更新含				

2.事業費の財源内訳

2. 字末貝♡別梛門叭								
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					1,957,000	1,957,000
	令和2年度	予算現額					166,488,000	166,488,000
		決算額					115,072,786	115,072,786

3. 指標及び実績値

U. 161次次Uで大根に								
指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	AED(自動体外式除細動器の購入等) 【機器更	台	目標値	75	75	100	100	100
	新含む】		実績値	68	69	86	103	105
/白到1日1示	アルコール手指消毒液	本	目標値	100	100	100	100	100
	の購入(循環備蓄)	ŧ	実績値	100	100	100	100	800
	AED(自動体外式除細動器)の市内設置個所数	台	目標値	120	120	120	120	120
成果指標	【民間含む】	П	実績値	113	109	126	137	139
			目標値				·	
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、アルコール手指消毒液やマスクなどの備蓄を増強した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	引き続き民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていく。

1. 事業の概要				事業番号	73				
	実施計画事業名	放射線問題対策事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部環境保全課 保全係							
但当即看守	款項目及び予算名	4款 1項 6目 環境保全費		新市基本計画					
	予算事業名	放射線対策事務に要する経費 他		主要事業					
	関連する施策名	2-④-1 生涯いきいきと健やかに暮らすた	こめの健康づくりの推進	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	生涯いきいきと健やかに暮らすため、市民一 育や歯と口腔を含めた健康教育等により健康 の予防・早期発見に向けて各種健康診査等さ やかな成長を支援する体制の充実を図ってし 題等の危機管理対策として、拡大防止や適ち	を受いの意識啓発に努めます。 を実施するとともに、母子保健対 いきます。さらに、市民の生命や	また、健康の保持 策事業などによ 健康を脅かす感	寺・増進や疾病 り、子どもの健				
	事業年度	平成23年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	東日本大震災に伴う東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質による 汚染について、市民への適切な情報提供や除染作業等を実施し、市民の健康管理体制の充実を図る。							
	対 象	市民							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	放射性物質汚染対処特別措置法、子ども・被	5災者支援法、印西市放射性物質	質除染実施計画					
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果					
	令和2年度	・大気中放射線量の測定と結果の公表・その他、放射性物質汚染対策に関する業務 ※大気中放射線量の測定と結果の公表は 汚染状況重点調査地域の指定が解除され 次第終了する場合がある。	・大気中の放射線量測定、農作 定についても、定期的に測定し						

2.事業費の財源内訳

2.尹未真の別線内訳								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)					550,000	550,000
	令和2年度	予算現額					550,000	550,000
		決算額					450,648	450,648

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	大気中放射線量の測定		目標値	2	2	2	2	2
	(延べ)	Ш	実績値	2	2	2	2	2
活動指標			目標値					
/白勁/田/宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標			目標値					
<b>以</b> 未拍標			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価		放射線量の測定を各施設管理者が実施した。令和2年度末時点で、基準値を超える空間放射線量は確認されていない。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	本市は環境省より汚染状況重点調査地域に指定されているが、同地域の解除の要件は、除染が完了していること、除去土壌の処分が完了していること及び空間放射線量が基準値未満であることとされている。この解除要件のうち、除染の完了及び空間放射線量が基準値未満であることは満たしているが、除去土壌の処分は放射性物質汚染対処特措法において処分方法等が定められていないため、本市では除染実施施設内に保管している状況である。そのため、同地域の解除までは、除去土壌の保管状況の確認及び各施設の放射線量の測定等を定期的に測定すると伴に、基準値を超える放射線量を確認した場合においては、必要に応じた対応を実施することとなる。

1. 事業の概要				事業番号	74			
	実施計画事業名	保健対策推進事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	建康子ども部健康増進課 庶務係						
担当即有守	款項目及び予算名	4款 1項 4目 健康づくり推進費		新市基本計画				
	予算事業名	健康づくり推進に要する経費	主要事業					
	関連する施策名	2-4-1 生涯いきいきと健やかに暮らすた	こめの健康づくりの推進	重点施策	0			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	生涯いきいきと健やかに暮らすため、市民一育や歯と口腔を含めた健康教育等により健康の予防・早期発見に向けて各種健康診査等でかな成長を支援する体制の充実を図ってし題等の危機管理対策として、拡大防止や適均	をでいい意識啓発に努めます。 を実施するとともに、母子保健対 いきます。さらに、市民の生命や(	また、健康の保持 策事業などによ 健康を脅かす感	・増進や疾病 リ、子どもの健			
	事業年度	平成16年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	健康の維持、増進を推進するため、「第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)」に基づき 健康づくりの実施体制の充実・健康づくり意識の高揚を図り、これらの啓発・普及に努める。						
	対 象	市民						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	健康増進法、食育基本法、第2次健康いんさ	い21(印西市健康増進・食育推	進計画)				
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果				
	令和2年度	・健康づくり推進協議会の運営 ・健康講演会の実施 ・健康精報コーナーの充実 ・骨髄移植ドナー支援事業 ・その他健康づくりの推進に関する業務	・健康づくり推進協議会の運営・健康講演会の実施(中止)・健康情報コーナーの充実(12½・骨髄移植ドナー支援事業・ウオーキングマップの配布	か所設置)				

2.事業費の財源内訳

<u> </u>	··于不良以对(MY) 10\									
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計		
		<b>積算額</b> (当初予算額)		642,000			1,613,000	2,255,000		
	令和2年度	予算現額		642,000			1,613,000	2,255,000		
		決算額		468,450			843,449	1,311,899		

3. 指標及び美積値								
指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	健康情報コーナーの設	箇所	目標値	8	8	8	8	8
	置	回门	実績値	8	8	12	12	12
	健康講演会の開催		目標値	1	1	1	1	1
活動指標	世	1	実績値	1	1	3	1	0
/ 山 期 拍 保	広報紙での情報提供		目標値	12	12	12	12	12
		ī	実績値	12	12	12	12	12
	機関紙の発行		目標値	2	2	1	1	1
	1成民州(の光1)	ī	実績値	2	1	1	1	1
	健康講演会の参加人数	人	目標値	50	50	50	50	50
成果指標			実績値	66	23	351	220	0
	機関紙の発行部数	部	目標値	7,000	7,000	1,200	1,200	1,200
			実績値	7,200	1,200	1,200	1,200	1,200

4.争耒に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		コロナウイルス感染拡大の影響により、健康講演会の実施が出来なかった。ウオーキングマップなどの周知に努めた。
②成果に対する評価		コロナウイルス感染拡大の影響により、健康講演会の実施が出来なかった。ウオーキングマップなどの周知に努めた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	コロナウイルス感染拡大の影響により、健康講演会の実施が出来なかった。ウオーキングマップなどの周知に努めた。

. フ俊の刀間圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染状況を鑑み、健康づくりの啓発・普及について検討する。

1. 事業の概要				事業番号	75		
	実施計画事業名	健康づくり事業					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部健康増進課 地域保健係					
担크마百寸	款項目及び予算名	4款 1項 4目 健康づくり推進費		新市基本計画	0		
	予算事業名	健康づくりセンター等運営事業に要する	経費	主要事業			
	関連する施策名	2-4-1 生涯いきいきと健やかに暮らすた	-めの健康づくりの推進	重点施策	0		
基本計画における 位置付け	施策の方向性	生涯いきいきと健やかに暮らすため、市民一人ひとりが自らの健康づくりについて学び、実践できるよう、食育や歯と口腔を含めた健康教育等により健康づくりの意識啓発に努めます。また、健康の保持・増進や疾病の予防・早期発見に向けて各種健康診査等を実施するとともに、母子保健対策事業などにより、子どもの健やかな成長を支援する体制の充実を図っていきます。さらに、市民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。					
	事業年度	平成15年度(健康づくりセンター)から実施					
		個人の目的に適した運動プログラムを作成後、実践することによって運動習慣を身につけると共に生活習慣病の予防を図る。 ふれあいセンターいんば内の健康 づくりセンター及びそうふけ ふれあいの里のヘルスアップ教室にて実施する。					
	対 象	15歳以上の市民(健康づくりセンター)、35歳以上の市民(ヘルスアップ教室)					
事業内容等 根拠法令・関連計画 等		印西市健康づくりセンターの設置及び管理に関する条例、印西市健康づくりセンターの設置及び管理に関する条例施行規則、健康増進法、第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)、印西市健康生活コーディネート事業実施要綱					
	年度	年度計画の内容		美実績·成果			
	令和2年度	・健康づくりセンターの運営・ヘルスアップ教室事業の実施・健康づくりセンタートレーニング機器の更新	・健康づくりセンター(感染症対 開館日数219日、延べ利用者 トレーニング機器更新は未実 ・健康づくり教室参加者数1,191 感染症対策のため期間と規模 ・ヘルスアップ教室(感染症対策 開催日数181日、実利用者数	数4,302人、利用: 施(要再検討) 人(教室実施日数 を縮小して実施 も:休止期間・人数	者講習会18人 牧143日) した。 牧制限あり)		

2.事業費の財源内訳

2. デ木貝 ツガ - 柳 / 1   1   1   1   1   1   1   1   1   1								
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)				8,627,000	42,962,000	51,589,000
	令和2年度	予算現額				2,661,000	28,123,000	30,784,000
		決算額				2,529,800	27,560,291	30,090,091

#### 3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	健康づくり教室開館日数	日	目標値	293	293	293	293	293
活動指標	健康 ノバ 教主用語口数	н	実績値	290	289	266	261	143
/白到1日1示			目標値					
			実績値					
	健康づくり教室(延べ人 数)	1	目標値	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600
		^	実績値	6,960	6,872	6,536	6,211	1,191
成果指標	利用者数(延べ人数)	Д	目標値	16,100	16,200	16,300	16,400	16,500
八木 11 1示	利用有数(建个人数/		実績値	18,189	18,224	16,868	15,864	4,302
			目標値					
			実績値					

4.争業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症による臨時休館や人数制限等の対策を考慮
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症による臨時休館や人数制限等の対策を考慮
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症による臨時休館や人数制限等の対策を考慮

#### 5 全後の方向性

5. 今夜の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	実施方法及び評価方法を再検討の上、継続して実施していく

市和2年度 分 美施計画事業評価票							
1. 事業の概要				事業番号	76		
	実施計画事業名	健康支援事業					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部健康増進課 健康支援係					
担当即看守	款項目及び予算名	4款 1項 4目 健康づくり推進費		新市基本計画			
	予算事業名	健康支援事業		主要事業			
	関連する施策名	2-4-1 生涯いきいきと健やかに暮らすた	こめの健康づくりの推進	重点施策	0		
基本計画における 位置付け	施策の方向性	生涯いきいきと健やかに暮らすため、市民一人ひとりが自らの健康づくりについて学び、実践できるよう、食育や歯と口腔を含めた健康教育等により健康づくりの意識啓発に努めます。また、健康の保持・増進や疾病の予防・早期発見に向けて各種健康診査等を実施するとともに、母子保健対策事業などにより、子どもの健やかな成長を支援する体制の充実を図っていきます。さらに、市民の生命や健康を脅かす感染症、放射線問題等の危機管理対策として、拡大防止や適切な情報の提供に努めていきます。					
	事業年度						
	事業の実施目的 及び概要	「自分の健康は自分でつくる」という健康増進 康づくりの知識の普及や意識の高揚を図り、		びくりに取り組める	よう支援し、健		
	対 象	市民					
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	健康増進法、第2次健康いんざい21(印西市 び介護保険事業計画	5健康増進·食育推進計画)、第	7期印西市高齢者	<b>皆福祉計画及</b>		
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果			
	令和2年度	<ul><li>・健康教育の実施</li><li>・健康相談の実施(健康づくり、栄養、歯科)</li><li>・訪問指導の実施</li><li>・健康手帳の利用勧奨</li></ul>	・健康教育(18回・963人) ・健康相談(健康づくり、栄養、『 (来所120人、電話113人、訪問 ・健康手帳(増補のみ対応)				

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)		100,000			169,000	269,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額		100,000			169,000	269,000
		決算額		121,850			131,168	253,018

3. 指標及び実績値

3. 指係及び天積]		W LL	= "	T-1-00-	T-*	T-1:00	^	A 7= a 4= ÷
指作	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	健康相談実施回数(保健・栄養・歯科)※電話		目標値	75	75	75	80	80
	相談以外	1	実績値	67	82	112	207	135
活動指標	  健康教育実施回数	回	目標値	410	410	410	420	420
	<b>姓</b>	1	実績値	338	406	466	549	19 18
			目標値					
			実績値					
	健康相談数(保健・栄養・	件	目標値	90	90	90	100	100
	歯科)※電話相談以外	- 11	実績値	38	82	112	207	135
成果指標	健康教育参加延人数	Д	目標値	10,000	10,000	10,000	11,000	11,000
从本1日1末	姓成权自多加延八数		実績値	12,645	13,510	19,659	19,875	963
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

十十十十一と			
評価項目		評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対す	る評価 E		コロナウイルス感染拡大の影響により、健康教育・健康相談ともに回数及び件数が前年より下回った。
②成果に対す	る評価 B		コロナウイルス感染拡大の影響により、健康教育・健康相談ともに回数及び件数が前年より下回った。
③総合的な	評価 8	3 ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	コロナウイルス感染拡大の影響により、健康教育・健康相談ともに回数及び件数が前年より下回った。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も各事業の機会を活用し、健康教育や健康相談等を実施していく。

1. 事業の概要				事業番号	77
	実施計画事業名	食育推進事業			
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部健康増進課 健康支援係			
担当即有守	款項目及び予算名	4款 1項 4目 健康づくり推進費		新市基本計画	
	予算事業名	食育推進事業		主要事業	
	関連する施策名	2-④-1 生涯いきいきと健やかに暮らす†	こめの健康づくりの推進	重点施策	0
基本計画における 位置付け	施策の方向性	生涯いきいきと健やかに暮らすため、市民一育や歯と口腔を含めた健康教育等により健康の予防・早期発見に向けて各種健康診査等やかな成長を支援する体制の充実を図っては題等の危機管理対策として、拡大防止や適ち	東づくりの意識啓発に努めます。 を実施するとともに、母子保健対 いきます。さらに、市民の生命や(	また、健康の保持 策事業などにより 建康を脅かす感	寺・増進や疾病 り、子どもの健
	事業年度	平成18年度から実施			
	事業の実施目的 及び概要	生涯にわたって健全な食生活を実践すること 市食育推進計画を推進する。	ができるよう、関係者間の食育だ	舌動の連絡調整:	を実施し、印西
	対 象	市民			
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	食育基本法、食育推進基本計画、第2次健康	康いんざい21(印西市健康増進·	食育推進計画)	
	年度	年度計画の内容	1.05	実績・成果	
	令和2年度	・食育推進計画の進行管理及び課題の抽出 ・食育講座の実施 ・栄養士調整会の開催 ・野菜いっぱい食育レシピの作成・配布 ・乳幼児健診・相談事業の実施 ・食育に関する講話の実施	・第2次食育推進計画(改訂版) ・食育講座(0回・0人) ・栄養士調整会(1回書面開催) ・野菜いっぱい食育レシピの作り 布) ・乳幼児健診・相談事業(1歳6か回) ・食育に関する講話(3回・44人)	或・配布(年12レ ハ月児健診35回、	シピ作成・配

2.事業費の財源内訳

	3 W /							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)		200,000		88,000	162,000	450,000
		予算現額		200,000		88,000	88,000	376,000
		決算額		243,700		0	49,956	293,656

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	食育に関する講話の実		目標値	30	35	35	35	35
	施回数	쁘	実績値	26	26	29	40	3
活動指標			目標値					
/立 刬 1日 1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	食育に関する講話の参	,	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	加延人数	^	実績値	1,118	1,102	1,216	1,551	44
成果指標			目標値					
八木 11 1示			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

で・デオトハックに一川		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	コロナウイルス感染症拡大の影響により、食育に関する講話回数及び件数が目標より下回ったが、「野菜レシピ」の動画を作成し印西市公式YouTubeによる啓発や、広報紙掲載の「にこにこクッキング」レシピのTwtterによる周知啓発を実施した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	コロナウイルス感染症拡大の影響により、食育に関する講話回数及び件数が目標より下回ったが、「野菜レシピ」の動画を作成し印西市公式YouTubeによる啓発や、広報紙掲載の「にこにこクッキング」レシピのTwtterによる周知啓発を実施した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	コロナウイルス感染症拡大の影響により、食育に関する講話回数及び件数が目標より下回ったが、「野菜レシピ」の動画を作成し印西市公式YouTubeによる啓発や、広報紙掲載の「にこにこクッキング」レシピのTwtterによる周知啓発を実施した。

<u> 3. 7後の万円圧</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	コロナウイルス感染状況を鑑み、食育の推進を実施していく。

1. 事業の概要				事業番号	78				
	実施計画事業名	歯科保健事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部健康増進課 母子保健係	康子ども部健康増進課 母子保健係・健康支援係						
担当即看守	款項目及び予算名	4款 1項 4目 健康づくり推進費	新市基本計画	0					
	予算事業名	歯科保健事業		主要事業					
	関連する施策名	2-4-1 生涯いきいきと健やかに暮らすた	こめの健康づくりの推進	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	生涯いきいきと健やかに暮らすため、市民一育や歯と口腔を含めた健康教育等により健康の予防・早期発見に向けて各種健康診査等でかな成長を支援する体制の充実を図っては 題等の危機管理対策として、拡大防止や適ち	ほづくりの意識啓発に努めます。 を実施するとともに、母子保健対 いきます。さらに、市民の生命や	また、健康の保持 策事業などにより 健康を脅かす感	寺・増進や疾病 り、子どもの健				
	事業年度								
	事業の実施目的 及び概要	市民が生涯を通して、自分の歯で食事ができ 腔衛生の正しい習慣を普及させ、歯科疾患予		るよう「8020運動	め」を推進し、ロ				
事業内容等	対 象	①歯みんぐ・カミング・8020:市民 ②高齢者のよい歯のコンクール:80歳以上で ③親と子のよい歯のコンクール:前年度の三 ④その他依頼のあった市内の保育園、幼稚	歳児健診を受診しむし歯のなか						
	根拠法令·関連計画 等	第2次健康いんざい21(印西市健康増進・食	育推進計画)、歯と口腔の健康	づくり推進条例					
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・高齢者のよい歯のコンクールの開催 ・親と子のよい歯のコンクールの開催 ・歯科保健啓発、標語の募集 ・歯科保健啓発事業(イベント)の実施 ・歯科保健専門部会の開催	新型コロナウイルス感染症拡大のコンクール・親と子のよい歯のを中止した。 同様に、歯科保健啓発事業としし、さまざまな世代に向けた口服知した。	コンクール等集で開催していた。	客を伴う事業				

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算 額)					868,000	868,000
	令和2年度	予算現額					868,000	868,000
		決算額					492,395	492,395

3. 指標及び実績値

指標内容	·-	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	健康教育実施の回数	0	目標値	100	100	100	100	100
	健康教育天肥の回数	쁘	実績値	79	77	82	95	3
活動指標	啓発イベントの実施		目標値	1	1	1	1	1
/白到7日1宗	合充すべクトの天旭	Ē	実績値	1	1	1	1	未実施
			目標値					
			実績値					
	3歳児健診で虫歯がない	%	目標値	85	85	85	85	85
	児の割合	70	実績値	84.7	84.2	88	90	96
成果指標	   啓発イベントの来場者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
八木 11 1示	古光・ハントの木物白奴	^	実績値	794	854	861	869	未実施
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

-	ナ・チャークリナの町画						
	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)				
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症拡大により、健康教育の実施が困難となった。 啓発イベントは、市民へのイベントとしてではなく、歯科保健の市民へ向けた口腔衛生情報を作成した。				
	②成果に対する評価		3歳児健診も新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため一時中止した。 歯科保健啓発活動方法も変更し、妊婦・幼児等に向けた口腔衛生情報を発信した。				
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、健康教育の実施回数が目標より下回った。啓発イベントは、市民へのイベントとしてではなく、歯科保健の市民へ向けた口腔衛生情報を作成した。				

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	新型コロナウイルス感染症の状況をみつつ、歯科保健の推進に向けさまざまな手段・方法を工夫 して実施していく。

1. 事業の概要				事業番号	79		
	実施計画事業名	地域医療推進事業		•			
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部健康増進課 庶務係					
担当即有守	款項目及び予算名	4款 1項 1目 保健衛生総務費		新市基本計画	0		
	予算事業名	地域医療推進事業		主要事業			
	関連する施策名	2-④-2 市民の健康を支える医療体制の	整備・充実	重点施策	0		
基本計画における 位置付け	施策の方向性						
	事業年度	平成18年度から実施					
	事業の実施目的 及び概要	誰もが必要に応じ、安心して受診できる医療体制を確立するため、医療機関の整備・充実を図る。また、休日・夜間における救急医療をはじめ、多様な市民ニーズに対応出来るよう、医療機関など、関係機関との連携体制を構築する。					
	対 象	市民					
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	医療法、第2次健康いんざい21(印西市健康	ほ増進・食育推進計画)				
	年度	年度計画の内容		美実績·成果			
	令和2年度	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援				

2.事業費の財源内訳

2.尹未其以別源[	/61							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)					31,008,000	31,008,000
	令和2年度	予算現額					30,000,000	30,000,000
	決算	決算額					30,000,000	30,000,000

3. 指標及び実績値

3. 指標及び美穂								
指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	小児初期急病診療所の	0	目標値	12	12	12	12	12
	周知	囙	実績値	12	12	12	12	12
活動指標	かかりつけ医等の啓発		目標値	12	12	12	12	12
/白到1日1示	ががりの区等の否定	田	実績値	12	12	12	12	12
			目標値					
			実績値					
	市内の病院数	機関	目標値	3	1	7	1	1
	川内の病院数	1成(美)	実績値	3	3	3	3	3
成果指標	市内の診療所数(医科)	機関	目標値	38	1	1	1	1
八木 11 伝	川内の砂原所数(医科)	1成(美)	実績値	36	37	38	39	41
	市内の診療所数(歯科)	内の診療所数(歯科) 機関	目標値	37	1	1	1	1
	川内の砂原所数(圏件)	放送	実績値	37	37	38	38	41

4.事業に対する評価

<u> ア・デ 木 (こ / ) フ ' ) (T       </u>		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> 3. 7枚のカドエ</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市民が必要に応じて適正な医療を受けられるよう医療体制の確保を図っていく。

1. 事業の概要				事業番号	80			
	実施計画事業名	土地基盤整備事業の促進						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部農政課 振興係						
担当即有守	款項目及び予算名	5款 1項 5目 農地費		新市基本計画	0			
	予算事業名	土地基盤整備事業		主要事業	0			
	関連する施策名	3-①-1 生産基盤の整備や担い手の確保	Rによる持続的な農業の実現	重点施策	0			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	による遊休農地の発生等に対処していくこと そのため、生産力の維持向上を目的とした生 めの多様な農業経営体を育成します。また農	持続的な農業を実現するためには、効率的・安定的な農業経営を維持するとともに、高齢化・離農者の増加 こよる遊休農地の発生等に対処していくことが必要になります。 そのため、生産力の維持向上を目的とした生産基盤や営農技術の充実を図り、効率的な経営を実現するための多様な農業経営体を育成します。また農地の集積・集約化を図るための優良農地の利用集積や遊休農 地の解消等の取り組みなどを進めていきます。					
	事業年度	昭和54年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	担い手(経営体)が効率的かつ意欲的に高生整備・改修の基盤整備に対しての補助、遊休						
	対 象	市内農業者等						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市農林振興対策事業補助金交付要綱						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美夫績·成果				
	令和2年度	<ul><li>・小規模土地改良事業への補助</li><li>・手賀沼地区県営担い手育成基盤整備事業負担金</li><li>・土地改良施設維持管理適正化事業</li></ul>	・小規模土地改良事業補助金 12経営体及び3土地改良区 5 ・干拓第二工区県営担い手育成 120,911円 ・土地改良施設維持管理適正们 407,000円 ・飛里橋放棄地解消の周知 ・国営総合農地防災事業関連	成基盤整備事業負 比事業新規加入5 事 3,259,300円				

2.事業費の財源内訳

ニナネスツ州がド	3 D/ \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					5,801,000	5,801,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					9,187,000	9,187,000
		決算額					8,944,682	8,944,682

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	会議等での調整		目標値	1	1	1	1	1
		田	実績値	1	1	1	1	1
活動指標			目標値					
/山到1日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	小規模土地改良実施面	ha	目標値	2	2	2	2	2
	積	na	実績値	3.2	3.8	4	1	3.5
成果指標			目標値					
八木111宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.字木に刈りる町画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> </u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	国営かんがい排水事業(印旛沼二期地区)や国営総合農地防災事業(手賀沼地区)による大規模な揚排水機場、幹線用排水路の整備及び小規模土地改良事業による農業生産基盤の拡充等を図ることで市内の優良な農業環境の確保を図る。

节和2年度								
1. 事業の概要				事業番号	81			
	実施計画事業名	農業経営基盤強化促進事業	<b>豊業経営基盤強化促進事業</b>					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部農政課 振興係						
担当即看守	款項目及び予算名	5款 1項 3目 農業振興費		新市基本計画	0			
	予算事業名	農業経営基盤強化促進事業		主要事業				
	関連する施策名	3-①-1 生産基盤の整備や担い手の確保	Rによる持続的な農業の実現	重点施策	0			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	よる遊休農地の発生等に対処していくことが そのため、生産力の維持向上を目的とした	寺続的な農業を実現するためには、効率的・安定的な農業経営を維持するとともに、高齢化・離農者の増加にる遊休農地の発生等に対処していくことが必要になります。 そのため、生産力の維持向上を目的とした生産基盤や営農技術の充実を図り、効率的な経営を実現するため 多様な農業経営体を育成します。また農地の集積・集約化を図るための優良農地の利用集積や遊休農地の 消等の取り組みなどを進めていきます。					
	事業年度	昭和55年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	農業が国民経済の発展と国民生活の安定にな構想に基づき、農業の担い手の育成・確保						
	対 象	担い手となり得る農業者(専業、兼業問わず 農地の貸し手となり得る農業者(専業、兼業問						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	農業経営基盤強化促進法 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的	つな構想(平成26年9月改定)					
	年度	年度計画の内容	年度の事	業実績·成果				
	令和2年度	<ul><li>・担い手農家の育成、確保</li><li>・制度資金の実施</li></ul>	・認定農業者に係る農業経営改 5回 13経営体 ・農用地の利用集積(利用権設 ・農業近代化資金利子補給 14 ・農業基盤強化資金(スーパー)	定面積46ha) 牛 125,950円				

2.事業費の財源内訳

4. サ木貝の別源ド	2. 尹术真以州源内引							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	<b>積算額</b> (当初予算額)		1,000			234,000	235,000	
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額		6,050			228,950	235,000
		決算額		6,050			136,982	143,032

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	認定農業者の啓発回数		目標値	2	2	2	2	2
	応足辰未有の合先回数	囙	実績値	2	2	2	2	2
活動指標			目標値					
/白 到 1日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	認定農業者数	1	目標値	55	57	59	61	63
	<b>沁</b> 足辰未 <b>日</b> 奴	<b>\</b>	実績値	53	57	59	61	64
成果指標	農地流動化面積	ha	目標値	440	460	480	500	520
八木101宗	及未担保	Па	実績値	460	468	509	549	580
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

<u> 4. 字末に刈りる計画</u>		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5 今後の方向性

<u> </u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想に基づき、農業の担い手の育成・確保及び農地の有効利用・保全活動を継続する。

1. 事業の概要				事業番号	82				
	実施計画事業名	農地中間管理事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部農政課 振興係							
担当即看守	款項目及び予算名	5款 1項 3目 農業振興費		新市基本計画					
	予算事業名	農地中間管理事業に要する経費		主要事業					
	関連する施策名	3-①-1 生産基盤の整備や担い手の確保	Rによる持続的な農業の実現	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	寺続的な農業を実現するためには、効率的・安定的な農業経営を維持するとともに、高齢化・離農者の増加 こよる遊休農地の発生等に対処していくことが必要になります。 そのため、生産力の維持向上を目的とした生産基盤や営農技術の充実を図り、効率的な経営を実現するた めの多様な農業経営体を育成します。また農地の集積・集約化を図るための優良農地の利用集積や遊休農 也の解消等の取り組みなどを進めていきます。							
	事業年度	平成26年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	担い手への農地集積・集約化や耕作放棄地の発生を未然に防止するため、農地中間管理事業による農地 の賃借等を促進し、農地の集団化・経営規模の拡大・新規参入を進めるもの。							
	対 象	農地の所有者及び農業の担い手							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	農地中間管理事業の推進に関する法律							
	年度	年度計画の内容	1.02	美実績・成果					
	令和2年度	<ul><li>・農地中間管理事業の促進</li><li>・農地集積・集約化対策事業の実施</li></ul>	·農地中間管理事業(農地中間 借入面積6ha 貸付面積8ha ·農地集積·集約化対策事業(系 4人 642,000円						

2.事業費の財源内訳

4. 手术貝切別源門	1 D/C							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	財源内訳(円) 令和2年度	積算額 (当初予算額)		1,350,000				1,350,000
財源内訳(円)		予算現額		642,000				642,000
		決算額		642,000				642,000

3. 指標及び実績値

3. 指標及び美額	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事業制度PR活動(広		目標値	5	5	5	5	5
	報、HP、説明会等)	ī	実績値	11	15	8	7	8
活動指標			目標値					
/ 1到1日1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	  機構借受面積	ha	目標値		2	2	2	2
	1成件旧文曲15	IIa	実績値		12	27	15	6
成果指標	農用地利用配分計画の	ha	目標値	2	2	2	2	2
<b>以</b> 木扫信	面積(担い手への集積)	na	実績値	8	12	26	23	8
			目標値					
			実績値		_			

4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	担い手への農地集積・集約化や耕作放棄地の発生を未然に防止するため、引き続き、農地中間管理事業の促進を図る。

节和2年度 分									
1. 事業の概要				事業番号	83				
	実施計画事業名	家畜防疫事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部農政課 農政係							
但当即省守	款項目及び予算名	5款 1項 4目 畜産業費		新市基本計画					
	予算事業名	家畜防疫事業		主要事業					
	関連する施策名	3-①-1 生産基盤の整備や担い手の確保	Rによる持続的な農業の実現	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	持続的な農業を実現するためには、効率的・安定的な農業経営を維持するとともに、高齢化・離農者の増加による遊休農地の発生等に対処していくことが必要になります。 そのため、生産力の維持向上を目的とした生産基盤や営農技術の充実を図り、効率的な経営を実現するための多様な農業経営体を育成します。また農地の集積・集約化を図るための優良農地の利用集積や遊休農地の解消等の取り組みなどを進めていきます。							
	事業年度	昭和40年代から実施							
	事業の実施目的 及び概要	家畜防疫協会実施事業への補助を通じて、臭気問題や疾病問題など営農環境面の改善に努めていくと共 に、畜産物の品質向上に努め、地産地消を推進する。							
	対 象	酪農2戸、養豚2戸、養鶏2戸							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	家畜伝染予防法等							
	年度	年度計画の内容		美実績・成果					
	令和2年度	・家畜防疫協会への支援・指導 ・予防接種及び抗体検査 ・環境衛生資材配布 ・環境指導	・家畜防疫協会への支援・排 家畜防疫事業補助金 130 予防接種生資 44頭 環境衛生資材配布及び環 境衛空の啓発・消費拡大活動 印旛郡市畜産振興協議会 ・畜産農家の経営、運営指導 (社)千葉県畜産協会会費	0,000円 境指導 6戸 助 負担金 25,000	DPI				

2.事業費の財源内訳

2. 字末貝切別源門	7 (2/ )							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	財源内訳(円) 令和2年度 予	<b>積算額</b> (当初予算額)					163,000	163,000
財源内訳(円)		予算現額					163,000	163,000
		決算額					162,700	162,700

3. 指標及び実績値

5. 田保及び天順	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予防接種及び抗体検査	頭	目標値	50	50	50	50	50
	頭数	與	実績値	57	61	59	394	364
活動指標	環境衛生資材配布数	戸	目標値	7	7	7	6	6
/ 山 刬 扫 作	<b></b>	Ľ	実績値	7	7	7	6	6
			目標値					
			実績値					
	家畜疾病の発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
	<b>水田灰州</b> 00元工仟数		実績値	0	0	0	0	0
成果指標	  臭気の苦情件数	件	目標値	0	0	0	0	0
从木油坑	大気の日間下数	IT	実績値	0	0	0	0	0
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

_		
ı	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	1 事業を現行のまま継続して実施	伝染病発生の予防等、市家畜防疫協会を中心に情報提供や予防接種を促すことで、大きな病気の発生もなく営農を行っている。これは、安全・安心な畜産物の提供のほか、周辺住民の生活環境の保持にも役立っているため、今後も継続して行う。

节和2年度 分										
1. 事業の概要				事業番号	84					
	実施計画事業名	新規就農促進事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部農政課 振興係								
世	款項目及び予算名	5款 1項 3目 農業振興費		新市基本計画						
	予算事業名	新規就農促進事業		主要事業	0					
	関連する施策名	3-①-1 生産基盤の整備や担い手の確保	Rによる持続的な農業の実現	重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	持続的な農業を実現するためには、効率的・安定的な農業経営を維持するとともに、高齢化・離農者の増加 こよる遊休農地の発生等に対処していくことが必要になります。 このため、生産力の維持向上を目的とした生産基盤や営農技術の充実を図り、効率的な経営を実現するための多様な農業経営体を育成します。また農地の集積・集約化を図るための優良農地の利用集積や遊休 他の解消等の取り組みなどを進めていきます。								
	事業年度	平成25年度から実施								
	事業の実施目的 及び概要	安定した農業労働力を確保し、農業経営力の向上を図るため、農業版ハローワーク(求人、求職登録)の実施、農業次世代人材投資資金の交付などにより新規就農を促進する。								
	対 象	市内の農地								
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	人・農地プラン								
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果						
	令和2年度	・農業版ハローワーク事業の実施 ・次世代を担う農業者となることを目指す者 の経営確立を支援	・農業版ハローワーク事業 農業研修 1回 9人 新規求入登録者 2人 新規求職登録者 9人 ・農業次世代人材投資資金 3経営体(うち夫婦型1経営体	:) 4,872,478円						

2.事業費の財源内訳

	1 H/ \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		<b>積算額</b> (当初予算額)		8,250,000			60,000	8,310,000
	令和2年度	予算現額		4,873,000			15,000	4,888,000
		決算額		4,872,478			15,000	4,887,478

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	青年就農者確保·育成		目標値	6	6	6	6	6
	給付金給付対象者数		実績値	5	6	4	4	3
活動指標	農業研修の実施		目標値	2	2	2	2	2
	辰米切修の天心	囙	実績値	2	2	2	1	1
			目標値					
			実績値					
	農業研修の受講者数	1	目標値	8	8	8	8	8
	辰未明修の文碑石奴	\ \	実績値	15	11	4	1	9
成果指標			目標値					
从木田宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

_	・・ナイン・ノロロー		
	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価		・給付(交付金)事業の相談等はあるので今後増加が見込まれる。 ・農業研修2回のうち1回が緊急事態宣言を受けて中止。
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	・新規就農者促進事業の啓発に努め、新規就農者の増加に繋げたい。 ・農業研修2回のうち1回が緊急事態宣言を受けて中止。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	農業後継者や新規就農者の育成や支援を努めるとともに、農業版ハローワーク事業等の実施により安定した農業雇用労働力の確保に努める。 また、千葉県と連携強化を図り、千葉県農業者総合支援センターや農業大学校の活用などにより、新規就農 希望者の就農へ繋げていく。

1. 事業の概要				事業番号	85					
	実施計画事業名	鳥獸被害対策事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部環境保全課 鳥獣被害対策係								
担当即看守	款項目及び予算名	4款 1項 6目 環境保全費		新市基本計画						
	予算事業名	鳥獣被害対策事業		主要事業	0					
	関連する施策名	3-①-1 生産基盤の整備や担い手の確保	呆による持続的な農業の実現	重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	による遊休農地の発生等に対処していくこと そのため、生産力の維持向上を目的とした生めの多様な農業経営体を育成します。また農	特続的な農業を実現するためには、効率的・安定的な農業経営を維持するとともに、高齢化・離農者の増加による遊休農地の発生等に対処していくことが必要になります。 そのため、生産力の維持向上を目的とした生産基盤や営農技術の充実を図り、効率的な経営を実現するための多様な農業経営体を育成します。また農地の集積・集約化を図るための優良農地の利用集積や遊休農地の解消等の取り組みなどを進めていきます。							
	事業年度									
	事業の実施目的 及び概要	有害鳥獣による農作物の被害を防止・軽減するため、印西市有害鳥獣被害防止対策協議会を中心に、関 係機関と連携を図りながら、計画的な捕獲及び防護柵の設置等を実施する。								
	対 象	有害鳥獣(イノシシ、アライグマ、ハクビシン、	タヌキ、カラス等鳥類)							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に	こ関する法律、印西市鳥獣被害[	坊止計画						
7 741 74 3	年度	令和2年度計画の内容	令和2年度の	事業実績・成果						
	令和2年度	カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲及び防護柵の設置等	捕獲頭数及び防護柵の設置のいず 効果的な捕獲や集中捕獲を実施し、 また防護柵の設置に向け、より一層 たい。	、捕獲頭数を増や	していきたい。					

2.事業費の財源内訳

2.于不良以外(称)?	D/N							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)		14,052,000		30,000	20,249,000	34,331,000
	令和2年度	予算現額		10,011,000		30,000	17,124,000	27,165,000
		決算額		9,522,266		27,200	12,505,258	22,054,724

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標	イノシシ用電気柵設置距		目標値	20,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	離数	m	実績値	32,000	33,556	81,518	39,950	3,240
	駆除従事者数(有資格	1	目標値	37	48	53	58	63
	者)	Α	実績値	46	70	67	72	70
			目標値					
			実績値					
	イノシシ捕獲頭数	頭	目標値	500	800	900	1,000	1,100
	イノノ研授與奴		実績値	587	612	958	637	571
成果指標	小型獣(アライグマ・ハク	匹	目標値	400	400	400	400	400
以未怕 <b>保</b>	ビシン・タヌキ)捕獲数	ป	実績値	347	439	434	269	371
			目標値					·
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 事未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	駆除従事者の確保は目標値を上回ることができた。しかしながら、イノシシ用電気柵設置 距離数は目標値を上回ることができなかったため、より一層の周知をし、対策を進めてい きたい。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	イノシシ及び小型獣の捕獲数は目標値を上回ることができなかった。しかしながら、イノシシ捕獲は平成30年度に最高捕獲数を記録してから、減少傾向となっており、一定の効果がでているものと考えらえる。イノシシ及び小型獣ともに引き続き捕獲を進めていきたい。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	捕獲頭数及び防護柵の設置のいずれも目標値に届かなかった。 効果的な捕獲や集中捕獲を実施し、捕獲頭数を増やしていきたい。 また防護柵の設置に向け、より一層周知をはかり、対策を進めていきたい。

5. 写復の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	有害鳥獣による被害は依然として高止まりであり、今後も市有害鳥獣被害防止対策協議会を中心に対策を進める必要がある。調査・分析を進め、捕獲体制・捕獲方法の再検討を行い、捕獲を進めていきたい。また、防護柵の設置についても、周知を徹底し、対策を進めていきたい。

1. 事業の概要				事業番号	86				
	実施計画事業名	地産地消推進事業	也産地消推進事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部農政課 振興係							
担当即有守	款項目及び予算名	5款 1項 3目 農業振興費		新市基本計画	0				
	予算事業名	地産地消推進事業、産業まつりに要する	6経費	主要事業	0				
	関連する施策名	3-①-2 地産地消や農業体験など農業と	通した地域の振興	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	地元農産物の消費を拡大し地産地消につない きます。また、市民の農業に親しむ機会の拡 解と関心を高めるとともに、食に関する知識と	大や地域ぐるみの農村環境の整	を備などにより農	業に関する理				
	事業年度	平成20年度から実施							
		基幹産業である農業の振興及び生産技術の向上を図るため、消費者と生産者の交流を推進し、地元農産特等の地産地消を推進する。							
	対 象	生産者及び消費者、農業協同組合・農業法人	√・生産者3戸以上を含む組織団	団体・市内農産物	直売所				
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市地産地消推進計画、印西市農林振興	対策事業補助金交付要綱						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・産業まつりの開催 ・農産物の地産地消推進 ・農業体験教室の実施	•印西農産物地産地消推進 5事業所 951,387円	事業補助金					

2.事業費の財源内訳

2. 于木貝以州(赤)	2.于木貝V <i>N I</i> III1111								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					4,623,000	4,623,000	
		予算現額					1,000,000	1,000,000	
		決算額					951,387	951,387	

3. 指標及び実績値

指:	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標	産業まつり参加者団体	数	目標値	55	60	60	60	60
	等	奴	実績値	56	64	72	67	1
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	産業まつりアンケート回	枚	目標値	300	300	300	300	300
	収数	伙	実績値	279	337	303	269	1
成果指標			目標値					
<b>从</b> 未141宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未にNyの計画					
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)			
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	産業まつり及び農業体験教室は、新型コロナ感染症を考慮し開催中 止			
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	産業まつり及び農業体験教室は、新型コロナ感染症を考慮し開催中 止			
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	産業まつり及び農業体験教室は、新型コロナ感染症を考慮し開催中 止			

5. ラ夜の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 単 幸み 旧分 / / / ) ナ 十 神 湯   7 東   ※	いんざい産業まつり等の実施により、消費者と生産者の交流を図り、地元農産物の消費を拡大し、地産地消の推進に努める。

节和2千度 7 关心引回争关计顺宗								
1. 事業の概要				事業番号	87			
	実施計画事業名	市民農園振興事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部農政課 農政係						
担ヨ即者寺	款項目及び予算名	5款 1項 3目 農業振興費		新市基本計画	0			
	予算事業名	ふるさと農園振興事業		主要事業				
	関連する施策名	3-①-2 地産地消や農業体験など農業を	通した地域の振興	重点施策				
基本計画における 位置付け	げていくため、安全・安心で高品 大や地域ぐるみの農村環境の整 体験を深め、農業を通しての地	を備などにより農	業に関する理					
	事業年度	平成6年度から実施(市民農園)、平成26年度から実施(体験農園)						
		農業者以外の方に野菜等の栽培を通して農業への理解を深めてもらうことを目的に、市民農園、体験農園の管理運営を行う。						
	対 象	印西市内に住所を有する者						
事業内容等		市民農園整備促進法、印旛高校跡地活用基本計画(平成23年9月)、平成23年度印旛高校跡地活用 設計業務委託報告書(平成24年11月)						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果				
	令和2年度	・ふるさと農園の管理・運営 ・きおろし体験農園の管理・運営	・草深ふるさと農園の管理・運営 290区画中284区画を貸出し。 栽培指導員の配置 2人 65.0 土地賃借料及び維持管理費・きおろし体験農園の管理・運営 芋ほり体験(3保育園、2幼稚 フェンス設置工事 287,375円 管理業務委託及び維持管理項	00円 用 1,545,610円 雪 園、2小学校、1				

2.事業費の財源内訳

2. 于未良い別源的	7G E							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)				1,409,000	2,341,000	3,750,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額				1,409,000	2,348,000	3,757,000
		決算額				1,529,550	1,719,196	3,248,746

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	市民農園利用の啓発回		目標値	2	2	2	2	2
	数	囙	実績値	2	2	2	2	2
活動指標	現地栽培指導の回数		目標値	18	18	18	18	18
/白 到 7日1宗	<b>坑地</b>	ī	実績値	19	19	18	16	13
			目標値					
			実績値					
	市民農園利用率 (全290区画)	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	99	99	99	97	98
成果指標	栽培指導相談件数	件	目標値	60	60	60	60	60
从木1日1末	从均均等作政计数		実績値	65	76	85	64	50
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に対りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	現地栽培指導は、コロナウィルス感染症を考慮し3回中止、そのほか雨天により4回中止
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	コロナウィルス感染症等により活動指標が目標値を下回ったが、ほぼ目標どおりの成果 は出た。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	農業者以外の方にも農業を体験できる場を設け、農業・農村に対する理解と関心を高めるため、 引き続き、市民農園の利用について啓発しながら貸し出しを行っていく。

节和2年度 分 美施計画事業評価票								
1. 事業の概要				事業番号	88			
	実施計画事業名	多面的機能-環境保全向上対策事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部農政課 振興係	<b>景境経済部農政課 振興係</b>					
担当即有守	款項目及び予算名	5款 1項 3目 農業振興費		新市基本計画				
	予算事業名	多面的機能•環境保全向上対策事業	主要事業					
	関連する施策名	3-①-2 地産地消や農業体験など農業を	通した地域の振興	重点施策				
基本計画における 位置付け 施策の方向性 施策の方向性 施策の方向性 が元農産物の消費を拡大し地産地消につなげていくため、安全・安心で高品質な農産物づくりをきます。また、市民の農業に親しむ機会の拡大や地域ぐるみの農村環境の整備などにより農業 解と関心を高めるとともに、食に関する知識と体験を深め、農業を通しての地域振興を図っている								
	事業年度	平成26年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	農村環境の高齢化、混住化等に伴う集落機能の低下により、農地及び施設の適切な保全・管理が困難となってきている。そこで、農業者だけでなく地域住民や都市住民も含めた多様な参画を得て資源の適切な保全管理を行う。						
	対 象	市と協定を結んだ活動区域						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	<b>多面的機能支払交付金実施要綱、環境保全型農業直接支援対策実施要綱</b>						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	<ul><li>・農地、農業用施設、景観形成等の保全活動の支援</li><li>・環境保全型農業の支援</li></ul>	・多面的機能支払交付金 (1)農地維持支払分 (2)資源工場支払(共同活動)分 (3)資源工場支払(長寿命化)分 ・多面的機能支払交付金に係る 990,000円 ・環境保全型農業直接支援対象 1団体 1ha 117,600円	↑ 5団体 225.0h ↑ 3団体 130.8h 5現地確認等業務	a 4,671,371円			

2.事業費の財源内訳

2.于木具V/7/M/10\								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)		16,925,000			7,936,000	24,861,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額		16,925,000			7,936,000	24,861,000
		決算額		17,903,023			6,387,010	24,290,033

3. 指標及び実績値

15. 日保及び天順	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	多面的機能支払交付金	0	目標値	7	10	10	10	10
	の活動確認事務	Ш	実績値	8	11	11	11	11
活動指標			目標値					
心到旧保			実績値					
			目標値					
			実績値					
	多面的機能支払交付金	数	目標値	7	10	10	10	10
	の活動組織数(累計)	30	実績値	7	11	11	11	11
成果指標	多面的機能支払交付金	%	目標値	100	100	100	100	100
从木田保	の実践活動実施割合	70	実績値	100	100	100	100	100
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未にNyる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	農業・農村は、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能を有しているが、近年、農村地域の高齢化、過疎化等の振興に伴い集落機能の低下が進み、地域の共同活動に支障が生じている。 このような状況を鑑み、引き続き、多面的機能の維持及び発揮を図るため、地域の共同活動や地域資源の適切な保全管理に取り組む活動組織に支援を行う。

1. 事業の概要				事業番号	89			
	実施計画事業名	企業誘致推進事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部商工観光課 商工振興係						
担当即有守	款項目及び予算名	6款 1項 2目 商工振興費	款 1項 2目 商工振興費					
	予算事業名	企業誘致推進事業		主要事業				
	関連する施策名	3-②-1 立地の優位性を活かした企業誘	-2-1 立地の優位性を活かした企業誘致・雇用確保の促進					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	時代に即した経営手法の研究や人材育成、 に伴い増加が見込まれる成田国際空港を利 活性化を図っていきます。また、既存個人事 ネスを興せるよう、起業・新分野への進出をま	用する外国人観光客の誘致など 業主の経営安定化や様々な市民	を進め、市内商	工業や地域の			
	事業年度	平成15年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	憂良な企業を誘致するため、東京・成田国際空港を結ぶ交通軸上に位置するといった立地優位性や強固な 也盤等の強みなどの魅力を発信する。						
	対 象	企業						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市企業立地促進条例(条例は平成31年 定を受けた事業者は従前の条により適応され		、失効前に条例	規定による指			
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	<ul><li>・企業誘致に関する情報発信</li><li>・立地企業へ奨励金の交付</li></ul>	・千葉NT業務用地説明会への	参加				

2.事業費の財源内訳

一· 丁 不 尺 */ // /////////////////////////////								
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	積算額 (当初予算額)					6,343,000	6,343,000
		予算現額					6,343,000	6,343,000
		決算額					6,340,800	6,340,800

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	企業誘致PR活動		目標値	10	10	10	10	10
	正未防以PK/占到	囙	実績値	13	13	13	12	12
活動指標			目標値					
/白到7日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	NT業務用施設用地の活	%	目標値	80	95	100	100	100
	用率	Q	実績値	90	99	100	100	100
成果指標			目標値					
从木1日1末			実績値					
			目標値		·		·	
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	企業立地促進条例は平成31年3月31日をもって失効。平成30年度に2社の指定事業者を指定しており、令和2年度以降、それぞれ対象としている期間において立地奨励金を交付する。

	13.4	加4十段 刀 天旭引回事果						
1. 事業の概要				事業番号	90			
	実施計画事業名	就労支援事業の充実						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部商工観光課 商工振興係						
担当即有守	款項目及び予算名	6款 1項 2目 商工振興費		新市基本計画				
	予算事業名	商工振興対策事業	主要事業	0				
	関連する施策名	3-②-1 立地の優位性を活かした企業誘	致・雇用確保の促進	重点施策	0			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	時代に即した経営手法の研究や人材育成、魅力ある商工業環境の整備、オリンピック・パラリンピックの開催 に伴い増加が見込まれる成田国際空港を利用する外国人観光客の誘致などを進め、市内商工業や地域の 舌性化を図っていきます。また、既存個人事業主の経営安定化や様々な市民が創意・工夫のもと新たにビジ ネスを興せるよう、起業・新分野への進出を支援していきます。						
	事業年度	平成16年度から実施						
		経済社会環境、雇用環境の変化に伴った雇 求職者に対し事業所の求人情報の提供を行 連携を図り、雇用機会の促進や就労支援を®	うとともに、ジョブカフェちばなど、					
	対 象	市民						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果				
	令和2年度	・近隣ハローワークと連携した雇用情報提供等 ・市独自の就労支援サイトの運営 ・各機関と連携したセミナー等の就労支援	・ハローワーク成田・松戸・船橋 ・就労支援サイト「いんざいお仕 ・就労支援セミナー4回					

2.事業費の財源内訳

4. 于木具切別까片	7 P/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					857,000	857,000
		予算現額					857,000	857,000
		決算額					803,000	803,000

3. 指標及び実績値

5. 相像及U关模 指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	求人情報更新回数	0	目標値	52	52	52	52	52
	水八阴拟史机凹数		実績値	52	48	51	48	48
活動指標	セミナー等開催回数	0	目標値	5	5	5	5	5
/ 山 判 1日 1示	セミナー寺開惟回剱 	Щ	実績値	8	9	7	6	4
			目標値					
			実績値					
	就労支援サイト登録事	事業所	目標値	400	480	500	520	540
	業者数	尹木川	実績値	469	528	589	626	647
成果指標	セミナー等参加者数		目標値	100	100	100	100	100
从木田标	でに、一等参加有数	^	実績値	155	172	91	126	116
			目標値			·		
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未にNyの計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の万回性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	

	731	112年度 万 天旭計画事業	計画示					
1. 事業の概要				事業番号	91			
	実施計画事業名	商工業の活性化事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部商工観光課 商工振興係						
担当即省等	款項目及び予算名	6款 1項 2目 商工振興費		新市基本計画	0			
	予算事業名	中小企業資金融資事業、商工振興対策	事業	主要事業	0			
	関連する施策名	3-2-2 地域の生活を支える商工業の活	性化	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	時代に即した経営手法の研究や人材育成、 に伴い増加が見込まれる成田国際空港を利 活性化を図っていきます。また、既存個人事 ネスを興せるよう、起業・新分野への進出を3	用する外国人観光客の誘致など 業主の経営安定化や様々な市民	を進め、市内商	工業や地域の			
	事業年度	平成18年度から実施						
	争業の美施日的 みが興亜	商工会が行う商工業者支援や地域振興事業 小企業経営基盤の安定強化や、魅力ある商 た取り組みに対し、関係機関と連携しながら3	店街を形成するため、商店街の					
	対 象	市民						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市中小企業資金融資条例、印西市商工 資金利子補給金交付要綱、印西市創業支援		D西市小規模事 <b></b>	業者経営改善			
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	<ul><li>・巡回指導や経営診断、研修会など、商工会事業への補助</li><li>・中小企業及び小規模事業者並びに創業者への利子補給</li></ul>	<ul><li>・中小企業資金融資利子補給3 ・創業支援資金利子補給6件 ・小規模事業者経営改善利子前 ・商工会事業へ補助金の交付 ・商工会経営指導員による相談</li></ul>	··· 甫給55件	3			

2.事業費の財源内訳

4. 于木貝以別源門	3 D/\							
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	積算額 (当初予算額)				25,000,000	19,953,000	44,953,000
		予算現額				25,000,000	19,953,000	44,953,000
		決算額				25,000,000	13,925,654	38,925,654

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	経営指導回数		目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	柱呂相等凹数	ш	実績値	1,555	1,718	1,600	1,544	1,709
活動指標	創業セミナー開催数		目標値	4	4	4	4	4
/立刻/担保	剧来できた一所他数	囙	実績値	4	4	6	5	5
			目標値					
			実績値					
	商工会組織率	%	目標値	53	54	55	56	57
	同工 云 仙 椒 平	70	実績値	52.3	52.2	50	50	50
成果指標	創業セミナー参加者数	人	目標値	100	100	100	100	100
从木田宗	副来でミナー参加有数		実績値	40	52	48	70	60
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価		新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、募集人数の見直し等を行った為、参加者数が 減少してしまった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	

	TJ 4	加2年度 分	计叫示						
1. 事業の概要				事業番号	92				
	実施計画事業名	地域活性化の推進							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部商工観光課 観光振興係							
担ヨ即者寺	款項目及び予算名	2款 1項 7目 まちづくり推進事業費		新市基本計画	0				
	予算事業名	地域活性化の推進に要する経費		主要事業					
	関連する施策名	3-2-2 地域の生活を支える商工業の活 $5-1-2$ 生活の利便性を高める拠点的な		重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	3-②-2 時代に即した経営手法の研究や人材育成、魅力ある商工業環境の整備、オリンピック・パラリンピックの に伴い増加が見込まれる成田国際空港を利用する外国人観光客の誘致などを進め、市内商工業や地 活性化を図っていきます。また、既存個人事業主の経営安定化や様々な市民が創意・工夫のもと新た ネスを興せるよう、起業・新分野への進出を支援していきます。 5-①-2 JR成田線の市内2駅(木下駅、小林駅)周辺の既成市街地においては、日常生活の利便性を高める拠 形成を目指し、都市機能の強化や拠点間を結ぶ連携軸の強化等を推進していきます。							
	事業年度	平成17年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	本下駅周辺地区及び小林駅周辺地区においてそれぞれの駅圏ごとの地域特性を活かした市街地形成や地域の活性化を推進する。							
	対 象	市民							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市都市マスタープラン、印西市中心市街	地活性化基本計画、小林地区	舌性化計画					
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・印旛高校跡地活用事業の総合調整 ・木下駅及び小林駅周辺の地域資源を活か した活動の支援	木下駅周辺地区活性化のイベ ルス感染症蔓延のため中止した		新型コロナウイ				

#### 2.事業費の財源内訳

C.于木貝VXIMF10N								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	積算額 (当初予算額)					38,000	38,000
財源内訳(円)		予算現額					38,000	38,000
		決算額					0	0

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	担い手育成事業(懇話	回数	目標値	5	5	5	5	5
	会・研修会の実施)	凹奴	実績値	0	6	5	0	0
活動指標			目標値					
/白 到 7日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	都市再生整備計画(木 下駅周辺地区)の進捗	%	目標値	100	100	100	100	100
	率	70	実績値	100	100	100	100	100
成果指標	都市再生整備計画(小林・牧の原地区)の進捗	%	目標値	100	100	100	100	100
	本	70	実績値	100	100	100	100	100
	市民等主催イベントの開	回数	目標値	2	2	2	2	2
	催回数	凹剱	実績値	0	0	1	1	0

4.事業に対する評価

マ・デオ・トペップ の 丁川		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	木下駅周辺地区活性化協議化については解散済み。 木下駅周辺地区活性化イベントについては、新型コロナウイルスの影響により中止した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

O. / 欧の/カドリユ	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	
· +×63011030004443000000	

	节7	和2年度 分 美施計画事業評価票							
1. 事業の概要			事業番号	93					
実施計画事業名 経済活性化推進事業									
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部商工観光課 商工振興係							
但当即看守	款項目及び予算名	6款 1項 2目 商工振興費	6款 1項 2目 商工振興費 新市基本計画						
	予算事業名	経済活性化推進事業	主要事業						
	関連する施策名	3-②-2 地域の生活を支える商工業の活性化	重点施策						
基本計画における 位置付け 施策の方向性 施策の方向性 施策の方向性 が見込まれる成田国際空港を利用する外国人観光客の誘致などを進め、市内を活性化を図っていきます。また、既存個人事業主の経営安定化や様々な市民が創意・工夫のオスを興せるよう、起業・新分野への進出を支援していきます。									
	事業年度	平成31年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	インキュベーション施設を使用し、新たな事業分野への進出等を目指す事業者に対し、施設使用料の一部を助成する。また新たな事業分野への進出、研究開発や経営・販路開拓等を目指して研究活動を行う事業者を支援し、地元に根付く企業の育成や新ビジネスの創出を図る。							
	対 象	企業、起業者、市民							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市インキュベーション施設使用料補助金交付要綱(R3.3.31失効)							
730711	年度		美実績·成果						
	令和2年度	・インキュベーション施設使用料の一部助成実績なし							

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	積算額 (当初予算額)					360,000	360,000
財源内訳(円)		予算現額					360,000	360,000
		決算額					0	0

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	産学官交流会開催数		目標値	3	3	0	0	0
	<b>性子日义派云册惟奴</b>	囙	実績値	2	2	0	0	0
活動指標	セミナー等開催回数		目標値	6	6	0	0	0
/白到7日1示	でで、一寺所作四数	ī	実績値	6	7	0	0	0
			目標値					
			実績値					
	イノベーションセンター入	者	目標値	4	4	0	0	0
	居者数(全4室)	18	実績値	3	1	0	0	0
成果指標	産学官交流会参加者及	1	目標値	400	450	0	0	0
八木 11 伝	びセミナー等参加者数 入居企業のうち、市内で	Α	実績値	421	543	0	0	0
		企業のうち、市内で 社	目標値	3	3	4	4	4
	の起業数(累計)	红	実績値	3	4	4	0	0

4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	F 計画なし(当年度活動予定なし)	
②成果に対する評価	F 計画なし(当年度活動予定なし)	
③総合的な評価	F 計画なし(当年度活動予定なし)	

J. 7 B(V)	J IM II	
	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
4 事業終	<b>終結又は廃止等により終了</b>	現在、商工会を通じて、いんざい創業塾や空き店舗事業を行っており、空き店舗事業では、市内に所在する建物で創業しようとする創業者に対して、賃借料の一部を補助することにより出店を促し、創業者を育成するとともに地域の活性化に寄与している。今後、商工会とともに、事業見直し等を行っていく。

1. 事業の概要				事業番号	94					
	実施計画事業名	観光振興事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	環境経済部商工観光課 観光振興係								
担当即看守	款項目及び予算名	6款 1項 2目 商工振興費		新市基本計画	0					
	予算事業名	観光振興対策事業		主要事業						
	関連する施策名	3-②-2 地域の生活を支える商工業の活 3-③-1 印西の魅力発信の体制強化 3-③-2 地域に存在する観光資源の活用		重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	3一②一2 地域の生活を支える商工業の活時代に即した経営手法の研究や人材育成、『に伴い増加が見込まれる成田国際空港を利活性化を図っていきます。また、既存個人事:本スを興せるよう、起業・新分野への進出を33一3一1 印西の魅力発信の体制強化2020年のオリンピック・パラリンピック開催や市観光協会など市の観光を推進していく体制発信により、より多くの観光客等の誘客につが3一3一2 地域に存在する観光資源の活用本市が持つ自然、田園風景、歴史、伝統文化そう高めて活用していくとともに、潜在しているり、地域振興につなげていきます。	展力ある商工業環境の整備、オリ 用する外国人観光客の誘致など 業主の経営安定化や様々な市長 支援していきます。 シ国際観光需要の増加・地方創金 の強化・充実を図っていくととも なげていきます。 ・向上 など各地域に存在する観光資源	を進め、市内商品が創意・工夫の まの取り組みといい に、積極的な市内原	工業や地域のもと新たにビジった背景から、内観光情報のの魅力をいっ					
	事業年度									
	事業の実施目的 及び概要	観光情報館や観光マップ・パンフレット・ホー」 報を市内外に発信し、観光資源の活用を図る また、観光振興を目的として、市内特産品の	00	・イベント・観光名	占所等の観光情					
	対 象	市民								
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市観光振興事業補助金交付要綱、印西	市きおろし水辺の広場の設置及	び管理に関する	条例					
	年度	年度計画の内容		美実績·成果						
	令和2年度	・観光資源の維持管理 ・観光情報の発信 ・特産品の周知 ・観光イベントへの支援 ・観光ブックの増刷	観光資源の環境整備・維持 観光ブックの増刷(日本語:24.0 HPによる観光情報の発信	000部 英語:2,00	0部)					

#### 2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	積算額 (当初予算額)					24,589,000	24,589,000
財源内訳(円) 令和2年原		予算現額					24,589,000	24,589,000
		決算額					19,786,737	19,786,737

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	■各種イベントにおける 「いんザイ君」等でのPR	0	目標値	11	11			
活動指標	回数	1	実績値	15	20			
心到田宗	観光情報の広報紙・市	0	目標値			30	30	31
	ホームページへの掲載	Ш	実績値			26	26	19
	観光入込客数	人	目標値	1,100,000	1,100,000	1,200,000	1,500,000	1,630,000
成果指標	既儿八匹谷奴		実績値	1,002,451	1,034,167	948,632	1,063,688	940,385
以木田保	いんザイ君着ぐるみ貸し		目標値	96	100	0	0	
	出し実績/年		実績値	101	72			

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる評価						
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)				
①活動に対する評価		新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止となったイベントが多く、情報発信の総数 が減少した。				
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光入込客数が減少した。				
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	コロナ禍に適した観光情報の発信やコロナ終息後に向けた観光資源の整備等を進める。				

3. 予後の万円圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、市の観光PRに努めるとともに、コロナ終息後に向けた観光資源の整備等を進める。

节和2年及 方											
1. 事業の概要				事業番号	95						
	実施計画事業名	実施計画事業名 読書活動推進事業									
事業名及び	担当部署名	教育部指導課 教育センター									
担当部署等	款項目及び予算名	9款 1項 3目 教育研究指導費		新市基本計画	0						
	予算事業名	教育情報収集・活用事業(学校用図書館活用事業(学校司書に要する経費)	官システム)、教育情報収集・	主要事業							
	関連する施策名	4-①-1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体	を育む教育の推進	重点施策	0						
基本計画における 位置付け	施策の方向性	とも達が変化の激しいこれからの社会を生き抜くことができるよう、知・徳・体の調和のとれた教育を推進しいきます。また、学力の向上、心の教育、健康に関わる教育を充実させると共に、子ども達が望ましい食習を身につけることができるよう、発達段階に応じた食育も推進していきます。									
	事業年度	平成19年度から実施									
	事業の実施目的 及び概要	専門的な知識をもった学校司書の配置、学校図書館の蔵書のデータベース化を行うことにより、児童生徒が 使いやすく読書意欲を喚起する環境整備、円滑な貸出・返却作業、効率的な図書検索、児童生徒個々への 読書相談等の充実を図る。									
	対 象	市内小中学生									
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市子ども読書推進計画									
	年度	年度計画の内容	10.2	美実績·成果							
	令和2年度	市内全小中学校へ学校司書を配置(2~3 校兼務) ・図書室の環境整備 ・読書指導 ・学習支援等 ・学校間貸出	市内の小学校8校と中学校5校 配置した。各司書が2校または 点校以外の学校でも勤務するこ 校司書を派遣することができたり、図書室の環境整備や・読書 い、読書活動の充実を図ること により市内全校に図書を寄贈す 年目)感染予防対策の為、学校	3校を兼務し、曜 ことで、週の中で 。学校図書館教 指導・学習支援等 ができた。また、 ることができた。	日を変えて拠 市内全校に学 員との連携を図 等の業務を行 宮下氏の寄付 (3年計画の1						

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					22,254,000	22,254,000
財源内訳(円) 令		予算現額					22,205,000	22,205,000
		決算額					21,894,492	21,894,492

3. 指標及び実績値

3. 相保及び美積	指標内容		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	3 # O ET PT   #4	ı	目標値	15	15	15	15	15
	司書の配置人数	^	実績値	11	11	12	12	13
活動指標			目標値					
/白到7日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	貸し出し冊数	l m	目標値	200,000	204,000	208,000	212,000	216,000
		111	実績値	208,592	239,209	222,055	257,372	221,384
成果指標	貸し出し冊数の増加率	%	目標値	2	2	2	2	2
从木1口示	(前年度と比較して)	70	実績値	2	15	-1	1	-1
	読書を好む児童・生徒の	%	目標値	80	80	80	80	80
	割合	%0	実績値	75	74	73	71	73

4.事業に対する評価

ナ・デオルグッツ町画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	配置人数はおおむね目標値どおりであった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	感染症予防のため4・5月と学校が休校になったため、貸出冊数は昨年度より減少した。ただし、目標値には到達した。読書を好む児童・生徒の割合はほぼ例年通りであるが、少しずつ向上傾向にある。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	感染予防のため制限のある中での読書活動であったが、ほぼ計画したとおりの 成果を得られることができた。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	読書好きの児童・生徒を増やすために、読書の時間の設定や環境の整備を進めていきたい。また、読書活動や調べ学習等の必要に応じた図書の選定を進めていく。学校司書の配置数や勤務日を増やすことにより、児童・生徒の読書活動のさらなる支援を充実させていく。

1. 事業の概要				事業番号	96					
	実施計画事業名	幼児教育の充実								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部学務課 学務係								
担当即有守	款項目及び予算名	9款 4項 1目 幼稚園費		新市基本計画						
	予算事業名	幼稚園管理運営に要する経費、幼稚園	施設管理に要する経費	主要事業	0					
	関連する施策名	4-①-1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を	を育む教育の推進	重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもたちが変化の激しいこれからの社会を生き抜くことができるよう、知・徳・体の調和のとれた教育を推進していきます。また、学力の向上、心の教育、健康に関わる教育を充実させるとともに、子どもたちが望ましい食習慣を身につけることができるよう、発達段階に応じた食育も推進していきます。								
	事業年度	平成18年度から実施								
	事業の実施目的 及び概要	人間形成の基礎が培われる極めて重要な幼児期に、幼稚園において、幼児一人ひとりの望ましい発達を促すため、家庭と十分な連携をし、幼児教育の充実を図る。								
	対 象	市内に住所を有する3歳児、4歳児及び5歳児								
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	教育基本法、学校教育法、印西市立幼稚園 計画	設置条例、 印西市立幼稚園管	理規則、印西市特	<b>教育振興基本</b>					
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果						
	令和2年度	・家庭との連携による幼児教育の充実 ・瀬戸、もとの幼稚園の管理運営 ・瀬戸、もとの幼稚園の施設管理 ・もとの幼稚園長寿命化計画策定	幼稚園事業の管理運営上必要 備を行うとともに、各種研修会へ 教育及び幼児教育に関する指 た。 また、幼稚園長寿命化計画が屈 寿命化計画を策定した。	への参加により最 導方法を身に着り	新の特別支援 ナることができ					

2.事業費の財源内訳

2. 于未良以州源户	2. 宇术真の別線門肌									
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計		
	令和2年度	積算額 (当初予算額)		0		21,930,000	21,871,000	43,801,000		
		予算現額		1,000,000		21,929,000	22,142,000	45,071,000		
		決算額		1,000,000		11,363,997	18,875,358	31,239,355		

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	幼稚園教員の研修参加	回	目標値	9	9	9	9	9
	要請	囙	実績値	8	7	10	18	11
活動指標			目標値					
/白到1日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	幼稚園教員の研修参加	1	目標値	16	13	13	13	13
	者数	<b>\</b>	実績値	21	21	28	21	11
成果指標			目標値					
以木田宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

-	4. 尹未にNyの計画		
	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

0. 子及60万円正	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	引き続き幼稚園事業の管理運営上必要となる施設・設備・備品等の整備をするとともに、研修会への参加により職員の指導力向上を図っていく。

1. 事業の概要				事業番号	97					
	実施計画事業名	子育てのための施設等利用給付事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部保育課 管理係								
担当即有守	款項目及び予算名	9款 4項 1目 幼稚園費		新市基本計画						
	予算事業名	子育てのための施設等利用給付事業		主要事業	0					
	関連する施策名	4-①-1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体	を育む教育の推進	重点施策						
基本計画における 位置付け		していきます。また、学力の向上、心の教育、	どもたちが変化の激しいこれからの社会を生き抜くことができるよう、知・徳・体の調和のとれた教育を推進 ていきます。また、学力の向上、心の教育、健康に関わる教育を充実させるとともに、子どもたちが望ましい 習慣を身につけることができるよう、発達段階に応じた食育も推進していきます。							
	事業年度	令和元年度10月から実施								
		そども・子育て支援新制度の一環として、(未移行)幼稚園に通園する認定子どもについて、施設等利用給作 費を支給するもの								
	対 象	満3歳以上の小学校就学前子どもであって、子ども・子育て支援法第30条の4第1号から第3号に該当する 子ども								
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	子ども・子育て支援法								
	年度	年度計画の内容	年度の事業	k実績·成果						
	令和2年度	・保育料及び入園料に係る施設等利用費の支給 ・預かり保育に係る施設等利用費の支給	市内に居住する園児が在園し 負担金を支出することで、幼稚 経済的負担を軽減した。また、 の預かり保育の費用を保護者の 就労支援を図った。	園保育料を無償 保育の必要性の	とし、保護者の ある認定子ども					

2.事業費の財源内訳

2. 予不員の別 源 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									
財源内訳(円) 令	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	209,421,000	105,430,000			105,431,000	420,282,000	
		予算現額	209,166,000	105,303,000			176,670,000	491,139,000	
		決算額	212,054,293	106,027,146			95,431,715	413,513,154	

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	認定申請書の配付	1	目標値					1,500
	応た中間音の肛門	^	実績値					1,483
活動指標			目標値					
/山 到 1日 1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	(未移行)幼稚園への負	Д	目標値					1,160
	担金		実績値					1,366
成果指標	預かり保育料の保護者	1	目標値					355
从本1日1末	への扶助	^	実績値					395
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	4月・5月は新型コロナウィルスの感染拡大防止のため幼稚園の臨時休園および預かり保育の実施を縮小した幼稚園もあったため、預かり保育の利用回数が減少したが、6月以降徐々に回復した。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和元年10月から実施された幼保無償化事業として、子ども子育て支援法に基づき認定した子どもに対し、幼稚園保育料および預かり保育料を無償とする補助事業(国庫1/2、県1/4、市1/4)であるため、市内に居住する認定子どもにかかる施設利用にあたり、継続して事業を実施する必要があるため。

1. 事業の概要				事業番号	98					
	実施計画事業名	学習指導の充実								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部指導課 指導班								
担当即有守	款項目及び予算名	9款 2項 2目 教育振興費/9款 3項	7 2項 2目 教育振興費/9款 3項 2目 教育振興費 新市基本計画							
	予算事業名	習指導の充実 主要事業 ○								
	関連する施策名	4-①-1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を	を育む教育の推進	重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	していきます。また、学力の向上、心の教育、	ざもたちが変化の激しいこれからの社会を生き抜くことができるよう、知・徳・体の調和のとれた教育を推進 いきます。また、学力の向上、心の教育、健康に関わる教育を充実させるとともに、子どもたちが望ましい 習慣を身につけることができるよう、発達段階に応じた食育も推進していきます。							
	事業年度									
	事業の実施目的 及び概要	児童生徒の学力・体力・社会性の育成及び5 し、きめ細かな指導やさまざまな体験活動の の実現を目指して、独自のカリキュラムを作り	導入、外部人材の活用を図るな							
	対 象	公立幼稚園·小中学校								
	根拠法令·関連計画 等	印西市教育振興基本計画、印西市の教育施	策							
事業内容等	年度	年度計画の内容		美実績・成果						
	令和2年度	・学ぶ力の育成(市独自の漢字級別認定テスト及び計算力認定テストの実施等) ・豊かな心の育成(芸術文化体験事業の実施、適応指導教室事業の推進等) ・健やかな体の育成(民間プールを活用した水泳学習の実施、いのちや性に関する授業及び食育の授業の実施等) ・特色ある学校づくりの推進(教育課題に関する調査・研究・開発及び指導・助言、学校ホームページを活用した学校広報の充実等)	漢字・計算カテストともに全小等計算カの向上につながっているを活用した水泳学習、食育の授ス感染拡大防止のため全て中」達段階や学習内容に応じて、好が、新型コロナウイルス感染拡大できなかった。各学校ホー、行うとともに作成・更新について、報発信を積極的に行うよう推進業等について、研修、助言を行を図った。	る。芸術鑑賞教室 業に関しては新 止とした。各学校 ト部人材の活用を 大防止から、充分 ムページについて した。タブレット並	、民間プール型コロナウイルにおいては、発 計画していた 分に活用するこ 、指導・助言を 学校からの情 端末を用いた授					

2.事業費の財源内訳

2. 于不良以为师?	יעוני							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)					9,608,000	9,608,000
	令和2年度	予算現額	5,457,000				13,404,000	18,861,000
		決算額	1,902,000				8,744,260	10,646,260

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	指導主事等要請訪問数		目標値	600	600	600	600	600
	拍等工事等安朗初问效	亘	実績値	581	641	770	524	463
活動指標	外部人材の活用校数	校	目標値	30	29	29	27	27
心到旧保	外部人材の活用校数	ťΧ	実績値	30	29	29	27	27
			目標値					
			実績値					
	指導主事等要請訪問数	%	目標値	100	100	100	100	100
	旧守工事守女明初问奴	70	実績値	97	107	128	87	77
成果指標	外部人材の活用校数	校	目標値	30	29	29	27	27
<b>从</b> 未141宗	が即入物の冶用収数	12	実績値	30	29	29	27	27
	校内研修会実施校数	校	目標値	30	29	29	27	27
	以下,则是五天肥汉奴	12	実績値	30	29	29	27	27

4.事業に対する評価

4.争業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		新型コロナウイルス感染拡大防止のために、各学校での授業研究が中止となることも多く、指導主事等要請訪問数も目標値に届かなかった。
②成果に対する評価		新型コロナウイルス感染拡大防止のために、各学校での授業研究が中止となることも多く、指導主事等要請訪問数も目標値に届かなかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染拡大防止のために、多くの制限がある中でもできる限り実施し、十分ではないまでも、目標値から下回ることを最小限にできた。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和2年度は新型コロナウイルス感染防止にため中止した事業が多く、目標値を十分に達成することができなかったが、今後は感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で事業を継続していく。

1. 事業の概要				事業番号	99		
	実施計画事業名	国際理解教育推進事業					
事業名及び	担当部署名	教育部指導課 指導班					
担当部署等	款項目及び予算名	9款 1項 3目 教育研究指導費		新市基本計画	0		
	予算事業名	国際理解教育推進事業、国際理解教育 ディネーターに要する経費)	推進事業(英語教育コー	主要事業	0		
	関連する施策名	4-①-1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を 4-②-2 グローバル化に対応した多文化		重点施策	0		
基本計画における 位置付け  施策の方向性   本一では市内に居住・定住する外国人も増加しており、社会のグローバル化がますます進む中、層、異なる文化を持つ人々との共生を図ることが求められます。そのため、すべての市民が多様  値観を受け入れ、互いに理解し合いながら、国籍や文化の違いを越え、安心して暮らしていける記述  進めていくともに、国際理解の推進などにより多文化共生意識を醸成していきます。							
	事業年度	平成15年度から実施					
	事業の実施目的 及び概要	自国のみならず他国の文化や伝統の理解を深め、国際社会で求められる資質やコミュニケーション能力を養うため、外国語指導助手や日本人英語教育コーディネーターの活用、イングリッシュアカデミー ホップ(小学3・4年生対象の英語研修会)及びイングリッシュアカデミー ステップ(小学5・6年生対象の英語研修会)、イングリッシュアカデミー ジャンプ(中学生対象の海外派遣研修)の実施等、国際理解教育、英語教育の充実を図る。					
	対 象	公立幼稚園・小中学校、市内在住の小中学生					
	根拠法令·関連計画 等	印西市教育振興基本計画、印西市の教育施	策				
事業内容等	年度	年度計画の内容	1.03	美実績·成果			
	令和2年度	・ALT(外国語指導助手)の派遣 ・英語教育コーディネーターの配置 ・イングリッシュアカデミー ホップ(小学3・4 年生対象の英語研修会)の実施 ・イングリッシュアカデミー ステップ(小学5・ 6年生対象の英語研修会)の実施 ・イングリッシュアカデミー ジャンプ(中学生 対象の海外派遣研修)の実施	13名の外国語指導助手を各小の推進及び児童生徒のコミュニケた、幼稚園にも月1回派遣し、交び英語教育コーディネーター6名指導助手と担任の連携や授業の今年度はコロナウィルス感染症への中学生海外派遣研修やインが、日々の授業実践で外国語指令のサポートを通して国際社会た。	ァーション能力ので流を図った。 を小学校12校にで サポートを行った。 予防の観点から、 グリッシュ・トレセン 導助手や英語教	可上を図った。ま 記置し、外国語 。 オーストラリア ンを中止にした 育コーディネー		

2.事業費の財源内訳

2.尹未買の別源り	751							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)				2,018,000	83,100,000	85,118,000
		予算現額				0	70,338,000	70,338,000
		決算額				0	69,552,231	69,552,231

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	小学校への派遣日数	日	目標値	1,125	1,125	1,125	1,125	1,125
	小子校、00	н	実績値	1,077	1,014	1,047	1,029	1,486
活動指標	中学校への派遣日数	日	目標値	1,190	1,190	1,190	1,190	1,190
/ 1到1日1示	十十枚、00派追口数	н	実績値	1,122	1,133	1,145	1,150	1,108
	(市立)幼稚園への派遣	В	目標値	33	22	22	22	22
	日数	н	実績値	30	19	20	20	19
	授業総時数	時間	目標値	10,510	10,510	10,510	10,510	10,510
成果指標	[技术秘时数	h41月1	実績値	10,003	10,147	10,252	9,142	11,176
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.字木に刈りる町画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

3. 7枚の刀門圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルスの影響で予定していた活動ができなかった。しかし、新しい学習指導要領が始まり、これまで以上に質の高い言語活動の充実が求められるため、引き続き外国語指導助手の増員と海外派遣等の活動が不可欠である。感染症予防対策を行いつつ、通常開催と同程度の形で事業を実施していきたい。

1. 事業の概要				事業番号	100				
	実施計画事業名	特別支援教育事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部指導課 指導班							
但当即看守	款項目及び予算名	9款 1項 3目 教育研究指導費		新市基本計画					
	予算事業名	特別支援教育事業		主要事業					
	関連する施策名	4-①-1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を	を育む教育の推進	重点施策	0				
基本計画における 位置付け		子どもたちが変化の激しいこれからの社会を していきます。また、学力の向上、心の教育、 食習慣を身につけることができるよう、発達的	健康に関わる教育を充実させる	らとともに、子ども					
	事業年度								
	争業の美施日的	市内幼稚園・小中学校に在籍している特別な教育的支援を必要としている幼児・児童生徒及び特別支援学級に在籍している心身に障がいをもった児童生徒について、個々のニーズに応じたきめ細かな教育的支援を行うために、幼児・児童生徒の実態を適切に把握し、関係機関との連携を図る。							
	対 象	公立幼稚園・小中学校							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市教育振興基本計画、印西市の教育施策							
7 777 74 3	年度	年度計画の内容		美実績·成果					
	令和2年度	・就学指導委員会の開催 ・早期就学相談の実施 ・市特別支援ネットワーク部会の開催 ・市特別支援教育連携協議会の開催 ・専門家チーム会議の実施	特別支援学級に在籍していた児童 支援が必要な児童生徒に対し、個 や特性に応じた支援を行った。市枠 は、新型コロナウイルス感染拡大的 別支援教育連携協議会については ファイル(ライフサポートファイル)の 者間での引継ぎが確実になるよの ついては、コロナ感染拡大防止のが	別の指導計画に沿 特別支援ネットワー 方止のため書面開 は、オンライン開催し の活用推進がなされ た。あわせて、幼・ うに周知した。専門	って、発達段階 ク部会について 権を行った。市特 こより、コスモス いるよう、各担当 小・中・高・就労				

2.事業費の財源内訳

	/ H/ N							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					652,000	652,000
		予算現額					652,000	652,000
		決算額					288,945	288,945

3. 指標及び実績値

5. <b>日保及び天順</b> 指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	通常学級指導員の配置	ı	目標値	30	30	30	30	30
	人数	^	実績値	28	42	41	44	46
活動指標	介助員の配置人数	ı	目標値	40	40	40	40	40
/ 山 刬 旧 保	川 助員の配直入数		実績値	41	32	40	43	42
			目標値					
			実績値					
	通常学級指導員の配置	置 %	目標値	100	100	100	100	100
	比率		実績値	93	140	137	147	153
成果指標	介助員の配置比率	%	目標値	100	100	100	100	100
八.木扫标	17 切員の配直比率	70	実績値	103	80	100	108	105
			目標値				·	
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

3. 7後の万円圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	児童生徒数の増加に伴い、支援を必要とする児童生徒が、一般児童生徒の増加率以上に増えている。あわせて、支援を要する内容や場面も広がっている。児童生徒にとって、学校が確かな学びの場、自己実現を体験する場になるように、今後は事業を拡大していく必要がある。

1. 事業の概要				事業番号	101			
	実施計画事業名	職場体験学習の推進						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部指導課 指導班						
担크마有寺	款項目及び予算名	9款 3項 2目 教育振興費		新市基本計画				
	予算事業名	職場体験事業		主要事業				
	関連する施策名	4-①-1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を	を育む教育の推進	重点施策	0			
基本計画における 位置付け		子どもたちが変化の激しいこれからの社会を していきます。また、学力の向上、心の教育、 食習慣を身につけることができるよう、発達別	健康に関わる教育を充実させる	とともに、子ども				
	事業年度	平成13年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	地域の教育力を積極的に活用した職場体験学習や職業人による講演等を実施し、社会的・職業的自立に「 けて必要な基盤となる資質・能力を育成する。						
	対 象	中学校						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市教育振興基本計画、印西市の教育施	策					
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果				
		・中学1年生を対象とした職業人による講話会の実施・中学2年生を対象とした職場体験学習(印西市生き活き体験)の実施	新型コロナウイルス感染防止の	ため中止				

2.事業費の財源内訳

2. 尹未真の別源り	761							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)					163,000	163,000
		予算現額					163,000	163,000
		決算額					45,443	45,443

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実施中学校	施中学校校校校	目標値	9	9	9	9	9
	大肥十子  X	TX	実績値	9	9	9	9	0
活動指標			目標値					
/ 1到1日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	参加率	%	目標値	100	100	100	100	100
	<i>≫</i> /µ-	70	実績値	100	100	100	100	0
成果指標			目標値					
从木油坑			実績値					
			目標値				·	
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に対りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナ感染症の影響により、実施できなかった
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナ感染症の影響により、実施できなかった
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナ感染症の影響により、実施できなかった

-: / DC-+ / J   J   E	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	キャリア教育推進のため、中学生が地域の協力を得て社会的活動を行うことの意義は非常に大きい。中学生が自分の将来や進路について真剣に考える良い機会になり、学ぶ力、豊かな心を育むためにも本事業は継続が望ましい。

1. 事業の概要				事業番号	102			
	実施計画事業名	芸術文化体験事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部指導課 指導班						
担当即省等	款項目及び予算名	9款 1項 3目 教育研究指導費		新市基本計画				
	予算事業名	小中学校芸術文化体験事業		主要事業				
	関連する施策名	4-①-1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を	を育む教育の推進	重点施策	0			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもたちが変化の激しいこれからの社会を していきます。また、学力の向上、心の教育、 食習慣を身につけることができるよう、発達段	健康に関わる教育を充実させる	とともに、子ども				
	事業年度	平成15年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	幅広い音楽活動や日本の伝統芸能の鑑賞を通して、豊かな情操を育成する。						
	対 象	小中学校						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市教育振興基本計画、印西市の教育施	策					
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	・小中学生を対象としたさわやかハートフルコンサートの開催 ・小学6年生を対象とした芸術鑑賞教室の開催	今年度はコロナウィルス感染症 行事が全て中止になった。しか 行いながら音楽鑑賞や各種創作 指す「知・徳・体の調和のとれた	し、各学校で感染 作活動を実施して	対策を十分に、本事業が目			

2.事業費の財源内訳

	3 D/ C							
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					6,353,000	6,353,000
		予算現額					0	0
		決算額					0	0

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	芸術文化体験実施校	校	目標値	30	29	29	27	27
	云州人心体歌天旭仪	TX.	実績値	30	29	29	27	0
活動指標			目標値					
/白 到 1日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	芸術文化体験参加数	1	目標値	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900
	云闸人心体映参加数	人	実績値	2,640	3,171	3,246	3,269	0
成果指標			目標値					
<b>八木相</b> 保			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に別りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、予定していた活動ができなかった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、予定していた活動ができなかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、予定していた活動ができなかった。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルスの影響で予定していた活動ができなかった。しかし、本事業は学力の向上、 心の教育、健康に関わる教育の充実に不可欠であり、充実した生活を送ることができる資質能力 を身に着けるうえでも本事業を継続していくことが望ましい。

1. 事業の概要				事業番号	103				
	実施計画事業名	適応指導教室事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部指導課 教育センター							
但当即有守	款項目及び予算名	9款 1項 4目 教育センター費		新市基本計画	0				
	予算事業名	適応指導教室事業、適応指導教室事業(適応	指導教室指導員に要する経費)	主要事業					
	関連する施策名	4-①-1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を	を育む教育の推進	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもたちが変化の激しいこれからの社会を生き抜くことができるよう、知・徳・体の調和のとれた教育を打していきます。また、学力の向上、心の教育、健康に関わる教育を充実させるとともに、子どもたちが望ま食習慣を身につけることができるよう、発達段階に応じた食育も推進していきます。							
	事業年度	平成17年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	様々な理由で学校に行きたくとも行けない状態にある市内の不登校児童生徒に対して、適応指導教室(教育 センター)において、学習の支援や体験活動を行い、当該学校や社会への復帰及び進路に向けての支援を 行う。							
	対 象	各小·中学校							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西の教育施策							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	<ul><li>・不登校児童生徒に対する学習支援</li><li>・少人数での体験活動支援</li><li>・児童生徒及び保護者に対する教育相談</li></ul>	適応指導教室に令和2年度通生11名、中学生16名)いた。素学期に1回開催している保護会」はコロナウイルス感染症対策保護者、指導員、計導主事の自立に向けた目標設定についてができた。	所年度学校復帰に 者会「緑のまきば 策のため開催はし 三者面談を実施	は24名である。 であったまる しなかった。 し、学校復帰や				

2.事業費の財源内訳

2. 于木貝以州(赤)	7 P/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					6,609,000	6,609,000
		予算現額					7,055,000	7,055,000
		決算額					6,720,302	6,720,302

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	適応指導教室の開設日	日	目標値	200	200	200	200	200
	数	н	実績値	194	194	194	175	179
活動指標	保護者会の開催		目標値	11	11	11	4	4
/ 山 刬 拍 信示	休設日本の開催	Ш	実績値	11	11	11	3	0
			目標値					
			実績値					
	在籍校復帰率(部分復	%	目標値	50	50	50	50	50
	帰含む)	70	実績値	41	65	93	91	88
成果指標			目標値					
从未担保			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未にNyの計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	感染症防止の観点から保護者会の実施は見送った。
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	不登校支援の需要は年々高まっており、適応指導教室での支援の一層の充実を図っていく必要があり、適応指導教室の指導員の増置により、当該学校や社会への復帰及び進路に向けての支援をきめ細やかに行えるようにしたい。

1. 事業の概要				事業番号	104			
	実施計画事業名	教育相談事業						
事業名及び	担当部署名	教育部指導課 教育センター						
担当部署等	款項目及び予算名	9款 1項 4目 教育センター費/9款	1項 3目 教育研究指導費	新市基本計画	0			
	予算事業名	教育相談事業、教育相談事業(教育相記 題対策指導員に要する経費	炎員に要する経費)、学校問	主要事業				
	関連する施策名	4-①-1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を	育む教育の推進	重点施策	0			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもたちが変化の激しいこれからの社会を していきます。また、学力の向上、心の教育、 食習慣を身につけることができるよう、発達的	健康に関わる教育を充実させる	とともに、子ども				
	事業年度	平成5年度から実施						
		教育に関する保護者、児童生徒、教職員の様々な悩みに応えるため、教育センターにおいて電話・面談相談を実施し、問題の解決を図る。また、学校教育上の問題を迅速かつ適切に解決していくための対策を、学校と共に講じるため、学校問題対策指導員を設置する。						
	対 象	一般市民(教育に関する悩みを持った保護	者・家族・児童生徒)、市内教職	Ę				
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市教育センターの設置及び管理に関する	る条例					
	年度	年度計画の内容		美績∙成果				
	令和2年度	・電話相談の実施 (常時1名配置) ・適応指導教室への支援 ・福祉関係の行政機関との連携 ・学校問題対策指導員による相談	面談件数は48件、電話相談件 も相談室」は36件であった。教 が対応しており、来談する方にないる。	育相談員とセンタ	一の指導主事			

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					3,759,000	3,759,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					3,793,000	3,793,000
		決算額					3,606,859	3,606,859

3. 指標及び実績値

3. 相係及び天積	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	相談開設日数	В	目標値	240	240	240	240	240
	怕跌阱設口数	н	実績値	244	244	244	244	244
活動指標	勤務日一日当たりの対	件	目標値	1	1	1	1	1
/白到1日1示	応事例数	1T	実績値	1	1	1	1	1
	一人当たりの年間の対	校	目標値	10	10	10	10	10
	応学校数	13.	実績値	18	22	22	22	22
	相談件数	件	目標値	150	150	150	150	150
	旧成仟奴	П	実績値	154	158	212	183	82
成果指標	関わった学校アンケート	%	目標値	82	84	86	88	90
从木油坑	でのプラス評価	70	実績値	83	85	86	88	90
	事例改善率(事後調査	%	目標値	50	50	50	50	50
	の結果)	/0	実績値	83	80	80	80	80

4.事業に対する評価

ア・デオルグラックロード		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u>0. / (CO) / (CO</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	教育に関する保護者、児童生徒、教職員の様々な悩みに応えるためには、相談員の増置や専門的な指導員の配置が望ましい。

	TD 4	加2年度 分 美胞計画争果	计叫示					
1. 事業の概要				事業番号	105			
	実施計画事業名	学校保健事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部指導課 指導班						
担当即有守	款項目及び予算名	9款 6項 1目 保健体育総務費		新市基本計画				
	予算事業名	学校保健事業(運営経費)、学校保健事業	(歯科衛生士に要する経費)	主要事業				
	関連する施策名	4一①一1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を	を育む教育の推進	重点施策	0			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもたちが変化の激しいこれからの社会を していきます。また、学力の向上、心の教育、 食習慣を身につけることができるよう、発達別	健康に関わる教育を充実させる	らとともに、子ども				
	事業年度							
	事業の実施目的 及び概要	児童生徒及び学校職員の健康状態を把握し、健康の保持増進を図るため、定期健康診断等を実施する。 児童生徒等が安全で快適な学校生活を送れるよう、各種検査・点検を行い学校環境の改善に努める。						
	対 象	公立幼稚園・小中学校						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	学校保健安全法						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	・定期健康診断及び就学時健康診断の実施と個別の治癒勧告 ・環境衛生検査の実施 ・環境衛生検査の実施 ・学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校 保健会との連携 ・小児生活習慣病予防教室及びブラッシン グ指導等の実施 ・学校保健会報及び印西市の学校保健の発 行	診断を実施し、受診勧奨を行っ 準に基づく検査により、児童生 のため、適切な環境の維持を退 小児生活習慣病予防検診及び 導については、新型コロナウイ した。	た。また同法学は 徒の健康保持と 望った。 予防教室、歯科 ルス感染症の影 会は、新型コロナ	交環境衛生基 学習能率向上 ブラッシング指 響により中止と			

2.事業費の財源内訳

	2. 子术具 <i>V 附 M</i>							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					58,794,000	58,794,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額	1,165,000				42,287,000	43,452,000
		決算額	1,165,000				40,050,427	41,215,427

3. 指標及び実績値

5. 田保及び天順	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各種専門部会の実施数		目標値	4	4	4	6	6
	合性専門部会の美施数	Ш	実績値	4	4	8	7	1
活動指標	定期健康診断の実施校	校	目標値	33	31	31	29	29
心划扫标	数	TX	実績値	33	31	31	29	29
	環境検査実施校数	校	目標値	33	31	31	29	29
	·	12	実績値	33	31	31	29	29
	各種専門部会の実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
	古代寺门の云の天池平	70	実績値	100	100	100	100	17
成果指標	定期健康診断の受診率	%	目標値	100	100	100	100	100
风木田宗		70	実績値	100	98.6	98	98	98
	環境検査を実施したこと により、学校環境の改善	%	目標値	90	90	90	90	90
	になった割合	70	実績値	80	90	90	90	80

4.事業に対する評価

1	<u> </u>	=x / <del>x</del> / <del>+</del>	世ャ/を広げ出・の一とし、女は在りについての無味)
	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	16 はは日本調とおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、専門部会は書面開催1回のみ実施した。
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、専門部会の実績率が下回った。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u>0. 7                                   </u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	法令に基づき、今後も児童生徒の心身の健康と学習環境が保たれるよう実施する

1. 事業の概要				事業番号	106				
	実施計画事業名	学校給食事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部指導課 給食センター							
担当即省等	款項目及び予算名	9款 6項 3目 学校給食費		新市基本計画	0				
	予算事業名	学校給食センター事業、学校給食事務所	費	主要事業	0				
	関連する施策名	4-①-1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を	を育む教育の推進	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	どもたちが変化の激しいこれからの社会を生き抜くことができるよう、知・徳・体の調和のとれた教育を推進 ていきます。また、学力の向上、心の教育、健康に関わる教育を充実させるとともに、 子どもたちが望ましい 習慣を身につけることができるよう、 発達段階に応じた食育も推進していきます。							
	事業年度								
	事業の実施目的 及び概要	児童生徒に対し望ましい食習慣の形成に努めるとともに、食を通じて好ましい人間関係を育成するため、 常 給食の充実を図る。							
	対 象	市内小中学校の児童・生徒							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	学校給食法、同法施行令、同法施行規則							
	年度	年度計画の内容	1.04 . 7 .	業実績·成果					
	令和2年度	・学校給食の充実 ・牧の原学校給食センターの改修工事	・新型コロナウィルス感染症対 15日から給食が開始され、学林 中学校で163回を提供 ・牧の原学校給食センターの改 食の提供に努めた。	交給食数として小	学校で164回、				

2.事業費の財源内訳

2. 于未良以州(赤)	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)				569,250,000	961,035,000	1,530,285,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額	1,198,000			558,781,000	909,528,800	1,469,507,800
		決算額	844,000			443,356,691	862,167,320	1,306,368,011

3. 指標及び実績値

3. 拍係及び夫積								
指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	学校給食センター運営 について検討会議の実		目標値	3	3	3	3	3
	施	티	実績値	4	4	4	3	3
活動指標	  計画に基づく修繕実施	式	目標値	1	1	1	1	1
70 30 10 15	田 四に至 ノ ( ) 相 大 旭	10	実績値	1	1	1	1	1
			目標値					
			実績値					
	  給食提供日数	日	目標値	190	190	190	190	190
	和及泛於口数		実績値	190	190	190	171	164
成果指標			目標値					
从木油ホ			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウィルス感染拡大防止を目的とした休校措置により、給食の提供を 一時休止した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 単著を相外の主主義編  7 書頭	経年劣化した施設の修繕及び児童生徒数の増に対応した施設整備を計画的に実施し、 安全な給食を安定的に提供するよう努める。

1. 事業の概要				事業番号	107				
	実施計画事業名	小中学校施設整備改修事業							
事業名及び	担当部署名	教育部教育総務課 教育施設係							
担当部署等	款項目及び予算名	9款 2項 1目 小学校 学校管理費 9款 3項 1目 中学校 学校管理費		新市基本計画	0				
	予算事業名	小学校施設整備改修事業(一般事業、基金中学校施設整備改修事業(一般事業、基金		主要事業	0				
	関連する施策名	4-①-2 安全で安心できる教育環境づ	<b>&lt;</b> 9	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、学校施設や教育環境を整えます。また、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むため、学校・家庭・地域の連携による開かれた学校づくりを推進するとともに、地域の持つ教育力を活かした教育活動の充実を図ります。							
	事業年度	平成16年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	児童生徒の学校生活の安全性と快適性を確保するとともに、学校施設の機能を維持し、長寿命化等を図るための改修等の工事を実施する。							
	対 象	市内小中学校							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市教育振興基本計画·学校施設改修	の考え方及び整備計画						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果					
	令和2年度	<ul> <li>小中学校改修工事(R2·R3継続) (原山中学校)</li> <li>小中学校改修工事実施設計 (高花小学校)</li> <li>大規模校対策工事及び設計 (木刈中学校校舎增築等)</li> <li>学校施設長寿命化計画策定</li> </ul>	·大規模校対策工事及び設計 (木刈中学校校舎増築工 実施設計、牧の原小学校校 学校校会増築工事実施設計 ・学校施設長寿命化計画策算      ·学校施設長寿命化計画策算      · **	事、原小学校校 舍増築工事実施 )					

2.事業費の財源内訳

4. 于不良以内侧下	3 DV \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	円) 令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	111,464,000	1,600,000	137,100,000	486,458,000	233,612,000	970,234,000
		予算現額	125,341,000	1,600,000	82,000,000	203,628,000	203,214,000	615,783,000
		決算額	125,684,000	1,600,000	82,000,000	203,288,000	188,690,933	601,262,933

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	工事	%	目標値	100	100	100	100	50
	上サ	70	実績値	95	100	100	100	100
活動指標	委託	%	目標値	100	100	100	100	100
/白到7日1宗	女癿	70	実績値	100	100	100	100	100
			目標値					
			実績値					
	計画した学校施設の整備	%	目標値	100	100	100	100	100
	改修の進捗率	70	実績値	100	100	100	100	100
成果指標			目標値					
以木田标			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

マ・デオ にかり の 一川					
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)			
①活動に対する評価	B ほぼ目標通りである				
②成果に対する評価	B ほぼ目標通りである	児童・生徒数増に対応しなければならなかったため。			
③総合的な評価	B ほぼ目標通りである	新型コロナウイルの影響により、原山中学校大規模改修工事及び高花小学校大規模改修工事実施設計を取り組むことができなかったが、急務である牧の原小校、淹野中学校、及び原小学校の校舎増築工事実施設計に着手できた。			

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後においても計画的な大規模修繕に努め、生徒急増に対応すべく校舎の増築工事に 努める必要があるため

1. 事業の概要				事業番号	108				
	実施計画事業名	就学援助事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	文育部学務課 学務係							
担크마百寸	款項目及び予算名	9款 2項 2目 教育振興費/9款 3項	頁 2目 教育振興費	新市基本計画					
	予算事業名	就学援助事業、特別支援教育就学奨励	事業	主要事業					
	関連する施策名	4一①-2 安全で安心できる教育環境づくり	J	重点施策					
基本計画における 位置付け									
	事業年度	平成22年度から実施							
	事業の実施目的 あが興亜	経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程 度に該当する児童生徒及び特別支援学級に就学する児童生徒に対し就学援助を行い、義務教育の円滑な 実施を図る。							
	対 象	要保護及び準要保護児童生徒・学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童与 及び特別支援学級に就学する児童生徒の保護者							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	教育基本法、学校教育法、印西市就学援助	費支給規則 印西市特別支援教	育就学奨励費支	給規則				
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	<ul><li>・就学援助費の支給</li><li>・特別支援教育就学奨励費の支給</li></ul>	学校を通して保護者に就学援助 的な理由により就学困難と認め 学援助を行い、義務教育の円別	られる児童生徒	等に対して就				

2.事業費の財源内訳

4. 尹未貝の別派と	2. 争未真切别源内叭									
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計		
		<b>積算額</b> (当初予算額)	4,823,000				46,611,000	51,434,000		
	令和2年度	予算現額	4,823,000				58,911,000	63,734,000		
		決算額	3,006,000				30,223,929	33,229,929		

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
要保護·準要保護の 請件数 活動指標	要保護・準要保護の申	件	目標値	320	320	330	330	330
	請件数	i <del>T</del>	実績値	379	380	407	428	464
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	要保護・準要保護の認	件	目標値	320	320	330	330	330
	定件数	1T	実績値	337	330	357	376	384
成果指標			目標値					
<b>以未担</b> 保			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	引き続き経済的理由により就学困難と認められる児童生徒及び特別支援教育学級に就学する児童生徒等に対して就学援助を行い、義務教育の円滑を図る。

742年及 7									
1. 事業の概要				事業番号	109				
	実施計画事業名	高等学校等入学支援事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部学務課 学務係							
但当即有守	款項目及び予算名	9款 1項 2目 事務局費		新市基本計画					
	予算事業名	高等学校等入学支援事業	主要事業						
	関連する施策名	4一①-2 安全で安心できる教育環境づくり	重点施策						
基本計画における 位置付け	施策の方向性	どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、学校施設や教育環境を整えます。また どもたちの豊かな人間性や社会性を育むため、学校・家庭・地域の連携による開かれた学校づくりを推進 るとともに、地域の持つ教育力を活かした教育活動の充実を図ります。							
	事業年度	平成29年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	経済的な理由により高等学校等への入学が困難と認められる生徒の保護者に対し、当該生徒の高等学校 等の入学に要する経費の一部として、1人につき10万円の入学支援金を支給する。							
	対 象	中学3年生のうち準要保護認定を受けた生徒	きの保護者						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等								
7 777 7 7	年度	年度計画の内容	年度の事業	業実績・成果					
	令和2年度	・高等学校等入学支援金の支給	学校を通して高等学校への入 <sup>5</sup> 給付金交付事業の案内を配布校入学困難と認められた生徒1機会の均等及び人材の育成に	し、経済的な理由に給付金の交付を	により高等学 そ行い、教育の				

2.事業費の財源内訳

2. 争来質の財源ト	がいた。							
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					5,700,000	5,700,000
	令和2年度	予算現額					5,700,000	5,700,000
		決算額					4,766,000	4,766,000

3. 指標及び実績値

指:	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
高等学校等奨学 交付件数	高等学校等奨学給付金	件	目標値		75	45	50	50
	交付件数	Ĭ <del>T</del>	実績値		65	45	42	48
活動指標			目標値					
/山 到 1日 1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	高等学校等奨学給付金	件	目標値		75	45	50	50
	交付認定件数	Ħ	実績値		65	45	42	48
成果指標			目標値					
从未担保			実績値					
		目標値						
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 尹未にNyの計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> </u>	<u> 7 後 ツ ル ドリ エ</u>	
	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
		引き続き経済的な理由により高等学校等への入学が困難と認められる生徒の保護者に対し、当該生徒の高等学校等の入学に要する経費の一部を支援することで、人材の育成及び教育機会の均等を図る。

1. 事業の概要				事業番号	110				
	実施計画事業名	小学校修学旅行費補助事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部学務課 学務係							
担크마有寺	款項目及び予算名	9款 2項 2目 教育振興費		新市基本計画					
	予算事業名	小学校修学旅行費補助事業	主要事業						
	関連する施策名	4-①-2 安全で安心できる教育環境づくり	J	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むた	どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、学校施設や教育環境を整えます。また どもたちの豊かな人間性や社会性を育むため、学校・家庭・地域の連携による開かれた学校づくりを推進 るとともに、地域の持つ教育力を活かした教育活動の充実を図ります。						
	事業年度	平成29年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	個人負担額の軽減を目的とし、市立小学校が実施する修学旅行費のうち、交通費に相当する経費に対し、1 学級あたり10万円を上限に補助金を交付する。							
	対 象	修学旅行に参加する児童の保護者の会							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等								
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果					
	令和2年度	・修学旅行費補助金の交付	新型コロナウイルス感染症拡大 び行先を変更して実施。2校は なった学校については、修学旅 旅行の充実及び保護者の負担	中止となった。補 行費補助金の交	助金の対象と 付により、修学				

2.事業費の財源内訳

C. 于不具∨別MF10\									
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
財源内訳(円)		<b>積算額</b> (当初予算額)					3,600,000	3,600,000	
	令和2年度	予算現額					3,600,000	3,600,000	
		決算額					3,438,869	3,438,869	

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	補助対象となる学級へ	%	目標値		100	100	100	100
	の補助金交付率		実績値		100	100	100	100
活動指標			目標値					
心划归宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	修学旅行費に対する保		目標値					
	護者の負担軽減		実績値					
成果指標			目標値					
<b>八木</b> 相保			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 争果に対する評価									
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)							
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである								
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	市立小学校が実施した修学旅行費のうち、交通費に相当する経費に対して、1 学級あたり10万円を上限に補助金を交付することにより、修学旅行の充実及 び保護者負担の軽減が図れた。							
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった								

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
2 事業を拡大して実施	市立小学校だけでなく、市立中学校に事業を拡大して実施する。 市立中学校が実施した修学旅行費のうち、交通費に相当する経費に対して、1学級あたり20万円を上限に 補助金を交付することにより、修学旅行の充実及び保護者負担の軽減を図る。

1. 事業の概要				事業番号	111			
	実施計画事業名	児童生徒用机・椅子の計画的な更新						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部学務課 学務係						
担当即有守	款項目及び予算名	9款 2項 1目 学校管理費/9款 3項	頁 1目 学校管理費	新市基本計画				
	予算事業名	小学校管理運営に要する経費/中学校	で管理運営に要する経費	主要事業	0			
	関連する施策名	4-①-2 安全で安心できる教育環境づく	J	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、学校施設や教育環境を整えます子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むため、学校・家庭・地域の連携による開かれた学校づくりするとともに、地域の持つ教育力を活かした教育活動の充実を図ります。						
	事業年度	平成27年度から実施						
		小中学校で使用する学習用机・椅子の老朽化に伴い、児童生徒の体格の変化や教科書の大型化などに対応した新JIS規格の机・椅子への計画的な更新を行う。						
	対 象	市内小中学校						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等							
776711	年度	年度計画の内容	年度の事業	<b>業実績・成果</b>				
	令和2年度	・学習用机・椅子の更新	中学校で使用している旧JIS規格の机・椅子へ計画的な更新を令和2年度をもって終了した。これにより、印西市内小中学校了した。	進めた結果、中	学校の更新は			

2.事業費の財源内訳

2. 于未良以州源户	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)				16,390,000	16,390,000	
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					16,390,000	16,390,000
		決算額					10,494,000	10,494,000

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	机・椅子の更新台数	セット	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	1/11 - 何丁の史制ロ奴	יולים	実績値	1,140	,140 1,195	1,200	1,000	1,200
活動指標			目標値					
/白 到 1日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	机・椅子の更新率	%	目標値	22	45	56	67	78
	がで何子の史材平	70	実績値	34	48	66	81	100
成果指標			目標値					
八木141宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未にNyの計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

<u>り. 7枚のカドに</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
4 事業終結又は廃止等により終了	令和2年度をもって、印西市内小中学校すべての学習机・椅子の更新が完了した。

1. 事業の概要				事業番号	112			
	実施計画事業名	学校の適正規模・適正配置の推進						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部学務課 学校適正配置推進係						
担ヨ即省守	款項目及び予算名	9款 1項 3目 教育研究指導費		新市基本計画				
	予算事業名	学校適正配置に要する経費		主要事業	0			
	関連する施策名	4一①-2 安全で安心できる教育環境づくし	J	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、学校施設や教育環境を整えま 子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むため、学校・家庭・地域の連携による開かれた学校づる するとともに、地域の持つ教育力を活かした教育活動の充実を図ります。						
	事業年度	平成26年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	児童生徒のより良い教育環境を整え、教育の質の向上を図るため、学校の適正規模・適正配置を推進する。						
	対 象	市内小中学校						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	学校教育法施行規則、公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引(文部科学省)						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	<ul><li>・学校の適正規模・適正配置の推進</li><li>・学校適正配置審議会の開催</li><li>・住民説明会等の実施</li></ul>	<ul> <li>・学校適正配置審議会の開催(</li> <li>・住民説明会等の実施</li> <li>①「船穂小学校の現状等につ</li> <li>②「本埜中学校の現状等につ</li> <li>覧(各1回)</li> </ul>	いて(お知らせ)				

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					428,000	428,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					1,319,000	1,319,000
		決算額					1,152,310	1,152,310

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	印西市学校適正配置審		目標値	3	2	2	2	2
	議会の開催回数		実績値	1	1	2	3	2
活動指標	説明会等の開催		目標値	実施	実施	実施	実施	実施
心划徂徕	武明云寺の開催		実績値	12	7	8	3	2
			目標値					
			実績値					
	学校適正配置に関する		目標値	策定				
	方針の策定		実績値	策定				
成果指標	学校適正配置の推進		目標値		学校適正配置の推進については、保護者や地域住民の理		その理解と協力が	
<b>从</b> 木田保	八木 日保 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		実績値		必要不可欠なため	め、目標指標は設	定しない。	
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価									
評価項目 評価値		備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)							
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	学校適正配置審議会において印西市学校適正規模・適正配置基本方針の見直しについての諮問に係る審議を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から意見交換会は開催しなかったが、関係 保護者等へ船穂小学校及び本埜中学校の現状や今後の対応等に係る市教育委員会の 考え方についてまとめたお知らせの配付等を行った。							
②成果に対する評価		学校適正配置の推進については、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠なため、目標は設定しない。							
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	今後の学校適正配置の基礎資料とするため、児童生徒数等推計業務委託を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から意見交換会の開催を検討している中で、現時点では、統合に対する理解が得られていない。							

<u> 3. 7 後の万円圧</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	印西市学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、保護者及び地域住民に理解が得られるよう、引き続き、 意見交換会等を開催していく。

1. 事業の概要				事業番号	113			
	実施計画事業名	学校安全事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部指導課 指導班						
但当即看守	款項目及び予算名	9款 6項 1目 保健体育総務費		新市基本計画	0			
	予算事業名	学校安全事業		主要事業				
	関連する施策名	4-①-2 安全で安心できる教育環境づくし	J	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもたちが安全で安心できる生活を送り健子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むけするとともに、地域の持つ教育力を活かした。	こめ、学校・家庭・地域の連携に					
	事業年度	平成16年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	交通安全教室及び防犯教室や避難訓練の身による犯罪、災害などから、自らの身を守る。防犯ブザーや自転車通学用ヘルメットの貸与等を通して、幼児・児童生徒の安全確保に努印西市通学路交通安全ブログラムに基づき、係機関と連携した対応により、通学路の安全	とができる幼児・児童生徒を育 及び一斉メール配信システムの める。 定期的な通学路安全点検を実	成する。 )活用、安全主任	研修会の開催			
	対 象	小中学生						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市教育振興基本計画						
	年度	年度計画の内容	1 125 1 0 11	美実績·成果				
	令和2年度	施・防犯ブザー及び自転車通学用ヘルメットの 貸与	新型コロナウイルス感染拡大防教室は全校中止とした。避難訓らほぼ実施することができた。『メットの貸与、安全マップの配代た。連絡メールを利用して不審き、保護者への情報共有をする検を実施し、多くの箇所の改善	練は各学校の実 方犯ブザー・自転 けは該当児童生行 者情報等を発信するとができた。通	態に応じなが 車通学用へル 全員に行っ することがで 学路の安全点			

#### 2.事業費の財源内訳

ニナネ貝ツ州がド	3 D/ \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)					1,693,000	1,693,000
		予算現額					1,693,000	1,693,000
		決算額					1,567,492	1,567,492

3. 指標及び実績値

5. <b>日保及び天順</b> 指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	防犯教室の実施校数(市	校	目標値	33	31	31	29	29
	立幼稚園を含む)	1X	実績値	33	31	31	29	0
活動指標	安全マップ・防犯ブザー	校	目標値	21	20	20	18	18
心划徂徕	の配付校数(小学校)	ťΧ	実績値	21	20	18	18	18
			目標値					
			実績値					
	登下校時における不審	件	目標値	0	0	0	0	0
	者の発生件数	Ŀ	実績値	11	21	23	16	16
成果指標	メール配信システムの登	%	目標値	95	100	100	100	100
<b>八木</b> 田保	録率	70	実績値	95	93	95	96	99
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

	<u> </u>		
ı	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全ての学校で防犯教室、交通安全 教室を中止としたため、充分な指導をすることができなかった。
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全ての学校で防犯教室、交通安全 教室を中止としたため、充分な実績・成果ではなかった。

_	<u> </u>	
	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	1 事業を現行のまま継続して実施	令和2年度は新型コロナウイルス感染防止にため中止した事業が多く、目標値を十分に達成することができなかったが、今後は感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で事業を継続していく。

	<b>节</b> 7	和2年度 分 美施計画事業	評価景					
1. 事業の概要				事業番号	114			
	実施計画事業名	開かれた学校教育の推進						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部指導課 指導班						
担当即有守	款項目及び予算名	9款 1項 4目 教育センター費		新市基本計画				
	予算事業名	教育情報収集・活用事業(ホームページ	「情報収集・活用事業(ホームページサーバー利用料)					
	関連する施策名	4-①-2 安全で安心できる教育環境づく	J	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもたちの豊かな人間性や社会性を育む	どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、学校施設や教育環境を整えます。まどもたちの豊かな人間性や社会性を育むため、学校・家庭・地域の連携による開かれた学校づくりを推るとともに、地域の持つ教育力を活かした教育活動の充実を図ります。					
	事業年度							
	事業の実施目的 及び概要	学校だよりや学校ホームページなどにより、学校の運営方針や評価、日常の教育活動の状況といった情報を、保護者や市民に積極的に提供し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指して、学校・家庭・地域の 携強化を図る。						
	対 象	市民·保護者						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市教育振興基本計画						
	年度	年度計画の内容	1.04 . 7 .	業実績·成果				
	令和2年度	【市内小中学校で実施】 ・学校だよりの発行 ・学校ホームページの充実	市内小中学校での実施 ・学校だよりを発行した。 ・学校ホームページの充実を図	り、アクセス数も均	曽加している。			

2.事業費の財源内訳

	3 (A) (							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度 予算現	<b>積算額</b> (当初予算額)					148,000	148,000
		予算現額					148,000	148,000
		決算額					147,400	147,400

3. 指標及び実績値

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	学校だより発行校数	校	目標値	30	29	29	27	27
	子校により発行校数	1X	実績値	30	29 29	29	27	27
活動指標	学校ホームページ更新	回(学校平	目標値	200	200	200	200	200
/ 山 判 1 1 1 示	数	均)	実績値	191	220	230	220	210
			目標値					
			実績値					
	学校だより発行校数	%	目標値	100	100	100	100	100
	子校たより先刊校数	70	実績値	100	100	100	100	100
成果指標	学校ホームページ閲覧	件(学校平	目標値	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
从木田宗	数	均)	実績値	122,378	139,699	145,256	358,227	228,501
			目標値				·	
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未にNyの計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	各学校とも適切にホームページを運用している。
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	市内27小中学校で年間に6169539アクセスを得た。目標値を大幅に上回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	今後も本事業を継続していきたい。

3. 予復の刀門生	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	各学校とも、ホームページの利用して適切な情報発信をしている。今後も本事業を継続していきたい。

1. 事業の概要				事業番号	115			
	実施計画事業名	学校教育の情報化推進事業		•				
	担当部署名	教育部指導課 指導班 / 教育部学務	務課 学務係					
事業名及び 担当部署等	款項目及び予算名	9款1項4目 教育センター費/9款2項 項1目 学校管理費/9款2項2目 教育 育振興費		新市基本計画				
	予算事業名	教育情報収集・活用事業、小学校管理運営に 営に要する経費、教材整備に要する経費、小校ICT環境整備事業		主要事業	0			
	関連する施策名	4-①-2 安全で安心できる教育環境づくし	J	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、学校施設や教育環境を整た、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むため、学校・家庭・地域の連携による開かれた。 推進するとともに、地域の持つ教育力を活かした教育活動の充実を図ります。						
	事業年度	平成19年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	<b>牧職員・児童生徒の「情報活用能力の育成」「確かな学力の育成」を図るために、学校の情報環境の整備を</b> <del>すう。</del> 并せて、学校における情報セキュリティを高め、校務の情報化を進めていく。						
	対 象	市内小中学校						
	根拠法令・関連計画 等	世界最先端デジタル国家創造宣言・官民デー 月15日閣議決定)、教育情報セキュリティー 市教育振興基本計画						
事業内容等	年度	年度計画の内容		美実績·成果				
<b>구</b> 자(1합년	令和2年度	・児童生徒の情報活用能力を高めるための 情報教育の推進及び教職員の情報教育研	の実施ができなかったものもあ 人1台とネットワーク環境(GIGA整備)を整備した。 大型モニターを80台整備し、各が整った。	るが、教育用PC Aスクール構想の	の児童生徒1 0実現に向けた			

2.事業費の財源内訳

2. 争来質の財源内	7店!							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)	41,834,000				146,370,000	188,204,000
	令和2年度	予算現額	392,358,000	2,879,000			411,753,000	806,990,000
		決算額	398,523,000	2,879,000			410,478,254	811,880,254

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	整備台数 教育系PC	台	目標値	753	780	780	780	780		
活動指標	(年度)		実績値	753	780	780	780	10,739		
/ 山 刬 拍 保	整備台数 校務系PC	台	目標値	607	648	648	648	648		
	(年度)		実績値	648	648	673	696	726		
	追加・入替台数 教育	台	目標値	336	177	0	246	21		
	系PC(年度)	П	実績値	336	177	0	0	10,739		
成果指標	追加・入替台数 校務	台	目標値	0	0	648	0	0		
八木 11 保	系PC(年度) 追加・入替台数 電子 黒板(年度)	П	実績値	13	18	632	23	30		
			追加・入替台数 電子	組	目標値	0	0	0	0	58
			州丑	実績値	0	0	0	0	80	

4.事業に対する評価

<u> </u>		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	児童・生徒に1人1台の学習用PCの配備およびクラウド活用を前提とした高速ネットワーク環境を整備した。

<u> 3. 7後のカ門に</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	国の提唱する「GIGAスクール構想」の実現のため、児童生徒増に伴うPCの購入や老朽化した校内ネットワーク改修等、引き続き整備していく。また、学校教育の情報化は情報活用能力や情報モラルの育成など、子ども達が情報化社会の中で主体的に対応していく能力を養うことができるよう継続して事業を実施する。

	TJ 1	加2年度 分 美胞計画争录	: 計Ш宗					
1. 事業の概要				事業番号	116			
	実施計画事業名	生涯学習情報の充実						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部生涯学習課 推進係						
但当即看守	款項目及び予算名	9款 5項 1目 社会教育総務費		新市基本計画	0			
	予算事業名	生涯学習推進事業		主要事業				
	関連する施策名	4-②-1 年齢にとらわれずにいきいきと暮	<b>暮らすための生涯学習活動</b>	重点施策				
基本計画における 位置付け		子どもから高齢者まで市民一人ひとりが自らができる環境づくりを進めていきます。そのも地域での役割を見つけていけるような支援や充実させていきます。また、活動する場としての確保、高等教育機関との連携などを進め、	こうな環境づくりの中で、退職して ウ、多様な学習機会の提供、市民 この公民館や図書館などの生涯	地域に関心のあ 主体の生涯学習 学習施設の整備・	る高齢者等が 活動の支援を			
	事業年度	平成16年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	市民が様々な生涯学習の取り組みに参加できるよう、生涯学習情報の収集に努めるとともに、生涯学習ガイドやホームページなど情報提供の充実を図る。						
	対 象	全市民						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市教育振興基本計画						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	・生涯学習ガイドの発行 ・ホームページによる情報提供 ・生涯学習講師・指導者情報の充実	生涯学習ガイドを169部発行し 保育園・幼小中学校・コミュニテ 布するとともに、ホームページに また、講師、指導者、講座情報・ ジに掲載した。	·ィセンター等)に こも掲載した。	閲覧用として配			

2.事業費の財源内訳

4.尹未貝の別源り	/61							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					273,000	273,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					273,000	273,000
		決算額					231,000	231,000

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	生涯学習ガイドの発行	#	目標値	300	300	300	300	300
	部数	ш	実績値	300	300	300	300	169
活動指標			目標値					
/ 山 刬 旧 信			実績値					
			目標値					
			実績値					
	生涯学習ガイドの掲載	事業•講座	目標値	350	350	350	350	350
	数	尹木 两庄	実績値	341	392	384	363	282
成果指標			目標値					
<b>从</b> 本田保			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、発行部数が例年より減少した。
②成果に対する評価		新型コロナウイルス感染症の影響により、実施講座数が減少したため例年より 掲載数が減少した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響により、発行部数・掲載数が減少した。

3. 子及60万円正	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	今後も生涯学習ガイドの発行などを通して、生涯学習情報の収集および情報提供の充実を図っていく。

		加2年度 万	计叫示						
1. 事業の概要				事業番号	117				
	実施計画事業名	生涯学習機会の拡充							
事業名及び 担当部署等									
担当即看守	款項目及び予算名	9款 5項 1目 社会教育総務費	9款 5項 1目 社会教育総務費 新市基本計画						
	予算事業名	生涯学習推進事業		主要事業					
	関連する施策名	4-2-1 年齢にとらわれずにいきいきと着	<b>暮らすための生涯学習活動</b>	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもから高齢者まで市民一人ひとりが自らができる環境づくりを進めていきます。そのよ地域での役割を見つけていけるような支援や充実させていきます。また、活動する場としての確保、高等教育機関との連携などを進め、	こうな環境づくりの中で、退職して 、多様な学習機会の提供、市民 「の公民館や図書館などの生涯	地域に関心のあ 主体の生涯学習 学習施設の整備	る高齢者等が 活動の支援を				
	事業年度	平成16年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要		多様化・高度化する市民の生涯学習に対するニーズに応じて、市民の学習機会の拡充を図るため、学習場 所の提供や印西市民アカデミー・出前講座を実施していく。						
	対 象	全市民							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市教育振興基本計画							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・出前講座の実施 ・印西市民アカデミーの実施	出前講座:広報等により、市民・ウイルス感染症の影響もあり、 用となった。 市民アカデミー:新型コロナウィ 休校とした。	年間14件申込み	+、381人の利				

2.事業費の財源内訳

2.于木具切別MI	יעוני							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					322,000	322,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					46,000	46,000
		決算額					6,138	6,138

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	出前講座講座数	講座	目標値	70	70	70	70	70
	山削碑座碑座奴	讲注	実績値	60	58	57	61	61
活動指標	印西市民アカデミー開催		目標値	60	60	60	60	60
/白 到 1日 1示	数	ы	実績値	79	78	86	77	0
			目標値					
			実績値					
	出前講座利用回数		目標値	80	80	80	80	80
	山削碘座利用凹数	Ш	実績値	83	83	90	83	14
成果指標	出前講座利用人数	1	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
以木田宗	の	Α	実績値	1,764	1,954	1,750	1,621	381
			目標値	60	60	60	60	60
	人数		実績値	55	51	48	60	0

4.事業に対する評価

4. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、市民アカデミーを休校とした。 
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年に比べて出前講座を実施する 団体が減少した。また、市民アカデミーは新型コロナウイルス拡大防止のた め、休校とした。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施を見合わせることとなった。 今後も引き続き、出前講座や市民アカデミーの実施により、生涯を通しての学 習ができる環境づくりを進めていく。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も生涯学習機会の拡充のため継続して実施していく。

令和2年度 分  実施計画事業評価票									
1. 事業の概要				事業番号	118				
	実施計画事業名	公民館運営事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	中央公民館							
担ヨ即省寺	款項目及び予算名	9款 5項 4目 公民館費		新市基本計画					
	予算事業名	中央公民館事業活動費		主要事業					
	関連する施策名	4-2-1 年齢にとらわれずにいきいきと暮	<b>暮らすための生涯学習活動</b>	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもから高齢者まで市民一人ひとりが自ら学び、生きがいや自己実現などにつながる生涯を通しての学習 ができる環境づくりを進めていきます。そのような環境づくりの中で、退職して地域に関心のある高齢者等が 地域での役割を見つけていけるような支援や、多様な学習機会の提供、市民主体の生涯学習活動の支援を 充実させていきます。また、活動する場としての公民館や図書館などの生涯学習施設の整備・充実や指導者 の確保、高等教育機関との連携などを進め、生涯学習推進体制の充実を図っていきます。							
	事業年度	昭和54年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	多様化する市民ニーズに対応した学習機会の提供を行うため、各公民館において、時代の変化や年齢層等 に対応した事業や各地域の特性を活かした事業を展開していく。							
	対 象	印西市在住在勤の方	印西市在住在勤の方						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	社会教育法、印西市立公民館の設置及び管理に関する条例、印西市教育振興基本計画		駅前地域交流館	宮の設置及び管				
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績•成果					
	令和2年度	(市内6館) 大人対象事業、子供対象事業、一般教養事業、サークル支援事業等各種事業の拡充及 び高等教育機関との連携事業の展開		*					

2.事業費の財源内訳

4. 字木	見 マンメリ がふ ド	אם כ							
		年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					1,736,000	1,736,000	
		予算現額					1,736,000	1,736,000	
			決算額					688,885	688,885

3. 指標及び実績値

1 指標及び失権に 指標内容		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	公民館主催事業	事業(講座)	目標値	110	110	110	110	110
	公氏跖工催事未	尹未(碑座)	実績値	113	129	125	112	48
活動指標			目標値					
/ 山 刬 旧 信			実績値					
			目標値					
			実績値					
	公民館利用者数(延人 数)	人	目標値	230,000	232,500	235,000	237,500	240,000
			実績値	234,293	234,668	227,388	224,012	87,125
成果指標	公民館主催事業参加者	人	目標値	30,000	30,000	30,500	30,500	31,000
从木田宗	数(延人数)		実績値	30,853	27,802	40,525	37,407	6,764
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

	ア・ディングラ の田 画				
ı	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)		
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により事業が中止になった。		
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により事業の中止や利用者が減少した。		
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響により事業の中止や利用者が減少したため、評価を下回った。		

<u> 0. ラ 俊の万円</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業の中止や利用者が大きく減少したが、今後も新型コロナの影響を踏まえ、事業内容を見直し・検討しながら事業を計画していく。

			事業番号	119			
実施計画事業名	小林コミュニティプラザ大規模改修事業						
担当部署名	教育部生涯学習課 推進係						
款項目及び予算名	9款 5項 4目 公民館費		新市基本計画				
予算事業名	小林公民館施設管理に要する経費		主要事業	0			
関連する施策名	4-②-1 年齢にとらわれずにいきいきと暮	らすための生涯学習活動	重点施策				
施策の方向性	子どもから高齢者まで市民一人ひとりが自ら学び、生きがいや自己実現などにつながる生涯を通しての学習ができる環境づくりを進めていきます。そのような環境づくりの中で、退職して地域に関心のある高齢者等が地域での役割を見つけていけるような支援や、多様な学習機会の提供、市民主体の生涯学習活動の支援を充実させていきます。また、活動する場としての公民館や図書館などの生涯学習施設の整備・充実や指導者の確保、高等教育機関との連携などを進め、生涯学習推進体制の充実を図っていきます。						
事業年度	令和2年度から実施						
	誰もが安全で快適に施設を利用し生涯学習に取り組めるよう、小林公民館・図書館・出張所を含む施設全体 の適正な機能を維持し、長寿命化等を図るため、大規模改修工事を実施する。						
THE TOTAL TER	印西市小林コミュニティプラザ(印西市立小林公民館・印西市立小林図書館・印西市立小林出張所複合施 設)						
根拠法令·関連計画 等			市立図書館設置	1条例及び規			
年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果				
令和2年度	•大規模改修工事設計業務委託	小林コミュニティブラザ改修工事 した。	事設計業務委託を	宇実施し、完了			
	担当部署名 款項目及び予算名 予算事業名 関連する施策名 施策の方向性 事業年度 事業の実施目的 及び概要 対象 根拠法令・関連計画等 年度	担当部署名 教育部生涯学習課 推進係  款項目及び予算名	担当部署名 教育部生涯学習課 推進係  款項目及び予算名	実施計画事業名			

2.事業費の財源内訳

T / N / V / / / / / / / / / / / / / / / /	3 H/ \							
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					11,957,000	11,957,000
		予算現額					11,957,000	11,957,000
		決算額					8,217,000	8,217,000

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	改修工事設計業務委託	本	目標値					1
	契約の締結	#	実績値					1
活動指標			目標値					
/ 1到1日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	記述図書の合品	計図書の完成 %	目標値					100
	改引囚官の元成		実績値					100
成果指標 成果指標			目標値					
从木田保			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> </u>		
今後のス	方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のま	まま継続して実施	文化ホール、ふれあい文化館の改修工事が新型コロナウイルス感染症の影響で工期延長された ことに伴い、小林コミュニティプラザ改修工事の予定も延期となり令和4年度から5年度にかけて 工事を実施する予定である。

1. 事業の概要				事業番号	120				
	実施計画事業名	図書館運営事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	図書館 奉仕班							
但当即有守	款項目及び予算名	9款 5項 5目 図書館費		新市基本計画					
	予算事業名	図書館運営事務に要する経費、図書館	資料の整備に要する経費	主要事業					
	関連する施策名	4-②-1 年齢にとらわれずにいきいきと暮	らすための生涯学習活動	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもから高齢者まで市民一人ひとりが自らができる環境づくりを進めていきます。そのよ地域での役割を見つけていけるような支援や充実させていきます。また、活動する場としての確保、高等教育機関との連携などを進め、	うな環境づくりの中で、退職して 、多様な学習機会の提供、市民 の公民館や図書館などの生涯	地域に関心のあ 主体の生涯学習 学習施設の整備	る高齢者等が 習活動の支援を				
	事業年度	平成4年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	市民の読書活動や学習活動を推進するため、市民ニーズに対応した利用しやすい図書館づくりに向け、市内6館(大森・小倉台・小林・そうふけ・印旛・本埜)の図書館の資料整備や機能の向上、レファレンス対応の 食化等を図る。							
	対 象	市民(利用者)							
	根拠法令・関連計画 等	図書館法、印西市立図書館設置条例、同条例	<b>列施行規則</b>						
	年度	年度計画の内容	1.00	実績・成果					
事業内容等	令和2年度	・利用者が必要とする資料やレファレンスに対応する資料の収集・整理及び管理・ホームページによる蔵書の公開・予約システムの機能の向上・図書館運営方針の内容検討・大森・小倉台図書館の指定管理者制度導入の検討・文化ホール施設大規模改修工事に伴う大森図書館改修工事・ふれあい文化館施設大規模改修工事に伴うそうふけ図書館改修工事準備及び改修工事・図書の返却箇所の増設を検討・小倉台図書館の改修検討	・資料やレファレンスに対応する 行った。 ・ホームページによる蔵書の公門を行った。 ・図書館システムの更新につい ・次年度の図書館運営方針のゆ ・大森図書館改修工事及び開館 ・そうふけ図書館改修工事の準 ・小倉台図書館の改修時期を確 ・指定管理者制度導入の調査・	開・予約システム て検討した。 日容を検討した。 は準備を行った。 備を行った。 ご認した。					

2.事業費の財源内訳

	) H/ \							
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					56,790,606	56,790,606
	令和2年度	予算現額					55,817,606	55,817,606
		決算額					53,489,853	53,489,853

3. 指標及び実績値

11 日本人の大幅	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	図書購入	<b>m</b>	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	囚官將八	IIII	実績値	11,935	12,847	12,391	11,257	10,154
活動指標	資料予約件数	件	目標値	117,000	127,000	127,000	127,000	127,000
7日到月日7末	<b>具行</b> 了小川一致	П	実績値	126,680	130,234	138,112	128,069	119,200
			目標値					
			実績値					
	個人貸し出し者数	人	目標値	251,000	270,000	270,000	270,000	270,000
	個人員し出し行数		実績値	263,375	265,437	272,014	248,320	186,309
成果指標	個人貸し出し点数	点	目標値	864,000	864,000	864,000	864,000	864,000
<b>以未</b> 拍標	四八貝し山し爪奴	ж	実績値	845,334	848,529	869,506	780,629	616,149
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回った。
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回った。
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
4.事業に対する評価		

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も図書館サービスの充実として継続して実施する。

1. 事業の概要				事業番号	121				
	実施計画事業名	文化ホール・大森図書館大規模改修事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	文化ホール 管理事業班							
担ヨ即者寺	款項目及び予算名	9款5項6目 文化ホール費	新市基本計画						
	予算事業名	文化ホール施設管理に要する経費		主要事業	0				
	関連する施策名	4-2-1 年齢にとらわれずにいきいきと暮	らすための生涯学習活動	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもから高齢者まで市民一人ひとりが自らができる環境づくりを進めていきます。そのよ域での役割を見つけていけるような支援や、実させていきます。また、活動する場としての確保、高等教育機関との連携などを進め、生	うな環境づくりの中で、退職して 多様な学習機会の提供、市民主 公民館や図書館などの生涯学習	地域に関心のあ 体の生涯学習活 関施設の整備・充	る高齢者等が地 動の支援を充				
	事業年度	令和元年度から令和2年度							
	事業の実施目的 及び概要	推もが安全で快適に施設を利用し生涯学習に取り組めるよう、文化ホール全体や大森図書館の適正な機能 推持し、長寿命化等を図るため、大規模改修工事を実施する。							
	対 象	印西市文化ホール・印西市立大森図書館複	合施設						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	社会教育法、印西市文化ホールの設置及び 振興基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関す			条例、文化芸術				
	年度	年度計画の内容	年度の事業	<b>美実績・成果</b>					
	令和2年度	<ul><li>・大規模改修工事</li><li>・大規模改修工事監理業務委託</li><li>・リニューアルオーブン予定</li></ul>	大規模改修工事が完了した。						

2.事業費の財源内訳

2. 于木貝の州 梛ド	2. 字木貝の州線門所										
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計			
財源内訳(円)	令和2年度 —	<b>積算額</b> (当初予算額)			993,300,000	24,321,000	86,234,000	1,103,855,000			
		予算現額			993,300,000	24,321,000	560,082,000	1,577,703,000			
		決算額			1,236,300,000	23,447,000	113,930,800	1,373,677,800			

3. 指標及び実績値

5. 指標及び美額	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	設計·監理業務委託及	本	目標値			1	2	
	び工事請負契約の締結	工事請負契約の締結	実績値			1	2	
活動指標			目標値					
心划担保			実績値					
			目標値					
			実績値					
	設計図書の完成	%	目標値			100		
	改引凶音の元成		実績値			100		
成果指標	大規模改修工事の完了	%	目標値				30	100
<b>汉</b> 本 11 1示	八烷镁以修工事の元	70	実績値				25	100
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 尹未に刃りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

0. 才仅以为时任	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
4 事業終結又は廃止等により終了	大規模改修工事が完了し、安心で快適に施設利用が出来るよう適正な機能を維持する。

1. 事業の概要				事業番号	122						
	実施計画事業名	ふれあい文化館大規模修繕事業									
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部生涯学習課 そうふけ公民館	て育部生涯学習課 そうふけ公民館								
但当即看守	款項目及び予算名	9款5項4目 公民館費		新市基本計画							
	予算事業名	そうふけ公民館施設管理に要する経費		主要事業	0						
	関連する施策名	4-2-1 年齢にとらわれずにいきいきと暮	<b>暮らすための生涯学習活動</b>	重点施策							
基本計画における 位置付け	施策の方向性	習ができる環境づくりを進めていきます。そのが地域での役割を見つけていけるような支援援を充実させていきます。また、活動する場	子どもから高齢者まで市民一人ひとりが自ら学び、生きがいや自己実現などにつながる生涯を通しての学習ができる環境づくりを進めていきます。そのような環境づくりの中で、退職して地域に関心のある高齢者等が地域での役割を見つけていけるような支援や、多様な学習機会の提供、市民主体の生涯学習活動の支援を充実させていきます。また、活動する場としての公民館や図書館などの生涯学習施設の整備・充実や皆導者の確保、高等教育機関との連携などを進め、生涯学習推進体制の充実を図っていきます。								
	事業年度	令和元年度から実施									
	事業の実施目的 及び概要	誰もが安全で快適に施設を利用し生涯学習 センターを含む施設全体の適正な機能を維持									
	対 象	印西市ふれあい文化館(印西市立そうふけん 西市立そうふけ老人福祉センター複合施設)	公民館・印西市立そうふけ児童館	館・印西市立そう	ふけ図書館・印						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	社会教育法、印西市立公民館の設置及び管に関する条例及び規則、印西市立老人福祉 振興基本計画									
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果							
	令和2年度	·大規模修繕工事準備 ·大規模修繕工事(R2·R3年度継続) ·大規模修繕工事監理業務委託(R2·R3年 度継続)	大規模改修工事は、新型コロカ 間が延長されたため、令和2年 きませんでした。また、大規模 ら、大規模修繕工事管理業務 ません。 令和3年度へ継続。	の大規模修繕工修繕工事ができた	事の実施はでなかったことか						

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)						0	
		予算現額						0	
		決算額						0	

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	設計·監理業務委託及	本	目標値				1	2
	び工事請負契約の締結	4	実績値				1	2
活動指標			目標値					
/口到][日]示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	設計図書の完成	%	目標値				100	
	改可凶音の元成	%0	実績値				100	
成果指標	大規模改修工事の完了	%	目標値					60
灰木1日1示	八烷镁以修工事07元]	70	実績値					0
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

I	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価		新型コロナウイルス感染症のまん延に伴う文化ホールの工事期間延長により令和2年度の実施ができなかった。
	②成果に対する評価		新型コロナウイルス感染症のまん延に伴う文化ホールの工事期間延長により令和2年度の実施ができなかった。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症のまん延に伴う文化ホールの工事期間延長により 令和2年度の実施ができなかった。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和3年度に大規模改修工事を施工する。

	13 4	加4十段 刀 天旭司 四甲末	可一門大					
1. 事業の概要				事業番号	123			
	実施計画事業名	高等教育機関等との連携						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部生涯学習課 推進係	数育部生涯学習課 推進係					
担当即有守	款項目及び予算名	9款 5項 1目 社会教育総務費		新市基本計画	0			
	予算事業名	生涯学習推進事業		主要事業				
	関連する施策名	4-②-1 年齢にとらわれずにいきいきと暮	らすための生涯学習活動	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもから高齢者まで市民一人ひとりが自ら学び、生きがいや自己実現などにつながる生涯を通しての学習ができる環境づくりを進めていきます。そのような環境づくりの中で、退職して地域に関心のある高齢者等が地域での役割を見つけていけるような支援や、多様な学習機会の提供、市民主体の生涯学習活動の支援を充実させていきます。また、活動する場としての公民館や図書館などの生涯学習施設の整備・充実や指導者の確保、高等教育機関との連携などを進め、生涯学習推進体制の充実を図っていきます。						
	事業年度	平成22年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	大学や企業等との連携協力した事業の展開をはじめ、社会教育団体、ボランティアなど人材の育成やネット ワーク化に努め、学習機会の拡充を図る。						
	対 象	全市民						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市教育振興基本計画						
	年度	年度計画の内容	1.03	美実績・成果				
	令和2年度	・順天堂大学生涯学習公開講座の実施	新型コロナウイルス感染症拡大	防止のため、実	施なし。			

#### 2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	- 令和2年度 -	積算額 (当初予算額)					150,000	150,000
財源内訳(円)		予算現額					0	0
		決算額					0	0

3. 指標及び実績値

3. 指標及び美積	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	順天堂大学生涯学習公	メニュー数	目標値	4	4	4	4	4
	開講座	ノーユー教	実績値	4	4	4	4	0
活動指標			目標値					
/白到7日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	順天堂大学生涯学習公 開講座	人	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	42	47	47	33	0
成果指標			目標値					
从未刊宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

サイトンプロコ		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を実施しなかった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を実施しなかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を実施しなかった。

0. 子及60万円住	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	今後は、コロナ禍であっても実施できるような講座について、定期的に順天堂大学及び酒々井町 と協議し、引き続き実施していく。

	13.4	112 十段 刀 天心司 四争未	で 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一						
1. 事業の概要				事業番号	124				
	実施計画事業名	青少年健全育成事業							
事業名及び	担当部署名	教育部生涯学習課 推進係							
担当部署等	款項目及び予算名	9款 5項 2目 青少年対策費		新市基本計画	0				
	予算事業名	青少年対策事業活動費、青少年相談員 課後子ども教室に要する経費	運営事業に要する経費、放	主要事業					
	関連する施策名	4-②-2 地域で子どもたちを守り育てる環	環境づくり	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもたちが安全・安心、健やかに成長できるよう、青少年の健全な育成に向けた活動を地域ぐるみで推進 していきます							
	事業年度	平成8年度から実施							
	事業の実施目的	地域の子どもたちを地域の力を結集して守り育てるために、家庭・学校・地域社会が連携を図り、子ども達が 健やかで安全な生活が送れるよう支援する。また、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を再確認し、相互支 援、連携、融合を促進するため、各中学校区において地域推進委員会を開催し、地域の特性を踏まえた具 体的な活動を計画、実践していく。							
	対 象	市内の子どもたちと地域関係者							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市教育振興基本計画、放課後子ども総	合プラン、次世代育成支援対策	推進法					
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果					
	令和2年度	・こども110番運営委員会への支援 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員 会運営事業への支援	こども110番:こども110番運! 感染症の影響により中止。協力 件 青少年健全育成大会:新型コロリ開催中止。 さわコミ:事業の目的などを説明 報告を行い情報交換をした。 放課後こども教室:新型コロナー め、休止とした。	家庭(事業者数)  ナウイルス感染;  し、各地域推進	は、1,466 症の影響によ 委員会の活動				

2.事業費の財源内訳

<u> </u>	1 P/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)		405,000			2,956,000	3,361,000
財源内訳(円)		予算現額		405,000			2,497,000	2,902,000
		決算額		218,582			533,818	752,400

3. 指標及び実績値

3. 拍像及び天標値								
指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	こども110番周知・協力	件	目標値	2	2	2	2	2
	依頼回数	П	実績値	2	1	2	1	1
活動指標	放課後子ども教室開催	回	目標値	26	26	26	26	26
7日到1日1示	数	П	実績値	26	65	74	44	0
			目標値					
			実績値					
	こども110番協力家庭数	件	目標値	1,620	1,620	1,620	1,620	1,620
	の推移		実績値	1,496	1,461	1,422	1,413	1,466
成果指標	放課後子ども教室参加	Д	目標値	70	90	90	90	90
从木油水	者数		実績値	76	90	114	76	0
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる計価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業もあった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業もあった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業もあった。

3. フ俊の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き青少年の健全な育成に向けた活動の推進を図っていく。

1. 事業の概要				事業番号	125		
	実施計画事業名	家庭教育学級事業					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部生涯学習課 推進係					
担当即有等	款項目及び予算名	9款 5項 2目 青少年対策費	款 5項 2目 青少年対策費				
	予算事業名	家庭教育学級事業		主要事業			
	関連する施策名	4一②一2 地域で子どもたちを守り育てる頭	環境づくり	重点施策			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	子どもたちが安全・安心、健やかに成長でき していきます	るよう、青少年の健全な育成に	向けた活動を地均	或ぐるみで推進		
	事業年度	昭和48年度から実施					
	事業の実施目的 及び概要	現代社会における子育て支援の充実を図るとともに、家庭の教育力の向上を目指し、市内公立幼稚園・小 中学校の初年度の保護者を対象に家庭教育学級を開設し、講座を展開する。					
	対 象	市内公立幼稚園、小中学校保護者、市内家	庭教育有志者				
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	社会教育法					
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績•成果			
	令和2年度	講座の開催 ・必修 29学級 ・学年 22学級	幼・小・中学校の初年度の保護学級、2年生以上の自主運営の新型コロナウイルス感染症の景以降となったが、各学級年間1717人参加した。	の学年学級を8学 ジ響により、講座	級開設した。 の開催が9月		

2.事業費の財源内訳

2.于未具以内侧下	DV.							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		<b>積算額</b> (当初予算額)					1,454,000	1,454,000
	令和2年度	予算現額					1,454,000	1,454,000
		決算額					870,365	870,365

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	家庭教育学級学級生	1	目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		\(\tau_{\text{out}}\)	実績値	2,283	2,179	2,321	2,304	2,467
活動指標	家庭教育学級講座開催		目標値	240	240	240	240	240
	総数	ш	実績値	239	232	303	297	58
			目標値					
			実績値					
	家庭教育学級修了生	1	目標値	500	500	500	500	500
		\ \	実績値	424	360	379	319	389
成果指標	講座参加者総数	1	目標値	3,700	3,700	3,700	3,700	3,800
从木141宗	两庄罗加石心奴	<b>人</b>	実績値	3,205	3,213	3,485	3,894	717
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

ア・デオルグリアの町間		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催回数が減少した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者が減少した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を見合わせた学級があった。

<u> 3. 7後の万円に</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	引き続き、市内公立幼稚園・小中学校の初年度の保護者を対象に家庭教育学級を開設し、講座を展開する。

市和2年度 分 美施計画事業評価崇								
1. 事業の概要				事業番号	126			
	実施計画事業名	生涯スポーツ振興事業						
事業名及び	担当部署名	健康子ども部スポーツ振興課 振興係						
担当部署等	款項目及び予算名	9款 6項 2目 体育振興費		新市基本計画	0			
	予算事業名	スポーツ指導者育成に要する経費(一音 要する経費、各種スポーツ・レクリエーシ 部)		主要事業				
	関連する施策名	4-②-3 市民が参加しやすいスポーツ環	境の整備と推進体制の充実	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	2020年のオリンピック・パラリンピック開催をわたってスポーツやレクリエーション活動によ参加しやすい環境の整備や充実を進め、スポな人材や団体を育成・支援するとともに、組組体制の整備を進め、スポーツにおける競技力	:り親しみ、体力の向上や健康の ポーツ人口の増大を図ります。ま 載づくりや拠点づくりなど市民、団	保持・増進を図った、スポーツ活動	っていけるよう、 かを支える多様			
	事業年度							
	事業の実施目的 及び概要	市民スポーツ大会及び教室をスポーツ関係 及びスポーツ人口の拡大を図る。 市民がスポーツに親しみ、スポーツに対する トップアスリートによるイベントの開催誘致に	関心や取り組む機会の充実が図					
	対 象	市民						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	スポーツ基本法						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	<b>美実績・成果</b>				
	令和2年度	・スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・市民スポーツ大会の支援 ・健康・体力づくり教室の開催 ・クライミング教室・認定会等の開催 ・印西アスリート教室の開催	市民大会10回(611人)、リズム 回(164人)、クライミング教室6[ 回(10人)を実施した。(ニュース 室、スキー教室、アスリート教室 大防止のため中止)	回(89人)、クライ スポーツ大会、ニ	ミング認定会1ュースポーツ教			

2.事業費の財源内訳

	/ H/ \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)				1,680,000	10,595,000	12,275,000
		予算現額				350,000	1,939,000	2,289,000
		決算額				182,500	1,190,129	1,372,629

3. 指標及び実績値

3. 指標及び美額	<u>IE</u> 標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	<b>土日土人(10</b> 種日)	Б	目標値	50	50	50	50	50
	市民大会(19種目)	回	実績値	46	47	49	54	11
活動指標	スポーツ教室		目標値	120	120	120	120	120
<b>冶</b> 期拍標	スポーク教室	Ш	実績値	116	122	118	109	27
			目標値					
			実績値					
	市民大会参加者数	人	目標値	9,800	9,900	9,900	9,900	10,000
	中氏八云梦加有数	(多加有数 人	実績値	8,586	8,640	7,979	7,482	592
成果指標	スポーツ教室参加者延	人	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
从木田保	べ数		実績値	3,212	3,762	3,940	3,623	438
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刃りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスによる影響の減
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスによる影響の減
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルスによる影響の滅

<u> 3. 7後の刀門は</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	引き続き、市民が気軽にスポーツ親しめるよう、スポーツ教室などを開催していくとともに、各種団体と連携を図り、市民大会や教室参加者数の増加に努める。

	13.4	加4千段 刀 大心可鸣争未	可顺水					
1. 事業の概要				事業番号	127			
	実施計画事業名	スポーツ・レクリエーション施設整	備事業					
事業名及び	担当部署名	健康子ども部スポーツ振興課 施設管理	<b>里</b> 係					
担当部署等	款項目及び予算名	9款 6項 2目 体育振興費		新市基本計画				
	予算事業名	社会体育施設維持管理に要する経費		主要事業				
	関連する施策名	4-2-3 市民が参加しやすいスポーツ環境	境の整備と推進体制の充実	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	2020年のオリンピック・パラリンピック開催を契機ととらえ、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが、生涯 わたってスポーツやレクリエーション活動により親しみ、体力の向上や健康の保持・増進を図っていけるよき 参加しやすい環境の整備や充実を進め、スポーツ人口の増大を図ります。また、スポーツ活動を支える多な人材や団体を育成・支援するとともに、組織づくりや拠点づくりなど市民、団体、行政等が連携・協働でき 体制の整備を進め、スポーツにおける競技力や指導力の向上を図ります。						
	事業年度							
	事業の実施目的 及び概要	市民が快適にスポーツ活動ができるよう、継	続的にスポーツ施設環境の維持	宇管理に努める。				
	対 象	スポーツ施設を利用する市民及びスポーツ団	]体					
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	スポーツ基本法						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	・スポーツ施設の維持管理・スポーツ施設の改善検討・クライミング施設の利用促進・パークゴルフ場の運営・フットサルパークの運営	市民がより快適にスポーツに新備、修繕に努め、施設環境を整		よう日々の整			

2.事業費の財源内訳

	3 M V							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)				3,020,000	79,811,000	82,831,000
		予算現額				2,833,000	66,420,000	69,253,000
		決算額				2,881,570	61,085,339	63,966,909

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	スポーツ施設管理(16施		目標値	192	192	192	192	192
	設を月1回整備)	亘	実績値	192	192	201	201	201
活動指標	予約システム運用(加入	1	目標値	3,250	3,300	3,350	3,400	3,450
/白 轫 1日1示	者延べ人数)	<b>\</b>	実績値	3,278	3,855	3,824	3,653	3,222
			目標値					
			実績値					
	施設利用者の数(施設	1	目標値	420,000	470,000	475,000	480,000	485,000
	全体)	Λ	実績値	477,655	447,571	405,497	373,526	358,185
成果指標	施設利用率(土・日・祝)	%	目標値	68	68	69	69	69
八木田宗	心政利用平(工-口-机)	70	実績値	68	67	67	63	63
			目標値		·			
			実績値					

4.事業に対する評価

_	4.尹未に刃りる計画		
	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスによる影響の減
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスによる影響の減
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルスによる影響の滅

<u> </u>	7 <b>以</b> の刀門工	
	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
		引き続き、市民がより快適にスポーツに親しむことができるよう施設の整備、修繕を行い施設環 境の充実に努める。

1. 事業の概要				事業番号	128				
	実施計画事業名	体育施設利用促進事業							
事業名及び	担当部署名	健康子ども部スポーツ振興課 振興係							
担当部署等	款項目及び予算名	9款 6項 2目 体育振興費		新市基本計画	0				
	予算事業名	学校体育施設開放事業、学校プール開	放事業	主要事業	0				
	関連する施策名	4-2-3 市民が参加しやすいスポーツ環	境の整備と推進体制の充実	重点施策					
基本計画における 位置付け	2020年のオリンピック・パラリンピック開催を契機ととらえ、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが、わたってスポーツやレクリエーション活動により親しみ、体力の向上や健康の保持・増進を図っていけ参加しやすい環境の整備や充実を進め、スポーツ人口の増大を図ります。また、スポーツ活動を支えな人材や団体を育成・支援するとともに、組織づくりや拠点づくりなど市民、団体、行政等が連携・協働体制の整備を進め、スポーツにおける競技力や指導力の向上を図ります。								
	事業年度								
	事業の実施目的 及び概要	市民が身近にスポーツ活動に親しめる場として学校体育施設の利用促進に努める。また、夏季休業中に学校プールを市民(小学生以上)に開放し、健康と体力増進を図る。							
	対 象	市民							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	スポーツ基本法							
	年度	年度計画の内容	1.04	美実績·成果					
	令和2年度	<ul><li>・学校体育施設の利用促進 (小学校18校、中学校9校及び旧小学校2 校)</li><li>・夏季休業中の学校プール開放の実施</li></ul>	市内小中学校27校において、当た。 また、夏季休業中の学校プール 染防止のため中止とした。						

2.事業費の財源内訳

	THE T							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					13,167,000	13,167,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					1,347,000	1,347,000
		決算額					1,035,225	1,035,225

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	学校体育施設開放校数		目標値	30	29	29	29	29
	子牧体自心政用放牧效		実績値	30	29	29	29	29
活動指標	夏季休業中の学校プー		目標値	12	12	12	12	12
心刬扫惊	ル開放校数		実績値	10	10	10	9	0
			目標値					
			実績値					
	学校体育施設開放団体		目標値	200	200	200	200	200
	登録数		実績値	174	180	190	188	192
成果指標	夏季休業中の学校プー		目標値	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500
八木 111宗	ル開放利用者数		実績値	9,065	7,744	7,512	8,498	0
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる計1111		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスによる影響の減
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスによる影響の減
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルスによる影響の減

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、地域スポーツ団体の活動拠点である学校体育施設の円滑な開放に努める。

1. 事業の概要				事業番号	129			
	実施計画事業名	スポーツ団体と指導者の育成						
事業名及び	担当部署名	健康子ども部スポーツ振興課 振興係						
担当部署等	款項目及び予算名	9款 6項 2目 体育振興費	新市基本計画	0				
	予算事業名	スポーツ指導者育成に要する経費(一音 エーション大会に要する経費(一部)	B)、各種スポーツ・レクリ	主要事業				
	関連する施策名	4-②-3 市民が参加しやすいスポーツ環	境の整備と推進体制の充実	重点施策				
基本計画における 位置付け	きまで市民一人ひ 保持・増進を図っ た、スポーツ活動 は、行政等が連	ていけるよう、 を支える多様						
	事業年度	昭和32年5月1日(体育協会発足)から						
	事業の実施目的 及び概要	市スポーツ協会、市スポーツ少年団、その他スポーツ団体の活動を支援し、競技力の向上及び指導体制の強化を図り、スポーツ団体の自立を目指す。						
	対 象	スポーツ諸団体で活動する市民						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	スポーツ基本法						
	年度	年度計画の内容	1.04	業実績・成果				
	令和2年度	・団体活動への支援 ・選手等への支援 ・専門的指導者等の活用支援 ・ネポーツ医学セミナーの開催 ・生涯スポーツ等指導者の育成	市スポーツ協会、スポーツ少年また、一般市民を対象に開催をナーを開催した。					

2.事業費の財源内訳

C.于不良V对MF1M								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					11,818,000	11,818,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					10,723,000	10,723,000
		決算額					6,777,712	6,777,712

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	スポーツ推進委員講師 派遣数・出前講座派遣		目標値	20	20	20	20	20
	数	ī	実績値	14	14	12	11	2
活動指標	既存団体会員数	1	目標値	3,860	3,920	4,000	4,050	4,100
/ 1到1日1示	风行凹阵云其数	^	実績値	3,764	3,554	3,741	3,751	3,623
			目標値					
			実績値					
	  スポーツ新規団体数	団体	目標値	1	1	1	1	1
	スパーラ 初 成 団 体 奴	<u> </u>	実績値	0	0	0	0	0
成果指標	県民体育大会出場種目	種目	目標値	20	20	20	20	20
从木油坑	数	任口	実績値	21	20	20	24	0
			目標値	·	·			
			実績値					

4.争業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスによる影響の減
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスによる影響の減
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルスによる影響の減

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	スポーツ団体と連携し、団体活動の活発化や選手の競技力向上を図る。スポーツ団体数や会員数の増に向け、スポーツ団体の活動の周知等を強化する。

	TJ1	112年度 7 美胞計画争某評価系						
1. 事業の概要			事業番号	130				
	実施計画事業名	総合型地域スポーツクラブの支援・育成						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部スポーツ振興課 振興係						
但当即看守	款項目及び予算名	9款 6項 2目 体育振興費	新市基本計画	0				
	予算事業名	スポーツ指導者育成に要する経費(一部)	主要事業					
	関連する施策名	4-2-3 市民が参加しやすいスポーツ環境の整備と推進体制の充実	重点事業					
基本計画における 位置付け 施策の方向性 施策の方向性 が大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、								
	事業年度	平成12年度から実施						
		各地域の子どもから高齢者まで、地域においてスポーツの日常化や世代間の交流が図れるよう、総合型地域スポーツクラブの設立に向け支援するとともに、既存クラブの育成を図る。						
	対 象	市民						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	スポーツ基本法						
	年度		美実績·成果					
	令和2年度	・総合型地域スポーツクラブの設立に向けた 支援と育成 ・市民への啓発活動の推進	)支援(活動場所	の確保等)を				

2.事業費の財源内訳

	1 D/V							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)						0
		予算現額						0
		決算額						0

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	説明会等の開催		目標値	1	1	1	1	1
	就明五寺の開催	ш	実績値	0	0	0	0	0
活動指標	活動に対する支援	実施	目標値			実施	実施	実施
/ 山 刬 旧 信	占判  こ列する又接	天心	実績値			実施	実施	実施
			目標値					
			実績値					
	総合地域型スポーツクラブ数(累計)	団体	目標値	2	2	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
成果指標			目標値					
<b>以</b> 木伯倧			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

ア・デオルグラックロード		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> 0. 7                                  </u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	総合型スポーツクラブは、地域住民の主体的な取り組みがなければ組織の継続が難しい。また、 組織運営を担う人材の確保等が難しく、現状では1から組織を設立することは困難である。 既存のクラブへの支援を継続しながら、他の地域へ波及的に拡大していくことを目指す。

1. 事業の概要				事業番号	131					
	実施計画事業名	文化芸術活動の支援	文化芸術活動の支援							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部生涯学習課 文化係								
担当即有守	款項目及び予算名	9款 5項 3目 文化振興費		新市基本計画	0					
	予算事業名	文化振興活動に要する経費	て化振興活動に要する経費							
	関連する施策名	4-3-1 創造性を育む文化・芸術活動の	推進・継承	重点施策						
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民が様々な文化や芸術に触れることので 術活動を積極的に支援し、豊かな心や地域 はじめとして文化活動への関心が高まりつつ 術活動の推進に取り組みます。	に対する愛着心を醸成していき	ます。特に近年、	団塊の世代を					
	事業年度									
	事業の実施目的 及び概要	一人ひとりが生きがいを感じ、生活を豊かで快適なものにしていくため、市民による自発的な芸術文化の活動を支援する。 また、市民による自主的な文化芸術活動の活性化を図り、文化団体の自立した運営の支援、次世代の育成や他分野との交流等、より創造的な活動の促進を目指していく。								
	対 象	市民、文化ホール等施設利用団体、地域活動団体								
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	文化芸術振興基本法、印西市教育振興基本計画								
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果						
	令和2年度	・市民文化祭の開催 ・芸術文化活動への共催・後援行事等支援 ・芸術文化振興に関する各種団体との連 携・自立した運営の支援 ・助成金等に関する情報の収集及び提供 ・教育振興基本計画文化芸術編の推進	・第25回印西市民文化祭をオン・芸術文化活動への後援行事等・芸術文化振興に関する各種区支援のため、求めに応じて助言・助成金等に関する情報の収集び進達を行った。	等支援を行った。 団体との連携、自 等を行った。	立した運営の					

2.事業費の財源内訳

2.争来負の別源へ	761							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					994,000	994,000
		予算現額					621,000	621,000
		決算額					528,122	528,122

3. 指標及び実績値

3. 11 徐久い大根								
指標	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	市民文化祭の実施		目標値	1	1	1	1	1
	川氏文化宗の美胞	臣	実績値	1	1	1	1	1
活動指標	共催•後援事業	事業	目標値	30	30	30	30	30
/口到][日]示	大准"依饭争未	尹木	実績値	37	49	32	40	6
			目標値					
			実績値					
	文化祭参加者数·入場 人数	ı	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
			実績値	5,951	5,416	8,423	6,337	5,662
成果指標	文化祭作品出品数	点	目標値	500	500	500	500	500
<b>以</b> 未拍 <b>惊</b>	人 化 示 下	灬	実績値	519	523	499	365	275
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
81.00		新型コロナウイルスの影響により、共催・後援事業の中止が相次いだ。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	コロナ禍においても、文化祭をオンラインで実施したことにより文化芸術に触れる機会を提供でき、視聴者数はほぼ目標どおりであったが、出品作品は少なかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルスの影響により、個人が文化芸術作品を創造する件数が減少している。文化祭の実施や配信により文化芸術に触れる機会を提供して行きたい。

<u> 3. フ扱い刀門圧</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も文化芸術活動推進のため、事業を継続していく。

1. 事業の概要				事業番号	132			
	実施計画事業名 文化芸術事業の充実							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	文化ホール 管理事業班						
担크마有寺	款項目及び予算名	9款5項6目 文化ホール費		新市基本計画	0			
	予算事業名	文化ホール事業基金繰出金		主要事業				
	関連する施策名	4-3-1 創造性を育む文化・芸術活動の	推進·継承	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	術活動を積極的に支援し、豊かな心や地域に	市民が様々な文化や芸術に触れることのできる環境づくりを推進していくとともに、市民の自主的な文化・芸術活動を積極的に支援し、豊かな心や地域に対する愛着心を醸成していきます。特に近年、団塊の世代をはじめとして文化活動への関心が高まりつつあり、子育て世代なども含め、市民のニーズに合った文化・芸術活動の推進に取り組みます。					
	事業年度	平成6年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	市民に芸術文化との出会いの場や鑑賞の機会を提供するとともに、地域の文化レベルの向上を図ることを 目的として、市民の自主的な活動を支援し、地域文化の振興や生涯学習の推進を図る。						
	対 象	印西市民を主とする。但し、鑑賞型事業の場合については市外の方も対象とする。						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	社会教育法、印西市文化ホールの設置及び管理に関する条例、印西市文化ホール事業基金条例、文化 術振興基本法、劇場·音楽堂等の活性化に関する法律、印西市教育振興基本計画						
	年度	年度計画の内容	1.2.	美実績・成果				
		・音楽系、演劇系、その他幅広いジャンルを ブロのアーティストにより提供し、鑑賞や参加(ワークショップ)を通して優れた芸術に触れてもらう。 ・芸術活動の発表の場を提供し、市民の自主的な文化・芸術の活動支援を行う。	新型コロナウイルス感染症の影期が延長となったため事業は、		改修工事の工			

2.事業費の財源内訳

2. 宇木貝の別源ド	7DC							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)				20,000,000		20,000,000
		予算現額				20,000,000		20,000,000
		決算額				0		0

3. 指標及び実績値

1	指標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
供鑑賞型及び参加	プロによる様々なジャンルの芸術提	本	目標値	12	12	12	12	12
	鑑賞型及び参加型(ワークショップ)	4	実績値	10	12	9	4	0
	地域振興型主催事業	本	目標値	1	1	1	1	1
	地域派兴至工作事未	4	実績値	1	1	1	1	0
			目標値					
			実績値					
	プロによる芸術提供・地域振興型	本	目標値	13	13	13	13	13
	(文化ホール主催事業)	4	実績値	11	13	10	4	0
成果指標	チケット売上率 (有料公演有効席数に	%	目標値	80	80	80	80	80
<b>以未担</b> 保	対する売上)	70	実績値	62	80	81	86	0
			目標値				·	
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる計価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		新型コロナウイルス感染症の影響により大規模改修工事の工期延長に伴い、 再開館時期が大幅に遅れたことにより主催事業実施が出来なかった。
②成果に対する評価		新型コロナウイルス感染症の影響により大規模改修工事の工期延長に伴い、 再開館時期が大幅に遅れたことにより主催事業実施が出来なかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響により大規模改修工事の工期延長に伴い、 再開館時期が大幅に遅れたことにより主催事業実施が出来なかった。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	文化・芸術の拠点である文化ホールの役割を果たすべく事業の継続を行っていく。

1. 事業の概要				事業番号	133				
	実施計画事業名	文化財の保護事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部生涯学習課 文化係							
担当即有等	款項目及び予算名	9款 5項 3目 文化振興費		新市基本計画	0				
	予算事業名	文化財基礎調査事業 (中事業予算)		主要事業	0				
	関連する施策名	4-3-2 文化財の保護・活用		重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	文化財は、先人の残した文化遺産であり、その価値や意義を踏まえ、次世代に適切に継承していくため 民の郷土意識の涵養を図り、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財の保護及び活用を進め きます。							
	事業年度	平成19年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	文化財保護及び市史編さんの推進を目的として、文化財基礎調査(仏像調査、石造物調査等)等を実施し、 文化財指定など適切な保護に努める。							
	対 象	市内の文化財							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	文化財保護法、印西市文化財保護条例							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	<ul> <li>・仏像調査報告書(印旛地区)の刊行準備</li> <li>・石造物調査の準備(印旛地区)</li> <li>・石造物調査報告書(本埜地区)の刊行準備</li> </ul>	<ul><li>・石造物調査(印旛地区)のため</li><li>・石造物調査報告書(本埜地区</li></ul>						

2.事業費の財源内訳

	3 D/ C							
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					565,000	565,000
		予算現額					565,000	565,000
		決算額					185,217	185,217

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	調査箇所	ヶ所	目標値	10	10	10	10	10
	砂豆 色 刀	770	実績値	7	14	11	6	2
活動指標	<b>细</b> 木 景	体	目標値	50	50	50	50	50
/ 山 刬 扫 信示	調査対象物		実績値	50	50	50	20	5
			目標値					
			実績値					
	市内指定文化財数	内指定文化財数 件 件	目標値	50	50	50	50	50
		IT	実績値	50	49	49	49	49
成果指標 成果指標			目標値					
八木扫标			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刃りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		本埜地区の本調査が終了し、印旛地区の事前調査(分布調査)を行ったため、 本調査の件数が減っている。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	目標値を下回ったが、印旛地区全域の分布調査を行った。

5. <b>ラ後の万向性</b> 今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も市内文化財の保護を図るため、事業を継続していく。

1. 事業の概要				事業番号	134				
	実施計画事業名	文化財の活用事業							
事業名及び	担当部署名	<b>女育部生涯学習課</b> 文化係							
担当部署等	款項目及び予算名	9款 5項 3目 文化振興費		新市基本計画	0				
	予算事業名	文化財保護調査事業、資料整理保管に	要する経費	主要事業	0				
	関連する施策名	4-③-2 文化財の保護・活用		重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	文化財は、先人の残した文化遺産であり、その価値や意義を踏まえ、次世代に適切に継承していくため、市民の郷土意識の涵養を図り、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財の保護及び活用を進めていまます。							
	事業年度	平成18年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	市内の重要な遺跡や史跡、有形無形の文化財を後世に適切に継承していくため、地域の歴史や文化を広く 公開するなど活用を図っていく。 また、分散している歴史的資料についても保管の集約化に努めるとともに、その活用方法についても検討し ていく。							
	対 象	市民							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	文化財保護法、印西市文化財保護条例、道	作古墳群整備基本計画						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	年度計画の内容 ・市内遺跡発掘調査(報告書作成を含む) ・道作古墳群活用事業 ・市内史跡維持管理事業 ・市内史跡維持管理事業 ・有形・無形文化財の保護に対する補助 ・貝化石分類事業 ・資料保管施設維持管理等 ・民俗資料整理業務 ・民俗資料整理業務							

2.事業費の財源内訳

2. 手术貝切別源ド	1 <b>(</b> ) \							
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	1,000,000	300,000			9,759,000	11,059,000
		予算現額	1,000,000	300,000			10,392,000	11,692,000
		決算額	1,000,000	256,000			8,134,855	9,390,855

3. 指標及び実績値

3. 旧僚及び天積	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
TE1	宗内台	単位	区方	十成28年度	干成29年度	干成30年度	<b>卫</b> 们	下州2年及
	  木下貝層の見学会		目標値	1	1	1	1	1
	<b>ポース信</b> の光子ム	1	実績値	1	1	0	1	0
活動指標	市内史跡の現地説明		目標値	2	2	2	2	2
/ 自到1日保	会、PR	Ш	実績値	2	3	3	2	1
			目標値					
			実績値					
	木下貝層見学者数		目標値	20	20	20	20	20
			実績値	11	18	0	26	0
成果指標	市内史跡の見学者数	1	目標値	200	200	200	200	200
八木 扫标	川内文跡の元子有数		実績値	180	200	250	250	120
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刃りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		新型コロナウイルスの影響により、木下貝層の見学会及び市民団体との協働 事業である道作古墳の春の見学会が中止となった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスの影響により見学会が中止となるなど見学者が減少した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルスの影響により見学会が中止となり、見学者も減少した。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も市内文化財の活用を図るため、事業を継続していく。

1. 事業の概要				事業番号	135		
	実施計画事業名	歴史民俗資料館運営事業					
事業名及び	担当部署名	教育部生涯学習課 歷史民俗資料館					
担当部署等	款項目及び予算名	9款 5項 7目 資料館費		新市基本計画			
	予算事業名	歴史民俗資料館運営委員会に要する経 る経費、資料館事業活動費、資料館運営		主要事業			
	関連する施策名	4-③-2 文化財の保護・活用		重点施策			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	文化財は、先人の残した文化遺産であり、その価値や意義を踏まえ、次世代に適切に継承していくため、市民の郷土意識の涵養を図り、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財の保護及び活用を進めていまます。					
	事業年度	平成21年度から(昭和60年度から)					
		郷土の歴史・文化への関心・理解・知識を深め、次世代に引き継いでいくため、市民の残した歴史資料の収集、整理、調査研究、展示、保存、学習機会の提供等を行う。					
	対 象	市民、印西市の歴史に関心のある者					
	根拠法令·関連計画 等	博物館法、文化財保護法、印西市立印旛歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例					
事業内容等	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果			
	令和2年度	・展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及・交流・情報提供事業の実施・常設展示の一部展示替え・研究税要刊行・資料データベース化の検討	・常設展示の実施及び一部展示 料4点追加) ・資料の収集 新規受け入れ、 ・資料の整理保管 収蔵・展示・ ・普及事業の実施 利用資料数 貸出・閲覧・掲載 体験講座 注連縄づくり 参 体験講座 注連縄づくり 参 資料館講座 「印旛」の埴輪を に迫る一参加者17人 ・研究紀要第3号刊行	寄贈2件 環境調査の実施 数等 533点 加者22人 日者34人			

2.事業費の財源内訳

4. 中木貝切別 源ド	יעוני							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)				4,904,000	4,904,000	
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					4,916,000	4,916,000
		決算額					4,441,531	4,441,531

#### 3. 指標及び実績値

5. 相保及び天積指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	利用資料数(展示·貸出等)、整理資料数、新規	点	目標値	300	300	300	300	300
	受入資料数	Ĭ.	実績値	354	91	49	449	533
活動指標	企画展·講座、調査等開		目標値	8	8	12	12	12
/口到/]日1示	催数	1	実績値	6	5	5	2	8
			目標値					
			実績値					
	収集資料数	点	目標値	62,060	62,060	62,080	62,100	62,120
	<b>以未</b> 其行奴	ж	実績値	65,047	65,047	65,047	65,048	65,048
成果指標	入館者数	,	目標値	1,300	1,150	1,200	1,250	1,300
从木1日1末	八品百数	^	実績値	893	1,228	720	772	740
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

ア・デオルグラックロー		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	利用資料数は目標値を上回ったものの、企画展・講座、調査等開催数が目標値を下回った。特に調査に関しては新型コロナの影響により民俗行事の中止等があり、実施困難な状況であった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	収蔵資料数は目標値を上回ったものの、入館者数は目標値を下回った。新型 コロナウイルス感染症まん延防止のため、4月1日~5月31日まで臨時休館と した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	引き続き資料の収集・整理を実施して収蔵資料の充実に努める。 講座、調査の充実を図る。 収蔵資料のデータベース化に向けて検討を進める。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	木下交流の杜歴史資料センターとの集約化を検討する。

1. 事業の概要				事業番号	136		
	実施計画事業名	市史刊行事業					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	教育部生涯学習課 木下交流の杜歴史	資料センター市史編さん班				
担当即看守	款項目及び予算名	9款 5項 7目 資料館費		新市基本計画	0		
	予算事業名	市史刊行事業、市史編さん委員会運営	こ要する経費	主要事業			
	関連する施策名	4-3-3 市史編さん事業の推進		重点施策			
基本計画における 位置付け		本市の歴史を後世に伝えていくとともに市史 い、地域史料の保存、活用や市史の編さんに		古文書や公文書	等の調査を行		
	事業年度	昭和59年度から実施					
		市の歴史的変遷を学術的かつ系統的に記述した市史を刊行し、市民の郷土に対する理解と愛郷心の高揚を図る。					
	対 象	市民全般					
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	木下交流の杜歴史資料センター設置及び管理に関する条例、木下交流の杜歴史資料センター設置及び管理に関する条例施行規則、印西市生涯学習まちづくり推進計画、印西市史編さん事業基本方針					
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果			
	令和2年度	<ul><li>・市史刊行事業の実施 市史(史料集(近代))刊行、市史刊行物頒布</li><li>・市史普及事業の実施 市史編さん講演会等の開催</li></ul>	·市史刊行事業の実施 市史(史料集(近代))刊行、市5	史刊行物頒布			

2.事業費の財源内訳

—· — — — — // // // // // // // // // // /	) IV \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)				250,000	9,477,000	9,727,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額				250,000	9,477,000	9,727,000
		決算額				164,760	5,406,770	5,571,530

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	市史編さん委員会の開	0	目標値	2	2	3	2	2
	催回数	ш	実績値	2	1	3	1	3
活動指標	市史編さん専門委員専	0	目標値	40	48	48	48	48
心到旧标	門部会の開催回数	ū	実績値	50	110	77	76	46
			目標値					
			実績値					
	市史刊行物の発行数	<b>#</b>	目標値	55	56	57	59	63
	印文刊刊初の光刊数	III	実績値	55	56	56	57	58
成果指標	市史編さん講演会等の	人	目標値	60	60	60	60	80
<b>八木</b> 田保	参加者数	<b>\</b>	実績値	49	108	150	78	0
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

1	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナの影響により、市史編さん講演会等を開催できなかった。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナの影響により、市史編さん講演会等を開催できなかった。

0. 7 区0771円 圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市史編さん事業基本方針に基づき事業を実施しており、刊行計画に沿って進めていく。

TJ 1	加4年及 刀 天旭引回争未	:計逥汞							
			事業番号	137					
実施計画事業名	地域史料保存事業								
担当部署名	教育部生涯学習課 木下交流の杜歴史	資料センター市史編さん班							
款項目及び予算名	9款 5項 7目 資料館費		新市基本計画	0					
予算事業名			主要事業						
関連する施策名	4-3-3 市史編さん事業の推進		重点施策						
		本市の歴史を後世に伝えていくとともに市史への理解や愛郷心を育むため、古文書や公文書等の調査を行い、地域史料の保存、活用や市史の編さんに取り組んでいきます。							
事業年度	平成22年度から実施								
事業の実施目的 及び概要		市民の活動を記録した地域史料を次世代に引き継いでいくため、歴史公文書の移管並びに古文書等の調査 収集を実施し、適正な保存に努めるとともにその活用を図る。							
対 象	市民								
根拠法令·関連計画 等			歴史資料センタ-	一設置及び管					
年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果						
令和2年度	・木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営 ・歴史公文書の収集・整理保管 ・古文書等の収集・整理保管 ・資料のくん蒸								
	実施計画事業名 担当部署名 款項目及び予算名 予算事業名 関連する施策名 施策の方向性 事業年度 事業の実施目的 及び概要 対象 根拠法令・関連計画等	実施計画事業名 地域史料保存事業  担当部署名 教育部生涯学習課 木下交流の杜歴史  款項目及び予算名 9款 5項 7目 資料館費  歴史資料センター施設管理に要する経過 活動費、歴史資料センター運営事務に要 関連する施策名 4一③一3 市史編さん事業の推進  施策の方向性 本市の歴史を後世に伝えていくとともに市史い、地域史料の保存、活用や市史の編さんに 事業年度 平成22年度から実施  事業の実施目的 及び概要 市民の活動を記録した地域史料を次世代に対しませます。 市民の計画を記録した。 本下交流の社歴史資料センターの管理・運営・・本下交流の社歴史資料センターの管理・運営・・本下交流の社歴史資料センターの管理・運営・・本文書の収集・整理保管・・古文書等の収集・整理保管・・古文書等の収集・整理保管・・古文書等の収集・整理保管・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施計画事業名 地域史料保存事業  担当部署名 教育部生涯学習課 木下交流の杜歴史資料センター市史編さん班  款項目及び予算名 9款 5項 7目 資料館費  歴史資料センター施設管理に要する経費、歴史資料センター事業 活動費、歴史資料センター運営事務に要する経費  関連する施策名 4-③-3 市史編さん事業の推進  施策の方向性 本市の歴史を後世に伝えていくとともに市史への理解や愛郷心を育むため、い、地域史料の保存、活用や市史の編さんに取り組んでいきます。  事業年度 平成22年度から実施  事業の実施目的 及び概要 市民の活動を記録した地域史料を次世代に引き継いでいくため、歴史公文書収集を実施し、適正な保存に努めるとともにその活用を図る。  対象 市民  根拠法令・関連計画 等 本下交流の杜歴史資料センター設置及び管理に関する条例、木下交流の杜理に関する条例施行規則、文書管理法、公文書館法、国立公文書館法  年度 年度計画の内容 年度の事業・本下交流の杜歴史資料センターの管理・運営・・本下交流の杜歴史資料センターの管理・運営・・・本下交流の杜歴史資料センターの管理・運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施計画事業名 地域史料保存事業  担当部署名 教育部生涯学習課 木下交流の杜歴史資料センター市史編さん班  款項目及び予算名 9款 5項 7目 資料館費 新市基本計画  予算事業名 歴史資料センター施設管理に要する経費、歴史資料センター事業 主要事業 関連する施策名 4-③-3 市史編さん事業の推進 重点施策  施策の方向性 本市の歴史を後世に伝えていくとともに市史への理解や愛郷心を育むため、古文書や公文書い、地域史料の保存、活用や市史の編さんに取り組んでいきます。  事業年度 平成22年度から実施  事業の実施目的 及び概要 市民の活動を記録した地域史料を次世代に引き継いでいくため、歴史公文書の移管並びにさ収集を実施し、適正な保存に努めるとともにその活用を図る。  対象 市民  根拠法令・関連計画 等 本下交流の杜歴史資料センター設置及び管理に関する条例、木下交流の杜歴史資料センター設置及び管理に関する条例、木下交流の杜歴史資料センター設置及び管理に関する条例、木下交流の杜歴史資料センター設置及び管理に関する条例、木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営営工に関する条例を対象を表現に対象を表現している。  本下変流の杜歴史資料センターの管理・運営管理法、公文書館法、国立公文書館法  本度計画の内容 年度の事業実績・成果  ・木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営を表現の収集・整理保管・古文書等の収集・整理保管・古文書等の収集・整理保管・方文書等の収集・整理保管・資料のくん意					

2.事業費の財源内訳

2.争来負の別源へ	加							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		<b>積算額</b> (当初予算額)					6,560,000	6,560,000
	令和2年度	予算現額					6,548,000	6,548,000
		決算額					4,833,667	4,833,667

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	定期開館日数	B	目標値	269	291	291	291	292
	上		実績値	269	285	291	261	243
活動指標			目標値					
/白 到 1日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	展示室の来場者数	ı	目標値	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
	版小主の木場有数	^	実績値	5,902	3,506	3,627	2,829	2,080
成果指標			目標値					
<b>八木</b> 旧标			実績値					
			目標値					
			実績値					-

4.事業に対する評価

4. 字末に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、4月1日~5月31日まで休館した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、4月1日~5月31日まで休館した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響により、4月1日~5月31日まで休館した。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	来場者の増加につとめ、今後も継続して実施していく。

			事業番号	138			
実施計画事業名	国際化推進事業						
担当部署名	企画財政部企画政策課 政策推進係						
款項目及び予算名	2款 1項 6目 企画費	次 1項 6目 企画費					
予算事業名	国際化推進事業		主要事業				
			重点施策				
施策の方向性	4-④-1 2020年の東京オリンピック・パラリンピックには、海外からの訪問客が多く訪れるとともに、これを契機とし、外から注目を集め、海外とのつながりが一層強まることが予想されます。本市では、国際化を積極的に推するため、関係団体や周辺自治体等と協力し合えるネットワークづくりなど推進体制を強化していきます。4-④-2 本市では市内に居住・定住する外国人も増加しており、社会のグローバル化がますます進む中、今後とも層、異なる文化を持つ人々との共生を図ることが求められます。そのため、すべての市民が多様な文化や値観を受け入れ、互いに理解し合いながら、国籍や文化の違いを越え、安心して暮らしていけるまちづくり進めていくとともに、国際理解の推進などにより多文化共生意識を醸成していきます。						
事業年度	平成13年度から実施						
				る多文化共生			
対 象	市民(外国籍市民含む)						
根拠法令·関連計画 等	印西市国際化推進方針						
年度	年度計画の内容	1.02.11					
令和2年度	<ul> <li>・外国人市民への生活情報の提供</li> <li>・異文化理解講座の実施</li> <li>・幼小中における異文化理解推進事業</li> <li>・国際交流協会への活動支援</li> <li>・国際化推進懇談会の開催</li> <li>・国際化推進方針の改訂</li> </ul>	中止となり、参加者が大幅に減	少した。国際化批	進進方針につい			
	担当部署名 款項目及び予算名 予算事業名 関連する施策名  勝策の方向性  事業年度 事業の実施目的 及び概要 対象 根拠法令・関連計画等 年度	担当部署名 企画財政部企画政策課 政策推進係  款項目及び予算名 2款 1項 6目 企画費  事事業名 国際化推進事業  関連する施策名 4-④-1 開かれたまちをめざした国際交流 4-④-2 グローバル化に対応した多文化  4-④-2 グローバル化に対応した多文化  4-④-1 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに外から注目を集め、海外とのつながりが一層するため、関係団体や周辺自治体等と協力し、4-④-2 本市では市内に居住・定住する外国人も増加層、異なる文化を持つ人々との共生を図るこ値観を受け入れ、互いに理解し合いながら、進めていくとともに、国際理解の推進などによりません。 事業年度 平成13年度から実施  事業の実施目的及び概要 か国人を含めたすべての市民が互いに理解社会を目指すため、外国人への生活情報の対象を目指すため、外国人への生活情報の対象を目指すため、外国人への生活情報の対象を目指すため、外国人への生活情報の対象を目指すため、外国人への生活情報の対象を目指すため、外国人への生活情報のおいた。第次で、日本の大学、日本の大	担当部署名	実施計画事業名  国際化推進事業  担当部署名  企画財政部企画政策課 政策推進係  款項目及び予算名  之款 1項 6目 企画費  新市基本計画  予算事業名  国際化推進事業  4-④-1 開かれたまちをめざした国際交流・協力の充実 4-④-2 グローバル化に対応した多文化共生社会づくりの推進  4-④-1 2020年の東京オリンピック・バラリンピックには、海外から訪問客が多く訪れるとともに、これ 外から注目を集め、海外とのつながりが一層強まることが予想されます。本市では、国際化を するため、関係団体や周辺自治体等と協力し合えるネットワークづくりなど推進体制を強化して 4-④-2  本市では市内に居住・定住する外国人も増加しており、社会のグローバル化がますまず進むで層、異なる文化を持つ人々との共生を図ることが求められます。そのため、すべての市民が多値観を受け入れ、互いに理解し合いながら、国籍や文化の違いを越え、安心して暮らしていけ進めていくとともに、国際理解の推進などにより多文化共生意識を醸成していきます。  事業年度  平成13年度から実施  小国人を含めたすべての市民が互いに理解し合い、高め合いながら、ともに暮らすことができ社会を目指すため、外国人への生活情報の提供や日本人の国際理解等を推進する。  対 象  市民(外国籍市民含む)  根拠法令・関連計画 等  中度  年度  年度  年度  年度  中度  中度の事業実積・成果 ・外国人市民への生活情報の提供 ・幼小中における異文化理解推進事業 ・国際で流協会への活動支援 ・別帯化推進影談会の開催  新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となり、参加者が大幅に減少した。国際化力に、国際化力により、参加者が大幅に減少した。国際化力により、参加者が大幅に減少した。国際化力により、参加者が大幅に減少した。国際化力により、参加者が大幅に減少した。国際化力により、参加者が大幅に減少した。国際化力により、参加者が大幅に減少した。国際化力により、参加者が大幅に減少した。国際化力により、参加者が大幅に減少した。国際化力により、参加者が大幅に減少した。国際化力により、参加者が大幅に減少した。国際化力により、参加者が大幅に減少した。国際化力には、令和3年度~7年度を実施期間とする新力により、第200円に減少した。国際化力には、令和3年度~7年度を実施期間とする新力により、第200円に減少した。国際化力には、令和3年度~7年度を実施期間とする新力により、単位なり、参加者が大幅に減少した。国際化力には、令和3年度~7年度を実施期間とする新力により、単位なり、参加者が大幅に減少した。国際化力には、令和3年度~7年度を実施期間とする新力により、単位なり、参加者が大時に減少した。国際化力には、令和3年度~7年度を実施期間とする新力により、単位な、中心は、令和3年度~7年度を実施期間とする新力により、単位な、令和3年度~7年度を実施期間とする新力により、単位な、令和3年度~7年度を実施期間とする新力により、他がより、中心は、中心は、中心は、中心は、中心は、中心は、中心は、中心は、中心は、中心は			

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	積算額 (当初予算額)					1,040,000	1,040,000
財源内訳(円)		予算現額					1,037,000	1,037,000
		決算額					813,631	813,631

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	外国人市民への情報提		目標値	40	25	25	25	25
	供の回数	Ш	実績値	40	25	25	25	25
活動指標	異文化理解講座の開催		目標値	12	12	12	12	12
/口到/1日1示	数	П	実績値	9	9	8	8	6
	語学講座の開催数		目標値	480	480	480	480	480
	品于确注♥/所准数	田	実績値	465	546	457	517	126
	国際交流行事の参加者	1	目標値	400	400	400	400	400
	数	^	実績値	361	449	312	233	89
成果指標	異文化理解講座の参加	1	目標値	400	400	400	400	400
风木扫标	者数	^	実績値	311	384	365	363	156
	印西市国際交流協会の 会員数	ı	目標値	177	179	181	183	185
		^	実績値	146	170	154	130	135

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる計価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		オンラインを活用したリモート形式の導入や、感染対策の徹底により、コロナ禍でも講座 を実施することができた。
②成果に対する評価		特に国際理解・交流、語学講座の事業はコロナの影響を大きく受ける結果となったが、できる範囲で活動を行った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	コロナ禍においてもできる範囲で国際化・多文化共生の取組を進めた。

0. 7 及の方向圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	外国人人口は今後も増加すると考えられるので、国の動向を注視しつつ、多文化共生のまちづく りに向けた検討・取組を引き続き進めていく必要がある。

1. 事業の概要				事業番号	139			
	実施計画事業名	都市マスタープランの推進						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部都市計画課 計画係						
担当即省等	款項目及び予算名	7款 3項 1目 都市計画総務費		新市基本計画	0			
	予算事業名	都市計画決定・変更に要する経費		主要事業	0			
	関連する施策名	5-①-1 地域の特性を活かした計画的な 5-③-3 計画的なまちづくりの推進	土地利用の誘導、	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	5一①一1 自然環境と都市環境が調和した適正で機能 ける商業機能の誘導や良好な住環境の形成 地利用の誘導や印旛中央地区の都市的土地 くりを推進していきます。また、土地境界をめ 速化等を図るため、地籍調査の実施について 5一③一3 住宅は、住まわれる方にとって生活の基盤で ことから、災害に強く人や環境にやさしい住ま いきます。また居住者不明の家屋が増加して	を推進するとともに、引き続き千 も利用の促進等により各地域の4 ぐるトラブルの未然防止や公共 に検討していきます。 あるとともに、都市や街並みを根 にいづくりを推進することで市民の	葉ニュータウンE 特性を活かした持 事業の円滑化、ジ 構成する社会的な D住生活の安定と	区域における土 持続的なまちづ 会害復旧の迅 な資産でもある こ向上を図って			
	事業年度	令和2年度まで(現行)、令和3年度~						
	事業の実施目的 及び概要	現在の計画の目標年度は、令和2年度のため、令和3年度からの新しい都市マスタープランを令和元年度から2カ年をかけ策定する。						
	対 象	市民						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	都市計画法						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	実績·成果				
	令和2年度	・次期都市計画マスタープランの策定 ・都市マスタープランに位置付けた各整備項目の実現化手法等により、目指す都市づく りの実現を推進する。	・良好な都市環境の形成を目指 区、泉野地区、牧の台地区、牧 北二丁目地区)の地区計画の見 の制限に関する条例の改正を行 ・令和2年度においては、策定行 を実施し、印西市都市マスター ブリックコメントを実施し、印西市 た。	の原北地区、滝! !直し及び決定を テった。 委員会及び庁内専 プラン案を策定。	野地区、小林 行い、建築物 幹事会・本部会 案策定後にパ			

2.事業費の財源内訳

	196.4							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)					5,092,000	5,092,000
		予算現額					5,092,000	5,092,000
		決算額					5,070,700	5,070,700

3. 指標及び実績値

3. 相保及び失順	<b>三</b> 票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	地区計画区域における	件	目標値	700	700	700	700	700
	行為の届出数	11+	実績値	728	730	979	875	507
活動指標	新都市マスタープラン策	%	目標値				50	100
/ 加到旧保	定	70	実績値				50	100
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標			目標値					
从木油坑	以.木.旧·保		実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		地区計画届出件数については、新型コロナウイルスの影響で一時的に住宅需要が落ち込み届出件数が減少した可能性がある。
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
③総合的な評価		地区計画届出件数は減少したため、活動目標を達成できなかったが、都市マスターブランについては計画通り策定したため、計画通りの実績・成果であった。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	都市マスタープランに沿った都市づくりが適正にかつ計画的に行われているか、継続的な進行 管理を行っていく。

	节和2年度 分 美施訂画事業評価票								
1. 事業の概要				事業番号	140				
	実施計画事業名	都市計画GIS整備事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部都市計画課 計画係							
担크마有守	款項目及び予算名	7款 3項 1目 都市計画総務費		新市基本計画					
	予算事業名	都市計画GIS整備事業		主要事業					
	関連する施策名	5-①-1 地域の特性を活かした計画的な	土地利用の誘導	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	自然環境と都市環境が調和した適正で機能 ける商業機能の誘導や良好な住環境の形成 地利用の誘導や印旛中央地区の都市的土地 くりを推進していきます。また、土地境界をめ 化等を図るため、地籍調査の実施についても	を推進するとともに、引き続き干 也利用の促進等により各地域の物 ぐるトラブルの未然防止や公共	葉ニュータウン図 特性を活かした持	区域における土 持続的なまちづ				
	事業年度	平成17年度から							
	事業の実施目的 及び概要		都市計画基本図や都市計画情報等のデータを電子化し運用することにより、地図情報の高度化・効率化を 図るとともに、市民サービスの向上を目指す。						
	対 象	市民							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	都市計画法							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果					
	令和2年度	<ul><li>・データ修正</li><li>・運用支援</li><li>・システム保守</li><li>・都市計画基本図修正(印西市全域)</li></ul>	<ul><li>・データ修正</li><li>・運用支援</li><li>・システム保守</li><li>・都市計画基本図修正(印西市</li></ul>	全域)					

2.事業費の財源内訳

	<i>3</i> 14/ \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)				192,000	58,062,000	58,254,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額				192,000	51,572,000	51,764,000
		決算額				160,430	51,588,635	51,749,065

3. 指標及び実績値

3. 指標及ひ美積				_ 5 / -		_ 5 / -		
指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	機器入れ替え	0	目標値	1				
	成品人生の日元	1	実績値	1				
活動指標	データ更新又はシステム		目標値	4	4	4	4	4
/口到/]日1示	の定期点検	<u> </u>	実績値	4	4	4	4	4
			目標値					
			実績値					
	都市計画情報案内シス		目標値	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
	テムの検索回数	<u> </u>	実績値	8,145	7,125	6,547	4,966	5,029
成果指標	都市計画情報案内シス	枚	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
テムの印刷を	テムの印刷枚数	ťΧ	実績値	1,524	1,476	1,517	1,244	1,117
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	システム保守・点検等については計画どおり行われた。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	インターネット上で都市計画情報を閲覧できるわが街ガイドの浸透により、窓口システムの利用は減少傾向である。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	都市計画GISの導入により、地図情報の高度化・効率化が図られた。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 単葉を担行が主主機器  7 実際	都市計画基本図や都市計画情報等のデータを電子化しGISで運用することにより地図情報の高度化・効率化が図られている。

7 和2 年及 万								
1. 事業の概要				事業番号	141			
	実施計画事業名	地籍調査事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部都市計画課 地籍調査係						
但当即看守	款項目及び予算名	7款 3項 1目 都市計画総務費		新市基本計画				
	予算事業名	地籍調査事業に要する経費		主要事業	0			
	関連する施策名	5-①-1 地域の特性を活かした計画的な	土地利用の誘導	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	自然環境と都市環境が調和した適正で機能的な土地利用の誘導をしていくため、木下駅圏や小林駅圏に ける商業機能の誘導や良好な住環境の形成を推進するとともに、引き続き千葉ニュータウン区域における 地利用の誘導や印旛中央地区の都市的土地利用の促進等により各地域の特性を活かした持続的なまちつ くりを推進していきます。また、土地境界をめぐるトラブルの未然防止や公共事業の円滑化、災害復旧の迅 化等を図るため、地籍調査の実施について検討していきます。						
	事業年度	平成29年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要		国民の重要な財産である土地を保全することを目的として、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査する。その後、境界の位置と面積を測量し、地図及び簿冊を作成する。また、作成した地籍・地図情報の管理・提供システムの整備を行う。					
	対 象	地権者						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	国土調査法						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	・印西第1、第2工区における国庫補助金申請・第1工区における地籍図(案)の作成及び面積の測定・第2工区における土地所有者への説明会開催・第2工区における現地事前調査及び基準点測量の実施	・印西第1、第2工区における国 ・第1工区における地籍図(案) ・第2工区における土地所有者 ・第2工区における現地事前調	の作成及び面積 への説明会開催				

2.事業費の財源内訳

	<i>3</i> 14/ \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)		4,579,000			9,768,000	14,347,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額		4,654,000			9,664,000	14,318,000
		決算額		4,654,500			9,373,959	14,028,459

3. 指標及び実績値

3. 指標及び美額 指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	地籍調査事業の周知活		目標値				2	2
	動回数	Ш	実績値				2	2
活動指標	地籍調査住民説明会の		目標値				2	2
/白 到 1日1宗	開催回数	Ш	実績値				3	4
	印西市地籍調査事業計	%	目標値		50	100		
	画策定	70	実績値		50	100		
	地籍調査を実施した筆	筆	目標値				1,000	1,000
	数	#	実績値				826	0
成果指標	地籍測量を実施した筆	筆	目標値					1,000
从本1日末	<b>数</b>	#	実績値					0
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価		地籍調査作業工程の見直しにより、地籍調査(現地調査)及び地籍測量(一筆地測量)については、令和3年度に実施する。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	令和2年度は、令和3年度に実施する現地調査及び一筆地測量等の下作業を 実施した。第1工区及び第2工区の作業進捗は順調である。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	地籍調査事業計画に基づき、地籍調査を実施する。

1. 事業の概要				事業番号	142				
	実施計画事業名	千葉ニュータウンの市街化促進							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部都市計画課 計画係							
担ヨ即省寺	款項目及び予算名	7款 3項 1目 都市計画総務費		新市基本計画	0				
	予算事業名			主要事業					
	関連する施策名	5-①-1 地域の特性を活かした計画的な	土地利用の誘導	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	自然環境と都市環境が調和した適正で機能的な土地利用の誘導をしていくため、木下駅圏や小林駅圏 ける商業機能の誘導や良好な住環境の形成を推進するとともに、引き続き千葉ニュータウン区域におけ 地利用の誘導や印旛中央地区の都市的土地利用の促進等により各地域の特性を活かした持続的なま くりを推進していきます。また、土地境界をめぐるトラブルの未然防止や公共事業の円滑化、災害復旧の 化等を図るため、地籍調査の実施について検討していきます。							
	事業年度	平成26年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	新住宅市街地開発事業完了後の千葉ニュータウン事業区域について、関係機関と連携しながら市街化を促進し、持続的発展につなげる。							
	対 象	千葉ニュータウン区域全域及び区域内の公共施設							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市都市マスタープラン							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果					
	令和2年度	・新住宅市街地開発事業完了後のまちづく りとして、望ましい将来都市像を実現するため、引き続き千葉ニュータウンの熟成に努める。	・土地処分に関する協議の実施	<u>.</u>					

2.事業費の財源内訳

4. 中木貝切別源ド	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)						0
		予算現額						0
		決算額						0

3. 指標及び実績値

指	<del>IE</del> 標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	しゅかりてき(たウズ)		目標値	21	4	5	0	0
	土地処分面積(住宅系)	ha	実績値	42	7	0	0	0
活動指標	土地処分面積(施設系)	l	目標値	34	18	17	0	0
<b>冶</b> 期拍標	工地处方面傾(他政系)	ha	実績値	66	32	3	0	0
			目標値					
			実績値					
	CNT区域内人口	ı	目標値	59,890	59,890	62,470	64,100	64,890
	UNI区域内入口		実績値	59,586	61,412	63,692	66,094	68,379
成果指標			目標値					
<b>八木</b> 拍标			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	ニュータウン区域内の人口が増加し、千葉ニュータウン区域の市街化は進捗している。

5. 予後の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	千葉ニュータウン事業の収束に伴い、関連実施計画事業に取り入れる。

TJ 4	加4十茂 刀 大心可凹于未	計画示							
			事業番号	143					
実施計画事業名	印旛中央地区の都市的土地利用の促進								
担当部署名	都市建設部都市整備課 印旛中央地区	係							
款項目及び予算名	7款 3項 5目 印旛中央地区に要する	経費	新市基本計画	0					
予算事業名	印旛中央地区に要する経費		主要事業						
関連する施策名	5-①-1 地域の特性を活かした計画的な:	土地利用の誘導	重点施策						
施策の方向性	自然環境と都市環境が調和した適正で機能的な土地利用の誘導をしていくため、木下駅圏や小林駅圏にける商業機能の誘導や良好な住環境の形成を推進するとともに、引き続き千葉ニュータウン区域におけ、地利用の誘導や印旛中央地区の都市的土地利用の促進等により各地域の特性を活かした持続的なまなくりを推進していきます。また、土地境界をめぐるトラブルの未然防止や公共事業の円滑化、災害復旧の代等を図るため、地籍調査の実施について検討していきます。								
事業年度	平成22年度から実施								
事業の実施目的 及び概要	住宅地及び産業・業務地などの開発ニーズを考慮した市街化の促進を図ります。								
対 象	地区内地権者								
根拠法令・関連計画 等	印西市都市マスタープラン、土地区画整理法								
年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果						
令和2年度	・発起人会の事業計画素案作成等への支援 ・環境影響評価に係る現況調査	する費用補助をし、計画作成過等が円滑に進むよう支援を行っ	程において各種た。						
	実施計画事業名 担当部署名 款項目及び予算名 予算事業名 関連する施策名 施策の方向性 事業年度 事業の実施目的 及び概要 対象 根拠法令・関連計画等	実施計画事業名	実施計画事業名	実施計画事業名					

2.事業費の財源内訳

-· T 不 又 W M M M M M M M M M M M M M M M M M M	3 P/ V							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					163,306,000	163,306,000
		予算現額					132,740,000	132,740,000
		決算額					126,504,117	126,504,117

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	連絡会の開催		目標値	3	2			
	建裕五の用惟	ш	実績値	2	2			
活動指標	地権者主体の検討組織		目標値			3	3	3
心划担保	の会議開催	ш	実績値			4	5	7
	地権者主体の検討組織 には、令和元年12月発		目標値					
	足の発起人会を含む		実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標			目標値					
以木田宗			実績値					
			目標値				·	
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刃りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	発起人会の会議開催数は目標値以上であるが、活動内容としては計画どおりであったため
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	指標設定がないため
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	当初の目的である事業計画素案の作成など、計画通りの成果であったため

Ī	5. ラ後の万同性	選択理由 及び 今後の課題等
	1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、土地区画整理事業の事業化が図られるよう支援を行っていく。

市和2年度 分 美施計画事業評価業										
1. 事業の概要				事業番号	144					
	実施計画事業名	小林駅南口駅前広場等整備事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部建設課 計画係								
担当即省等	款項目及び予算名	7款 1項 3目 道路新設改良費		新市基本計画	0					
	予算事業名	市道18-045号線(小林駅南口駅前広	場等)整備事業	主要事業	0					
	関連する施策名	5-①-2 生活の利便性を高める拠点的な 5-②-2 地域の活性化と交通弱者の増加 上		重点施策	0					
基本計画における 位置付け		5-①-2  JR成田線の市内2駅(木下駅、小林駅)周辺の既成市街地においては、日常生活の利便性を高める拠点の形成をめざし、都市機能の強化や拠点間を結ぶ連携軸の強化等を推進していきます。 5-②-2  今後、高齢化の進展が予想される中で、交通弱者である高齢者などの気軽な外出機会の提供など市民ニーズに応じた持続可能な市内バス公共交通の実現をめざします。また、北総線・成田スカイアクセスやJR成田線の利用促進及び利便性向上に努めていきます。								
	事業年度	平成21年度から令和3年度まで								
	事業の実施目的 及び概要	小林駅の南口駅前広場等を整備することにより、周辺地域の活性化及び駅利用者の利便性の向上を図る 用地買収率(取得済面積/取得予定面積):92% 工事進捗率(施工済額/工事費総額):約60% ※令和2年3月31日時点								
**+**	対 象	市民ならびに駅利用者								
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市都市マスタープラン								
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果						
	令和2年度	·小林駅南口駅前広場用地取得	•用地交渉							

#### 2.事業費の財源内訳

財源内訳(円) 令和2年度	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					97,373,000	97,373,000
	令和2年度	予算現額					93,901,100	93,901,100
		決算額					20,400,536	20,400,536

#### 3. 指標及び実績値

指标	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	用地交渉		目標値	10	5	5	5	5
	用地文沙	Ш	実績値	10	5	5	5	5
活動指標関係機関との協議	明を機関しの抄業		目標値	7	7	5	5	5
	Ш	実績値	7	7	5	5	5	
			目標値					
			実績値					
	用地取得率	%	目標値	100	100	100	100	100
		70	実績値	92	92	92	92	92
成果指標	工事進捗率	%	目標値	65	66	91	100	100
八木扫标	工事庭抄中	70	実績値	50	60	60	60	60
			目標値					
			実績値					

### 4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	事業用地取得に向け、用地交渉は継続している。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	事業用地取得に向け、用地交渉は継続している。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	事業用地取得に向け、用地交渉は継続している。

I	3. 7 後の分間圧 今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、事業用地取得に向け、地権者との交渉を継続していく。

1. 事業の概要				事業番号	145				
	実施計画事業名	市道00-008号線整備事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部建設課 計画係							
担当即看守	款項目及び予算名	7款 3項 2目 街路事業費		新市基本計画					
	予算事業名	都市計画道路新設改良事業(市道00-	008号線整備事業)	主要事業	0				
		5-1-2 生活の利便性を高める拠点的な $5-2-1$ 市民生活を支える道路網の整備		重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	形成をめざし、都市機能の強化や拠点間を約5-②-1 関係自治体等と連携を図りながら計画的な道図っていきます。また、市内における駅圏やサ	R成田線の市内2駅(木下駅、小林駅)周辺の既成市街地においては、日常生活の利便性を高める拠点の が成をめざし、都市機能の強化や拠点間を結ぶ連携軸の強化等を推進していきます。						
	事業年度	令和2年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	木下駅南口駅前広場と国道356号を結ぶ幹し、歩道の拡幅などにより歩行者の利便性の く全体計画>総延長 530m 幅員20.0 用地買収率(取得済面積/取得予定面積): 事業進捗率(執行済み事業費/全体事業費 ※令和2年3月31日時点	向上を図る。 m O%	しての完成形での	D整備を実施 の整備を実施				
事業内容等	対 象	市民ならびに道路利用者							
	根拠法令·関連計画 等	印西都市計画、印西市都市マスタープラン							
	年度	年度計画の内容		美実績・成果					
	令和2年度	·現地、用地·路線測量 ·道路予備設計	・現地、用地・路線測量を実施 ・道路予備設計を実施						

2.事業費の財源内訳

2. 手未真切別源戶	2.争未其切别源内部									
財殖内部(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計		
		積算額 (当初予算額)					12,232,000	12,232,000		
	令和2年度	予算現額					12,232,000	12,232,000		
		決算額					10,952,700	10,952,700		

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	関係機関との協議	0	目標値					3	
活動指標		田	実績値					3	
			目標値						
			実績値						
			目標値						
			実績値						
	<b>車業准性</b> 率	事業進捗率	%	目標値					10
	<b>学</b> 未延抄平	70	実績値					10	
成果指標			目標値						
以木伯倧			実績値						
			目標値						
			実績値						

4.事業に対する評価

4.争来に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	都市計画道路として整備を進める。

1. 事業の概要				事業番号	146				
	実施計画事業名	市道00-031号線整備事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部建設課 計画係							
但当即有守	款項目及び予算名	7款 3項 2目 街路事業費		新市基本計画	0				
	予算事業名	都市計画道路新設改良事業(市道00-	·031号線整備事業)	主要事業	0				
	関連する施策名	5-①-2 生活の利便性を高める拠点的な 5-②-1 市民生活を支える道路網の整備		重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	5-①-2 JR成田線の市内2駅(木下駅、小林駅)周辺の既成市街地においては、日常生活の利便性を高める拠点の形成をめざし、都市機能の強化や拠点間を結ぶ連携軸の強化等を推進していきます。 5-②-1 関係自治体等と連携を図りながら計画的な道路整備を促進し、周辺諸都市との広域的な交通軸の強化を図っていきます。また、市内における駅圏や地区拠点間の地域交流のための道路網の整備を進めるとともに、整備済みの道路等について常に安全で快適に利用できるよう、適切な維持管理に努めます。							
	事業年度	平成13 年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	千葉ニュータウン印西牧の原駅圏とJR成田線小林駅圏を結ぶ幹線道路網であり、平岡自然公園への連絡でもある市道00-031号線を、他の路線と一体的に整備し、市内南北を連結する幹線道路網の拡充図る。 〈全体計画〉総延長 3,150m 幅員14.5m 用地買収率(取得済面積/取得予定面積):約93% (供用進捗率(供用延長/計画延長):約87% ※令和2年3月31日時点							
事業内容等	対 象	市民ならびに道路利用者							
	根拠法令·関連計画 等	印西市都市マスタープラン							
	年度	年度計画の内容		美実績·成果					
	令和2年度	- 事業用地取得 - 流末排水詳細設計(18-045号線) - 流末排水詳細設計(18-021号線)	・用地交渉 ・流末排水詳細設計(18-045号	線)実施					

2.事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					74,833,000	74,833,000
	令和2年度	予算現額					8,991,000	8,991,000
		決算額					7,158,000	7,158,000

3. 指標及び実績値

3. 相條及U天職 指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	用地交渉		目標値	5	5	5	5	5
活動指標関係機関との	用地文沙	ш	実績値	5	5	5	5	5
	関係機関との拉議		目標値	3				
		ш	実績値	3				
			目標値					
			実績値					
	用地取得率	%	目標値	65	65	99	100	100
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	70	実績値	93	93	93	93	93
成果指標	工事進捗率	%	目標値	65	65	65	68	71
以太阳标	工事定抄平	70	実績値	87	87	87	87	87
			目標値		·			
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	事業用地取得に向け、用地交渉を継続する。
②成果に対する評価	E 成果なし	事業用地取得に向け、用地交渉を継続する。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	事業用地取得に向け、用地交渉を継続する。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、事業用地取得に向け、地権者との交渉を継続していく。

	TP 1	加2年度 分 美他計画争果	:計叫汞					
1. 事業の概要				事業番号	147			
	実施計画事業名	北千葉道路の建設促進						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部建設課 計画係						
担当即有守	款項目及び予算名	7款 1項 3目 道路新設改良費		新市基本計画	0			
	予算事業名	道路新設改良事業(その他市道整備事	業)	主要事業				
	関連する施策名	5-2-1 市民生活を支える道路網の整備	•維持管理	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	関係自治体等と連携を図りながら計画的な道路整備を促進し、周辺諸都市との広域的な交通軸の強化を 図っていきます。また、市内における駅圏や地区拠点間の地域交流のための道路網の整備を進めるとと こ、整備済みの道路等について常に安全で快適に利用できるよう、適切な維持管理に努めます。						
	事業年度	平成2年度から実施						
		北千葉道路は、首都圏と千葉ニュータウン・成田地域間の骨格的交通軸であり、成田空港と外環道路を結ぶ重要な幹線道路でもあることから、早期完成に向けて関係自治体と連携を取りながら要望を実施する。なお、成田方面については終点までの完成形での整備を、また、東京方面については国直轄事業と有料事業の合併施行による整備の事業化の要望を行う。						
	対 象	北千葉道路の整備促進						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	都市再生プロジェクト(第二次決定)都市再生本部決定						
	年度	年度計画の内容	1.02	美実績・成果				
	令和2年度	・国等に対して要望を実施	千葉ニュータウンと成田市にお 交通軸であるため、早期完成に がら国へ要望活動を実施した。	向けて関係市と				

2.事業費の財源内訳

ム・デ木貝の別がド	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					90,000	90,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					90,000	90,000
		決算額					90,000	90,000

3. 指標及び実績値

3. 相保及び美積	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	関係市村と連携を図り要		目標値	平成28年度     平成29年度     平成30年度     令       2     2     2       4     2     2	2	2		
	望活動を実施	Ш	実績値	4	2	2	2	2
活動指標			目標値					
/ 山 刬 扫 1 示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	北千葉道路の早期完成		目標値					
	を目標とする。		実績値					
成果指標			目標値					
从未刊标			実績値					
			目標値	·				
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争業に対する評価									
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)							
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである								
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)								
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった								

3. フ俊の万円圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	千葉県が事務局となる新たな組織が設立され、事業化に向けて引き続き要望活動を実施してい く。

节和2年度 分 美施計画争耒評価祟								
1. 事業の概要				事業番号	148			
	実施計画事業名							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部建設課 計画係						
担ヨ即省寺	款項目及び予算名	7款 1項 3目 道路新設改良費		新市基本計画	0			
	予算事業名	道路新設改良事業(その他市道整備事	<b>業</b> )	主要事業				
	関連する施策名	5-2-1 市民生活を支える道路網の整備	•維持管理	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	関係自治体等と連携を図りながら計画的な道路整備を促進し、周辺諸都市との広域的な交通軸の強化を 図っていきます。また、市内における駅圏や地区拠点間の地域交流のための道路網の整備を進めるととも に、整備済みの道路等について常に安全で快適に利用できるよう、適切な維持管理に努めます。						
	事業年度	平成14年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	狭隘で屈曲箇所が多い2級幹線市道00-116号線の道路改良を実施し、交通安全の向上を図る。 <全体計画>総延長 1,200m 幅員 9.5m 用地買収率(取得済面積/取得予定面積):100% 供用進捗率(供用延長/計画延長):約35% ※令和2年3月31日時点						
	対 象	市民ならびに道路利用者						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市都市マスタープラン						
<b>于木门在</b> 寸	年度	年度計画の内容	年度の事業	美夫績·成果				
	令和2年度	·道路改良準備工事 L=160m	・道路改良準備工事L=0m (総延長約1.2kmのうち約0.42kr ※新型コロナウイルスの影響で が見込めず繰越した。		、年度内完了			

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					32,694,000	32,694,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					32,694,000	32,694,000
		決算額					8,280,000	8,280,000

3. 指標及び実績値

3. 指標及ひ美額1	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	<b>今和2年度</b>	
181	票内容	半世			十成29十段	十成30千度	节和几千皮	71444及
	関係機関との協議	回	目標値	5				
	大	ū	実績値	5				
活動指標	改良工事	m	目標値	50	50	250	300 160 50 0	160
/山到1日1宗	以及工事	111	実績値		60	50		
			目標値					
			実績値					
	工事進捗率	%	目標値	18	27	51	75	300 160 50 0
	工事延抄牛	/0	実績値	18	27	31	35	35
成果指標			目標値					
八木141宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4 事業に対する証価

4 争耒に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		新型コロナウイルスの影響で工事発注が遅れ、年度内完了が見込めず繰越した。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	新型コロナウイルスの影響で工事発注が遅れ、年度内完了が見込めず繰越した。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	新型コロナウイルスの影響で工事発注が遅れ、年度内完了が見込めず繰越した。

5. 写像の方回性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引続き、早期に事業完了を目指す。

1. 事業の概要				事業番号	149			
	実施計画事業名	市道00-026号線延伸区間道距	洛整備事業					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部建設課 計画係						
担当即有守	款項目及び予算名	7款 1項 3目 道路新設改良費		新市基本計画	0			
	予算事業名	道路新設改良事業(市道00-026号線	<b>疑延伸区間道路整備事業)</b>	主要事業	0			
	関連する施策名	5-2-1 市民生活を支える道路網の整備	•維持管理	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	図っていきます。また、市内における駅圏やサ	に自治体等と連携を図りながら計画的な道路整備を促進し、周辺諸都市との広域的な交通軸の強化を ていきます。また、市内における駅圏や地区拠点間の地域交流のための道路網の整備を進めるとと 整備済みの道路等について常に安全で快適に利用できるよう、適切な維持管理に努めます。					
	事業年度	平成14年度から令和3年度まで						
	事業の実施目的 及び概要	主要地方道千葉竜ヶ崎線と主要地方道船橋 備事業を行い、他の路線と一体的な整備によ く全体計画>総延長 1,252m 幅員 1 用地買収率(取得済面積/取得予定面積): 工事進捗率(施工済額/工事費総額):約70 ※令和2年3月31日時点	より市内南北を連結する幹線道路 4.5m 100%					
	対 象	市民ならびに道路利用者						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市都市マスタープラン						
	年度	年度計画の内容		美実績·成果				
	令和2年度	•橋梁上部工 L=16.3m	<ul><li>・道路案内標識設計業務を実施</li><li>・交通量調査業務を実施</li><li>・交差点協議資料作成業務を実</li></ul>					

2.事業費の財源内訳

1- PI4 DC 313 MINT			ロウナルへ	旧士山人	1.1L-/=		An OLLYCE	<b>士业</b>
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)	30,000,000		27,000,000		59,145,000	116,145,000
		予算現額	0		0		11,357,000	11,357,000
		決算額	0		0		9,898,900	9,898,900

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	関係機関との協議	明存機即しの协議	0	目標値	3	3	3	3	3
		Щ	実績値	3	3	3	3	3	
活動指標			目標値						
			実績値						
			目標値						
			実績値						
	工事進捗率	%	目標値	70	78	86	94	100	
	工事延沙平	70	実績値	30	40	50	70	70	
成果指標			目標値						
以木田宗			実績値						
			目標値						
			実績値						

4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	入札不調により工事未実施
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績·成果であった	入札不調により工事未実施

	5. 予仮の万円性	
ı	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	1 事業を現行のまま継続して実施	社会資本整備総合交付金を活用し、供用開始を目指す。

	13 1	114 十段 刀 一天心间 四争未					
1. 事業の概要				事業番号	150		
	実施計画事業名	市道松崎·吉田線整備事業					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部建設課 計画係					
担当即看守	款項目及び予算名	7款 1項 3目 道路新設改良費		新市基本計画	0		
	予算事業名	道路新設改良事業(市道松崎吉田線整	備事業)	主要事業	0		
	関連する施策名	5-②-1 市民生活を支える道路網の整備	•維持管理	重点施策			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	関係自治体等と連携を図りながら計画的な道路整備を促進し、周辺諸都市との広域的な交通軸の強化を 図っていきます。また、市内における駅圏や地区拠点間の地域交流のための道路網の整備を進めるととも に、整備済みの道路等について常に安全で快適に利用できるよう、適切な維持管理に努めます。					
	事業年度	平成22年度から実施					
	事業の実施目的 及び概要	松崎地区と吉田地区を結ぶ道路は、狭隘で 上を図る。 <全体計画>総延長 1,700m 幅員 1 用地買収率(取得済面積/取得予定面積):: ※令和2年3月31日時点	0. 0m	号線を新設し、交	通安全の向		
	対 象	市民ならびに道路利用者					
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市都市マスタープラン					
	年度	年度計画の内容		美実績・成果			
	令和2年度	·盛土工事 ·文化財調査(発掘調査)	・盛土工事を実施 ・文化財調査(発掘調査)を実施	Ē			

2.事業費の財源内訳

4. 中木貝ツ州(水)	1 D/C							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)	60,000,000		58,000,000		223,255,000	341,255,000
		予算現額	74,660,000		40,000,000		250,606,900	365,266,900
		決算額	26,060,000		23,400,000		96,541,668	146,001,668

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	用地交渉		目標値	20	20	20	20	20
	用地文沙	Ш	実績値	0	20	20	20	20
活動指標	関係機関との協議		目標値	5	5			5
<b>心</b> 划扫标		Ш	実績値	6	5			5
			目標値					
			実績値					
	用地買収率	%	目標値	10	40	70	100	100
		90	実績値	0	33	66	91	92
成果指標	工事進捗率	%	目標値					35
八木 旧 保	工事進抄卒	90	実績値					35
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

	5. 写像の方向性	
-	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	1 事業を現行のまま継続して実施	社会資本整備総合交付金を活用し、供用開始を目指す。

1. 事業の概要				事業番号	151			
	実施計画事業名	市道竜腹寺線整備事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部建設課 計画係						
担当即看守	款項目及び予算名	7款 1項 3目 道路新設改良費		新市基本計画	0			
	予算事業名	道路新設改良事業(市道竜腹寺線整備	事業)	主要事業	0			
	関連する施策名	5-2-1 市民生活を支える道路網の整備	•維持管理	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	関係自治体等と連携を図りながら計画的な道路整備を促進し、周辺諸都市との広域的な交通軸の強図っていきます。また、市内における駅圏や地区拠点間の地域交流のための道路網の整備を進めるに、整備済みの道路等について常に安全で快適に利用できるよう、適切な維持管理に努めます。						
	事業年度	平成26年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	笠神・中根周辺と産業・業務拠点であるみどり 竜腹寺線を整備し、幹線道路網の拡充を図る <全体計画>総延長 450m(うち橋梁144 用地買収率(取得済面積/取得予定面積): ※令和2年3月31日時点	o。 m) 幅員 14.0m	成する地区幹線	道路として市道			
事業内容等	対 象	市民ならびに道路利用者						
サ木 門合 サ	根拠法令·関連計画 等	印西市都市マスタープラン						
	年度	年度計画の内容	1.02	美実績・成果				
	令和2年度	・橋りょう予備設計	・橋りょう予備設計を実施 ・関係機関協議					

### 2.事業費の財源内訳

ニナネスツ州がド	3 D/ \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)					18,781,000	18,781,000
	令和2年度	予算現額					18,501,000	18,501,000
		決算額					680,700	680,700

3. 指標及び実績値

5. 相保及び失順	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	関係機関協議		目標値	10	5	5		1
		Щ	実績値	6	2	5		1
活動指標	用地交渉		目標値	2	2	2	2	2
/山 到 1日1宗	用地文形	Ш	実績値	3	0	2	0	1
			目標値					
			実績値					
	用地取得率	%	目標値	50	50	65	80	100
	(合併後取得分)	70	実績値	0	0	100	100	100
成果指標			目標値					
从木1口木			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	・関係機関協議を実施 ・事業用地取得済み
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 予後の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	社会資本整備総合交付金事業として整備すべく、事業費の確保に努める

1. 事業の概要				事業番号	152		
	実施計画事業名	市道00-107号線整備事業					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部建設課 計画係					
担当即看守	款項目及び予算名	7款 1項 3目 道路新設改良費		新市基本計画	0		
	予算事業名	道路新設改良事業(その他市道整備事	<b>業</b> )	主要事業	0		
	関連する施策名	5-2-1 市民生活を支える道路網の整備	•維持管理	重点施策			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	図っていきます。また、市内における駅圏や地	関係自治体等と連携を図りながら計画的な道路整備を促進し、周辺諸都市との広域的な交通軸の強化を図っていきます。また、市内における駅圏や地区拠点間の地域交流のための道路網の整備を進めるとともに、整備済みの道路等について常に安全で快適に利用できるよう、適切な維持管理に努めます。				
	事業年度	平成26年度から実施					
	事業の実施目的 及び概要	主要地方道千葉竜ヶ崎線バイパスと主要地 道路改良を実施し、利便性及び交通安全の   <全体計画>総延長 1,450m 幅員 1	うした。 う上を図る。	2級幹線市道00	)-107号線の		
	対 象	市民ならびに道路利用者					
事業内容等	根拠法令·関連計画 等						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果			
	令和2年度	·事業用地取得 ·流末排水予備設計	・流末排水予備設計を実施				

2.事業費の財源内訳

<u> </u>	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)	15,000,000		13,500,000		101,384,000	129,884,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額	0		0		9,053,000	9,053,000
		決算額	0		0		6,600,000	6,600,000

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	  関係機関との協議		目標値	5	5			
		Ш	実績値	5	5			
活動指標	用地交渉		目標値			10	10	10
/白到1日1示	用地又沙	Ш	実績値			0	0	0
			目標値					
			実績値					
	工事進捗率	%	目標値					
	工事延抄平	70	実績値					
成果指標 成果指標	用地取得率	%	目標値			30	60	100
八木田保	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	70	実績値			0	0	0
			目標値				·	
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる計1回		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		線形修正に時間を要し、事業内容の個別説明及び用地幅杭の設置にとどまり、用地交 渉に至っていない。
②成果に対する評価		線形修正に時間を要し、事業内容の個別説明及び用地幅杭の設置にとどまり、用地交渉に至っていない。
③総合的な評価		線形修正に時間を要し、事業内容の個別説明及び用地幅杭の設置にとどまり、用地交渉に至っていない。

5. 予復の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	社会資本整備総合交付金を活用し、整備に向け事業用地取得に取り組んで行く。

1. 事業の概要				事業番号	153
	実施計画事業名	市道山田·平賀線舗装改良事業			
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部建設課 計画係			
担当即有守	款項目及び予算名	7款 1項 2目 道路維持費		新市基本計画	0
	予算事業名	市道山田・平賀線舗装改良事業		主要事業	0
	関連する施策名	5-2-1 市民生活を支える道路網の整備	•維持管理	重点施策	
基本計画における 位置付け	施策の方向性	関係自治体等と連携を図りながら計画的な道図っていきます。また、市内における駅圏やまに、整備済みの道路等について常に安全でも	也区拠点間の地域交流のための	道路網の整備を	進めるととも
	事業年度	平成29年度から令和2年度			
	事業の実施目的 及び概要	市道山田・平賀線の交通量の増加に伴い、3 <全体計画>総延長 4,730m 幅員 6. 舗装改良済率(改良済延長/計画延長):約 ※令和2年3月31日時点	0~6. 5m	テうもの	
	対 象	市民ならびに道路利用者			
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市都市マスタープラン			
	年度	年度計画の内容		ŧ実績∙成果	
	令和2年度	·舗装改良工事 L=1300m	・舗装改良工事 L=710m (総延長約4.73kmのうち約4.14 ※舗装改良工事L=590mにつ		<b>∓度へ繰越</b>

2.事業費の財源内訳

	4. 中未貝の別 郷口	/位し							
ſ		年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)	60,000,000		54,000,000		36,000,000	150,000,000	
	財源内訳(円)	令和2年度	予算現額	94,500,000		0		80,500,000	175,000,000
			決算額	25,000,000		0		35,600,100	60,600,100

3. 指標及び実績値

3. 指標及び美積1	<del>=</del> 票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	なけ ルウェ 市		目標値		500	500	500	500
	舗装改良工事	m	実績値		450	1,720	1,260	710
活動指標			目標値					
心划扫标			実績値					
			目標値					
			実績値					
	工事進捗率	%	目標値		10	20	30	40
	工事延抄牛	70	実績値		9	45	73	88
成果指標			目標値					
从木油ホ			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

١	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	社会資本整備総合交付金を活用し、早期完成を目指す。

1. 事業の概要				事業番号	154				
	実施計画事業名	道路維持管理事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部土木管理課 維持係							
担当即省等	款項目及び予算名	7款 1項 2目 道路維持修繕に要する	経費	新市基本計画	0				
	予算事業名	道路維持修繕に要する経費		主要事業	0				
	関連する施策名	5-②-1 市民生活を支える道路網の整備	•維持管理	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	関係自治体等と連携を図りながら計画的な道路整備を促進し、周辺諸都市との広域的な交通 ていきます。また、市内における駅圏や地区拠点間の地域交流のための道路網の整備を進め 済みの道路等について常に安全で快適に利用できるよう、適切な維持管理に努めます。							
	事業年度	平成26年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	既存の道路状況を把握するとともに、それに対する道路修繕・補修等を実施するための管理体制を確立し、安全で快適な道路環境の拡充を図る。							
	対 象	道路利用者							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	道路法							
72070	年度	年度計画の内容	年度の事	業実績·成果					
	令和2年度	・市道及び市管理道路等の維持・管理 ・道路パトロールの実施等 ・ふれあいロード美化活動への支援 ・舗装修繕の実施	舗装修繕工事(R2-5) 工事延 舗装修繕工事(R2-6) 工事延 道路維持工事(R2-1) 工事延 道路維持工事(R2-3) 工事延 道路維持工事(R2-5) 工事延	に花苗支給 長 560m 長 60m 長 60m 長 19m 長 30m					

### 2.事業費の財源内訳

- T- >- 3- 3- 3- 3- 3- 3- 3- 3- 3- 3- 3- 3- 3-	4 W 1							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)	36,850,000		56,900,000	30,000	700,395,000	794,175,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額	180,000,000		23,800,000	30,000	906,435,000	1,110,265,000
		決算額	0		0	30,000	587,808,788	587,838,788

#### 3. 指標及び実績値

3. 拍慄及び美積	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	道路パトロール	0	目標値	208	208	208	208	208
		ഥ	実績値	243	243	243	243	243
活動指標			目標値					
/白 到 1日 1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	舗装修繕延長	m	目標値	3,780	3,780	3,780	3,780	3,780
	<b> </b>	m	実績値	1,031	859	2,092	1,191	942
成果指標			目標値					
八木111宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

### 4.事業に対する評価

4.手未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	今年度は、年度当初に交付金を得られず、年度末の追加要望の機会を生かすことにより交付金の追加要望を受けることが出来たが、工期が確保できず繰越明許となってしまった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	今年度は、年度当初に交付金を得られず、年度末の追加要望の機会を生かすことにより交付金の追加要望を受けることが出来たが、工期が確保できず繰越明許となってしまった。

5. 予後の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	道路パトロールや市民からの情報提供などにより、道路補修を実施し、事故に直結する破損個所の 対応に努める。

1. 事業の概要				事業番号	155				
	実施計画事業名	雨水排水対策事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部土木管理課 排水対策係							
担当即看守	款項目及び予算名	7款 1項 2目 道路維持費		新市基本計画	0				
	予算事業名	道路維持修繕に要する経費		主要事業					
	関連する施策名	5-2-1 市民生活を支える道路網の整備	•維持管理	重点施策					
基本計画における 位置付け 施策の方向性 関係自治体等と連携を図りながら計画的な道路整備を促進し、周辺諸都市との広域的な交 図っていきます。また、市内における駅圏や地区拠点間の地域交流のための道路網の整備 に、整備済みの道路等について常に安全で快適に利用できるよう、適切な維持管理に努め					進めるととも				
	事業年度	平成26年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	排水路を整備することにより、降雨時に定常的に発生する冠水の解消を図る。							
	対 象	道路利用者							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市雨水排水計画							
	年度	年度計画の内容	1.02	美実績・成果					
	令和2年度	瀬戸地区 ・排水整備工事 L=110m	瀬戸地区 ・排水整備工事 L=133m						

### 2.事業費の財源内訳

<u></u>	7 W 1							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					22,000,000	22,000,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					22,000,000	22,000,000
		決算額					12,184,700	12,184,700

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	現地調査・排水施設設	m	目標値			2,800		
	計	""	実績値			500		
活動指標	排水路整備工事		目標値	362	200	150	300	300
/ 山 刬 拍 信	拼水路笠浦工事	m	実績値	362	423	220	174	133
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標			目標値					
八木 11 1示			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

ア・デオ トンファ の 川川		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	予定していた瀬戸地区の排水整備工事は完了した。
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	師戸川上流部の改修を含め排水整備を進めていく。

1. 事業の概要				事業番号	156				
	実施計画事業名	橋りょう点検・修繕事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部土木管理課 維持係							
但크마名寺	款項目及び予算名	7款 1項 2目	新市基本計画						
	予算事業名	橋りょう維持修繕に要する経費		主要事業					
	関連する施策名	5-②-1 市民生活を支える道路網の整備	•維持管理	重点施策					
基本計画における 位置付け	本計画における 関係自治体等と連携を図りたがら計画的な道路整備を保護し 周辺詳細市との位								
	事業年度	平成26年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	道路法及び橋梁長寿命化修繕計画に基づき 図り橋梁事業コストの縮減を目的とする。	、適切な点検修繕を計画的に実	だ施することにより	」、橋の延命を				
	対 象	道路利用者							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	道路法、橋梁長寿命化修繕計画							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果					
	令和2年度	・橋梁点検・補修設計・補修工事の実施 (点検13橋、工事1橋)	補修工事 1橋 橋梁点検 13橋						

2.事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	51,700,000		25,900,000		85,235,000	162,835,000
		予算現額	51,700,000		25,900,000		85,235,000	162,835,000
		決算額	16,500,000		0		28,652,583	45,152,583

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	上人口长兵河北	橋	目標値	38	41	36	5	7
	点検実施橋梁数		実績値	62	53	49	11	13
活動指標	橋梁修繕	橋	目標値			1	3	3
/ 山 刬 旧 保	<b>信米</b> 修禮	侗	実績値			1	1	1
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標			目標値					
从木田宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 尹未にNyの計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> 5. ラ彼の万円性</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	道路利用者の被害を防止するため、次年度以降も定期的に点検を実施していくとともに、橋りょうの健全度に応じて順次必要な修繕を進める。

1. 事業の概要				事業番号	157				
	実施計画事業名	コミュニティバス運行事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	企画財政部交通政策課 地域交通係							
但当即有等	款項目及び予算名	2款 1項 6目 企画費		新市基本計画	0				
	予算事業名	ふれあいバス運行事業		主要事業	0				
	関連する施策名	5-2-2 地域の活性化と交通弱者の増加を		重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	今後、高齢化の進展が予想される中で、交通弱者である高齢者などの気軽な外出機会の提供など市民ニーズに応じた持続可能な市内バス公共交通の実現をめざします。また、北総線・成田スカイアクセスやJR成田線の利用促進及び利便性向上に努めていきます。							
	事業年度	平成10年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	市内に点在する主要な公共施設等の利用について、市民の交通手段を確保し、利便性及び福祉の向上を図るため、コミュニティバスを運行する。 さらに、市内公共交通ネットワークに関するビジョンを明確化するため、印西市地域公共交通計画を策定する。							
	対 象	市民							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等								
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果					
	令和2年度	・ふれあいバスの運行(6ルート) ・印西市地域公共交通網形成計画策定(研究・検討・印刷製本)	・ふれあいバス6ルートを運行し ・ふれあいバス年間利用者数2: ・スワン号の実証運行を継続し ・スワン号の年間利用者数216。 ・印西市地域公共交通計画を第	39,773人。 <i>t</i> ≃。 人。					

2.事業費の財源内訳

2. 手未買い別源り	7億1							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)	3,300,000			3,715,000	120,164,000	127,179,000
	令和2年度	予算現額	1,650,000			3,715,000	131,851,000	137,216,000
		決算額	1,650,000			3,935,408	121,161,039	126,746,447

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	1日当たりの運行便数	便	目標値	57	57	57	57	57
	(年度末時点)	192	実績値	57	57	57	56	56
活動指標	ふれあいバス停留所数	箇所	目標値	136	136	136	136	136
<b>冶划</b> 相保	ふれめいハス停留所数	直び	実績値	136	137	137	140	140
			目標値					
			実績値					
	1日当たりの利用者数		目標値	620	700	700	700	700
	「ロヨたりの利用有数		実績値	679	675	697	672	656
成果指標			目標値					
以木相保			実績値					
			目標値					
			実績値			_		

4.事業に対する評価

ı	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	②成果に対する評価		新型コロナウイルス感染症による学校の休校等の影響による利用者の減少はあるが、 路線を運行することが出来た。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

○. / <b>以</b> ♥/// □	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	・ふれあいバスについては、主要な公共施設等への市民の交通手段を確保し、利便性と福祉の向上を図るため、今後もダイヤ改正やルートの変更等の見直しを適宜行いながら、引続き事業を実施する。 ・交通不便地域の解消策として、実証運行をしているスワン号については、利用者の増加するための方策を行いながら、検証を行い今後の対応について検討する。

1. 事業の概要				事業番号	158			
	実施計画事業名	路線バス運行対策事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	企画財政部交通政策課 地域交通係						
但当即看守	款項目及び予算名	2款 1項 6目 企画費		新市基本計画	0			
	予算事業名	路線バス運行対策事業		主要事業	0			
	関連する施策名	5-2-2 地域の活性化と交通弱者の増加を	·見据えた地域公共交通の向上	重点施策	0			
基本計画における 位置付け 施策の方向性 施策の方向性 が予想される中で、交通弱者である高齢者などの気軽な外出機会の提供な ズに応じた持続可能な市内バス公共交通の実現をめざします。また、北総線・成田スカイアクセス 線の利用促進及び利便性向上に努めていきます。								
	事業年度	平成20年度から実施						
		運行の継続が困難な主要なバス路線の運行を継続させ、バス公共交通の利便性向上を図るため、民間バス 事業者に対して補助金を交付する。						
	対 象	市民						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	・路線バス事業者へ補助金交付	・路線バス事業者へ補助金交付 (六合路線、宗像路線、印旛学・新型コロナウイルス感染症対 (市内を運行するバス路線事業 タクシー事業者)	園線、小林線) 策交通事業者支				

2.事業費の財源内訳

	1 H/ \							
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					44,120,000	44,120,000
		予算現額					57,686,000	57,686,000
		決算額					49,684,788	49,684,788

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	1日あたりの運行便数	便	目標値	175	160	160	160	160
活動指標	(年度末時点)	乂	実績値	160	160	173	171	171
			目標値					
/ 山 刬 拍 保			実績値					
			目標値					
			実績値					
	利用者数	1	目標値	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
	刊用有数	_ ^	実績値	193,899	218,914	228,498	231,336	176,463
成果指標			目標値					
<b>以未怕</b> 標			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

	4.尹未にNyる計画		
ı	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	②成果に対する評価		新型コロナウイルス感染症による学校の休校等の影響による利用者の減少はあるが、 路線を維持することが出来た。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

0. / DC07/31/31II	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	・周辺駅等への交通手段を確保し、市民の利便性と福祉の向上を図るため、引続き事業を継続する。 ・交通不便地域の解消策として、実証運行を行っている宗像路線については、検証を行い今後の対応について検討する。

1. 事業の概要				事業番号	159			
	実施計画事業名	北総線高運賃対策事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	企画財政部交通政策課 交通政策係						
担当即看守	款項目及び予算名	2款 1項 6目 企画費		新市基本計画	0			
	予算事業名	鉄道整備等促進活動に要する経費		主要事業				
	関連する施策名	5-②-2 地域の活性化と交通弱者の増加を	·見据えた地域公共交通の向上	重点施策	0			
基本計画における 位置付け		今後、高齢化の進展が予想される中で、交通弱者である高齢者などの気軽な外出機会の提 だに応じた持続可能な市内バス公共交通の実現をめざします。また、北総線・成田スカイア 線の利用促進及び利便性向上に努めていきます。						
	事業年度	平成17年度から実施						
		千葉県、沿線自治体、鉄道事業者等と連携し、沿線地域の活性化を図るとともに、北総線利用者のさらなる 利便性の向上、高運賃対策に取り組む。						
	対 象	利用者						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	北総線の運賃値下げに係る合意書						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	A === ====	・関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。 ・関係機関と連携し、北総線高運賃対策に取り組む。	・新型コロナウイルス感染拡大 バスの運行の中止や協議会の 市内で開催された自由参加型の 過去最高となった。(2,442人	イベント後援数にの北総ウォークで	は激減したが、			

2.事業費の財源内訳

4. 中木貝ツ州(水)	3 (1) (1)							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					547,000	547,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					547,000	547,000
		決算額					2,100	2,100

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	北総線沿線地域活性化  協議会の後援等による		目標値	30	30	30	30	30
	イベント等の開催回数	ī	実績値	34	36	38	32	2
活動指標	鉄道事業者に対しての		目標値	1	1	1	1	1
/山到1日/宗	要望活動の実施	ī	実績値	1	1	1	1	1
			目標値					
			実績値					
	北総線(市内3駅の合計)の 1日あたりの乗降者数の対	人	目標値	41,618	前年比増	前年比増	前年比増	
	前年度比增減		実績値	+761	+333	+427	+697	+774
成果指標			目標値					
从木1口末			実績値					
			目標値		·		·	
			実績値					

4.事業に対する評価

1	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価		新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため、後援イベントが中止又は延期と なったため
	②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> 5. 才後の刀門住</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	鉄道事業者、千葉県、沿線自治体等と連携し、北総線利用者のさらなる利便性向上と北総線沿線地域の活性化を図るとともに、高運賃による鉄道利用者の家計への負担軽減等を目的に、引続き事業を継続する。

1. 事業の概要				事業番号	160			
	実施計画事業名	成田線活性化事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	企画財政部交通政策課 交通政策係						
但当即看守	款項目及び予算名	2款 1項 6目 企画費		新市基本計画	0			
	予算事業名	鉄道整備等促進活動に要する経費		主要事業				
	関連する施策名	5-2-2 地域の活性化と交通弱者の増加を	是見据えた地域公共交通の向上	重点施策	0			
基本計画における 位置付け		今後、高齢化の進展が予想される中で、交通弱者である高齢者などの気軽な外出機会の提供など市民ニーズに応じた持続可能な市内バス公共交通の実現をめざします。また、北総線・成田スカイアクセスやJR成田線の利用促進及び利便性向上に努めていきます。						
	事業年度	昭和54年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要 利用者の利便性向上のため、成田線の増発や他線との接続の改善及び駅施設の 望等を実施するとともに、利用促進に向けた事業を展開する。							
	対 象	利用者						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	・JRに対しての要望活動等の実施 ・成田線活性化推進協議会における利用促進等の活動	・成田線利用者の利便性・快適ついて、関係市町と連携しながた。 ・新型コロナウイルス感染拡大イキングが1年延期となった。 ・2021年度の成田線開通120で調整を図った。	ら、JRへの要望だの影響で、木下駅	舌動等を実施し			

2.事業費の財源内訳

2.争来負の別源へ	761							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		<b>積算額</b> (当初予算額)					107,000	107,000
	令和2年度	予算現額					107,000	107,000
		決算額					107,000	107,000

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	駅からハイキングの実施		目標値	1	1	1	1	1
	脈がらハイイングの美心	囙	実績値	2	1	1	1	0
活動指標	関係市町村と連携を図り ながらJRへ要望活動等		目標値	4	4	4	4	4
/ 1 到 1 1 1 元	を実施	ī	実績値	4	5	6	5	5 5
			目標値					
			実績値					
	駅からハイキング参加者	1	目標値	800	800	800	800	00 800
	総数	<b>\</b>	実績値	1,128	463	556	800 800 263 0	
成果指標	成田線(木下駅と小林駅の計)1 日あたり乗降者数…公表が遅	1	目標値	8,300	8,300	8,300	8,300	0
八木 田 宗	いため前年度の人数となる		実績値	8,248	8,162	8,072	8,080	8,024
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 字末に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため、駅からハイキングが1年延期となったため
②成果に対する評価		新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため、駅からハイキングが1年延期となったため
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

0. 子及02万尺庄	
今後の方向性	選択理由及び一今後の課題等
	今後も成田線の輸送力増強および利便性向上を促進するとともに、沿線内外の利用促進を図るため、駅からハイキング等の事業を継続する。

1. 事業の概要				事業番号	161			
	実施計画事業名	下水道施設長寿命化等対策事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	上下水道部下水道課 工務管理係						
但当即看守	款項目及び予算名	(3条)1款 1項 1目 汚水管渠費/(4条)1款	新市基本計画					
	予算事業名	下水道施設の維持管理	k道施設の維持管理					
	関連する施策名	5-3-1 生活を支える水のインフラづくり	±維持更新	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	可川、湖沼などの水質の保全と快適な生活環境の形成に向け、公共下水道の整備を推進していくとともに 市街地の浸水防除に努めていきます。また、水道については、将来にわたって安全で良質な水を安定的に 共給できるよう、水源の確保や水道施設の維持管理を適切に進めていくとともに経営の効率化を図ります。						
	事業年度	平成29年度から実施						
	事業の美施日的 及び概要	1. マンホール蓋長寿命化計画に基づき、適更新率:約57% ※令和2年3月31日時 2. 公共下水道総合地震対策計画に基づき管計画を令和元年度に策定し、令和2年度に訪ある。 3. ストックマネジメント基本計画により、下水の判定による対策として修繕・改築工事を実	点 管路調査及び診断を行い、耐震・ 間査・診断を実施し、令和3年度が 道施設の長寿命化のため点検・	化工事を実施する いら詳細設計を行	うっていく予定で			
	対 象	市民及び自然環境						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	下水道法、手賀沼流域関連公共下水道事業 道ストックマネジメント基本計画、印西市公共			西市公共下水			
	年度	年度計画の内容	年度の事業	<b>業実績・成果</b>				
	令和2年度	下水道施設老朽化更新対策 ・マンホール蓋更新工事 70箇所  下水道施設地震対策(I期) ・管路調査・診断業務委託  下水道施設長寿命化対策 ・木下中継ポンプ場設備改築工事	下水道施設老朽化更新対策 ・マンホール蓋更新工事 19箇 下水道施設地震対策(II期) ・管路調査・診断業務委託 下水道施設長寿命化対策 ・木下中継ポンプ場設備改築エ					

### 2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	50,000,000		99,700,000		49,794,000	199,494,000
		予算現額	48,150,000		48,100,000		36,304,870	132,554,870
		決算額	48,150,000		48,100,000		36,304,870	132,554,870

### 3. 指標及び実績値

3. 指標及び美額			1					
指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	工事発注数	本	目標値		1	1	1	1
	工事光注数	7	実績値		1	1	2	2
活動指標			目標値					
7日 30 1日 1水			実績値					
			目標値					
			実績値					
	工事発注率	%	目標値		100	100	100	100
	(実績数値/計画数値)	70	実績値		76.7	128	82	66
成果指標	  工事施工数	箇所	目標値	30	30	30	30	30
从木油坑	工事心工致	回初	実績値	0	46	77	49	20
			目標値					
			実績値					

#### 4.事業に対する評価

4.尹未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナの影響により、工事箇所を限定した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナの影響により、工事箇所を限定した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナの影響により、工事箇所を限定した。

5. ラ後の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	ストックマネジメントに基づき、継続して公共下水道更新工事及び汚水管渠の耐震化工事を実施していく。

		加4十段 刀 天旭引回事果	可叫水					
1. 事業の概要				事業番号	162			
	実施計画事業名	公共下水道施設整備事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	下水道部下水道課 工務管理係						
担ヨ即者守	款項目及び予算名	(3条)1款 1項 4目 総係費/(4条)1款 1	項 1目 汚水管路建設改良費	新市基本計画	0			
	予算事業名	公共下水道施設及び特定環境保全公共	下水道施設の整備	主要事業				
	関連する施策名	5-3-1 生活を支える水のインフラづくりと	<b>≄</b> 維持更新	重点施策				
基本計画における 位置付け	本計画における  河川、湖沼などの水質の保全と快適な生活環境の形成に向け、公共下水道の整備を推進していくととも、							
	事業年度	昭和49年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	. 都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共水域の水質保全に資するため、汚水枝線 D整備をする。 岩戸地区面整備率:約59% ※令和2年3月31日時点 2. 流域関連公共下水道事業計画の変更(認可区域の見直し等)を行い、公共下水道の整備を推進してい						
	対 象	市民及び自然環境						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	下水道法、手賀沼流域関連公共下水道事業	計画、印旛沼流域関連公共下力	K道事業計画				
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果				
	令和2年度	特環 ・岩戸地区面整備工事 A=0.27ha L=104.5m 公共 ・公共下水道事業計画変更業務委託 (印旛沼流域・手賀沼流域)	特環 ·岩戸地区面整備工事 A=0.27	ha L=104.5m				

2.事業費の財源内訳

<u> ナ 木 具 ツ 州 柳 r</u>	1 H/ \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		<b>積算額</b> (当初予算額)			17,100,000		15,416,000	32,516,000
	令和2年度	予算現額			12,100,000		55,000	12,155,000
		決算額			12,100,000		55,000	12,155,000

3. 指標及び実績値

指标	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	工事発注数	本	目標値	1	1	1	1	1
	工 <del>事</del> 光注数 	4	実績値	1	1	1	1	1
活動指標	測量·詳細設計等業務	本	目標値	2		2	1	_
/白 到 1日1示	委託発注数	4	実績値	2		1	I	-
			目標値					
			実績値					
	下水道整備率	%	目標値	93.0	94.0	95	96	97.0
	(整備面積/認可面積)	Q	実績値	95.9	95.9	96	96	96.0
成果指標	特環整備面積	ha	目標値	0.00	0.57	1.64	0.92	1.91
以木扫标	(岩戸地区)	ria -	実績値	0	0.57	1.28	0.27	0.27
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に対りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	R (ナ)ナロ 濃細 とおりである	公共下水道事業計画変更業務委託については、印旛中央地区開発の進捗状 況により次年度に延期。
②成果に対する評価	R (ナ)ナロ 福州 とおりである	公共下水道事業計画変更業務委託については、印旛中央地区開発の進捗状況により次年度に延期。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	公共下水道事業計画変更業務委託については、印旛中央地区開発の進捗状 況により次年度に延期。

I	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	1 事業を現行のまま継続して実施	岩戸地区の整備を実施し、特定環境保全公共下水道施設の拡充を図る。

1. 事業の概要				事業番号	163				
	実施計画事業名	雨水排水対策施設整備事業							
事業名及び	担当部署名	上下水道部下水道課 工務管理係	:下水道部下水道課 工務管理係						
担当部署等	世当部署等 款項目及び予算名 (3条)1款 1項 2目 雨水管渠費 (4条)1款 1項 2目 雨水管路建設改良費								
	予算事業名	雨水排水対策施設整備事業	主要事業						
	関連する施策名	5-3-1 生活を支える水のインフラづくりと	<b>≟維持更新</b>	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市街地の浸水防除に努めていきます。また、	川、湖沼などの水質の保全と快適な生活環境の形成に向け、公共下水道の整備を推進していくとともに、 街地の浸水防除に努めていきます。また、水道については、将来にわたって安全で良質な水を安定的に 給できるよう、水源の確保や水道施設の維持管理を適切に進めていくとともに経営の効率化を図ります。						
	事業年度	昭和49年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	市街地の雨水排水対策として、公共下水道(雨水)の整備・充実を図り、浸水防除に努める。							
	対 象	市民及び自然環境							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	下水道法、手賀沼流域関連公共下水道事業	計画、印旛沼流域関連公共下列	k道事業計画					
	年度	年度計画の内容	1.44	美実績·成果					
	令和2年度	·小林地区雨水排水整備工事 L=15m ·将監川1号幹線補修工事 L=120m	·小林地区雨水排水整備工事 (	L=29m					

2.事業費の財源内訳

	1 D/N							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		<b>積算額</b> (当初予算額)			24,300,000	59,532,000	0	83,832,000
	令和2年度	予算現額			27,300,000	59,496,500	0	86,796,500
		決算額			27,300,000	10,759,194	0	38,059,194

3. 指標及び実績値

3. 旧保及び天積		W /L	ΕΛ	T. #00/F #	T. # 00 F #	T. #00 F #	<b>∆</b> 10 = 6 €	A100 F #
指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	  工事発注数	本	目標値	2		1	1	2
	エチルエ奴	7	実績値	2		1	0	1
活動指標	測量·詳細設計等業務	本	目標値	2	2	1	2	0
/口 3/0 1日1示	委託発注数	7	実績値	2	2	2	0	0
			目標値					
			実績値					
	工事発注率	%	目標値	100		100	100	100
	(実績数値/目標数値)	70	実績値	100		100	0	54
成果指標 成果指標	測量·詳細設計等業務 委託発注率	%	目標値	100	100	100	100	100
从本1日末	(実績数値/目標数値)		実績値	100	100	100	0	0
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 争来に刈りる	纤洲		
評価項目		評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する	る評価	B ほぼ目標値どおりである	将監川1号幹線補修工事については、新型コロナの影響により再検討する。
②成果に対する	る評価	B ほぼ目標値どおりである	将監川1号幹線補修工事については、新型コロナの影響により再検討する。
③総合的な記	評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	将監川1号幹線補修工事については、新型コロナの影響により再検討する。

5. 学伎の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナの影響により未実施となった事業について、再度検討する。

12.4	和2年度 分 美他計画争某	可叫水					
			事業番号	164			
実施計画事業名	水道施設整備事業						
担当部署名	上下水道部水道課 工務係						
款項目及び予算名	1款 1項 1目 建設工事費		新市基本計画	0			
予算事業名	配水管の整備		主要事業				
関連する施策名	5-3-1 生活を支える水のインフラづくり	と維持更新	重点施策				
	市街地の浸水防除に努めていきます。また、	可川、湖沼などの水質の保全と快適な生活環境の形成に向け、公共下水道の整備を推進していくとともに、 市街地の浸水防除に努めていきます。また、水道については、将来にわたって安全で良質な水を安定的に 供給できるよう、水源の確保や水道施設の維持管理を適切に進めていくとともに経営の効率化を図ります。					
事業年度	昭和53年度から実施						
争業の美施日的 あが脚亜	清浄、豊富、低廉な水の供給による市民の公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与していくことを目的として、未給水区域の配水管新設等を行い配水管網を作り上げ、給水人口の増加と災害時における断水の予じを図る。						
対 象	給水区域内の市民						
根拠法令·関連計画 等	水道法						
年度	年度計画の内容	年度の事業	k実績·成果				
令和2年度	《平岡配水場》 ·集中監視設備整備工事	平岡配水場 -集中監視設備整備工事 1式 小林地区 -舗装復旧工事 A=1826m2 木下地区(繰越) -配水管布設 L=564.9m					
	実施計画事業名 担当部署名 款項目及び予算名 予算事業名 関連する施策名 施策の方向性 事業年度 事業の実施目的 及び概要 対象 根拠法令・関連計画等 年度	実施計画事業名         水道施設整備事業           担当部署名         上下水道部水道課 工務係           款項目及び予算名         1款 1項 1目 建設工事費           予算事業名         配水管の整備           関連する施策名         5-3-1 生活を支える水のインフラづくりである。           施策の方向性         河川、湖沼などの水質の保全と快適な生活理市街地の浸水防除に努めていきます。また、供給できるよう、水源の確保や水道施設の総事業年度           事業年度         昭和53年度から実施           事業の実施目的及び概要         清浄、豊富、低廉な水の供給による市民の公で、未給水区域の配水管新設等を行い配水を図る。           対象         給水区域内の市民           根拠法令・関連計画等         水道法           年度         年度計画の内容           <平岡配水場>・集中監視設備整備工事	実施計画事業名 水道施設整備事業  担当部署名 上下水道部水道課 工務係  款項目及び予算名 1款 1項 1目 建設工事費  予算事業名 配水管の整備 関連する施策名 5-③-1 生活を支える水のインフラづくりと維持更新  施策の方向性	実施計画事業名   水道施設整備事業			

2.事業費の財源内訳

	3 (A) (							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					168,283,500	168,283,500
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					168,283,500	168,283,500
		決算額					149,227,100	149,227,100

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	配水管整備延長		目標値	735	600	400	550	560
	配水官笠佣延安	m	実績値	561	860.4	1,164	552	565
活動指標	工事発注	本	目標値	1	1	1	1	1
心到旧保	工事先任	4	実績値	3	3	2	1	3
			目標値					
			実績値					
	市営水道の普及率	%	目標値	72.7	73.2	74	74	74.3
	川呂小垣の目及年	70	実績値	69.48	69.75	69.75	70.42	71.80
成果指標 成果指標								
<b>从</b> 木田保								
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未にNyの計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> 5. ラ後の万円圧</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も水道の安定供給に努めるとともに、計画的に配水管の整備を行い未普及地域の解消を図る。また、既設水道設備の老朽化に対応するため、耐震化や更新等維持管理を進める。

1. 事業の概要				事業番号	165				
	実施計画事業名	景観計画の推進							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部都市計画課 計画係							
担当即省等	款項目及び予算名	7款 3項 1目 都市計画総務費	7款 3項 1目 都市計画総務費 新市基本計画						
	予算事業名	景観形成促進事業		主要事業	0				
	関連する施策名	5-3-2 景観に配慮した美しいまちづくり		重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	印旛沼や手賀沼、里山などの豊かな自然環境を併せ持つ本市ならではの特徴を活かした							
	事業年度	平成27年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	本市の良好な景観の保全・形成・創出のため、清潔で緑豊かなまちの環境美化、新住宅市街地開発事業で 整備された千葉ニュータウンなどの良好な市街地の保全、沼や河川、緑地や農地等の自然環境の保全等に ついて、市民・事業者等が協働により景観創出と環境美化に関する施策を一体的に推進する。							
	対 象	市民							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	景観法							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・景観まちづくり市民懇談会開催 ・景観写真コンクールの制度検討 ・景観まちづくり団体の認定・支援 ・景観まちづくりシンポジウム開催 ・景観重要建造物及び樹木の指定・啓発 ・景観行政先進事例視察 ・景観出前講座の実施	・印西市公共施設景観形成ガイ 地域の景観まちづくりを先導し の整備、管理について、景観形 項をまとめた。	ていくうえで重要と					

2.事業費の財源内訳

4. 中未貝の別源と	<b>リ</b> () () () () () () () () () () () () ()							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)				361,000		361,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額				265,000		265,000
		決算額				97,579		97,579

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	景観まちづくり市民会議		目標値	4				
	開催	ш	実績値	4				
	パブリックコメントの実施		目標値		1			
活動指標	ハフリックコメントの実施	豇	実績値		1			
/山 到 1日1宗	景観審議会開催		目標値			1	2	2
	京観番議会開催	ī	実績値			1	1	0
			目標値				1	3
	会開催	<u> </u>	実績値				1	0
	「景観まちづくり基本計	%	目標値	100				
	画」策定	70	実績値	100				
成果指標	   印西市景観計画策定	%	目標値		100			
从本油标	中四印泉既时画来之 /0	70	実績値		100			
	景観区域における行為 の届出数	件	目標値				50	50
		÷	実績値				71	87

4.事業に対する評価

4. 手未に刈りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、会議を中止とした。
②成果に対する評価		景観計画に沿った建築物の建築等の行為が行われ、良好な景観の形成が図れた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルスの影響により、活動目標を達成できなかった。

<u>0. / (CO) / (CO</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	景観計画区域における行為の届出制度の運用により、市内の建築物の建築等の行為に対して 景観形成基準をもとに市内の景観を誘導していく。 また、景観まちづくり市民懇談会での活動・取組みを通じ、市民の景観意識の高揚を図ってい く。

1. 事業の概要				事業番号	166				
	実施計画事業名	建築物耐震改修促進事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部建築指導課 住宅係							
近二即有五	款項目及び予算名	7款 3項 1目 都市計画総務費		新市基本計画	0				
	予算事業名	建築物耐震改修促進事業		主要事業	0				
	関連する施策名	5-③-3 人にやさしく豊かな住まいづくり		重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	住宅は、住まわれる方にとって生活の基盤であるとともに、都市や街並みを構成する社会的な資産でことから、災害に強く人や環境にやさしい住まいづくりを推進することで市民の住生活の安定と向上を いきます。また居住者不明の家屋が増加しているため、関係機関と連携した対策を進めていきます。							
	事業年度	平成22年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	「印西市耐震改修促進計画」に基づき、建築物の耐震診断及び耐震改修を計画的に実施し、耐震化を図っていく。							
	対 象	市民等							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	建築物の耐震改修の促進に関する法律、千葉県耐震改修促進計画、印西市耐震改修促進計画							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・耐震診断、耐震改修設計及び耐震改修工事に対する補助 ・危険コンクリートブロック除却に対する補助	・危険ブロック塀等除却 2件						

2.事業費の財源内訳

4. 于木貝切別源門	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	財源内訳(円) 令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	423,000	357,000			1,635,000	2,415,000
財源内訳(円)		予算現額	200,000	80,000			120,000	400,000
		決算額	100,000	40,000			60,000	200,000

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	35 30 17 FL / ch +D	0	目標値	5	5	5	5	5
	啓発活動(広報・周知)	Ш	実績値	7	7	7	7	7
活動指標	耐震相談会実施	0	目標値	3	3	3	3	3
/立 判 1日 1示		Щ	実績値	3	3	2	2	2
			目標値					
			実績値					
	住宅·建築物耐震化率	%	目標値	95	95	95	95	95
	住七 连来初顺展七年		実績値	91.5	91.5	91.5	91.5	95.2
成果指標			目標値					
从木田标			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未にNyの計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 写像の方向性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	

1. 事業の概要				事業番号	167					
	実施計画事業名	住宅相談窓口の充実								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部建築指導課 住宅係								
担当即有守	款項目及び予算名	7款 3項 1目 都市計画総務費		新市基本計画						
	予算事業名	住生活基本計画推進事業		主要事業	0					
	関連する施策名	5-3-3 人にやさしく豊かな住まいづくり		重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	住宅は、住まわれる方にとって生活の基盤であるとともに、都市や街並みを構成する社会的な資産で ことから、災害に強く人や環境にやさしい住まいづくりを推進することで市民の住生活の安定と向上を いきます。また居住者不明の家屋が増加しているため、関係機関と連携した対策を進めていきます。								
	事業年度	平成22年度から								
	事業の実施目的 及び概要	住宅・建築物の所有者が適切な維持管理を行えるよう住宅相談窓口の充実を図る。								
	対 象	市民等								
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市住生活基本計画								
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果						
	令和2年度	<ul><li>・マンション管理士派遣事業:8回/年</li><li>・マンション管理講習会等:3回/年</li><li>・耐震相談会:3回/年</li></ul>	・マンション管理士派遣事業:1・耐震相談会:2回							

2.事業費の財源内訳

4. 于木具以州师门	7 P/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	財源内訳(円) 令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	123,000				245,000	368,000
財源内訳(円)		予算現額	9,000				62,000	71,000
		決算額	9,000				52,600	61,600

3. 指標及び実績値

5. 指標及び美観	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	マンション管理士派遣事業等啓発活動(広報・周	0	目標値	5	5	5	5	5
	知)	ī	実績値	7	7	7	7	7
活動指標	住宅リフォーム補助事業		目標値	3	3	3	3	-
7日到1日1末	啓発活動(広報・周知)	<u> </u>	実績値	3	3	3	3	_
			目標値					
			実績値					
	マンション管理士派遣事	0	目標値	12	12	12	12	12
	業等回数	<u> </u>	実績値	8	7	8	3	1
成果指標	住宅リフォーム補助事業	件	目標値	80	80	80	80	_
从木1日1末	交付決定件数	Ŀ	実績値	56	45	35	32	_
			目標値	·		·	·	
			実績値					

4.事業に対する評価

ア・デオルグラッツ町画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	マンション管理組合向け講習会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、予定した3回全てを中止にした。マンション管理士派遣事業は、最大8回分を予算計上したが、実績は1管理組合であった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	・マンション管理組合向け講習会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年より広い会場で開催予定。 ・マンション管理士派遣事業は、管理組合に例年どおりの周知を図るうえで、派遣を希望する管理組合には感染対策を講じるようお願いする。

1. 事業の概要				事業番号	168				
	実施計画事業名	空家等対策事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	都市建設部建築指導課 住宅係							
担크마有守	款項目及び予算名	7款 3項 1目 都市計画総務費		新市基本計画					
	予算事業名	住生活基本計画推進事業		主要事業	0				
	関連する施策名	5-3-3 人にやさしく豊かな住まいづくり		重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	住宅は、住まわれる方にとって生活の基盤でことから、災害に強く人や環境にやさしい住まいきます。また居住者不明の家屋が増加して	いづくりを推進することで市民の	D住生活の安定と	向上を図って				
	事業年度	平成30年度から							
	事業の実施目的 あが興亜	適切な管理が行われていない空家等が増加し、防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に影響を及ぼすことを鑑み、印西市空家等対策計画を基に、空家等の所有者が適正な管理や利活用を行えるよう空家等対策の相談窓口の充実を図る。							
	対 象	市民等							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	空家等対策の推進に関する特別措置法、印西市空家等対策計画							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	・空家等対策の総合窓口 ・空家等対策協議会の開催 ・空き家バンク登録住宅リフォーム事業 ・空き家バンク契約補助金	・空家等対策協議会の開催 2 ・空き家パンクの登録 1件(成						

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)	1,350,000				2,840,000	4,190,000	
		予算現額	135,000				342,000	477,000	
		決算額	0				107,000	107,000	

3. 指標及び実績値

5. 指標及び美積	 漂内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	適切な空き家の管理の	0	目標値				2	2
	周知	凹	実績値				2	3
活動指標			目標値					
/0 到101宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	空家等対策協議会の開	0	目標値				3	3
	催	1	実績値				3	2
成果指標			目標値					
从不161示			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
. 3.514 € .5013 -4 0.0.41 € 1500 € 25400	空き家リフォーム工事補助金の補助対象工事について、空き家バンクを介して取得した者が行うリフォーム工事から、現に空き家・空き室となっている住宅を1年以内に取得した者が行うリフォーム工事に改め、補助制度の活用を図る。

1. 事業の概要				事業番号	169				
	実施計画事業名	市民参加推進事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民部市民活動推進課 活動支援係							
担当即有守	款項目及び予算名	2款 1項 6目 企画費	次 1項 6目 企画費 新市基本計画 C						
	予算事業名	市民参加推進事業		主要事業					
	関連する施策名	6-①-1 市政情報の共有化と市民参加に	よるまちづくり	重点施策	0				
基本計画における 位置付け		ため、市民参加条例の制度・意義の周知を図供、きめ細やかな広聴、情報公開制度の適立ケーションを構築していきます。また、シティセ	ト民、事業者と行政が相互の信頼関係に基づき、自らの役割を十分に発揮できる協働のまちづくりを進める ため、市民参加条例の制度・意義の周知を図っていくとともに、多様な媒体を活用した広報活動や情報提 供、きめ細やかな広聴、情報公開制度の適正な運用に取り組み、市民、事業者と行政との円滑なコミュニ ケーションを構築していきます。また、シティセールスの推進では、首都圏内の子育て世代を中心に、広く市 内外にまちの魅力を発信し、認知度を高めていきます。						
	事業年度	平成13年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	市民が主体的に行政に関わるための基本的な事項を定めた市民参加条例により市民参加を推進し、魅力と活力のある地域社会の発展に寄与する。							
	対 象	市民(市内在住、在勤、在学者及び市内に事	業所を置く法人等)						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市市民参加推進条例							
730711	年度	年度計画の内容	1.44	美実績·成果					
	令和2年度	<ul><li>・市民参加推進委員会の開催</li><li>・市民参加実施状況の公表</li><li>・市政運営の過程における参加機会の提供</li></ul>	<ul><li>・市民参加推進委員会の開催1</li><li>・市民参加実施状況及び実施予</li></ul>						

2.事業費の財源内訳

4.甲未貝の別源り	が							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)					263,000	263,000
	令和2年度	予算現額					263,000	263,000
		決算額					52,500	52,500

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	市民参加推進委員会の		目標値	2	2	2	2	2		
	開催	Ш	実績値	2	2	2	1	1		
活動指標	各課へ市民参加状況調		目標値	2	2	2	2	2		
心划行标	査の実施	囙	実績値	2	2	1	1	1		
	市民参加実施状況の公		目標値	1	1	1	1	1		
	表		実績値	1	1	1	1	1		
	公募市民が委嘱されて	件	目標値	35	35	35	35	35		
	いる審議会等の数	IT	実績値	34	34	30	33	33		
成果指標	市民意見公募手続の平	件	目標値	5	5	5	5	5		
<b>八木</b> 扫标	均応募件数	1+	実績値	10.2	13	14	29	30		
	公募可の審議会等にお	%	目標値	25	25	25	25	25		
	ける公募委員の割合			70	実績値	16.4	16.8	16	14	15

4.事業に対する評価

4.尹未に刃りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

_ 3. 子後の方向圧	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	市民の皆さんが行政に興味を持っていただき、率直なご意見をいただけるよう、わかりやすい情報の提供・収集方法の工夫に努める。

	13 1	112千茂 刀 大心可凹于未								
1. 事業の概要				事業番号	170					
	実施計画事業名	広報紙発行事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	総務部秘書広報課 広報広聴係								
但当即看守	款項目及び予算名	2款 1項 2目 文書広報費		新市基本計画	0					
	予算事業名	広報紙発行事業、広報レポーター実施事	事業	主要事業						
	関連する施策名	6-①-1 市政情報の共有化と市民参加に	こよるまちづくり	重点施策	0					
基本計画における 位置付け		ため、市民参加条例の制度・意義の周知を図供、きめ細やかな広聴、情報公開制度の適コケーションを構築していきます。また、シティセ	民、事業者と行政が相互の信頼関係に基づき、自らの役割を十分に発揮できる協働のまちづくりを進めるめ、市民参加条例の制度・意義の周知を図っていくとともに、多様な媒体を活用した広報活動や情報提い、きめ細やかな広聴、情報公開制度の適正な運用に取り組み、市民、事業者と行政との円滑なコミュニーションを構築していきます。また、シティセールスの推進では、首都圏内の子育て世代を中心に、広く市外に市の魅力を発信し、認知度を高めていきます。							
	事業年度	昭和36年度から実施								
	事業の実施目的 及び概要	市民に行政情報や地域の出来事等を幅広く知らせることにより、市政の透明化及び活性化を推進し、併せ <sup>・</sup> 市政に対する関心度の向上を図る。								
	対 象	市民								
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市市政情報の公表及び提供の積極的な ター設置要綱	推進に関する要綱、印西市広幸	<b>最広聴規則、印西</b>	市広報レポー					
争未內谷守	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果						
	令和2年度	・広報紙の発行(月2回) ・新聞折込、郵送及び戸別投函による配布 ・市内主要公共施設や駅などへの配置 ・広報レポーターによる市民の視点による記 事作成	・外部委託により、レイアウト、 技術を取り入れ、さらに分かりかた。 ・広報レポーターによる取材記 力を市民の視点で紹介した。 ・重要施策や新規事業を特集記 ・新聞未購買世帯への補完措 送による配布及び駅や郵便局がスマートフォンアプリによる広 及び周知に努めた。	やすく読みやすい 事を掲載し、市の 己事として取り上1 置として広報紙の などへの配置を行	紙面編集に努住み良さや魅がた。 戸別投函や郵うった。					

#### 2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)	6,000				26,700,000	26,706,000
	令和2年度	予算現額	6,000				26,700,000	26,706,000
		決算額	6,000				24,072,403	24,078,403

#### 3. 指標及び実績値

指	.— 標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	発行回数	0	目標値	24	24	24	24	24
	光1] 回奴	ш	実績値	24	24	24	24	26
活動指標	記事掲載量	ページ/タ	目標値	240	240	240	240	240
/ 山 判 1日 1示	記事拘戦里	ブロイド	実績値	224	246	250	246	214
			目標値					
			実績値					
	発行部数	部/月(号)	目標値	29,800	29,900	30,000	30,100	30,200
	光1] 即数		実績値	29,800	29,400	28,400	27,700	27,200
成果指標	配布部数	部/月(号)	目標値	28,500	28,550	28,600	28,650	28,700
八木 11 保	配仰即数	叩/月(石)	実績値	28,160	26,907	25,747	26,295	26,748
			目標値					
			実績値					

### 4.事業に対する評価

ア・チャークリッの円間		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

Ī	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	1 事業を現行のまま継続して実施	広報紙の発行・配布については、引き続き市民ニーズの多様化に対応し、行政情報等の周知に 努める。

1. 事業の概要				事業番号	171		
	実施計画事業名	ホームページの更新管理					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	総務部秘書広報課 広報広聴係					
但当即看守	担当即者等 款項目及び予算名 2款 1項 2目 文書広報費						
	予算事業名	ホームページ更新管理費		主要事業			
	関連する施策名	6-①-1 市政情報の共有化と市民参加に	こよるまちづくり	重点施策	0		
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民、事業者と行政が相互の信頼関係に基づき、自らの役割を十分に発揮できる協働のまちづくりを進める とめ、市民参加条例の制度・意義の周知を図っていくとともに、多様な媒体を活用した広報活動や情報提 共、きめ細やかな広聴、情報公開制度の適正な運用に取り組み、市民、事業者と行政との円滑なコミュニ アーションを構築していきます。また、シティセールスの推進では、首都圏内の子育て世代を中心に、広く市 内外に市の魅力を発信し、認知度を高めていきます。					
	事業年度	平成13年度から実施					
	事業の実施目的 及び概要 市政情報を、より早く的確に情報提供するため、ホームページの						
	対 象	市民一般					
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市情報化計画					
	年度	年度計画の内容	年度の事業	業実績・成果			
	令和2年度	・各部署からの情報発信を促進 ・ホームページの運用管理	・インターネットが持つ即時性を信に努めた。 ・ホームページの操作研修を実た。 ・ヤフー株式会社との災害情報 を活用し、防災関連情報の発信 ・アクセシビリティが継続的に確	施し、コンテンツ 協定に基づくYal 言に努めた。	の充実が図れ		

2.事業費の財源内訳

<u>ー・ナ 不 見 ツ 州 州 川</u>	I R/N							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)				468,000	2,773,000	3,241,000
財源内訳(円)		予算現額				468,000	2,773,000	3,241,000
		決算額				429,000		3,240,468

3. 指標及び実績値

3. 指標及び美模性								
指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	コンテンツ登録件数	件	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500 2,500 2,500 2,736 3,154 3,918 4,000 758,000 762,000	
	コンプラン豆稣什妖	П	実績値	2,489	2,731	2,736	3,154	
活動指標			目標値				00 758,000 762,000	
7日到月日1末			実績値					
			目標値					,
			実績値					
	アクセス件数	件/年	目標値	746,000	750,000	754,000	758,000	2,500 2,500 3,154 3,918 758,000 762,000
	アプピス 汗致	H7 <del>4</del>	実績値	839,899	662,784	628,119	914,106	
成果指標			目標値					
八木田保			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に刃りる計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市ホームページは速報性と利便性を活かした情報提供手段として継続する。なお、コンテンツの 充実と見やすく分かりやすいページとするため、引き続き職員対象の研修を実施する。

1. 事業の概要				事業番号	172		
	実施計画事業名	広聴事業					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	総務部秘書広報課 広報広聴係					
担当即有守	款項目及び予算名	2款 1項 2目 文書広報費	款 1項 2目 文書広報費 新市基本計画				
	予算事業名	広聴事務に要する経費		主要事業			
	関連する施策名	6-①-1 市政情報の共有化と市民参加に	:よるまちづくり	重点施策	0		
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民、事業者と行政が相互の信頼関係に基づき、自らの役割を十分に発揮できる協働のまちづくりを進めるため、市民参加条例の制度・意義の周知を図っていくとともに、多様な媒体を活用した広報活動や情報提供、きめ細やかな広聴、情報公開制度の適正な運用に取り組み、市民、事業者と行政との円滑なコミュニケーションを構築していきます。また、シティセールスの推進では、首都圏内の子育て世代を中心に、広く市内外に市の魅力を発信し、認知度を高めていきます。					
	事業年度	平成7年度から実施					
	事業の実施目的 及び概要	市民個々の意見などを把握するため、市の公共施設に市長宛てのポストを設置するとともに、市長が直接 民と対話し意見などを何う市長談話室、市長懇談会を実施する。					
	対 象	市民一般					
事業内容等 根拠法令·関連計画 等 年度		印西市広報広聴規則、印西市市政ポストに関する要綱					
		年度計画の内容	1.65	美震續•成果			
	令和2年度	・市政ポストの管理(市内公共施設等26カ所) ・市長談話室(月1回) ・市民グループ等からの申し出による市長 懇談会の実施	・多岐にわたる市民の意見や要約することで対応の円滑化が図た。     ・市長談話室 4回     ・市長懇談会 要望なし				

2.事業費の財源内訳

2. 于未具切用师门	7 (7/)							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)				18,000	18,000	
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					18,000	18,000
		決算額					18,000 17,050	17,050

3. 指標及び実績値

5. 相保及び美積	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	ポストの設置箇所数	箇所	目標値	26	26	26	26	6 26 6 26 3 13 8 4 0 160 0 154 0 60
	ハストの改画固所数	固別	実績値	26	26	26	26	
活動指標	市長談話室・市長懇談		目標値	13	13	13	6 26 6 26 3 13 13 1 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	13
/ 山 刬 旧 保	会開催回数	囙	実績値	11	11	11		4
			目標値					13 13 8 4 170 160 180 154
			実績値					
	市長への手紙件数	件/年	目標値	180	180	170	170	160
	川茂、〇子瓜什奴	H/ +	実績値	198	213	174	180	26 26 26 26 13 13 8 4 170 160 180 154 60 60
成果指標	市長談話室、市長懇談	人/年	目標値	115	115	60	60	
八木 田 宗	会延べ参加者数	\/\/ +	実績値	51	54	48	20	12
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

	<u> ア・デ 木 (〜ハ) カ の IT    </u>		
ı	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言などを考慮し、市長談話室の開催数が減った。
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	上記理由により参加者数が減った。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルスの影響により各指標の数値が減少した。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	予算事業としては継続するが、実施計画事業としては終了する。

1. 事業の概要				事業番号	173			
	実施計画事業名	情報の公開						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	総務部総務課 文書係						
但当即有守	款項目及び予算名	2款 1項 1目 情報公開に要する経費	・文書管理の推進事業	新市基本計画	0			
	予算事業名	情報公開に要する経費、文書管理の推	進事業	主要事業				
	関連する施策名	6-①-1 市政情報の共有化と市民参加に	こよるまちづくり	重点施策	0			
基本計画における 位置付け		市民、事業者と行政が相互の信頼関係に基ため、市民参加条例の制度・意義の周知を歴 供、きめ細やかな広聴、情報公開制度の適宜ケーションを構築していきます。また、シティヤ内外に市の魅力を発信し、認知度を高めてし	図っていくとともに、多様な媒体を Eな運用に取り組み、市民、事業 ュールスの推進では、首都圏内の	活用した広報活	動や情報提 滑なコミュニ			
	事業年度	P成12年度から実施						
		情報公開制度の適正な運用に努めるとともに、公文書の適正な管理を行い、市民への情報な標極的に推進する。また、市民への積極的な情報提供を行うための手段である行政資料コー室)の整備やホームページへの掲載に努める。						
	対 象	市民						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市情報公開条例 等						
720711	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	・文書管理システム及び文書ファイリングシステムの維持管理 ・情報公開・情報提供の推進	情報公開制度の適正な運用を供の推進を図るため、ホームペの充実に努めた。また、文書プ出した3課を対象に実地点検をする意識の高揚を図ったほか、で保存期間を延長した文書の保管場所を確保した。	ージの活用、行う アイリングシステー 実施し、職員のご 長期書庫で保存	政資料コーナー ムについて抽 文書管理に対 している文書			

2.事業費の財源内訳

二十二人以外	7 P/V							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		<b>積算額</b> (当初予算額)					3,200,000	3,200,000
	令和2年度	予算現額					3,233,000	3,233,000
		決算額					3,001,933	3,001,933

3. 指標及び実績値

3. 相保及い美観	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各課情報公表・提供の	6	目標値	4	4	4	4	4
	情報一覧の公表	回	実績値	4	4	4	4	4
活動指標	ファイリングの点検	0	目標値	1	1	1	1	1
/ 山 刬 旧 信	ファイリングの点検	Щ	実績値	1	1	1	1	1
			目標値					
			実績値					
	市政情報の公表・提供	件	目標値	1,026	1,084	1,142	1,200	1,258
	数	IT	実績値	1,122	1,069	1,108	941	825
成果指標			目標値					
双未担保			実績値					
		目標値						
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	各課等が公表・提供する市政情報の件数が結果的に少なかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	市政情報の公表及び提供の積極的な推進を図る。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続きホームページや行政資料コーナーを活用して、市民の関心の高い情報を積極的に提供していくこととする。また、既存施設を有効活用し、20年及び30年保存文書の保管場所の確保を継続して取り組むこととする。

	TJ 1	加2年度 分 美他計画争耒	:計Ш汞					
1. 事業の概要				事業番号	174			
	実施計画事業名	シティセールスの推進		•				
事業名及び 担当部署等	担当部署名	企画財政部シティプロモーション課 プロ	モーション係					
担当即有守	款項目及び予算名	2款 1項 6目 企画費		新市基本計画				
	予算事業名	シティプロモーションに要する経費		主要事業	0			
	関連する施策名	6-①-1 市政情報の共有化と市民参加に	:よるまちづくり	重点施策	0			
基本計画における 位置付け	施策の方向性	5民、事業者と行政が相互の信頼関係に基づき、自らの役割を十分に発揮できる協働のまちづくりを進める。め、市民参加条例の制度・意義の周知を図っていくとともに、多様な媒体を活用した広報活動や情報提 と、きめ細やかな広聴、情報公開制度の適正な運用に取り組み、市民、事業者と行政との円滑なコミュニー・ションを構築していきます。また、シティセールスの推進では、首都圏内の子育て世代を中心に、広く市1外に市の魅力を発信し、認知度を高めていきます。						
	事業年度	平成24年度から実施						
		地域の貴重な財産である人や自然、文化、産業、都市基盤など合併によって高められた「まちの魅力」を積極的に市内外にセールスしていくことで、「移住促進による人口増」、「定住促進による定着化」、「交流促進による流入増」につなげていく。						
	対 象	市内外						
	根拠法令·関連計画 等							
事業内容等	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果				
	令和2年度	<ul> <li>・シティプロモーション支援業務</li> <li>・ふるさと納税を活用した市のPR</li> <li>・シティセールスプラン実施計画の進行管理</li> <li>・プロモーションイベントの実施</li> <li>・WEB調査</li> <li>・市内外のイベントでのプロモーションの実施</li> <li>・市のマスコットキャラクターによるPR</li> </ul>	・シティセールスの各種取り組み検・シティセールスの推進(柏レイソル・ふるさと納税を活用した市のPR・シティブロモーションブランの策定・シティブロモーションイベント「イルミライ・WEB調査の実施	··大井競馬場・映像 『施	支援等)			

#### 2.事業費の財源内訳

4. 中未貝の別源的	が							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)				27,774,000	53,724,000	81,498,000
	令和2年度	予算現額				24,140,000	46,378,000	70,518,000
		決算額				24,211,200	41,790,688	66,001,888

#### 3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	マスコミへの情報提供数	件	目標値	45	48	51	54	57
	マヘコミへの情報症法数	П	実績値	68	51	60	82	44
活動指標			目標値					
/白 到 1日 1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	シビック・プライド(愛着・誇り)指標【市民満足度・重要	%	目標値	78.0	80.08	1	-	86.0
	度調查—愛着度】	70	実績値	76.0	74.6	-	_	78.3
成果指標	印西市の認知度・イメージ 指標【インターネット調査結	%	目標値	64.0	68.0	-	-	80.08
八木 11 保	果】	90	実績値	60.6	62.4	-	-	62.9
	シティプロモーション専用ホーム ページへのアクセス件数(平成	件	目標値				50,000	55,000
	31年度作成予定)	1+	実績値				94,117	96,246

4.事業に対する評価

1	<u> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>		
	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスの影響により周知すべきイベント等が行えなかったため。
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	成果値は上昇傾向にあるが、目標値には届かなかった。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> </u>	/ 医*// 17 14	
	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
		シティセールスプランに沿って、「移住促進による人口増」、「定住促進による定住化」、「交流促進による流入増」を目指し、効果的なプロモーションを実施していく。

1. 事業の概要				事業番号	175				
	実施計画事業名	東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致等事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	企画財政部シティプロモーション課 オリ	ンピック・パラリンピック推進	室					
担当即看守	款項目及び予算名	2款 1項 6目 企画費		新市基本計画					
	予算事業名	東京オリンピック・パラリンピック誘致等	推進に要する経費	主要事業	0				
	関連する施策名	6-①-1 市政情報の共有化と市民参加に	:よるまちづくり	重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民、事業者と行政が相互の信頼関係に基ため、市民参加条例の制度・意義の周知を図供、きめ細やかな広聴、情報公開制度の適宜ケーションを構築していきます。また、シティヤ内外に市の魅力を発信し、認知度を高めてし	『っていくとともに、多様な媒体を Eな運用に取り組み、市民、事業 ヹールスの推進では、首都圏内の	活用した広報活 者と行政との円	動や情報提 滑なコミュニ				
	事業年度	平成27年度から令和3年度まで							
	事業の実施目的 及び概要	2020年東京オリンピック・パラリンピックの機運を高め、市民のスポーツへの興味をかき立てるとともに、スポーツへの参加や推進を図る。 また、事前キャンプ地の誘致は、シティセールスはもとより、異文化理解、国際交流の促進を図る。そして印西市の魅力を広く発信することで、経済や観光の活性化などに繋げる。							
	対 象	市民							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等								
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果					
	令和2年度	<ul><li>・アメリカ陸上チーム東京オリンピック事前 キャンブ準備</li><li>・バラリンピック競技の啓発</li></ul>	・パラリンピック競技体験会(8回) ・パラアスリートによる講演(2回)						

2.事業費の財源内訳

	1 H/ \							
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	- 令和2年度 -	<b>積算額</b> (当初予算額)					41,266,000	41,266,000
		予算現額					1,492,000	1,492,000
		決算額					381,676	381,676

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	オリンピック・パラリン ピック種目の強化合宿受		目標値			2	2	0
	入れ	ī	実績値			2	1	0
活動指標	パラリンピック種目の体		目標値			8	10	10
心到田保	験会開催数	ī	実績値			8	10	7
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標			目標値					
<b>从</b> 未拍标			実績値					
			目標値				·	
			実績値					

4.事業に対する評価

ı	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)				
	①活動に対する評価		新型コロナウイルスの影響により、強化合宿の受入れは行わなかったが、 リンピック種目の体験会等はほぼ目標どおり実施できた。				
	②成果に対する評価		東京オリンピック・パラリンピックに向けて事前キャンプの誘致に取り組んでいるため、 和2年度は成果に対する評価はしていない。				
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった					

<u>3. 7後のカ門圧</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	情勢を注視しながら東京オリンピック・パラリンピックに向け、事前キャンプの受入れやパラリンピック競技の啓発に取り組んでいく。

1. 事業の概要				事業番号	176			
	実施計画事業名	コミュニティ活動の推進事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民部市民活動推進課 活動支援係						
但当即有守	款項目及び予算名	2款 1項 12目 自治振興費 新市基本計画						
	予算事業名	町内会等に要する経費		主要事業	0			
	関連する施策名	6-①-2 市民が主体の地域コミュニティ活	動の推進	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	少子高齢化が進行するなか、ますます重要と活動拠点となるコミュニティ施設の整備・充実 け合い支え合える環境をつくっていきます。						
	事業年度	平成11年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	市と町内会等の相互協力関係を推進し、行政運営の円滑化及び地域社会における住民自治の振興を図る。						
	対 象	町内会等						
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市行政協力交付金交付要綱、印西市町 活動費補助金交付要綱	内会等活動費補助金交付要綱、	, 印西市町内会等	<b>ទ</b> 地区連絡会			
	年度	年度計画の内容		ŧ実績∙成果				
	令和2年度	・町内会等の活動助成 ・町内会等の設立に向けた団体への資料提供及び助言 ・転入者への加入促進文書の配布 ・(仮称)地域コミュニティ基本方針策定	行政協力交付金、町内会等活動絡会補助金を交付し、円滑な行性化を図った。また、印西市町F促進パンフレットを活用し、町内	政運営及び町内 内会自治会連合:	会活動等の活 会作成の加入			

2.事業費の財源内訳

と・デ木貝ツ州・柳川・明								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					38,552,000	38,552,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					38,552,000	38,552,000
		決算額					29,387,569	29,387,569

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	  加入促進の広報活動	0	目標値	1	1	1	1	1
	加入促進の仏報/自動	ū	実績値	1	2	1	1	1
活動指標	行政協力交付金等 申	団体	目標値	172	172	173	174	175
心到旧保	請	41四	実績値	174	176	179	184	185
			目標値					
			実績値					
	町内会等組織数(累計)	団体	目標値	172	172	173	174	175
	四月八五寺心嶼致(糸山)	<u> </u>	実績値	169	174	176	182	189
成果指標	町内会等加入率	%	目標値	65	65	67	67	70
从木田保	叫內去寺加八年	70	実績値	61	60	60	58	58
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.事業に对する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
ラ後の万円住	医爪哇田 及び う後の味趣寺
1 事業を現行のまま継続して実施	町内会等は任意団体で任意加入が原則であるため、施策の範囲が限られるが、引き続き町内会等への支援や協力関係の維持に努めるとともに、未組織地域等への設立に向けた説明や情報 提供を行う。

1. 事業の概要				事業番号	177			
	実施計画事業名	コミュニティセンター運営事業						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民部市民活動推進課 活動支援係						
担当即有守	款項目及び予算名	2款 1項 12目 自治振興費		新市基本計画	0			
	予算事業名	コミュニティセンターの管理運営に要する	<b>经</b> 費	主要事業				
	関連する施策名	6-①-2 市民が主体の地域コミュニティ活	動の推進	重点施策				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	少子高齢化が進行するなか、ますます重要と活動拠点となるコミュニティ施設の整備・充実 け合い支え合える環境をつくっていきます。						
	事業年度	平成9年度から実施						
		市民相互の理解を深め、より強い絆を持った地域づくりを推進するため、市内4館のコミュニティセンターにおいて、コミュニティの醸成事業を行い、地域コミュニティの充実を図る。						
	対 象	中央駅南コミュニティセンター(サザンプラザ) 永治コミュニティセンター(永治プラザ)、船穂		(フレンドリープラ	ザ)、			
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	  印西市コミュニティセンターの設置及び管理  	こ 関する条例					
	年度	年度計画の内容		똦痍∙成果				
	令和2年度	・指定管理者によるコミュニティセンターの管理運営 ・次期コミュニティセンター指定管理者の指定	市内に4館あるコミュニティセン: けの講座等を実施するとともに 提供し、地域コミュニティの活性 ルスの感染拡大による臨時休食 ざるを得なかった。	、地域の団体の 化を図ったが、新	活動等の場を 新型コロナウイ			

2.事業費の財源内訳

2. 于木貝V // // // // // // // // // // // // //								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		<b>積算額</b> (当初予算額)					97,922,000	97,922,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					99,300,125	99,300,125
		決算額					83,469,462	83,469,462

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	コミュニティセンター講座		目標値	200	200	200	200	200
	等事業数	ū	実績値	204	245	213	185	68
活動指標			目標値					
/ 1到1日1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	コミュニティセンター利用	1	目標値	105,600	105,700	105,800	105,900	106,000
	者数	<b>A</b>	実績値	106,219	100,621	76,176	77,056	36,483
成果指標	登録団体数	団体	目標値	300	300	300	300	300
从木田保	<b>豆</b>	至	実績値	297	307	311	311	152
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

	<u> ア・デ 木 (〜ハ)                                   </u>		
ı	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナの影響により臨時休館をするなど、活動を縮小せざるを得なかった。
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナの影響により、実績値が減少した。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナの影響により、実績値が減少した。

<u> </u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナの影響により実績が減少したものの、地域コミュニティの拠点の1つとして機能していると考えられる。指定管理者には利用者ニーズに合わせ、事業実施するなどの施設の活用を図る努力をしており、今後も地域コミュニティの活性化を図るために事業を継続する。

1. 事業の概要				事業番号	178					
	実施計画事業名	地区集会施設整備事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民部市民活動推進課 活動支援係								
担当即有守	款項目及び予算名	2款 1項 12目 自治振興費		新市基本計画	0					
	予算事業名	町内会地区集会所等に要する経費		主要事業						
	関連する施策名	6一①一2 市民が主体の地域コミュニティ活	動の推進	重点施策						
基本計画における 位置付け	施策の方向性	少子高齢化が進行するなか、ますます重要となる町内会等におけるコミュニティ活動を支援して活動拠点となるコミュニティ施設の整備・充実を進め、「地域コミュニティ」を醸成していくことで、対け合い支え合える環境をつくっていきます。								
	事業年度	昭和58年度から実施								
	事業の実施目的 及び概要	多様なコミュニティ活動を支援するとともに、ほ 会施設の整備・充実を図る。	町内会活動等への参加の場を確	[保するため、活	動拠点となる集					
	対 象	町内会等								
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市青年館の設置及び管理に関する条例 ・同 則、印西市構造改善センターの設置及び管理に関 ほか								
	年度	年度計画の内容	1.44	美実績·成果						
	令和2年度	・地区集会所の建設費又は修繕費の助成 (集会所新設・建替え4件)	町内会等へ集会施設整備事業 管理する集会施設の整備・充実 集会施設の新設に関する合意 ら、新設・建て替えについて2件 件、建替1件、修繕7件)	を図ったが、町 形成が困難であ	内会において ったこと等か					

2.事業費の財源内訳

	3 W /							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					62,995,000	62,995,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					61,616,875	61,616,875
	3	決算額					34,658,638	34,658,638

3. 指標及び実績値

5. <b>10 深及い天順</b> 指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	集会施設等の新設、改	箇所	目標値	7	7	7	7	7
	築、修繕に対する補助	回り	実績値	10	8	7	12	9
活動指標			目標値					
/口到/]日1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	集会施設数	箇所	目標値	145	146	146	147	147
	未去池改数	直加	実績値	145	146	146	148	149
成果指標			目標値					
从木111末			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.事業に对する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

0. 7 医60 71 PM IE	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 単葉を担行(バナナ機械) ( 東側	活動拠点となる集会施設の建設や修繕等について、町内会等の負担を軽減するため引き続き事業を継続していく。

1. 事業の概要				事業番号	179					
	実施計画事業名	市民活動推進事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民部市民活動推進課 活動支援係	市民部市民活動推進課 活動支援係							
担当即有守	款項目及び予算名	2款 1項 12目 自治振興費		新市基本計画	0					
	予算事業名	市民活動支援事業		主要事業	0					
	関連する施策名	6-2-1 市民や大学・企業など多様な主体	本とともに進めるまちづくり	重点施策						
基本計画における 位置付け		市民活動の拠点となる市民活動支援センターの機能強化を図っていくとともに、市民活動推進条例 理念に基づいて市民の公益的な活動への支援を推進します。また、産業や教育・文化の振興、健康 び福祉の推進、人材育成など幅広い分野における連携を図ることにより、多様な主体とともに進める りに取り組んでいきます。								
	事業年度	平成13年度から実施								
		市民活動の推進及び活性化を図るため、活動を行うために必要な「場」「資金」「情報」「交流」等に関する様々な支援策を実施する。								
	対 象	市民活動を行おうとする全ての市民及びNPOなどの市民活動団体、事業者。								
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市市民活動推進条例、市民活動団体(NPO等)との協働を進めるためのガイドライン、印西市市民活 支援センターの設置及び管理に関する条例・同施行規則								
	年度	年度計画の内容		美実績·成果						
	令和2年度	・指定管理者による市民活動支援センターの管理運営 ・市民活動推進委員会の運営 ・市民活動に関する情報の収集及び提供 ・協働事業の推進 ・公益信託印西市まちづくりファンドによる側面支援	指定管理者による市民活動支 動推進委員会の運営、市民活 立画提案型協働事業の実施、 り、市民活動団体等への支援 の推進及び活性化を図ったが、 縮小せざるを得なかった。	動に関する情報のまちづくりファンド は動事業を推進	の収集・提供、 の実施等によ 進し、市民活動					

2.事業費の財源内訳

2. 于木貝切別源ド	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					16,040,000	16,040,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					16,040,000	16,040,000
		決算額					14,876,590	14,876,590

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	市民活動推進委員会の		目標値	6	6	6	6	6
	開催数	Ш	実績値	6	7	6	7	2
活動指標			目標値					
/ 山 刬 拍 信			実績値					
			目標値					
			実績値					
	協働事業の実施件数	件	目標値	72	74	76	78	80
	励倒事未の大心什奴	H	実績値	75	85	88	85	89
成果指標	市民活動支援センター	団体	目標値	110	110	110	110	110
<b>从</b> 未拍标	登録団体数	四件	実績値	117	136	152	179	190
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 尹未に Ny ② 計		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナの影響により委員会の開催数が減となった。
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

0. 7 <u>医0771円</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	魅力と活力のあるまちづくりのため、市民活動の推進や協働事業の活性化を図れるよう引き続き 事業を継続していく。

1. 事業の概要				事業番号	180					
	実施計画事業名	まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	企画財政部企画政策課 企画係								
担크마有守	款項目及び予算名	2款 1項 6目 企画費		新市基本計画						
	予算事業名	まち・ひと・しごと創生総合戦略に要する	経費	主要事業						
	関連する施策名	6-2-1 市民や大学・企業など多様な主体	本とともに進めるまちづくり	重点施策						
基本計画における 位置付け 施策の方向性 施策の方向性 施策の方向性 が福祉の推進、人材育成など幅広い分野における連携を図ることにより、多様な主体ととりに取り組んでいきます。										
	事業年度	平成27年度から実施								
		まち・ひと・しごと創生法に基づく、人口の現状と将来の展望を示す地方人口ビジョン及び、これを踏まえた今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な取り組みをまとめた地方版総合戦略を推進する。								
	対 象	第2次基本計画に基づく全施策及び実施計画事業								
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	まち・ひと・しごと創生法、印西市総合計画(質	第2次基本計画)							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果						
	令和2年度	・まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理 ・次期総合計画と一体的な次期総合戦略の 策定	・まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2期印西市まち・ひと・しごとらの印西市総合計画と一体的!	創生総合戦略を						

#### 2.事業費の財源内訳

	と・子木貝の別が下が、										
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計			
		<b>積算額</b> (当初予算額)						0			
	令和2年度	予算現額						0			
		決算額						0			

3. 指標及び実績値

指标	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	まち・ひと・しごと創生推		目標値	3	3	3	3	3
	進審議会の運営	Ш	実績値	2	2	1	1	0
活動指標			目標値					
/山到1日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	現状値より向上した評価	% -	目標値	70	80	90	100	100
	指標の割合		実績値	72.9	52.2	56.4	56.4	65.2
成果指標			目標値					
从未担保			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

ア・デオルグラ の田 岡		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	E 活動なし	総合計画審議会において一体的に進行管理を行うこととし、まち・ひと・しごと創生推進 審議会は開催しなかった。総合計画審議会は全5回(会議形式3回、書面開催2回)行った。
②成果に対する評価		新型コロナウイルス感染症の影響により実施が困難な事業(指標)もあったが、現状値 (計画策定時)よりも伸びている指標も多い。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	引き続き、まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を図る。

0. 子及60万円正	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	印西市総合計画と一体的にまち・ひと・しごと創生総合戦略を推進する中で、各推進項目を実施計画事業として推進するため、実施計画事業としては終結する。

	TP 4	加2年度 分 美他計画争果	計画示							
1. 事業の概要				事業番号	181					
	実施計画事業名	産学官連携推進事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	企画財政部企画政策課 企画係								
担ヨ即者守	款項目及び予算名	2款 1項 6目 企画費		新市基本計画	0					
	予算事業名	企画事務に要する経費		主要事業						
	関連する施策名	6-2-1 市民や大学・企業など多様な主体	本とともに進めるまちづくり	重点施策						
基本計画における 位置付け	施策の方向性	理念に基づいて市民の公益的な活動への支	5民活動の拠点となる市民活動支援センターの機能強化を図っていくとともに、市民活動推進条例に定理念に基づいて市民の公益的な活動への支援を推進します。また、産業や教育・文化の振興、健康・医 が福祉の推進、人材育成など幅広い分野における連携を図ることにより、多様な主体とともに進めるまた けに取り組んでいきます。							
	事業年度	平成17年度から実施								
	事業の実施目的 及び概要	活力あるまちづくりを進めていくため、教育機関や民間企業等との協定に基づき、産業振興、教育文化振興、人材育成、まちづくりなど各分野において、相互に連携を図るとともに、多様な主体の連携を促進して く。								
	対 象	市内教育機関、民間企業等								
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市と東京電機大学の連携協力に関する と印西市内郵便局との包括連携に関する協な		連携協力に関する	る協定、印西市					
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果						
	令和2年度	・東京電機大学との協定に基づく連携 ・順天堂大学との協定に基づく連携 ・市内郵便局との協定に基づく連携 ・市内外の教育機関及び民間企業等との連携の推進	東京電機大学、順天堂大学やi づき、各分野で連携事業を実施		連携協定に基					

2.事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					0	0
	令和2年度	予算現額					0	0
		決算額					0	0

3. 指標及び実績値

指标	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	大学・企業等との連携協	回	目標値	56	58	60	62	64
定数	定数		実績値	58	63	64	67	72
活動指標			目標値					
/白到1日1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	事業所・教育機関と連携	件	目標値	60	60	60	60	60
	して行った取り組み数	IT	実績値	86	90	82	94	75
成果指標			目標値					
从木田宗			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業数が減少した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

3. 子及60万円正	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	今後は各施策の事業等を推進するための手法の一つとして産学官連携を活用していくものとし、実施計画事業としては終結する。

			事業番号	182					
実施計画事業名	男女共同参画推進事業								
担当部署名	市民部市民活動推進課 男女共同参画	市民部市民活動推進課 男女共同参画係							
款項目及び予算名	2款 1項 6目 男女共同参画推進事業	É	新市基本計画	0					
予算事業名	男女共同参画推進事業		主要事業						
関連する施策名	6-②-2 男女共同参画の推進		重点施策						
施策の方向性	男女が性別に関わりなく、その個性と能力を 進や、相談体制の充実を図っていきます。	女が性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向けた取組の や、相談体制の充実を図っていきます。							
事業年度	平成13年度から実施								
事業の実施目的 及び概要	男女が共に性別に関わりなく、個人として尊重され、個性と能力が発揮できる男女共同参画社会の実現を目 指す。								
対 象	市民								
根拠法令・関連計画 等	印西市男女共同参画プラン								
年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果						
令和2年度	<ul><li>・第3次印西市男女共同参画プランの進行 管理</li><li>・主催事業の実施</li><li>・情報紙の発行</li><li>・啓発資料の配布</li></ul>	後の開催、情報紙の発行、ホーム 方民への啓発を図った。事実につい 窓染症感象予防の観点から、参加者 なり扱う講座は中止とした。全職員対 師提供の動画を期間限定で配信、教 教員も視聴できるようにした。また、 上援する少人数のオンライン講座を							
	担当部署名 款項目及び予算名 予算事業名 関連する施策名 施策の方向性 事業年度 事業の実施目的 及び概要 対象 根拠法令・関連計画等 年度	担当部署名 市民部市民活動推進課 男女共同参画 款項目及び予算名 2款 1項 6目 男女共同参画推進事業 予算事業名 男女共同参画推進事業 関連する施策名 6-②-2 男女共同参画の推進 施策の方向性 男女が性別に関わりなく、その個性と能力を 進や、相談体制の充実を図っていきます。 事業年度 平成13年度から実施 事業の実施目的 及び概要	担当部署名 市民部市民活動推進課 男女共同参画係  款項目及び予算名 2款 1項 6目 男女共同参画推進事業  予算事業名 男女共同参画推進事業  関連する施策名 6-②-2 男女共同参画の推進  施策の方向性 男女が性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画進や、相談体制の充実を図っていきます。  事業年度 平成13年度から実施  事業の実施目的及び概要	実施計画事業名 男女共同参画推進事業					

2.事業費の財源内訳

<u></u>	I W Y							
財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					664,000	664,000
	令和2年度	予算現額					664,000	664,000
		決算額					135,874	135,874

### 3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	講座等の開催		目標値	5	5	5	8	9
	神圧寺の 州 唯	ū	実績値	5	5	7	11	3
活動指標	プランの進捗状況の取り	0	目標値	1	1	1	1	_
/白 到 7日1宗	まとめ	ш	実績値	1	1	1	1	_
	印西市男女共同参画推	0	目標値				2	2
	進懇話会の開催	Е	実績値				2	1
	プランの進捗率	%	目標値	50	75	100	20	_
	フランの進物率	70	実績値	50	75	85	20	-
成果指標	講座等の参加者数	1	目標値				200	200
<b>以未拍</b> 標	調座寺の参加有数	^	実績値				314	63
	審議会等における女性	%	目標値	30	30	30	30	30
	委員の登用率	90	実績値	27	28	28	28	29

4.事業に対する評価

	4.尹未に刈りる計画		
評価項目		評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症感染予防の観点から、予定していた従来形式の講座はほぼ 中止せざるを得ない中、動画配信やオンライン講座など新たな形式での実施に挑戦する ことができた。
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症感染予防の観点から、予定していた従来形式の講座はほぼ 中止せざるを得なかった。動画配信やオンライン講座など新たな形式での実施に挑戦し たが、参加者の増には結びつかない状況であった。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症感染予防の観点から、予定していた従来形式の講座はほぼ中止せざるを得なかった。動画配信やオンライン講座など新たな形式での実施に挑戦したが、参加者の増には結びつかない状況であった。

-: / DC / 3   3   E	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染症感染予防の観点から、予定していた従来形式の講座はほぼ中止せざるを得ない中、動画配信やオンライン講座など新たな形式での実施に挑戦したが、参加者の増には結びつかない状況であった。今後は、周知方法、実施方法等を調査研究していきたい。また、コロナ禍において女性をめぐる新たな問題も発生していることから、性別を問わず誰もが生きやすい社会の実現に向けた取組の必要がある。

1. 事業の概要				事業番号	183				
	実施計画事業名	女性の悩み相談事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部子育て支援課 支援係							
担当即看守	款項目及び予算名	3款 1項 1目 社会福祉総務費		新市基本計画	0				
	予算事業名	女性の悩み相談事業		主要事業					
	関連する施策名	6-②-2 男女共同参画の推進		重点施策					
基本計画における 位置付け		男女が性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向け進や、相談体制の充実を図っていきます。							
	事業年度	平成14年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	夫婦や家族・対人関係など様々な悩みを抱える女性を支援する。							
	対 象	市民							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市男女共同参画プラン							
	年度	年度計画の内容	年度の事業	<b>美実績・成果</b>					
	令和2年度	・女性の悩み相談の実施 ・関係各課、県女性サポートセンター、警察 署、民間施設との連携強化	毎月2回(第1、3木曜日)女性のえるさまざまな悩みに対して解						

2.事業費の財源内訳

2. 于木貝以州(赤)	3 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					528,000	528,000
財源内訳(円)		予算現額					528,000	528,000
		決算額					528,000	528,000

3. 指標及び実績値

指: 日保及び天順	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	相談日数	П	目標値	24	24	24	24	24
	1 付款口数	日	実績値	24	24	24	24	24
活動指標	周知回数	0	目標値	12	12	12	12	12
/ 山 判 1日 1示	同和凹数	Щ	実績値	12	12	12	12	12
			目標値					
			実績値					
	相談者数	1	目標値	120	120	120	120	120
	怕砂伯奴		実績値	96	98	103	90	58
成果指標			目標値					
从木田保			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未に別りる計画					
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)			
①活動に対する評価		年24回、毎月2回(第1、3木曜日)女性の悩み相談を実施した。また広報、ホームペー等での事業の周知を図った。			
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	新型コロナウイルス感染症の流行により、予約者が減少した。			
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	計画をやや下回る事業実績・成果であった。			

<u> つ. ラ 仮の刀ド</u>	初生	
4	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を弱		広報、ホームページ等で相談窓口の周知を図り、毎月2回(第1、3木曜日)女性の悩み相談を実施することにより、女性が抱えるさまざまな悩みに対して解決へとつながるような支援を行っていく。

1. 事業の概要				事業番号	184					
	実施計画事業名	<sup>事業名</sup> 配偶者等暴力被害者支援事業								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	健康子ども部 子育て支援課 支援係								
担当即有守	款項目及び予算名	3款 1項 1目 社会福祉総務費		新市基本計画	0					
	予算事業名	DV被害者支援事業		主要事業						
	関連する施策名	6-②-2 男女共同参画の推進		重点施策						
基本計画における 位置付け		男女が性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向けた取進や、相談体制の充実を図っていきます。								
	事業年度	平成15年度から実施								
	事業の実施目的 及び概要	DV被害者の支援として、緊急避難時に支援金を給付し、被害者及びその家族の支援を図る。								
	対 象	市内在住のDV被害者及びその家族								
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市配偶者等暴力被害者緊急避難支援要綱、印西市男女共同参画プラン								
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果						
	令和2年度	・DV被害者の緊急避難の際の金銭的支援 ・関係各課、県女性サポートセンターや警察 署、民間施設との連携強化	DV被害者の相談に対し、関係 いる。 緊急避難のための支援金の支		支援に努めて					

2.事業費の財源内訳

	3 (A) (							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					46,000	46,000
財源内訳(円)		予算現額					46,000	46,000
		決算額					3,696	3,696

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	広報回数(制度)	0	目標値	1	1	1	1	1
	近報四数(前長)	Щ	実績値	1	1	1	1	1
活動指標			目標値					
/白到1日1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	被害者に対する緊急的なとなるため、支援制度とし		目標値					
	ことを目標とする。	実績値						
成果指標			目標値					
从木1日1示			実績値					
			目標値				·	
			実績値					

4.事業に対する評価

4.尹未にNyの計画		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	町内会回覧及び市HPにおいてもあわせて周知。
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> 3. ラ後の万円圧</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	DV被害者の支援として、緊急避難時に支援金を給付し、DV被害者とその子どもを支援していく。

	节1	和2年度 分 美施計画事業	:評価景						
1. 事業の概要				事業番号	185				
	実施計画事業名	電子行政推進事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	総務部管財課 電算係							
担当即有守	款項目及び予算名	2款 1項 11目 電子計算費		新市基本計画	0				
	予算事業名	電子行政推進に要する経費		主要事業					
	関連する施策名	6-3-1 市民目線で利用しやすい行政サ	ービスの実現	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民満足度の高い自治体をめざして、市民 進め、利便性の高い市民サービスの提供に		や窓口等の充実、	ICTの活用を				
	事業年度	平成14年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	各種申請や届出手続きの電子化など、電子行政を推進し、市民の利便性向上を図る。 また、印西市情報化計画の進行管理をはじめ、市民及び職員の情報リテラシー向上やセキュリティ対策に 関する研修や講座を開催し、安全に情報通信機器を利用できる環境を支援していく。							
	対 象	職員、市民等							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市第4次情報化計画							
	年度	年度計画の内容		美実績·成果					
	令和2年度	・職員向け研修(セキュリティ、OFFICE, GI S等)の実施 ・市民向け講習会の開催 ・情報化計画の進行管理 ・自治体中間サーバ・ブラットフォーム ASPサービス等に係る交付金	◆職員向け研修 ・情報セキュリティ研修(令和24 会議59名視聴、セキュリティポ・統合型地理情報システム操作議室、参加者5名、参加者の要 ◆情報化計画の進行管理 ・情報化計画進行管理表の作用	リシーについて) ₣研修(令和3年1月 望に応じた操作指	月29日、202会				

2.事業費の財源内訳

4.尹未真の別源内	2.尹未真の別線内肌								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)	4,148,000				6,892,000	11,040,000	
	令和2年度	予算現額	4,148,000				6,892,000	11,040,000	
		決算額	4,148,000				6,685,772	10,833,772	

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	電子申請取扱手続数	件	目標値	20	22	23	23	25
	电丁中胡双双丁机双	H	実績値	19	18	19	18	27
活動指標	市民向け講習		目標値	2	2	2	2	2
/山到1日1示	印及同分語目	ī	実績値	1	1	1	0	0
			目標値					
			実績値					
	公共施設予約の電子申	件	目標値	25,400	25,800	26,200	26,600	27,000
	請数	H	実績値	27,363	27,752	27,535	25,354	26,402
成果指標	その他の電子申請数	件	目標値	1,150	1,250	1,300	1,300	1,400
マイナンバー情報連携		IT	実績値	1,438	1,024	1,077	1,368	3,112
	件	目標値						
	による照会数及び提供 数 数	iŤ	実績値		2,504	9,750	39,591	103,209

4.事業に対する評価

サチ末に刈りる町皿		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		電子申請取扱手続数は目標値を上回ることができたが、市民向け講習については、新型 コロナウイルス感染症拡大の影響で実施を見送った。
②成果に対する評価		公共施設の電子申請数は新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言によって 予約対象施設の休止が影響しているものと思われる。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響によって人と人の接触機会の減少が求められたことから、電子申請手続き数が増加したと思われる。

O: / KO/// IT	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も各種手続きにおける電子化を推進するとともに、市民や職員の情報リテラシやセキュリティ 意識を向上させるための講座や研修を継続していく。

1. 事業の概要				事業番号	186				
	実施計画事業名	窓口の休日実施							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民部市民課 窓口係							
担当即省等	款項目及び予算名	2款 3項 1目 戸籍住民基本台帳費		新市基本計画	0				
	予算事業名	窓口業務の休日実施に要する経費		主要事業					
	関連する施策名	6-3-1 市民目線で利用しやすい行政サ	ービスの実現	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性		「民満足度の高い自治体をめざして、市民目線での行政サービスの見直しや窓口等の充実、ICTの活 め、利便性の高い市民サービスの提供に努めていきます。						
	事業年度	平成18年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	平日来庁できない市民の利便性を図るため、休日に各種証明等の窓口を開設する。							
	対 象	市民							
	根拠法令・関連計画 等	第5次(6次)印西市行政改革大綱							
事業内容等	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績·成果					
	令和2年度	【市役所本庁市民課】毎月第2・4土曜日(8:30~17:15) 【印施支所】毎週土曜日(8:30~12:00) 【滝野出張所】毎週土・日曜日(8:30~17:15) 【中央駅前出張所】毎月第1・3土曜日(8:30~17:15) ・証明書の発行、印鑑登録、戸籍の預かり業務等・休日開庁窓口の検討	【市役所本庁市民課】 ・開庁:24日、来客数:592人、 【印旛支所】 ・開庁:50日、来客数:713人、 【淹野出張所】 ・開庁:98日、来客数:2.699人 【中央駅前出張所】 ・開庁:22日、来客数:932人、	取扱件数:996件 、取扱件数:3,46					

#### 2.事業費の財源内訳

	3 W /							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					196,000	196,000
		予算現額					196,000	196,000
		決算額					195,072	195,072

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	休日開庁の実施窓口数	箇所	目標値	4	4	4	4	4
		回加	実績値	4	4	4	4	4
活動指標	休日開庁実施延べ日数	B	目標値	168	168	168	168	168
/白到7日1宗		н	実績値	171	190	190	191	194
			目標値					
			実績値					
	来客者数(合計)	人	目標値	4,500	4,500	5,000	5,000	5,000
	木谷有数(口前)	<b>\</b>	実績値	5,491	5,420	5,312	5,042	4,936
成果指標	証明書などの取扱件数	件	目標値	7,000	7,000	8,000	8,000	8,000
<b>以未</b> 拍悰	(合計)	H	実績値	8,941	8,473	8,298	7,630	6,436
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

1	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性(令和3年度からの新たな総合計画における第1次実施計画に向けての方向性)

O. / DC 07/3 [		
	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を明	見行のまま継続して実施	休日開庁について、継続して実施していく。

1. 事業の概要				事業番号	187			
	実施計画事業名	納税機会の充実						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民部納税課ほか						
担当即有守	款項目及び予算名	2款 総務費		新市基本計画	0			
	予算事業名	情報基盤整備に要する経費、会計事務	に要する経費	主要事業				
	関連する施策名	6-3-1 市民目線で利用しやすい行政サ	ービスの実現	重点施策				
基本計画における 位置付け 施策の方向性 進め、利便性の高い市民サービスの提供に努めていきます。								
	事業年度	平成24年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	nnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnn						
	対 象	市民						
	根拠法令·関連計画 等	印西市会計事務規則						
事業内容等	年度	年度計画の内容	1.44	ἔ実績∙成果				
	令和2年度	・コンビニ・マルチペイメントでの収納業務の継続 【収納分象】 固定資産税・都市計画税、軽自動車税、市 医税・県民税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、下水道使用料、水道料金	令和2年度も継続実施 【コンビニ・ペイジー対応】 固定資産税・都市計画税、軽自 徴収)、国民健康保険税、介護 料 【コンビニ対応】 下水道使用料、水道料金 納付場所、納付可能時間が拡入 に合わせた納付環境の実現に	保険料、後期高額	給者医療保険			

2.事業費の財源内訳

と・デ木貝ツ州がパル								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)					18,789,653	18,789,653
	令和2年度	予算現額					18,789,653	18,789,653
		決算額					16,620,696	16,620,696

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	コンビニ収納及びマルチ	システム	目標値	1	1	1	1	1
	ペイメント収納の運用	7	実績値	1	1	1	1	1
活動指標			目標値					
7日到1日1末			実績値					
			目標値					
			実績値					
	マルチペイメントによる	ルチペイメントによる件			ごスの向上を目打	旨すものであり、	目標値は設定し	ない。
	収納件数	Ŀ	実績値	41,965	37,685	39,467	45,358	49,817
成果指標	コンビニエンスストアでの	件	目標値	サーヒ	ごスの向上を目打	旨すものであり、	目標値は設定し	ない。
从木油坑	収納件数	Ŀ	実績値	98,709	104,064	101,579	120,055	130,622
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	サービスの向上を目指すものであり、目標値は設定しない。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

_	<u> </u>	<u> </u>	
		今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
			マルチペイメント収納及びコンビニエンスストア収納を運用することにより、納付可能時間・納付場所の制限が減り、納税機会の充実が図られ市民サービスの向上につながっている。

1. 事業の概要				事業番号	188				
	実施計画事業名	本埜支所庁舎等改修工事							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民部本埜支所市民サービス課 地域	支援係						
但当即看守	款項目及び予算名	2款 1項 9目 支所費	款 1項 9目 支所費 新市基本計画						
	予算事業名	本埜支所施設管理に要する経費		主要事業					
	関連する施策名	6-3-1 市民目線で利用しやすい行政サ	ービスの実現	重点施策					
基本計画における 位置付け 施策の方向性 市民満足度の高い自治体をめざして、市民目線での行政サービスの見直しや窓口等の充実、I 進め、利便性の高い市民サービスの提供に努めていきます。									
	事業年度	令和2年度から令和3年度							
		本埜支所は昭和59年11月の竣工以来、35年が経過しており、近年老朽化が進んでいることから空調設備、放送設備、トイレ及び内装の更新のほか、OAフロア化、浄化槽の改修を実施する。							
	対 象	本埜支所							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	印西市支所及び出張所設置条例および施行	規則						
	年度	年度計画の内容		美実績・成果					
	令和2年度	·改修工事準備 ·改修工事(R2·3年度継続) ·改修工事監理業務委託(R2·3年度継続)	- 改修工事準備が完了した。 - 改修工事を実施した。(R2・34 - 改修工事監理業務委託を実施		度継続)				

#### 2.事業費の財源内訳

T / N / N / N / N / N / N / N / N / N /	3 PA N							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					76,160,000	76,160,000
財源内訳(円)		予算現額					0	0
		決算額					0	0

#### 3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	設計·監理業務委託及	本	目標値					2
	び工事請負契約の締結	4	実績値					2
活動指標			目標値					
/ 1到1日1宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	改修工事の完了	%	目標値					25
	以修工事(7)儿 ]	70	実績値					10
成果指標			目標値					
从木田保	<b>以未担</b> 保		実績値					
			目標値					
			実績値					

### 4.事業に対する評価

で・デオルツァる町川		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	工事受注業者決定後の工程精査による。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	工事受注業者決定後の工程精査により出来高は下回ったものの部門によっては計画ど おり事業が進んでいる部門もある。

(0. / 医(3)/3   1-	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	誰もが安全で快適に施設を来庁できるよう適正な機能を維持し、長寿命化等を図るため改修工事を事業継続とする。

1. 事業の概要				事業番号	189			
	実施計画事業名	市民相談の実施						
事業名及び 担当部署等	担当部署名	市民活動推進課 男女共同参画係 ・	秘書広報課 広報広聴係					
但当即看守	款項目及び予算名	2款 1項 1目 一般管理費		新市基本計画				
	予算事業名	市民相談事業、行政相談事業に要する	経費	主要事業				
	関連する施策名	6-3-1 市民目線で利用しやすい行政サ	ービスの実現	重点施策				
基本計画における 位置付け		市民満足度の高い自治体をめざして、市民E 進め、利便性の高い市民サービスの提供に		や窓口等の充実、	ICTの活用を			
	事業年度							
		市民の日常生活における悩みや問題に対し適切に相談に応じられるよう、市民生活相談や法律相談、行政 相談、人権相談などの各種相談を実施していく。						
	対 象	市民						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	人権擁護委員法、行政相談員法						
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果				
	令和2年度	・法律相談の実施(月3回) ・市民生活相談(司法書士)の実施(月1回) ・市民生活相談(税理士)の実施(月1回) ・人権よろず相談の実施(月1回) ・行政相談の実施(月1回) ・交通事故巡回相談(4月を除く月1回)	・市民生活相談(司法書士) 実施 ・市民生活相談(税理士) 実施 ・人権よろず相談 実施 ・行政相談 実施	i: 6回/年 件数: :: 2回/年 件数: i: 9回/年 件数: :: 4回/年 件数:	33件 中止:2回 32件 中止:6回 2件 中止:10回 1件 中止:3回 7件 中止:1回			

2車業費の財殖内部

2.争未負の別源り	766							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)					2,048,000	2,048,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額					2,048,000	2,048,000
		決算額					1,573,429	1,573,429

	指標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	合同相談毎月実施		目標値	12	12	12		
	口问伯欧安万天心	回	実績値	12	12	12		
活動指標	市民生活·法律相談毎		目標値	12	12	12		
/白 到 7日1宗	月実施	ī	実績値	12	12	12		
	市民合同相談毎月実施		目標値				36	36
		ī	実績値				36	29
	合同相談相談者数(年	人	目標値	210	210	210		
	間)	^	実績値	183	171	171		
	市民生活·法律相談者	人	目標値	185	190	200		
	数(年間)	<b>\</b>	実績値	163	186	194		
成果指標	法律相談(弁護士)の利	人	目標値				260	260
从木田宗	用者数(年間)	<b>\</b>	実績値				277	222
	市民生活相談(司法書	人	目標値				65	58
	士)の利用者数(年間)	_ ^	実績値				55	53
	市民生活相談(税理士)	人	目標値				50	58
	の利用者数(年間)		実績値				58	32

4 車業に対する証価

4. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症による1回目の緊急事態宣言発令時、及び相談員側の事情により相談事業を中止することはあったが、1回目の宣言解除後は、感染予防対策を講じることで実施することができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症による1回目の緊急事態宣言発令時、及び相談員側の事情により相談事業を中止することはあったが、1回目の宣言解除後は、感染予防対策を講じることで実施することができ、実施日における利用率はほぼ減少しなかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症による1回目の緊急事態宣言発令時、及び相談員側の事情により相談事業を中止することはあったが、1回目の宣言解除後は、感染予防対策を講じることで実施することができ、実施日における利用率はほぼ減少しなかった。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じた上で、できるだけ対面での相談事業の実施に努めるが、相談員側の事情により中止せざるを得ないことがあるため、中止する場合は、他機関で実施している電話相談等を紹介することで対応していく。

	节1	和2年度 分 美施計画事業	<b>、評価</b> 景						
1. 事業の概要				事業番号	190				
	実施計画事業名	公共施設間情報ネットワーク整備事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	総務部管財課 電算係							
世	款項目及び予算名	2款 1項 11目 電子計算費		新市基本計画	0				
	予算事業名	情報基盤整備に要する経費		主要事業					
	関連する施策名	6-3-1 市民目線で利用しやすい行政サ	ナービスの実現	重点施策					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	市民満足度の高い自治体をめざして、市民目線での行政サービスの見直しや窓口等の充実、ICTの活用を 售め、利便性の高い市民サービスの提供に努めていきます。							
	事業年度	平成14年度から実施							
	事業の実施目的 及び概要	情報通信技術の進展や情報セキュリティなどに配慮した、庁内及び公共施設間の情報通信基盤を整備し、 安全で効率的な行政運営を図る。							
	対 象	職員							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市第4次情報化計画							
	年度	年度計画の内容	1.04	実績·成果	m				
	令和2年度	・複合機入替20台 ・セキュリティ対策	◆庁内情報系プリンタ及び複合 ・複合機更新台数22台 ◆セキュリティ対策 ・情報流出等セキュリティに関す						

2.事業費の財源内訳

2. 于未良い州源門	/עמו							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)				800,000	137,029,000	137,829,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額				800,000	126,029,000	126,829,000
		決算額				800,000	122,720,830	123,520,830

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	パソコンの入替	台	目標値	200	200	440	80	0
	7,732007,6	П	実績値	230	250	440	150	0
活動指標	プリンタ・複合機の入替	台	目標値	10	50	46	7	24
/白到7日1示	プラブ 接口版の八日	П	実績値	10	50	42	9	22
			目標値					
			実績値					
	庁内情報系ブリンタ及び   複合機の効率的な配置	台	目標値	5	10	6	5	0
	(プリンタ削減台数)	П	実績値	5	12	25	1	2
成果指標	パソコン更新率		目標値		100	100	100	100
从木田标	ハノコン史初年		実績値		97.72	100	100	100
			目標値				·	
			実績値					

4.事業に対する評価

<u> </u>		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価		モノクロ複合機とカラープリンタを統合し、カラー複合機を設置することで設置台数の縮減を図った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	パソコンの入れ替えは、性能面、セキュリティ面を考慮し、5年ごとに行う。 プリンタ及び複合機の設置台数の見直しについては、当初の予定どおり完了することができたので、今後は計画的な更新を行っていく。 セキュリティ対策は、行政情報の保護に必須であるため継続して行う。

1. 事業の概要				事業番号	191				
	実施計画事業名	事務事業の再編・整理							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	総務部総務課 行革推進係							
担当即看守	款項目及び予算名	2款 1項 1目 行政改革に要する経費		新市基本計画	0				
	予算事業名	行政改革に要する経費		主要事業					
	関連する施策名	6-3-2 持続可能な行財政運営の実現		重点施策	0				
基本計画における 位置付け		行政改革大綱に基づく事務事業の見直し、公共施設の整理統合、将来の財政負担を見通した効率的な 運営の推進などにより、自立した基礎自治体としての総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っています。また、総合計画に基づき持続可能な行財政運営を推進していきます。							
	事業年度	平成28年度~令和2年度(第5次)/令和3年度~(第6次)							
		効率的・効果的な行政サービスの推進を実現するため、今ある事務事業を再点検し、民間がより効率的に実施できるものは民間に委ねることにより、行政サービスの向上を図ります。							
	対 象	全課							
事業内容等	根拠法令・関連計画 等	第5次(6次)印西市行政改革大綱及び第5次	((6次)印西市行政改革実施計画	<u> </u>					
	年度	年度計画の内容	年度の事業	<b>実績・成果</b>					
	令和2年度	<ul><li>・第5次行政改革実施計画に基づく進捗管理 (民間委託及び指定管理者制度の導入の推進)</li></ul>	指定管理者の導入及び更新に伴う、協議及び支援を行うについて民間事業者による。 度実施予定。	とともに、市民	課窓口業務				

2.事業費の財源内訳

	3 (A/ N							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	財源内訳(円) 令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					294,000	294,000
財源内訳(円)		予算現額					294,000	294,000
		決算額					171,640	171,640

3. 指標及び実績値

3. 指標及び美額								
指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	全事務事業  ※具体的な数値目標は	事業	目標値					
	設定せず	于木	実績値					
活動指標			目標値					
7日到1日1水			実績値					
			目標値					
			実績値					
	    指定管理者制度導入数	施設数	目標値					
	16.6 在 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16		実績値	指定管理者 44ヶ所	指定管理者 48ヶ所	指定管理者 49ヶ所	指定管理者 49ヶ所	指定管理者 52ヶ所
成果指標	  民間委託数	委託数	目標値					
/火木11-1水	以间安此奴	安阳级	実績値	業務委託 6ヶ所	民間委託 6ヶ所	民間委託 7ヶ所	民間委託 8ヶ所	民間委託 8ヶ所
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.事業に对する評価						
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)				
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	指定管理者制度及び民間委託の導入に向けた、関係課と協議するとともに必要な支援 を行った。				
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	指定管理者制度の更新及び導入、市役所市民課窓口業務の委託化へ向け協議を行い、行政サービスの向上及び事務の効率化が図ることができた。				
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	指定管理者及び民間委託の導入に向けた手法等について調査研究を行うとともに、先進事例や課題の整理等について担当課と協議を進めることができた。				

<u> 3. 7 医60 万 円 圧</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	効率的・効果的な行政サービスの向上を図るため、事務事業を再点検し、民間委託及び指定管理者制度の導入を行えるよう、様々な先進事例を調査研究を行うとともに、必要に応じ、職員を対象とした研修を行う。

1. 事業の概要				事業番号	192				
	実施計画事業名	公共施設の整理統合と有効利用							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	企画財政部資産経営課 資産経営係							
担当即有守	款項目及び予算名	2款 1項 1目 一般管理費		新市基本計画	0				
	予算事業名	公共施設等の総合管理に要する経費、市有額	建築物の営繕事務に要する経費	主要事業	0				
	関連する施策名	6-3-2 持続可能な行財政運営の実現		重点施策	0				
基本計画における 位置付け 施策の方向性 道営の推進などにより、自立した基礎自治体としての総合的かつ専門的な行す。また、総合計画に基づき持続可能な行財政運営を推進していきます。									
	事業年度								
	事業の実施目的 及び概要	既存の公共施設について、市全体のバランスを考慮した施設配置、施設利用者数などを勘案した施設運営 の検証を行うとともに、市民の利便性を考慮した施策を推進し、効率的な施設配置及び有効利用を進める。							
	対 象	全課							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市公共施設等総合管理計画、印西市公	・共施設適正配置アクションプラン	,					
	年度	年度計画の内容	11.2	美実績·成果					
	令和2年度	・公共施設等総合管理計画及びアクションプランに基づく進捗管理・公共施設長寿命化計画の策定	・公共施設適正配置アクションス 管課における今後の取組内容で た。 ・令和2年度中に策定を予定し については、令和3年度にパブ 市民意見を踏まえて策定するこ	を把握するための ていた公共施設・ リックコメントを実	)調査を実施し 長寿命化計画				

2.事業費の財源内訳

T	3 DV \							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)					38,503,000	38,503,000
		予算現額					38,503,000	38,503,000
		決算額					38,292,637	38,292,637

### 3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	公共施設等総合管理計	%	目標値	100				-
	画の策定	70	実績値	100				-
活動指標	公共施設適正配置実施	%	目標値		50	100		_
/ 山 刬 旧 保	方針の策定	70	実績値		50	100		-
	アクションプランの策定	<b>策定</b> %	目標値			50	100	_
	アクションノブンの東定		実績値			50	100	_
	公共施設の延床面積 (R32年度までに307,446	m <sup>*</sup>	目標値					
成果指標	m <sup>*</sup> (H26年度末時点)の 34%を縮減する。)	""	実績値	312,688	312,041	313,696	312,635	313,565
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4. 争来 に 刈り る 計		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	将来にわたって市民サービスを継続していくため、令和2年3月に策定した印西市公共施設適正配置アクションプランに基づき、公共施設の整理統合及び効率的な施設運営に取り組む必要がある。

	市和2年度 方									
1. 事業の概要					事業番号	193				
	実施計画事業名	行政評価推進事業	一 行政評価推進事業							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	企画財政部企画政策課	上 企画係							
担当即有守	款項目及び予算名	2款 1項 6目 企画費	}		新市基本計画					
	予算事業名	総合計画策定に要する	主要事業							
	関連する施策名	6-3-2 持続可能な行	財政運営の実現		重点施策	0				
基本計画における 位置付け		行政改革大綱に基づく事務事業の見直し、公共施設の整理統合、将来の財政負担を見通した効率的な財政 運営の推進などにより、自立した基礎自治体としての総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきま す。また、総合計画に基づき持続可能な行財政運営を推進していきます。								
	事業年度	平成15年度から実施								
		総合計画の進行管理として 映させることにより、市民流		果や有効性等について評価検証 っていく。	Eを行い、その結	果を的確に反				
	対 象	第2次基本計画に基づく全	施策及び実施計画	画事業						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	第5次印西市行政改革大概	罁							
争未內谷守	年度	年度計画の	内容	年度の事業	美人 美実績·成果					
	令和2年度	・実施計画事業の進捗管理・評価結果の公表・市民満足度・重要度調査		・総合計画の進行管理及び市月 実施計画事業(196事業)の行 ・評価結果について、市広報紙 ともに、総合計画審議会に報告 ・市民満足度・重要度調査を実 (有効回答1.692件、回収率56	政評価を実施し 及びホームペー し、意見をいたた 施した。	た。 ジで公表すると				

2.事業費の財源内訳

4. 中木貝の別源ド	1 D/\							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)		積算額 (当初予算額)					3,651,000	3,651,000
	令和2年度	予算現額					2,189,000	2,189,000
		決算額					2,189,000	2,189,000

3. 指標及び実績値

3. 招係及び美種	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	評価実施事業数	事業	目標値	200	200	200	200	200
	計	争未	実績値	205	200	198	196	196
	評価施策数	施策	目標値	55	44	44	44	44
活動指標	計画旭泉奴	旭東	実績値	55	44	44	44	44
/立 判 1日 1示	市民アンケートの周知	同(松粉)	目標値		3			3
	(広報、ホームページ、  はがき等)	回(総数)	実績値		4			4
			目標値					
			実績値					
	行政評価で方向性を示した事業数(現状維持以	事業	目標値	10	10	10	10	10
	外)		実績値	23	22	18	12	10
	行政評価で方向性を示 した施策数(現状維持以	施策	目標値	5		4		
成果指標	外)	心來	実績値	16		4		
从木1115	市民満足度の調査結果 が向上した項目(全32	数	目標値		10			10
	項目)	奴	実績値		12			23
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争来に刈りる評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

<u> 3. ラ後の万円圧</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	今後も毎年行政評価を行い、PDCAサイクルによる事業の見直し等を行っていくが、実施計画事業としては終結する。

1. 事業の概要				事業番号	194				
	実施計画事業名	定員管理の適正化							
事業名及び 担当部署等	担当部署名	総務部人事課 人事研修係 ・ 総務部総務課 行革推進係							
但当即看守	款項目及び予算名			新市基本計画	0				
	予算事業名			主要事業					
	関連する施策名	6-3-2 持続可能な行財政運営の実現		重点施策	0				
基本計画における 位置付け	施策の方向性	行政改革大綱に基づく事務事業の見直し、公共施設の整理統合、将来の財政負担を見通した効率的な財 運営の推進などにより、自立した基礎自治体としての総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきま す。また、総合計画に基づき持続可能な行財政運営を推進していきます。							
	事業年度	平成27年度~令和2年度(第5次)/令和3年	F度~(第6次)						
	事業の実施目的 及び概要	現定員管理計画(平成27年度〜令和2年度)では、今後の人口増及び地方分権の進展に伴う事務事業の増員に対応するため、職員の増加を計画しているが、市の財政は、引き続き厳しい状況が見込まれることから、大幅な増員は困難であると考えられる。これらの行政需要に見合った職員数の確保に努めるにあたり、総人件費の抑制を念頭に置きながら職員の増員を図るものとする。 次期定員管理計画(令和3年度〜)においては、定年延長等の制度改正の動向を注視し、引き続き行政需要に見合った職員数の確保に努める。							
	対 象	全課							
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	・簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律 ・第5次(第6次)印西市行政改革大綱及び第5次(第6次)印西市行政改革実施計画 ・印西市定員管理計画							
	年度	年度計画の内容		美実績·成果					
	令和2年度	・定員管理計画に基づく進捗管理	定員管理計画では、令和2年4 容であったが、令和元年度の摂なった。不足した要因としては、 辞退者が発生したことによる。7 イムの任期付職員の採用で補記	発用・退職の状況 新規採用予定者 下足した人数につ	により674人 fのうち、直前の				

2.事業費の財源内訳

2. デ木貝♥別(								
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)						0
		予算現額						0
		決算額						0

3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
職	定員管理計画に基づく 職員採用	1	目標値	3	6	2	3	1
	    ※数値は職員数の増減 	λ	実績値	0	3	5	-1	7
7日 <del>3</del> 01 日1示			目標値					
			実績値					
	職員数(平成27年度から6年間で15人増員す		目標値	663	669	671	674	675
成果指標	る計画	Α	実績値	660	663	668	667	674
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争果に対する評価									
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)							
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	今後も、相当数の新規採用者の確保が必要なため、効果的な職員採用に努めていく。							
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	今後も、相当数の新規採用者の確保が必要なため、効果的な職員採用に努めていく。							
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	退職補充及び行政需要の増加に対応するため、引き続き定員管理計画に基づ く職員数の確保に努めていく。							

<u>り. 7枚のカ門圧</u>	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も定員管理計画に基づき、計画的に職員数の増加を図るとともに、再任用職員の活用も含め、必要な人材の確保、年齢構成の平準化に取り組んでいく。

1. 事業の概要				事業番号	195		
	実施計画事業名	職員能力の向上					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	総務部人事課 人事研修係					
但当即看守	款項目及び予算名	2款 1項 1目 職員研修費		新市基本計画	0		
	予算事業名	職員研修費		主要事業			
	関連する施策名	6-3-2 持続可能な行財政運営の実現		重点施策	0		
基本計画における 位置付け	施策の方向性	行政改革大綱に基づく事務事業の見直し、公共施設の整理統合、将来の財政負担を見通した効率的な財政 運営の推進などにより、自立した基礎自治体としての総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきま す。また、総合計画に基づき持続可能な行財政運営を推進していきます。					
	事業年度	平成12年度から実施					
	事業の美施目的 あび舞曲						
	対 象	職員					
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市職員人材育成基本方針					
7 55.7 4 3	年度	年度計画の内容	1200	美実績·成果			
	令和2年度	・派遣研修・専門研修・特別研修・職場研修 (OJT)等の実施	派遣研修・専門研修・特別研作た。 階層別研修では、昇格者など 実施した。 当初計画では、例年並みの実 ウイルス感染症の影響により、 研修にて開催中止や延期が多 べて、およそ4割程度の受講人	特定の職員を指 施予定であった 交代制勤務の実 く発生したことに。	定して受講を が、新型コロナ 施や、各種の		

2.事業費の財源内訳

2. 尹未貝の別源り	75日							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)				171,000		3,644,000
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額				171,000	3,473,000	3,644,000
		決算額				27,273	1,149,654	1,176,927

3. 指標及び実績値

指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	派遣研修数	件	目標値	45	45	45	45	令和2年度 45 20 250 103 20 9
	派追班修奴	11+	実績値	48	43	49	45	20
活動指標			目標値					
/ 1到1日1示			実績値					
			目標値					
			実績値					
	職場外研修	1	目標値	250	250	250	250	250
	中以上のフトリード	^	実績値	217	252	220	198	103
成果指標	職場内研修数	件	目標値	20	20	20	20	20
从木田宗	<sup>中以</sup> 物 [7] 切 [10] 致	IT	実績値	23	20	26	26	9
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

サイト アークリア の日 四		
らの新たな総合計画における第1	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価		新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの研修機関で中止又は延期等となったが、いち早くオンラインでの研修参加へ切り替えるなど、出来る限りの対応に努めた。
②成果に対する評価		新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの庁内研修も書面又は中止となったが、オンライン教材での庁内研修を実施するなど、出来る限りの対応に努めた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、交代制勤務を実施したことや、大半の研修が中止又は延期等となるなどの状況の中、オンラインによる研修に切り替えるなど、 出来る限りの対応を実施した。

_		
	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	1 事業を現行のまま継続して実施	市人材育成基本方針に基づき、職員の能力向上を図るため、有効な時期及び受講内容を研究 又は工夫しながら、引き続き実施していく。 また、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、対面型以外の研修を活用するなど事業の推進を図っていく。

1. 事業の概要				事業番号	196		
	実施計画事業名	計画的な財政運営					
事業名及び 担当部署等	担当部署名	企画財政部財政課 財政係					
担当即看守	款項目及び予算名			新市基本計画	0		
	予算事業名			主要事業			
	関連する施策名	6-3-2 持続可能な行財政運営の実現		重点施策	0		
基本計画における 位置付け	施策の方向性	行政改革大綱に基づく事務事業の見直し、公共施設の整理統合、将来の財政負担を見通した効率的な財政運営の推進などにより、自立した基礎自治体としての総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきます。また、総合計画に基づき持続可能な行財政運営を推進していきます。					
	事業年度						
	事業の実施目的 及び概要	実施計画の進捗状況との連携を図りながら中長期的な財政見通しをたて、基本計画で定る事業選択の際の指針とするとともに、経常経費の削減や自主財源の確保等歳入歳出両面図り、財政構造の弾力性の確保に努め、健全で安定した財政運営を目指す。					
	対 象						
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市財政計画					
7.7111	年度	年度計画の内容	年度の事業	美実績・成果			
	令和2年度	・健全な財政運営及び計画的な財源配分 ・予算ヒアリング等を通じた財政構造の弾力 性の確保 ・財政計画の策定	健全な財政運営に努めるとともた。予算ヒアリング等を通じ、経保等の歳入歳出両面から健全弾力性の確保に努めた。	常経費の削減や	自主財源の確		

2.事業費の財源内訳

	1101							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		積算額 (当初予算額)						0
財源内訳(円)	令和2年度	予算現額						0
		決算額						0

3. 指標及び実績値

3. 拍慄及い美積旭								
指	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算ヒアリングを通じ、 財政構造の弾力性確保		目標値					
	に努める		実績値					
活動指標			目標値					
70 30 10 13			実績値					
			目標値					
			実績値					
	実質公債費比率	%以下	目標値	10.0	10.0	10	10	10.0
	大貝厶貝貝比平	702	実績値	4.7	3.1	1.8	10 10.0 0.7 算出中 90 90.0	
成果指標	経常収支比率	%以下	目標値	90.0	90.0	90	90	10 10.0 0.7 算出中 90 90.0
八木111末	杜市权文比平	7012	実績値	83.1	81.2	84.0	87.0	算出中
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

- 1	・・・ナーハーノ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	成果指標は今後算出することとなるが、過去の実績値の経過から評価した。
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	成果指標は今後算出することとなるが、過去の実績値の経過から評価した。

O. 7 (CO) 75 PS (E.	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	合併に伴う普通交付税の特例措置が終了し、普通交付税不交付団体となったことから、予算編成時等において人件費や物件費をはじめとした経常経費の抑制に努める。

1. 事業の概要				事業番号	197					
	実施計画事業名	総合計画の推進								
事業名及び 担当部署等	担当部署名	企画財政部企画政策課 企画係	企画財政部企画政策課 企画係							
担当即有守	款項目及び予算名	2款 1項 6目 企画費	新市基本計画							
	予算事業名	総合計画に要する経費		主要事業	0					
	関連する施策名	6-③-2 持続可能な行財政運営の実現		重点施策	0					
基本計画における 位置付け	施策の方向性	行政改革大綱に基づく事務事業の見直し、公共施設の整理統合、将来の財政負担を見通した対 運営の推進などにより、自立した基礎自治体としての総合的かつ専門的な行政機能の強化を図 す。また総合計画に基づき持続可能な行財政運営を推進していきます。								
	事業年度	平成26年度から実施								
	事業の実施目的 及び概要	施策評価や事業評価の結果等に基づき、施策・事業の効果や有効性等について検証を行うとともに、総合計画審議会に諮り、総合計画の進行管理を行う。								
	対 象	第2次基本計画に基づく全施策及び実施計画事業								
事業内容等	根拠法令·関連計画 等	印西市総合計画(第2次基本計画)								
	年度	年度計画の内容	年度の事業	美績·成果						
	令和2年度	<ul><li>総合計画審議会の開催</li><li>・第9次実施計画の策定</li><li>・次期総合計画の策定</li></ul>	・総合計画審議会の開催(会議・総合計画審議会から、「総合計 ・総合計画審議会から、「総合計基本計画」の答申を受けた。 ・第9次実施計画の策定(198事	画基本構想]及						

2.事業費の財源内訳

2. 手未真切別 源户	7位 6							
	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	<b>積算額</b> (当初予算額)					13,015,000	13,015,000
		予算現額					12,162,000	12,162,000
		決算額					11,813,525	11,813,525

3. 指標及び実績値

指:	標内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	総合計画審議会·地域	6	目標値	9	9	9	9	3
	審議会の開催	回	実績値	9	6	9	7	5
活動指標	行政評価(施策評価)の	施策数	目標値	55		44		
/ 山 刬 扫 1示	実施	旭東奴	実績値	55		44		
			目標値					
			実績値					
	実施計画の策定 進捗率	進捗率(%)	目標値	100	100	100	100	100
		進抄竿(%)	実績値	100	100	100	100	100
成果指標			目標値					
<b>从</b> 未刊标			実績値					
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

4.争耒に刈りる計1回		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 予復の万円性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
	今後も行政評価制度や印西市総合計画審議会からの意見などを活用し総合計画の推進を図っていくが、実施計画事業としては終結する。

1. 事業の概要				事業番号	198			
	実施計画事業名	広域的連携体制の強化						
事業名及び	担当部署名	企画財政部企画政策課 政策推進係						
担当部署等	款項目及び予算名	2款 1項 6目 企画費		新市基本計画				
	予算事業名	印旛郡市広域市町村圏事務組合負担金 事務組合水道事業支出金、長門川水道		主要事業				
	関連する施策名	6-3-2 持続可能な行財政運営の実現	5-③-2 持続可能な行財政運営の実現 重点施策					
基本計画における 位置付け	行政改革大綱に基づく事務事業の見直し、公共施設の整理統合、将来の財政負担を見通した効率的な財 施策の方向性 運営の推進などにより、自立した基礎自治体としての総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきま す。また総合計画に基づき持続可能な行財政運営を推進していきます。							
	事業年度	昭和47年度から実施						
	事業の実施目的 及び概要	行政区域を越える広域的な課題や事務について、国・県・関係自治体と連携し対応することにより、行政運営の効率化を図るとともに、まちづくりについて、広域的視点で調査・研究を行い、自治体相互の発展に寄与する。 ・ 印旛郡市広域市町村圏事務組合①採用試験及び職員共同研修②水道用水供給事業③二次救急医療機関④関係市町の共通課題についての連絡調整 ・ 長門川水道事業 ・ 近隣自治体とのまちづくり連携						
事業内容等	対 象	・広域市町村(成田市、佐倉市、四街道市、/ ・長門川水道構成市町(印西市、栄町) ・その他近隣自治体						
<b>学术</b> 门口寸	根拠法令·関連計画 等	印旛郡市広域市町村圏事務規約、長門川水	印旛郡市広域市町村圏事務規約、長門川水道企業団規約、その他各協議会規約					
	年度	年度計画の内容	1.02.11	美実績・成果				
	令和2年度	・広域的な課題等への対応 ・職員採用試験及び職員の共同研修 ・地方公営企業法に基づく水道用水供給事業 ・病院群輪番制方式による第二次救急医療機関運営事業及び小児救急医療支援事業 ・長門川水道事業 ・近隣自治体とのまちづくり連携	規約等に基づき、広域的に取りした。	組む事業に対し	負担金を拠出			

2.事業費の財源内訳

	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
財源内訳(円)	令和2年度	積算額 (当初予算額)					28,120,000	28,120,000
		予算現額					27,718,000	27,718,000
		決算額					27,190,881	27,190,881

#### 3. 指標及び実績値

指	票内容	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	負担金額(広域水道事	千円	目標値	56,958	63,489	69,000	54,000	29,000
	業含む)	Т	実績値	46,842	58,304	67,920	51,024	27,191
活動指標			目標値					
/山到1日/宗			実績値					
			目標値					
			実績値					
	共同処理する事業数	事業	目標値	6	6	6	6	6
		尹木	実績値	6	6	6	6	6
成果指標			目標値					
从本1日本		実績値						
			目標値					
			実績値					

4.事業に対する評価

- 1	・・テストークリノ の日   四		
	評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
	①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
	③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

ļ	今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
		広域的な行政課題の解決や効率的な行政運営を図るため、今後も広域的な連携体制を推進していくが、実施計画事業としては終結する。